この説明書の使い方

SSMIII (SUBARU Select Monitor III) の対話形式インターフェースの画面表示に従って操作をすれば必要な故障診断ができますが、複雑な手順で操作方法が解りづらいときに、この説明書を活用ください。なお、実際の故障診断作業ではサービスマニュアルを併せてご覧ください。

目次の章タイトルをクリックすると、該当ページに 切り替わります。

目 次

この説明書の使い方1	全ダイアグコードの点検	65
はじめに6	個別システムの点検	66
SSMIII 取説略語表7	現在のデータ表示・保存	68
診断を始める前に10	デジタルデータ画面での操作	69
取り扱い上の注意10	グラフ1画面	73
SSMIII の特長10	グラフ 2 画面	
CF アプリのインストール11	(8 チャンネル 1 画面表示グラフ)	79
インターフェースボックスの選択13	設定オールクリア機能	79
SDI のモード切り替え14	ツールバーの初期化機能	80
SDI のモードの種類14	計測項目メモリー機能	
各モードへの切り替え14	モードファイルを作成する	81
DST-i15	モードファイルを読み出して	
DST-i の LED 表示仕様15	計測する	
Bluetooth 通信15	トリガ	
DST-i 使用時に不具合が生じた時の確認項目	入力データトリガを設定する	
および必要な処置27	マニュアルトリガを設定する	89
ソフトウェアのバージョン情報の	2 カーソル解析	90
表示方法29	2 点間カーソル数値情報	90
PC アプリのバージョン情報29	データの切り抜き保存	92
CF アプリのバージョン情報29	計測データの CSV 化	94
システムの起動手順30	メニューから CSV 化する方法	94
メインメニュー画面の表示項目31	保存アイコンまたは保存ボタンから	
システムの終了手順31	CSV 化する方法	
無線 LAN 通信33	計測データ数が多い場合	
注意事項33	画面データの保存	
無線 LAN 通信に必要な部品34	保存手順	
無線 LAN 接続手順の概要34	保存したデータを見る	
PC 側の設定	表示画面の操作	
(Windows XP の場合)34	保存データの複数表示	101
PC 側の設定	ダイアグコードの点検	
(Windows Vista の場合)43	マニュアルリンク	107
PC 側の設定	フリーズフレームデータ	110
(Windows 2000 の場合)49	BRZ、または BRZ 以外の場合	110
無線 LAN カードカバー56	アライアンス車の場合	111
SDI 側の無線 LAN の設定57	データの保存	112
無線 LAN 接続に切り替え59	データの印刷	112
USB 接続に切り替え61	メモリクリア	113
既に無線 LAN 設定が完了した機材を	システム作動点検モード	115
使用するとき	シーケンシャルターボ	116
無線 LAN 関連用語一覧63	アクチュエータ ON/OFF 駆動	116
通信メッカージについて 64		

防盗システム117	携帯機登録本数の読出し	178
燃料ポンプコントロール117	携帯機の ID を消去する	179
アイドル点火時期固定117	リモコンエンジンスタータの	
アイドル回転数コントロール 117	登録	
インジェクタコントロール118	キーレスアクセス&プッシュスタート	
EGR バルブコントロール118	システム 部品故障時の対応一覧	
オルタネータ制御コントロール 118	AT 関連学習・点検モード	
コンプレッション計測118	準備	
複数システム同時計測121	AT 学習モード	
D チェック122	AT エア抜きモード	196
OBD システム126	リヤデフ点検モード	196
機能チェックシーケンス131	AWD ON/OFF 切替モード	197
ABS 機能チェックモード	パーキングブレーキシステム整備作業	
VDC 機能チェックモード	モード	198
舵角センサー機能中立 & 横 G センサー 0 点	準備	198
設定モード	フォースセンサキャリブレーション	
牧障情報表示133	モード	199
パラメータの選択135	パーキングブレーキ慣らし走行	
登録手順	モード	201
パラメータの確認137	パーキングブレーキ取り外し	
確認手順	モード	
ボディ統合ユニット機能チェック139	クラッチミートポジション設定	
ユニットカスタマイズ141	クラッチセンサキャリブレーション	
 制御ユニットの点検結果143	モード	
カスタマイズ機能表示146	パラメータ初期化モード	
ジステマイス機能扱が	エアコンディショナ	
ye5igitt	準備	
カメラ調整154	可変コンプレッサ慣らし運転	
グァラ調査194 レーダー軸調整	パワーステアリングシステム	
レーター軸調整 (ADA カメラシステム)156	準備	
レーザー光軸調整(追従クルーズコントロール	アシスト MAP 選択情報クリア	
システム) 158	キーレスアクセスシステム	
ング、 ニ/	準備	208
追従クルーズコントロール強制駆動	キーレスアクセスシステム	
モード	チェック	
イモビライザの登録(キーレスアクセス &	照合ユニット出力チェック	
プッシュスタートシステムなし)163	照合結果履歴クリア	210
イモビライザの登録(キーレスアクセス &	オートライト / オートワイパ	0.1.1
プッシュスタートシステムあり)168	システム	
スマートイモビライザの登録169	準備	
スマートコントロールユニットの	センサ初期設定	
登録173	EV システム点検モード	
エンジンコントロールユニットの	準備	
登録176	メモリクリア	214

機能チェックシーケンス214	リプログラム258
ユニットカスタマイズ215	コントロールユニットのリプログラム
ブレーキ負圧ポンプの履歴クリア 215	作業時の注意点258
アイドリングストップメンテナンス	コントロールユニットリプログラム作業
モード216	(BRZ の VDC 以外の場合)258
準備216	コントロールユニットリプログラム作業
スタータ交換時メンテナンス217	(BRZ の VDC の場合)261
コントロールユニット交換時	オプション設定266
メンテナンス217	画面表示フォントの変更266
CAN バス接続 ECU の確認219	表示単位の変更266
電動オイルポンプ点検モード221	表示言語の変更267
SDI ドライビングレコーダー	通信ログデータ267
(SDR)224	表示値文字列形式の変換268
SDR 用設定ファイルを作成する 224	SDI- アナログ計測269
SDR データを記録する226	取り扱い上の注意269
SDR データを保存する227	パルス/アナログキットの
保存したデータを開き解析する 230	内容品269
トリガ機能230	計測前の準備269
DST-i ドライビングレコーダー	計測を開始する270
(SDR)233	アナログ計測設定271
SDR 用設定ファイルを作成する 233	トリガ機能274
SDR データを記録する235	オートレンジでレンジ変更する276
SDR データを保存する237	設定項目を初期化する277
保存したデータを開き解析する 240	その他の操作について277
トリガ機能240	DST-i アナログ計測278
日時設定243	SDI コントロールユニット -
SDI コントロールユニット -	アナログ同時計測279
フナログ同時計測(SDR)244	コントロールユニット - アナログ同時計測を
SDR 用設定ファイルを作成する 244	開始する279
SDR データを記録する248	コントロールユニット - アナログ同時計測を
SDR データを保存する249	終了する282
保存したデータを開き解析する 249	トリガ機能282
DST-i コントロールユニット -	データセレクト表示283
アナログ同時計測(SDR)250	設定オールクリア機能284
SDR 用設定ファイルを作成する 250	その他の操作について284
SDR データを記録する253	DST-i コントロールユニット -
SDR データを保存する254	アナログ同時計測285
保存したデータを開き解析する	コントロールユニット - アナログ同時計測を
リモートボックス255	開始する285
取り扱い上の注意255	コントロールユニット - アナログ同時計測を
各部の名称	終了する288
SDI への接続	トリガ機能288
リモートボックスの機能	データセレクト表示288
G センサアナログ出力計測	設定オールクリア機能289
G ピンソノノロノ山刀計例200	その他の操作について289

気筒モニター	290
簡易版気筒モニターで計測する	290
高機能版気筒モニターで計測する	
高機能版気筒モニター(パルス計測不要)	
で計測する	
グラフレンジを変更する	
計測データを保存する	
保存したデータを見る	
SDI スタンドアローン診断	300
準備(SDI をスタンドアローンモードで	000
起動する)	
全ダイアグコードの点検	301
個別システムのダイアグコード 点検	202
点検 データ表示	
ナータ表示 計測データの保存	
前側)ータの保存 CF カードの保存データをパソコンに	304
保存	305
メモリクリア	
OBD メモリクリア	
パラメータの選択	
パラメータの確認	
ユニットカスタマイズ	
インパクトセンサ	
イモビライザの登録(キーレスアクセス	
プッシュスタートシステムなし)	
イモビライザの登録(キーレスアクセス	
プッシュスタートシステムあり)	318
スマートイモビライザの登録	320
スマートコントロールユニットの	
登録	322
エンジンコントロールユニットの	004
登録	
携帯機登録本数の読出し	
携帯機の ID を消去する	327
リモコンエンジンスタータの 登録	330
豆螂 SDI の機能設定	
SDI の機能改定	
DST-i スタンドアローン診断	
準備(DST-i をスタンドアローンモードで	
起動する)	
全 DTC 点検	
データモニタ	
DTC 点検	

メモリクリア	344
作業サポート	346
ユニットカスタマイズ	356
イモビライザーの登録	359
DST-i の本体設定	359
SDI システムメニュー	362
準備(SDI をシステムモードで	
起動する)	362
SELF CHECK(SDI の自己診断)	362
VERSION CHK(SDI のソフトウェ)	
バージョン表示)	367
FUNCTION SETUP	
(SDI の機能設定)	
データ表示内容一覧表	
エンジン	
トランスミッション	
ボディ統合ユニット	
照合ユニット	414
電源ユニット	419
ゲートウェイユニット	421
EV ユニット	421
通信エラーコードー覧	431
コントロールユニットリプログラムエ ⁻	
コードー覧	
コントロールユニットリプログラム	-
コード一覧(PC 表示)	
コントロールユニットリプログラム	-
コード一覧(NSM LCD 表示)	
SSMIII の改訂履歴	
お問い合わせについて	
部品番号一覧	453

はじめに

SSMIII (2015 年 1 月 Ver. 以前) は、次の OS に対応しています。

- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7
- Windows 8

SSMIII (2015 年 4 月 Ver. 以降) は、次の OS に対応しています。

- Windows Vista
- Windows 7
- Windows 8

SSMIII は、最新・高度な技術で開発された強力な 故障診断装置で、パソコンとの併用で車両の故障を 迅速・正確に解析できます。

パソコン上で操作するアプリケーションソフトウエアは、対話方式の操作系を採用しており非常に使いやすくなっております。

通信については、エンジン制御システムやトランス ミッション制御システムとの間で高速通信を行う など、速度の速い現象を確実に捉えることが可能と なっています。

このマニュアルを熟読し、またサービスマニュアルを併用して、SSMIIIの機能を最大限に生かして故障診断を行ってください。

なお、本書に記載してあるイラストや画面は、仕様変更により実際と異なる場合がありますのでご了承ください。

Microsoft、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Internet Explorer は 米国マイクロソフト社の登録商標です。

Intel、Pentium M は米国インテル社の登録商標です。 Adobe Acrobat Reader は米国アドビシステムズ社の 登録商標です。

I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。

Air Port は、関西電機株式会社の登録商標です。

Panasonic、TOUGHBOOK は、パナソニック株式会社の商標または登録商標です。

DVVT (Dynamic Variable Valve Timing)、キーフリーシステム、eco IDLE は、ダイハツ工業株式会社の登録商標です。

ECT、EFI、TRC、VSC、VVTL-i はトヨタ自動車株式会社の登録商標です。

SSMIII 取説略語表

略語	スペルアウト	備考
A/C	Air Conditioner	
A/F	Air/Fuel ratio	
ABS	Anti-lock Brake System	
AC	Alternating Current	交流電流
ACC	Accessory	
ADA	Active Driving Assist	
AET	AT Engine Torque request	
ASSY	Assembly	
AT	Automatic Transmission	
ATF	Automatic Transmission Fluid	
AWD	All Wheel Drive	
BIU	Body Integrated Unit	
BMP	Bit MaP	Windows が標準でサポートしている画像形式
CAM	Camshaft	
CAN	Controller Area Network	
CD	Compact Disk	
CD-ROM	Compact Disk Read Only Memory	
CF	Compact Flash	
CNG	Compressed Natural Gas	
COM	Common	
CPC	Canister Purge Control solenoid valve	
CR	Crankshaft	
CSV	Comma Separated Values	カンマ区切り
CUW	Calibration Update Wizard	
CVT	Continuously Variable Transmission	
DC	Direct Current	直流電流
DCCD	Drivers Control Center Differential	
DNS	Domain Name System	
DPF	Diesel Particulate Filter	排出ガス浄化システム
DRL	Daytime Running Lights	
D-sub	D subminiature	
DTC	Diagnostic Trouble Code	
DVVT	Dynamic Variable Valve Timing	連続可変バルブタイミング機構
EAM	Engine AT Masking flag	

略語	スペルアウト	備考
ECM	Electronic Control Module	
EGR	Exhaust Gas Recirculation	
ELCM	Evaporated Leak Check Module	
EOP	Electronic Oil Pump	電動オイルポンプ
EPB	Electronic Parking Brake	
ETC	Electronic Throttle Control system	
EV	Electric Vehicle	
FWD	Front Wheel Drive	
H/U	Hydraulic Unit	
IC	Integrated Circuit	半導体集積回路
ID	Identification	
IG	Ignition	
IP	Internet Protocol	
ISC	Idle Speed Control	
ISG	Integrated Starter Generator	
LAN	Local Area Network	
LCD	Liquid Crystal Display	液晶ディスプレイ
LED	Light Emitting Diode	発光ダイオード
LH	Left Hand	
LSD	Limited Slip Differential	
MIL	Malfunction Indication Lamp	
MT	Manual Transmission	
NSM	New Select Monitor	
OBD	On Board Diagnosis	
OCV	Oil flow Control solenoid Valve	
OS	Operating System	基本ソフトウェア
OSV	Oil Switching solenoid Valve	
P/W	Power Window	
PAK	Pack	
PASS	Passing	
PC	Personal Computer	
PTC	Positive Temperature Coefficient	正の温度特性
PV	Power system supply Voltage *1	
RAM	Random Access Memory	
RH	Right Hand	
ROM	Read Only Memory	

8

略語	スペルアウト	備考
RTC	Real Time Clock	計時専用のチップ
SAE	Society of Automotive Engineers	米国自動車技術会
SDI	SUBARU Diagnostic Interface	
SDR	SUBARU Driving Recorder	
SI	International System of Units	国際単位系
SP	Service Pack	
SSID	Service Set Identifier	
SSMIII	SUBARU Select Monitor III	
SW	Switch	
TCM	Transmission Control Module	
ТСР	Transmission Control Protocol	
TCS	Traction Contorol System	
TGV	Tumble Generator Valve	
TPMS	Tire Pressure Monitoring System	
Tr	Transistor	
USB	Universal Serial Bus	
VDC	Vehicle Dynamics Control	
VVL	Variable Valve Lift	
VVT	Variable Valve Timing	
WEP	Wired Equivalent Privacy	

^{*1:} 電源にはアクチュエータを作動させる「パワー系電源電圧」と、センサを作動させる「センサ系電源電圧」があります。

診断を始める前に

取り扱い上の注意

- SDI (SUBARU Diagnostic Interface) および DST-i は精密測定機器です。水、オイル、グリース等がかからない様に注意してください。
- SDI または DST-i (以降、インターフェースボックスとする。) および付属部品は分解しないこと。
- インターフェースボックスを損傷する恐れがあるので、SSMIII が動作中にダイアグケーブルまたはデータリンクケーブルの抜き差しはしないこと。
- インターフェースボックスの電源が入った状態で、CF カードまたは SD カードの抜き差しをしないこと。
- CFカードを使用しないときは、必ず付属のダミーカードをカードスロットに装着しておくこと。
- インターフェースボックスの LCD ディスプレイ を損傷させないように注意すること。LCD ディスプレイが割れて液晶が流れ出した場合には、液 晶には触れないこと。もし皮膚などに液晶が付着 した場合には、すぐに大量の水で洗い流し、もし 皮膚に異常があるときは専門の医師の診察を受けること。
- 実走行をしながら SSMIII を使用して故障診断を 行う場合は必ず運転者以外の人が SSMIII および インターフェースボックスの操作を行うこと。
- SDI の電源を ON にした直後に PC アプリを起動し、システム選択メニューで項目を選択した場合、ブザーが鳴って SDI の電源が OFF することがあります。これは SDI の仕様によるものです。この場合は再度 SDI を起動し、CF アプリモードまたはドライビングレコーダーモードが完全に起動してから、PC アプリを起動してください。

SSMIII の特長

SSMIII は、最新・高度な技術で開発された強力な 故障診断装置です。

この装置はパソコンとの併用で、総合的・迅速・正確に判断・解析することのできる診断装置です。 また今後の技術変化にも対応できるハード構成としており、柔軟な対応が可能です。

- 1) 車両の各コントロールユニットとの双方向通信 SSMIII は、インターフェースボックスを中継することで自動車に搭載された各種コントロールユニット〜パソコン間で、双方向通信を行うことができます。これによって、コントロールユニットデータをモニタしたり、コントロールユニットで診断された診断コードの確認・各種アクチュエータの強制駆動を行うことができます。
- 2)優れたアプリケーションソフトウェア パソコン上で操作するアプリケーションソフト ウェアは、対話方式の操作系を採用しており非常 に使いやすくなっております。 また、メニューが階層化されており、通常操作の 範囲であれば初めての方でも、簡単に操作が可能 となっています。

3) 通信機能

車両コントロールユニット〜インターフェースボックス間は、そのコントロールユニットに対応した通信を行うことで、データを読み込み、インターフェースボックス〜パソコン間は、USB1.1またはUSB2.0での高速通信を実現しています。また、SDIにカードスロットを設け、SDI〜パソコン間の通信を、有線LAN・無線LANに対応することも可能なハード構成としています。

4) 多言語対応

SSMIII は日本語と英語に対応しています。また、この対応は、パソコン内で使用されている OS に応じて、自動的に言語が切り替えられており、使用者がまったく戸惑うことなく使用できます。

5) データ計測

データは全項目の計測を行っており、データのとり忘れが無いようにしてあります。したがって、 全データを計測し、保存した後で見たいデータを 解析することが可能です。

通信速度も、通常診断では問題ないスピードにしてあります。

また、計測時に計測項目を選択できるようにして あり、選択をした場合は、通信方式が高速通信方 式に切り替えられます。

選択方式では、数 10msec の計測間隔となり、速度の早い現象も確実に捕らえることができます。 (最新の通信方式を採用しているエンジンおよびトランスミッション制御システムの診断時)

6) デジタルデータ表示

表示に関しては、表示部がパソコン画面となるため、鮮明にデータを見ることが可能です。 表示項目数は、パソコン画面の大きさ・フォントサイズによって変化しますが、25 項目以上の同時表示が可能です。

7) グラフデータ表示

カラー表示は非常にわかり易く、的確な現象の解析を行うことができます。また、任意の線色に選定が可能で、自分の見やすい色で解析することが可能です。

8) ダイアグケーブル

標準化に対応し、車両との接続コネクタには、 SAE 規格の J1962 コネクタを採用しました。 SDI 側には、D-Sub 44 ピンコネクタを採用し耐久

性の向上を図っています。 ケーブル長は 2.3m とし、使いやすい長さに設定 いたしました。

また、リプログラム作業もこのケーブルで行うことができます。

9) USB ケーブル

パソコン〜インターフェースボックス間の通信は USB1.1 または USB2.0 で、USB ケーブルを使用します。

ケーブル長は、多少離れたところでもパソコンでの解析ができるようにするため、3mとなっております。

10)SDI クッションラバー

インターフェース落下時の衝撃吸収やキズ防止のため、SDI にクッションラバーを装着しました。

CF アプリのインストール

CF アプリとは…CF カードにインストールする SSMIII のアプリケーションソフトです。 このインストール作業によって、CF カードにソフ

このインストール作業によって、CF カードにソフトウェアが書き込まれます。

- *I.* SDI、USB ケーブル、SSMIIIPC アプリがインストールされているパソコン、ダイアグケーブルまたはデータリンクケーブルを用意します。
- 2. SDI の CF カードスロットに CF カードを挿入します。

注意:

SDI の電源が入った状態で、CF カードの抜き差しをしないこと。

3. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。

参考:

「システムの起動手順」項を参照してください。

4. メインメニュー画面でファンクションキーバー の 「FDCFAP をクリックするか、PC のファンクションキー F9 を押します。

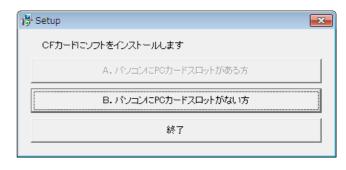


SMJ-01553

参考:

事前に、使用するインターフェースボックスを SDI に設定してください。インターフェースボックスの設定については、「インターフェースボックスの選択」項を参照してください。

5. CF カードへの CF アプリインストール方法を選択してください。(ここでは "B. パソコンに PC カードスロットがない方"を選択します。)

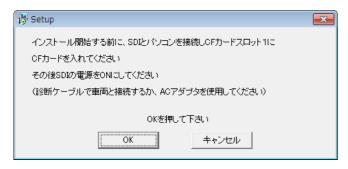


SMJ-01555

参考:

ご使用のパソコンの仕様により、"B. パソコンにPCカードスロットがない方"しか選択できない場合があります。

6. 記載内容を確認して、「OK」をクリックします。



SMJ-01556

ファイルの転送が開始されます。
 完了するまで、しばらくお待ちください。



SMJ-01557

参考:

ファイルの転送には、5~10分かかります。

8. 画面の操作指示に従って、[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01558

9. これで CF アプリのインストールは完了です。

インターフェースボックスの選択

使用するインターフェースボックスの選択を行い ます。

1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。

参考:

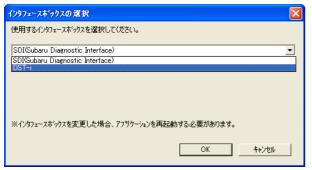
「システムの起動手順」項を参照してください。

2. メインメニュー画面でファンクションキーバー の 回げ選択 をクリックするか、PC のファンクションキー F10 を押します。



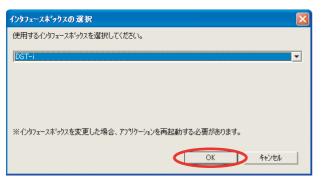
SMJ-01262

3. 「インターフェースボックスの選択」画面が表示 されますので、使用するインターフェースボック スを設定します。(ここでは DST-i を選択してい ます。)



SMJ-01263

4. 設定内容を確認後、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01264

5. 画面の操作指示に従って、[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01265

6. これでインターフェースボックスの設定は完了 です。

SDI のモード切り替え

参考:

この機能は、使用するインターフェースボックスが SDIである場合のみ、実施が可能です。

SDIのモードの種類

SDIのモードには以下の4種類があります。

- ドライビングレコーダーモード
- スタンドアローンモード(CF アプリ診断モード)
- システムモード (SDI 単体システムモード)
- PC アプリモード

なお、各モードの使用方法の詳細は目的の項目を参 照してください。

各モードへの切り替え

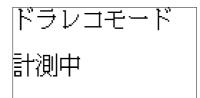
ドライビングレコーダーモード

CFカード内にSDR用設定ファイルがある場合、SDI の電源を ON にすると、初期状態は常にドライビングレコーダーモードになります。また、他のいずれのモードを終了させた場合にも、CFカード内に設定ファイルがあれば、ドライビングレコーダーモードになります。

参考:

CF カード内に設定ファイルがない場合は、スタンドアローンモードになります。ドライビングレコーダーモードにしたい場合は、CF カード内に SDR 用設定ファイルを作成して SDI を起動してください。

ドライビングレコーダーモード時の画面



SMJ-00555

スタンドアローンモード

CFカード内にSDR用設定ファイルが無い場合、SDI の電源を ON にすると初期状態は常にスタンドアローンモードになります。またシステムモード、PC アプリモードを終了させた場合にも、スタンドアローンモードになります。

強制的にスタンドアローンモードに移行するには、 ドライビングレコーダーモード、および PC アプリ の初期画面などのときに、SDI の [MENU] キーと [C] キーを両方同時に長押し(2 秒以上) します。

スタンドアローンモードを終了すると、CF カード内に SDR 用設定ファイルがある場合は、ドライビングレコーダーモードに移行しますが、設定ファイルが無い場合は、再度スタンドアローンモードで起動します。

スタンドアローンモード時の初期画面



SMJ-00726

システムモード

システムモードに移行するには、SDIの [MENU] キーを押しながら電源を ON にします。

システムモードを終了すると、CF カード内に SDR 用設定ファイルがある場合は、ドライビングレコー ダーモードに移行し、設定ファイルが無い場合は、 スタンドアローンモードに移行します。

システムモード時の初期画面



SMJ-00469

PC アプリモード

SDI が他のいずれのモードでも、パソコンの PC アプリを起動し各種診断、計測、登録などを実行すると、自動的に PC アプリモードに移行します。

PC アプリモードを終了すると、CF カード内に SDR 用設定ファイルがある場合は、ドライビングレコーダーモードに移行し、設定ファイルが無い場合は、スタンドアローンモードに移行します。

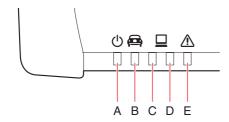
PC アプリモード時の画面

SDI Ver.1.0.59 Oct/01/2004 13:09:21

SMJ-00543

DST-i

DST-i の LED 表示仕様



SMJ-01266

A: 電源インジケータ 電源の状態を表示します。 電源が ON の状態では緑に点灯します。

B: 車両通信インジケータ 車両との通信状態を表示します。 通信中は緑に点滅します。

C: パソコン通信(Bluetooth)インジケータ パソコンとのBluetooth通信状態を表示します。 通信中および待ち受け中は青に点滅します。

D:パソコン通信(USB)インジケータ パソコンとのUSB通信状態を表示します。 通信中および待ち受け中は緑に点滅します。

E: エラー検出インジケータ エラー発生時は、赤に点灯または点滅します。 点灯:ハードまたはソフトウェアの異常発生時 点滅:ファームウェアが未インストール

Bluetooth 通信

DST-i とパソコンを Bluetooth 通信で接続するには、「Bluetooth ドライバのインストールとペアリング*1」および「Bluetooth の通信ポート設定」が必要です。

*1:無関係の機器と通信をしたりしないよう、セキュリティ維持のために互いを認証する作業。

注意:

- Bluetooth を使用する場合、Windows XP(SP3) 以降の OS を搭載したパソコンで、必ず Windows 標準の Bluetooth ドライバを使用してください。 Windows 標準以外の Bluetooth ドライバでは通信できません。
- 市販されているすべての Bluetooth モジュール および Bluetooth 付き情報端末(パソコン、携帯 電話等) との接続を保証するものではありませ ん。

- Bluetooth モジュールは、Bluetooth のロゴマーク表示がある Bluetooth 規格 2.0 に準拠した製品をお使いください。
- DST-i とペアリングできる Bluetooth モジュール および Bluetooth 付き情報端末は最大 8 台です。 9 台目とペアリングをすると、1 台目とのペアリングが解除されます。
- 通信途絶した場合に車両の異常や事故につながる恐れがある作業は、USB ケーブルを使用してパソコンと接続した上で作業を行ってください。
- Bluetooth を使用した場合、イモビライザの登録、 リプログラムは実行できません。これらの機能を 実行する場合は USB 接続で行ってください。

参考:

- この機能は、使用する DST-i が Bluetooth 付きモデルである場合のみ、実施が可能です。
- Bluetooth 無線技術ではおよそ 10m 程度までの 距離で通信できますが、障害物 (人体、金属、壁 など)や電波状態によって通信有効範囲は変動し ます。

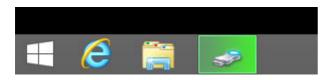
Bluetooth ドライバのインストールとペア リング

本項目では、Windows8、Windows7、Windows Vista、Windows XP(SP3 以降) における Windows 標準のBluetooth ドライバを使用した設定方法を説明します。

上記以外の OS をご使用の場合や、Bluetooth モジュールに付属しているドライバ(設定ツール)をご使用になる場合には、Bluetooth モジュールの取扱説明書に従ってインストールや設定を行ってください。また、Bluetooth が標準搭載されているパソコンをご使用の場合には、パソコンの取扱説明書に従って設定してください。この場合、ペアリングコード(パスキー)は「0000」としてください。

Windows8 の場合

- *I.* Bluetooth モジュールをパソコンの USB ポートに接続します。
- 2. パソコンの画面左下にあるタスクバーの通知領域に Bluetooth ドライバのインストールの進捗状況が表示され、インストールが開始されます。インストールが完了すると、インストールの進捗状況が消えます。

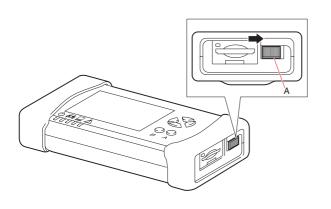


SMJ-01494

注意:

インストールが完了するまで次の手順に進まないこと。

- 3. DST-i とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 4. DST-i のモードスイッチを ON にします。



SMJ-01285

A:モードスイッチ

参老·

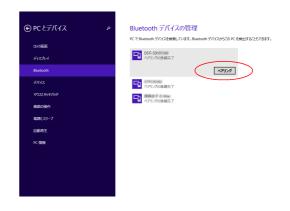
LCD なしモデルは、モードスイッチがありません。 パソコンと USB ケーブルで接続すると、DST-i の 電源が ON になります。 5. タスクバーの Bluetooth アイコン ** をクリック し、「Bluetooth デバイスの追加」を選択します。



SMJ-01495

参考:

タスクバーに Bluetooth アイコンがない場合は、「タスクバーに Bluetooth アイコンが表示されない場合」項を参照してください。



SMJ-01496

参考:

- ・ * * * * * * は DST-i のシリアル No. です。
- シリアル No. は、DST-i の裏面に記載されています。

7. ペアリングコード「0000」を入力し、[次へ]を クリックします。

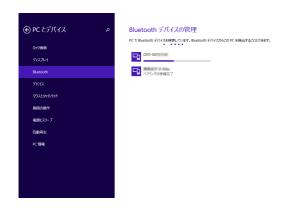


SMJ-01497

参考:

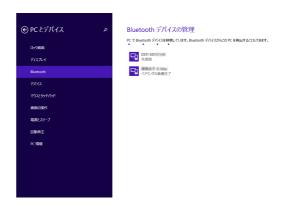
ペアリングコードを入力する際、一定時間が過ぎた場合や誤ったペアリングコードを入力した場合、エラーが表示されます。この場合、[閉じる]をクリックし、作業をやりなおしてください。

8. Bluetooth のペアリングが開始されます。 完了するまで、しばらくお待ちください。



SMJ-01498

9. 該当DST-iが追加されていることを確認してくだ さい。



SMJ-01499

参考:

ペアリングが完了しても、「Bluetooth の通信ポート 設定」が完了していない場合、Bluetooth 通信する ことはできません。「Bluetooth の通信ポート設定」 項を参照し、通信ポート設定を実施してください。

Windows7 の場合

- 1. Bluetooth モジュールをパソコンの USB ポートに接続します。
- 2. パソコンの画面右下にあるタスクバーの通知領域に Bluetooth アイコンとメッセージが表示され、Bluetooth ドライバのインストールが開始されます。

注意:

インストール完了のメッセージが表示されるまで次の作業をしないこと。

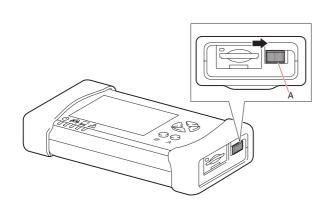
参考:

- 画面右下に表示されるメッセージの数は、ご使用 のパソコンおよび Bluetooth モジュールによっ て異なります。
- 画面右下のメッセージの表示は短時間のため、確認できない場合があります。
- 3. インストールが完了すると、インストール完了の メッセージが表示されます。



SMJ-01396

- 4. DST-i とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 5. DST-i のモードスイッチを ON にします。



SMJ-01285

A:モードスイッチ

参考:

LCD なしモデルは、モードスイッチがありません。 パソコンと USB ケーブルで接続すると、DST-i の 電源が ON になります。

6. タスクバーの Bluetooth アイコン **3** を右クリックし、「デバイスの追加」を選択します。



SMJ-01286

参考:

タスクバーに Bluetooth アイコンがない場合は、「タスクバーに Bluetooth アイコンが表示されない場合」項を参照してください。

7. 「DSTi-5D ******」を選択し、[次へ] をクリックします。



SMJ-01287

参考:

- ******はDST-iのシリアル No. です。
- シリアル No. は、DST-i の裏面に記載されています。
- 8. ペアリングコード「0000」を入力し、[次へ]を クリックします。



SMJ-01288

参考:

ペアリングコードを入力する際、一定時間が過ぎた場合や誤ったペアリングコードを入力した場合、エラーが表示されます。この場合、[再実行]をクリックし、作業をやりなおしてください。

9. ペアリングが完了すると、ペアリング完了の画面が表示されます。



SMJ-01289

10.タスクバーの Bluetooth アイコンを右クリック して「Bluetooth デバイスの表示」を選択します。



SMJ-01290

11.該当 DST-i が追加されていることを確認してください。



SMJ-01291

Windows VISTA、Windows XP(SP3 以降) の場合

下記の要領はWindows Vistaの画面で説明しています。Windows XP(SP3 以降)の場合、画面とメッセージが多少異なります。

- 1. Bluetooth モジュールをパソコンの USB ポートに接続します。
- 2. パソコンの画面右下にあるタスクバーの通知領域に Bluetooth アイコンとメッセージが表示され、Bluetooth ドライバのインストールが開始されます。

注意:

インストール完了のメッセージが表示されるまで次の作業をしないこと。

3. インストールが完了すると、インストール完了の メッセージが表示されます。

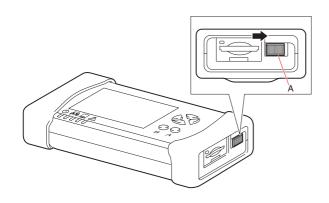


SMJ-01406

参考:

- 画面右下に表示されるメッセージの数は、ご使用 のパソコンおよび Bluetooth モジュールによっ て異なります。
- 画面右下のメッセージの表示は短時間のため、確認できない場合があります。
- 4. DST-i とパソコンを USB ケーブルで接続します。

5. DST-i のモードスイッチを ON にします。



SMJ-01285

A:モードスイッチ

参考:

LCD なしモデルは、モードスイッチがありません。 パソコンと USB ケーブルで接続すると、DST-i の 電源が ON になります。

6. タスクバーの Bluetooth アイコン を右クリック し、「Bluetooth デバイスの追加」を選択します。



SMJ-01407

参考:

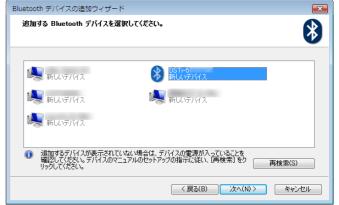
タスクバーに Bluetooth アイコンがない場合は、「タスクバーに Bluetooth アイコンが表示されない場合」項を参照してください。

7. 「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。



SMJ-01408

8. 「DSTi-5D ******」を選択し、「 次へ」ボ タンをクリックします。

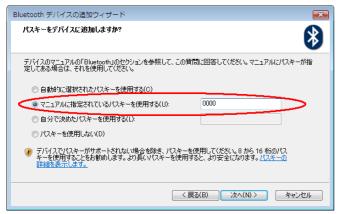


SMJ-01409

参考:

- * * * * * * は DST-i のシリアル No. です。
- シリアル No. は、DST-i の裏面に記載されています。

9. 「マニュアルに指定されているパスキーを使用する」を選択して、パスキー「0000」を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



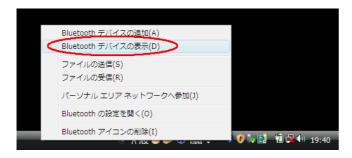
SMJ-01410

10.ペアリングが完了すると、ペアリング完了の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックします。



SMJ-01411

11.タスクバーの Bluetooth アイコンを右クリックして「Bluetooth デバイスの表示」を選択します。



SMJ-01412

12.該当 DST-i が追加されていることを確認してく ださい。



SMJ-01413

タスクバーに Bluetooth アイコンが表示 されない場合

Windows8 の場合

1. デスクトップ画面を表示させて、画面左下のスタートボタン **■** を右クリックし「コントロールパネル」を選択します。



SMJ-01501

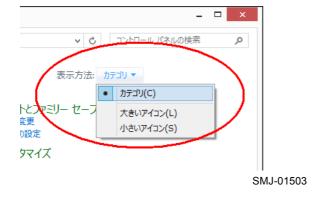
2.「デスクトップのカスタマイズ」を選択します。



SMJ-01502

参考:

「デスクトップのカスタマイズ」が表示されない場合は、画面右の"表示方法"を「カテゴリ」にしてください。



3.「タスクバーのアイコンのカスタマイズ」を選択します。



SMJ-01504

4. Bluetooth アイコンの表示を「アイコンと通知を 表示」にして、「OK」ボタンをクリックします。



SMJ-01505

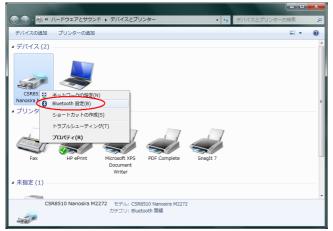
5. タスクバーにBluetoothアイコンが表示されます。



SMJ-01506

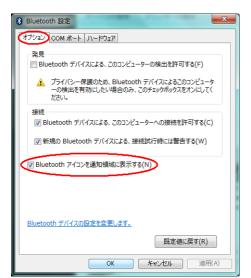
Windows 7 の場合

 スタートメニューから「デバイスとプリンター」 を選択し、Bluetooth モジュールのアイコンを右 クリックして「Bluetooth 設定」を選択します。



SMJ-01415

2. 「オプション」の「Bluetooth アイコンを通知領域 に表示する」にチェックを入れ、「OK」ボタンを クリックします。



SMJ-01416

3. タスクバーにBluetoothアイコンが表示されます。



SMJ-01417

Windows Vista、Windows XP(SP3 以降)の場合

1. スタートメニューから「コントロールパネル」を 選択し、Bluetooth モジュールのアイコンをダブ ルクリックします。

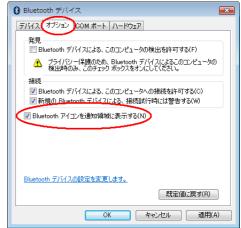


SMJ-01418

参考:

Bluetooth アイコンが表示されない場合は、画面左のメニューから、表示を「クラッシック表示」にしてください。

2. 「オプション」の「Bluetooth アイコンを通知領域 に表示する」にチェックを入れ、「OK」ボタンを クリックします。



SMJ-01419

3. タスクバーにBluetoothアイコンが表示されます。 3. 「かんたん設定」をクリックします。



SMJ-01420

Bluetooth の通信ポート設定

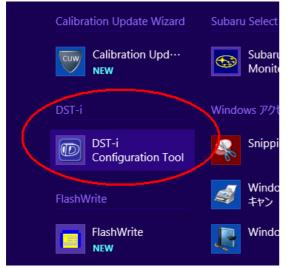
Windows8 の場合

1. スタート画面左下の ● ボタンをクリックしま

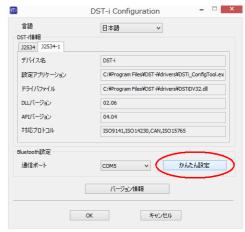


SMJ-01508

2. アプリ画面で「DST-I Configuration Tool」をクリッ クします。

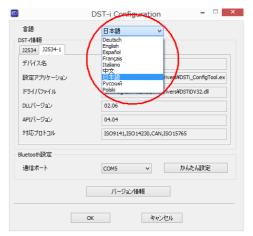


SMJ-01509



SMJ-01510

参考: 必要に応じて言語を選択することができます。



SMJ-01511

4. かんたん設定ウィザードが起動します。以降の手順は、「DST-i Bluetooth かんたん設定」項を参照してください。

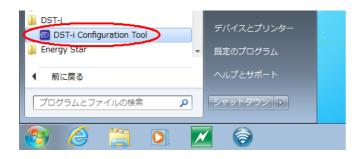


SMJ-01512

Windows 7、Windows Vista、Windows XP(SP3以降)の場合

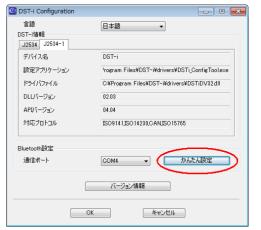
下記の要領は Windows 7 の画面で説明しています。 Windows Vista、または Windows XP(SP3 以降)の場合、画面とメッセージが多少異なります。

I. スタートメニューから、「プログラム(すべての プログラム)」→「DST-i」→「DST-i Configuration Tool」を起動します。



SMJ-01397

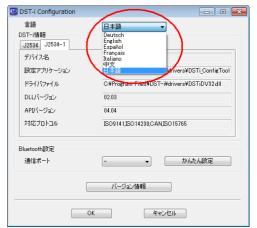
2.「かんたん設定」をクリックします。



SMJ-01399

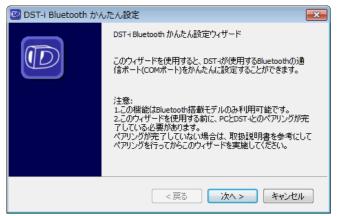
参考:

必要に応じて言語を選択することができます。



SMJ-01398

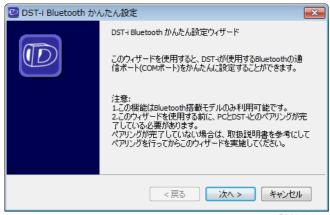
3. かんたん設定ウィザードが起動します。以降の手順は、「DST-i Bluetooth かんたん設定」項を参照してください。



SMJ-01400

DST-i Bluetooth かんたん設定

1. 記載内容を確認して、「次へ」をクリックします。



SMJ-01400

- 2. DST-i とパソコンの準備画面が表示されました ら、以下の準備を行います。
- 車両ケーブルを外した状態で、DST-iをUSBケーブルにてパソコンへ接続します。
- DST-i のモードスイッチを ON にします。既に DST-i が起動している場合には、一旦モードス イッチを OFF してから再起動してください。

準備ができましたら、「次へ」ボタンをクリックします。



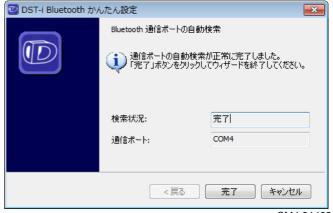
SMJ-01401

3. Bluetooth COM ポートの自動検索が始まります。 完了するまで、しばらくお待ちください。



SMJ-01402

4. Bluetooth COM ポートの自動検出の完了画面が表示しましたら、COM ポートに記載されているポート番号を確認して、「完了」ボタンをクリックします。



SMJ-01403

5. DST-iの電源を入れ直す指示ダイアログが表示されましたら、DST-iのモードスイッチを OFF し、再度 ON します。



SMJ-01404

6. Bluetooth 設定の通信ポートが変わっていることを確認して、「OK」をクリックして終了します。



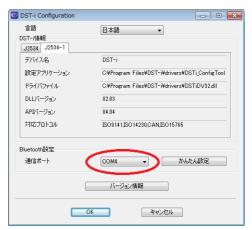
SMJ-1405

注意:

「OK」ボタンをクリックせずに終了すると、設定は 反映されません。

参考:

Bluetooth 設定の通信ポートを変更した場合、通信ポートを再設定する必要があります。その場合は、「DST-i Bluetooth かんたん設定」をやりなおしてください。



SMJ-1552

DST-i 使用時に不具合が生じた時の確認項目および必要な処置

車両と通信できない場合

確認項目	必要な処置
データリンクケーブ ルの接続	データリンクケーブルの 接続を確認してくださ い。
データリンクケーブ ル用コネクタのピン 曲がり、つぶれ	購入先へ修理依頼してく ださい。
データリンクケーブ ル断線等の不具合	新しいデータリンクケー ブルを購入してくださ い。
DST-iのアップデート 画面の表示	[OK] または [Next] をク リックして、アップデー トしてください。
上記を確認しても車 両と通信できない場 合	株式会社SUBARUス バルカスタマーセン タ ーサービス技術部 故障診断機担当までご 連絡ください。

パソコンと通信できない場合

確認項目	必要な処置
USB ケーブルの接続	USB ケーブルの接続を確 認してください。
USBドライバーソフト	ドライバーソフトを再イ
のインストール確認	ンストールしてください。
パソコン側の USB	パソコンのUSBポートを
ポートの確認	変更してください。
USB ケーブル断線等	新しいUSBケーブルを購
の不具合	入してください。
インターフェース	「インターフェースボックスの選択」項を参照し、
ボックスの確認	使用するインターフェースボックスを DST-i に設定してください。
上記を確認してもパ ソコンと通信できな い場合	株式会社 S U B A R U スバルカスタマーセンターサービス技術部 故障診断機担当までご 連絡ください。

エラー検出インジケータが点灯・点滅する 場合

確認項目	必要な処置
DST-i の再起動	データリンクケーブルお よび USB ケーブルを外 し、DST-i を再起動して ください。
電源再起動してもエラー検出インジケータ点灯・点滅する場合	株式会社 S U B A R U スバルカスタマーセ ンターサービス技術部 故障診断機担当までご 連絡ください。

ソフトウェアのバージョン情報 の表示方法

PC アプリおよび CF アプリのソフトウェアのバージョン情報を確認したい場合は、下記手順で行います。

PC アプリのバージョン情報

- 1. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 2. メニューの「ヘルプ」を選択後、「バージョン情報」を選択します。



SMJ-00808

3. 下記のように、バージョン情報が表示されます。



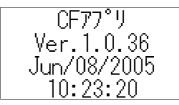
SMJ-00809

参考:

- ・バージョン情報を確認する場合は、PC を車両に 接続する必要はありません。PC 単体でもバー ジョン情報を表示させることができます。
- •「高機能版気筒モニター」の計測画面でバージョン情報を表示させた場合は、気筒モニターのバージョン情報が表示されます。
- 表示されたバージョン(現在インストールされているソフトウェアのバージョン)でサポートされた機能を確認したい場合は、後述の「改訂履歴」を参照してください。

CFアプリのバージョン情報

- 1. SDI の電源を ON にします。
- 2. スタンドアローン診断の「初期メニュー」が表示 される前に数秒間、下記のようなバージョン情報 が表示されます。



SMJ-00810

参考:

SDI 本体がドライビングレコーダーモードとして 作動している場合は、SDI の [MENU] キーと [C] キーを両方同時に長押し(2 秒以上)して、スタン ドアローンモードに移行させてください。

システムの起動手順

SSMIIIはPCアプリがインターフェースボックスを介して、車両の SSMIII に対応するコントロールモジュールと通信を行います。通信を正常に行うために、以下の手順に従って SSMIII を起動してください。

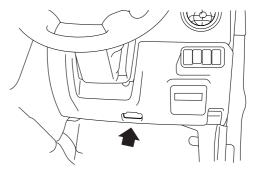
参考:

- インターフェースボックスへの電源はダイアグケーブルまたはデータリンクケーブルを介して、 車両のバッテリから供給されます。
- ・車両のバッテリが弱っている状態で SSMIII を使用すると、エンジンを始動したときに通信エラーが発生することがあります。この原因はスタータモータに大きな電流が流れるために電圧が低下して、インターフェースボックスが作動を停止するためです。このような場合には、以下の対応をしてください。
 - 1. エンジン始動後の故障診断を継続して行う場合には、エンジン始動後に SDI の [PWR] キーを押して電源を投入してから再度 SSMIII を操作してください。
 - 2. エンジン始動時の故障診断を行う場合には、車両のバッテリを十分に充電してから故障診断を行ってください。
- パソコンに複数の USB ポートがある場合、USB ドライバのインストールを行ったときにイン ターフェースボックスを接続したポートが、 SSMIII 専用のポートになります。SSMIII を使う ときには、必ずこの専用ポートに USB ケーブル を接続してお使いください。
- システムを立ち上げたときにバージョンアップ の要求画面が表示されることがあります。この場合には早めに最新バージョンのPCアプリをイン ストールしてください。
- SDI にダイアグケーブルを接続し、パソコンを操作しない状態が一定時間経過すると、自動的に SDI の電源が OFF になります。(SDI の PWR LED が消灯)
 - このような場合はSDIの[PWR]キーを押してSDIを再起動してください。
- 「その他」の機能はトラヴィックには対応していません。
- 1. インターフェースボックス、USB ケーブル、PC アプリがインストールされているパソコン、ダイ アグケーブルまたはデータリンクケーブルを用 意します。

2. ダイアグケーブルまたはデータリンクケーブル でインターフェースボックスを車両のデータリ ンクコネクタに接続します。

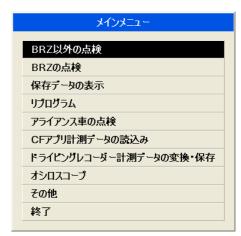
参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的にインターフェースボックスの電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッチをONまたはエンジンを始動してから、SDI の [PWR] キーを押して PWR LED が点灯することを確認します。



SMJ-00115

- 3. USB ケーブルで、インターフェースボックスを パソコンに接続します。
- 4. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 5. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。メインメ ニュー画面が表示されます。



SMJ-01257

参考:

接続するインターフェースにより、表示メニューが 異なります。

メインメニュー画面の表示項目

メインメニュー画面には以下の選択項目が表示されます。この中から目的の項目を選択して、故障診断作業または設定作業などを行います。

全ダイアグコードの点検

SSMIII に対応する全ての制御システムのコントロールモジュールの故障検出状況と、記憶されているダイアグコードが一括してパソコン画面上に表示されます。

個別システムの点検

SSMIII に対応する制御システムから、個別のシステムを選んで故障診断を行うことができます。この項目では、故障診断を行うシステムのコントロールモジュールへの入出力データ、記憶されているダイアグコードなどの様々な情報をパソコン画面で見ることができます。

さらに修理完了後のダイアグコードの消去作業や コントロールモジュールの機能設定作業なども、こ の項目で行います。

保存データの表示

故障診断作業中に計測したさまざまなデータを保存しておいて、作業完了後にそのデータを読み出してパソコン画面で見ることができます。

イモビライザ

イモビライザの登録作業を行います。

リプログラム

コントロールモジュールへのリプログラム作業を 行います。

CFアプリ計測データの読込み

CF カードに保存したスタンドアローン計測データをパソコンに読込みます。

参考:

この機能は、使用するインターフェースボックスが SDIである場合のみ、実施が可能です。

ドライビングレコーダー計測データの変換・保存

ドライビングレコーダーで計測したデータを CF カードからパソコンに取り込み、データの変換およ び保存を行ないます。

オシロスコープ

オプション設定のパルス/アナログカートリッジを SDI に取り付け後、パルス/アナログボックスおよびパルス/アナログプローブを SDI に接続して、アナログ計測を行ないます。

参考:

この機能は、使用するインターフェースボックスが SDIである場合のみ、実施が可能です。

その他

制御ユニットの点検結果やボディ統合ユニットの 設定状態を、一覧表にして印刷したり保存すること ができます。

お客様への車両の状態を説明するときに、この一覧表を利用すれば便利です。

システムの終了手順

1. メインメニュー画面で「終了」を選択してください。

[ファイル]メニューから[終了]を選択するか、ファンクションキーバーの配修了 ボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキー F12 を押してもシステムを終了することができます。



SMJ-00570

- 2. PC アプリが終了したことを確認して、車両のイグニッションスイッチを OFF にします。
- 3. 車両のデータリンクコネクタからダイアグケー ブルを外します。ダイアグケーブルを外すとイン ターフェースボックスの電源がOFFになります。

参考:

SDIの [MENU] キーと [DOWN] キーを両方同時に2 秒以上押すことによっても、SDI の電源を OFF に することができます。 4. パソコン、インターフェースボックスから USB ケーブルおよびダイアグケーブルまたはデータリンクケーブルを外します。

参考:

システムを終了するとき、PC アプリの以下の設定は記憶されます。次に PC アプリを起動したときにこれらの設定は自動的にセットアップされます。

- デジタルデータ画面およびグラフ画面の項目の表示順序
- ・表示セルの横幅設定
- ・データセレクト機能設定項目
- ・グラフ画面のレンジ設定
- グラフ画面のグラフ線色および線太さ
- 表示言語
- 表示単位設定
- ・表示フォント設定
- 印刷設定

無線 LAN 通信

通常、PC と SDI の通信方法(接続方法)は USB ケーブルによるものですが、無線 LAN カードを使用することにより、USB ケーブルを使用しない無線 LAN 通信が可能となります。

本書では、下記環境を使用した場合の無線 LAN 通信の設定方法を説明します。

参考:

この機能は、使用するインターフェースボックスが SDIである場合のみ、実施が可能です。

<使用環境>

PC: Panasonic TOUGHBOOK CF-18 または CF-19 OS: Windows Vista、Windows XP または Windows 2000

無線 LAN:外付けタイプ (PC カードスロット) または内蔵タイプ

注意事項

 無線 LAN を使用した場合、イモビライザの登録、 リプログラム、CF アプリのインストールおよび SDI ファームウェアのアップデートは実行できません。これらの機能を実行する場合は USB 接続で行なってください。(イラストは SDI ファームウェアのアップデート時の例)

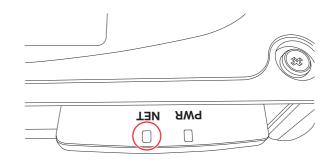


SMJ-00963

- SDI に無線 LAN カードを挿入する、または取り 出す際は、SDI の電源を OFF にして行なってく ださい。SDI の電源が ON の状態で挿入および取 り出しを行なうと、無線 LAN カードの内部が損 傷する恐れがあります。
- PC 用の無線 LAN カードは PC の電源が ON の状態でも、挿入したり、取り外したりすることが可能ですが、取り外す場合は「ハードウェアの取り外し」を実行してください。それを実行せずに取り外すと、無線 LAN カードや PC を損傷する恐れがあります。
- 無線 LAN 通信は無線による通信のため、PC と SDI の通信距離が長くなると通信状態が悪くな ります。通信状態は PC 用無線 LAN カードの

「NET」ランプまたはサンプリングステータスバーの「サンプリング数」で確認できます。通信状態が悪くなると「NET」ランプの点滅速度が遅くなったり、サンプリング数が連続して表示されなかったりします。このような状態になった場合はPCとSDIの距離を近づけて通信状態を良好にしてください。

なお、通信状態が悪化してサンプリング数が連続して表示されない場合でも、データは計測できるようにシステム構築していますが、通信状態が極端に悪化すると、通信エラーが発生する場合があります。(但し、通信が完全に切断された場合、データは表示できません。)

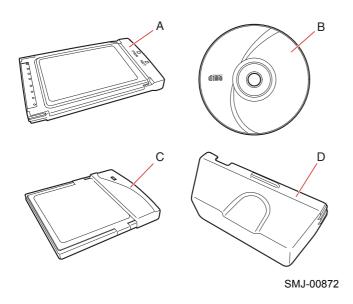


SMJ-00874



SMJ-00964

無線 LAN 通信に必要な部品



A: CF-18 用無線 LAN カード

B: CF-18 用無線 LAN カード付属 CD-ROM

C:SDI 用無線 LAN カード D:無線 LAN カードカバー

参考:

SDI 用無線 LAN カードに CD-ROM が付属していますが、これは使用しません。SDI にはドライバのインストールは必要ありません。

無線 LAN 接続手順の概要

Windows XP の場合

- 1. PC に無線 LAN カード用ドライバをインストールする。
- 2. PC 側に無線 LAN を設定する。
- 3. SDI 側に無線 LAN を設定する。
- 4. SDIの接続方法をUSBから無線LANに切替える。

Windows Vista の場合

- 1. PC 側に無線 LAN を設定する。
- 2. SDI 側に無線 LAN を設定する。
- 3. SDIの接続方法をUSBから無線LANに切替える。

Windows 2000 の場合

- I. PCに無線LANカード用ドライバおよび設定ユー ティリティをインストールする。
- 2. PC 側に無線 LAN を設定する。

- 3. SDI 側に無線 LAN を設定する。
- 4. SDIの接続方法をUSBから無線LANに切替える。

参考:

Windows Vista、Windows XP および Windows 2000 の設定の違いは、PC 側の無線 LAN の設定のみです。それ以外の設定は同じです。

このため、本書では Windows XP を基本にし、それと違う部分のみ Windows Vista および Windows 2000 を記載します。

PC 側の設定 (Windows XP の場合)

無線 LAN カード用ドライバのインストール

- 1. PC に CD-ROM ドライブを接続します。
- 2. PC 用無線 LAN カード付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM をセットすると、オートラン機能により画面が表示される場合がありますが、その場合は何もせずに[終了]をクリックして画面を閉じます。



SMJ-00873

3. PC 用無線 LAN カードを PC カードスロットの下側に挿入します。

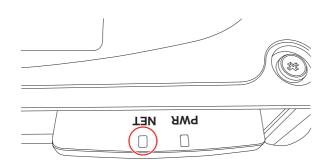
参考:

PC が CF-19 の場合、PC カードスロット下にある無線 LAN スイッチが ON になっているか確認してください。



SMJ-01255

無線 LAN カードはしっかり奥まで差し込んでください。正常に差し込まれると無線 LAN カードの「NET」ランプが点滅します。

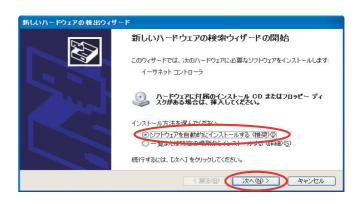


SMJ-00874

- CF-18にはPCカードスロットが上下2つありますが、下側に挿入してください。上側に挿入すると無線LANカードに無線LANカードカバーが干渉する場合があります。
- 4. 無線 LAN カードが挿入されると、自動的に「新 しいハードウェアの検出ウィザード」が表示され ます。

インストール方法は「ソフトウェアを自動的にイ

ンストールする(推奨)」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



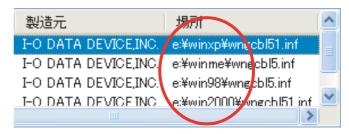
SMJ-00875

5. ドライバ一覧が表示されますので、横スクロール バーをクリックして、画面右側を表示させます。



SMJ-00876

6. 右にスクロールすると、「場所」欄に OS の種類が表示されますので、使用している PC の OS に合致するドライバを選択します。(ここでは、WinXP を選択します。)



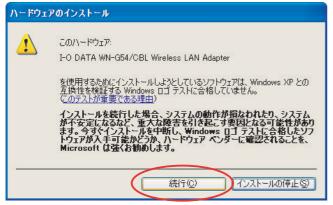
SMJ-00877

ドライバを選択後、[次へ]ボタンをクリックします。



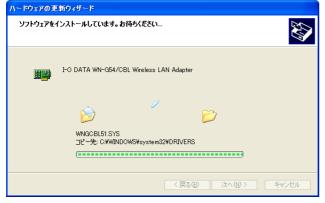
SMJ-00878

8. 下図のようなセキュリティ警告画面が表示される場合がありますが、その場合は「続行」をクリックして作業を進めます。



SMJ-00879

9. 自動的にドライバがインストールされます。



SMJ-00880

10. ドライバのインストールが完了すると、「ハードウェアの更新ウィザードの完了」と表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。



SMJ-00881

PC 側の無線 LAN の設定

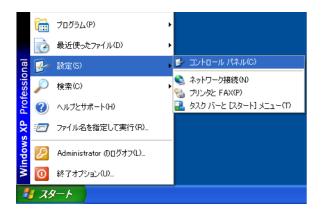
1. タスクバーの「スタート」をクリックして、「コントロールパネル」を選択します。



SMJ-00882

参考:

PC の表示設定によっては、「スタート」をクリックして、「設定」から「コントロールパネル」を選択します。



SMJ-00883

2. コントロールパネルが表示されますので、「ネットワーク接続」をダブルクリックします。



SMJ-00884

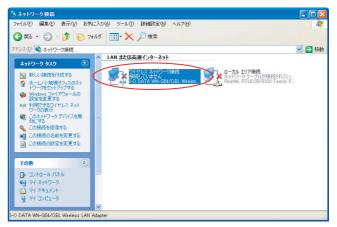
参考:

PC の表示設定によっては「ネットワークの接続」が無い場合があります。この場合は「クラシック表示に切替える」をクリックして、画面表示を切替えてください。



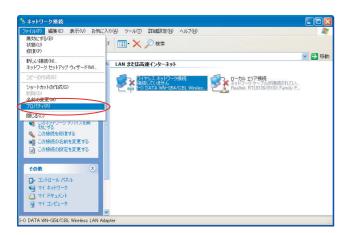
SMJ-00885

3.「ネットワーク接続」画面が表示されます。 「ワイヤレスネットワーク接続」を選択します。



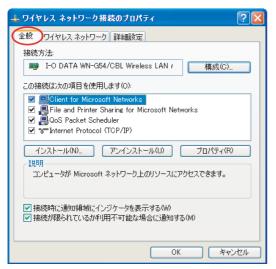
SMJ-00886

4. メニューの「ファイル」から「プロパティ」を選 択します。



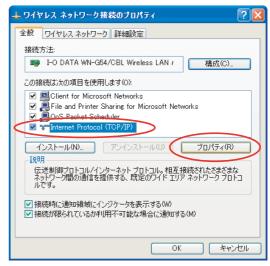
SMJ-00887

5.「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画 面が表示されますので、「全般」タブを選択しま す。



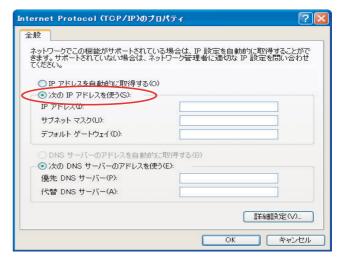
SMJ-00888

6.「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



SMJ-00889

7.「次のIPアドレスを使う」にチェックを付けます。



SMJ-00890

8.「IP アドレス」にはアドレスを入力します。入力 する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の 「SSMIII 無線 LAN 通信」を参照してください。



SMJ-00891

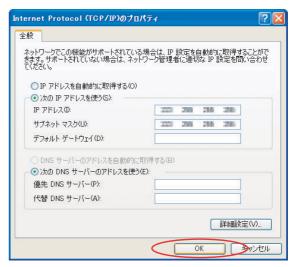
9.「サブネットマスク」には数字を入力します。入 力する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の 「SSMIII 無線 LAN 通信」を参照してください。

ž	
ットワークでこの機能がサポートされて(ます。サポートされていない場合は、ネ ヂギィ、	、Va場合は、IP 設定を自動的に取得することがで ットワーク管理者に適切な IP 設定を聞い合わせ
、たこい。 ○ IP アドレスを自動的に取得する(C	
○ 次の IP アドレスを使う(S):	n e e e e e e e e e e e e e e e e e e e
IP アドレスの:	2221 259 258 259
サブネット マスク(U):	223 288 288 288
デフォルト ゲートウェイ(D):	
○ DNS サーバーのアドレスを自動的	に取得する(B)
○ 次の DNS サーバーのアドレスを使	₹5(E):
優先 DNS サーバー(P):	
代替 DNS サーバー(A):	
	詳細設定(V)

SMJ-00892

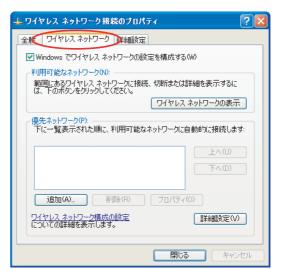
- *10.*デフォルトゲートウェイは何も入力せず、空白のままとします。
- 11.優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーは何も 入力せず、空白のままとします。

12.入力した設定内容を確認後、[OK] ボタンをクリックし画面を閉じます。



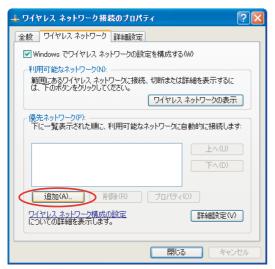
SMJ-00893

13.「ワイヤレスネットワーク」タブを選択します。



SMJ-00894

14.「追加」ボタンをクリックします。



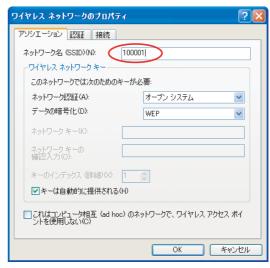
SMJ-00895

15.「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面が 表示されますので、「アソシエーション」タブを 選択します。

このネットワークでは次のためのキーが必要: ネットワーク認証(A): オープン システム	
÷Lm. hemer/a\. →	
イットソーク記記IENAX オーノフ・ンステム	~
データの暗号化(D): WEP	~
ネットワーク キー(K):	
ネットワークキーの 確認入力(O):	
キーのインデックス (詳細)◇◊: 1 🔹	
マキーは自動的に提供される(H)	

SMJ-00896

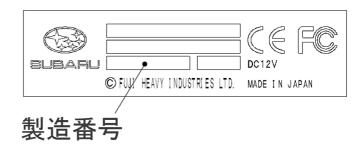
16.「ネットワーク名 (SSID)」には、通信させる SDI の製造番号を入力します。(ここでは例として「100001」を入力します。)



SMJ-00897

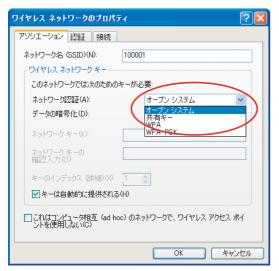
参考:

SDI の製造番号は SDI 側面のシールに記載されています。



SMJ-00898

17.「ネットワーク認証」は「オープンシステム」を選択します。



SMJ-00899

18.「データの暗号化」は「WEP」を選択します。

ワイヤレス ネットワークのプロパティ		
アソシエーション 認証 接続		
ネットワーク名 (SSID)(N): 100001		
つイヤレス ネットワークキー		
このネットワークでは次のためのキーが必要:		
ネットワーク認証(A): オープン システム 💌		
データの暗号化(D): WEP		
ネットワーク キー(K): 無効 WEP		
ネットワーク キーの 確認又人力(O):		
キーのインデックス (単細) (※): 1 🗘		
▼キーは自動的(c提供される(H)		
□ これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセス ポイントを使用しない(C)		
OK キャンセル		

SMJ-00900

19.「キーは自動的に供給される」のチェックを外します。

ゴ. hの蚊=/L/n).	ソシエーション 認証 接続	
このネットワークでは次のためのキーが必要: ネットワーク認証(A): オープン システム データの暗号(L(D): WEP ネットワーク キー(K): ネットワーク キーの 確認ス人力(O): キーのインデック7(音学和)(C): 1	ネットワーク名 (SSID)(N):	100001
ネットワーク認証(A): オーブン システム データの暗号(L(D): WEP ネットワーク キー(K): ネットワーク キーの 確認入力(O): ************************************	-ワイヤレス ネットワーク キー	
データの暗号化(D): WEP ネットワークキー(K): ネットワークキーの 確認入力(O):	このネットワークでは次のための)キーが必要:
ネットワークキー(K): ネットワークキーの 確認入力(O):	ネットワーク認証(A):	オープン システム
ネットワークキーの 確認スプリの:	データの暗号化(D):	WEP
キーハインデックス 信羊細(X)・1	ネットワーク キー(K):	
キーのインデックス (詳細) ◇ 1 (**)	ネットワーク キーの 確認入力(O):	
	キーのインデックス (詳細)⇔:	1 ^
□キーは自動的に提供される(H)	□ キーは自動的に提供される	\$(H)
□ これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセス ポ ントを使用しない(C)	□これはコンピュータ相互(ad h ントを使用しない(C)	oc) のネットワークで、ワイヤレス アクセス ポイ

SMJ-00901

20.「ネットワークキー」には暗号キー(英数字)を 入力します。入力する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の「SSMIII 無線 LAN 通信」を参照 してください。

ワイヤレス ネットワークのナロバティ アメ		
アソシエーション 認証 接続		
ネットワーク名 (SSID)(N): 100001		
ワイヤレス ネットワークキー		
このネットワークでは次のためのキーが必要・		
ネットワーク記記証(A): オープン システム 💌		
データの暗号化(D): WEP		
ネットワーク キー(K): ************************************		
ネットワーク キーの 確認入力(O):		
キーのインデックス (詳細)(<>): 1 💲		
□キーは自動的に提供される(H)		
□ これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセス ポイントを使用しない(c)		
OK キャンセル		

SMJ-00902

参考:

ネットワークキーを入力の際は小文字で入力してください。"CapsLock"(キャップスロック)状態(大文字)で入力すると警告画面が表示されます。



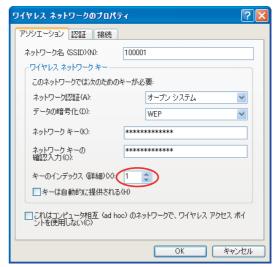
SMJ-00903

21.「ネットワークキーの確認入力」には「ネットワークキー」と同じ文字を入力します。

ワイヤレス ネットワークのプロパティ ? 🛛		
アソシエーション 認証 接続	_	
ネットワーク名 (SSID)(N): 100001		
「ワイヤレス ネットワークキー		
このネットワークでは次のためのキーが必要:		
ネットワーク記記証(A): オーブン システム	ı	
データの暗号(L(D): WEP	ı	
ネットワーク キー(K): ************************************		
ネットワークキーの 確認2入力(の):		
キーのインデックス (詳細) ※: 1 💠		
□ キー(は自動的)に提供される(H)		
□ これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセス ポイントを使用しない(C)		
OK キャンセル		

SMJ-00904

22.「キーのインデックス (詳細)」は「1」を設定します。



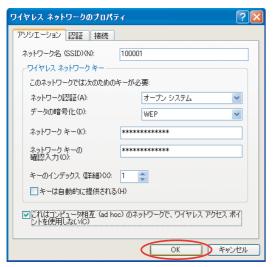
SMJ-00905

23.「これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない」にチェックを入れます。

アソシエーション 認証 接続	<u> </u>
ネットワーク名 (SSID)(N):	100001
_C ワイヤレス ネットワークキー	
このネットワークでは、欠のための	のキーが必要:
ネットワーク認証(A):	オーブン システム
データの暗号化(D):	WEP
ネットワーク キー(K): ************************************	
ネットワーク キーの 確認入力(O):	
キーのインデックス (『羊絲() ○ (): 1 💠	
□ キーは自動的に提供される(H)	
図これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワーケで、ワイヤレス アクセス ボイントを使用しない(C)	
	OK キャンセル

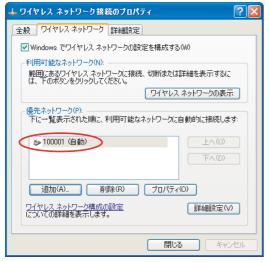
SMJ-00906

24.設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックして 画面を閉じます。



SMJ-00907

25.「優先ネットワーク」欄に先の手順で入力した「ネットワーク名 (SSID)」と同じ番号のプロファイルが生成されていることを確認し、[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じます。



SMJ-00908

26.これで PC 側の無線 LAN の設定は完了です。

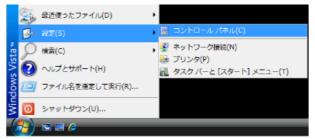
PC 側の設定(Windows Vista の場合)

PC 側の無線 LAN の設定



SMJ-01144

参考:



SMJ-01145

2. コントロールパネルが表示されますので、「ネットワークと共有センター」をダブルクリックします。



SMJ-01146

参考:

PC の表示設定によっては「ネットワークと共有センター」が無い場合があります。この場合は「クラシック表示」をクリックして、画面表示を切替えてください。



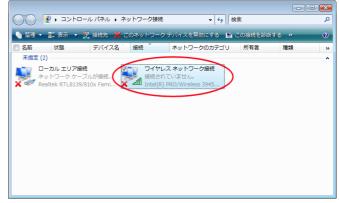
SMJ-01147

3.「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。「ネットワーク接続の管理」を選択します。



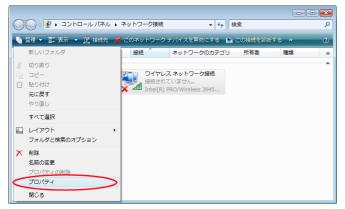
SMJ-01148

4. 「ネットワーク接続」画面が表示されます。「ワイヤレスネットワーク接続」を選択します。



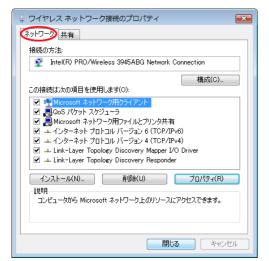
SMJ-01149

5. メニューの「整理」から「プロパティ」を選択します。



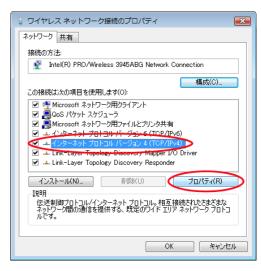
SMJ-01150

6.「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されますので、「ネットワーク」タブを選択します。



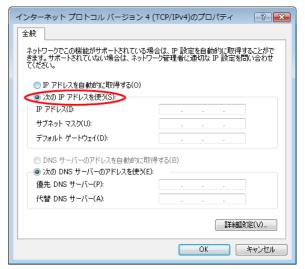
SMJ-01151

7.「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/ Ipv4)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



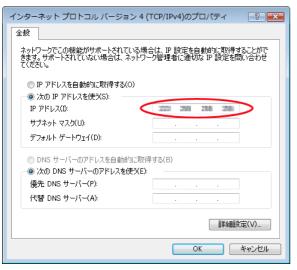
SMJ-01152

8.「次のIPアドレスを使う」にチェックを付けます。



SMJ-01153

9. 「IP アドレス」にはアドレスを入力します。入力 する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の 「SSM Ⅲ 無線 LAN 通信」を参照してください。



SMJ-01154

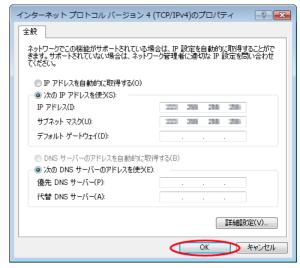
10.「サブネットマスク」には数字を入力します。入 力する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の 「SSM Ⅲ 無線 LAN 通信」を参照してください。

ンターネット プロトコル バージョン	4 (TCP/IPv4)のプロパティ
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている きます。サポートされていない場合は、ネッ てください。	5場合は、IP 設定を自動的に取得することがで トワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ
◎ IP アドレスを自動的に取得する(0)	
● 次の IP アドレスを使う(S):	
IP アドレス(I):	222 286 286 286
サブネット マスク(U):	222 200 200 200
デフォルト ゲートウェイ(D):	
DNS サーバーのアドレスを自動的に	取得する(B)
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う	(E):
優先 DNS サーバー(P):	
代替 DNS サーバー(A):	
	[詳細設定(V)
	OK キャンセル

SMJ-01155

- 11.デフォルトゲートウェイは何も入力せず、空白のままとします。
- 12.優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーは何も 入力せず、空白のままとします。

13.入力した設定内容を確認後、[OK] ボタンをクリックし画面を閉じます。



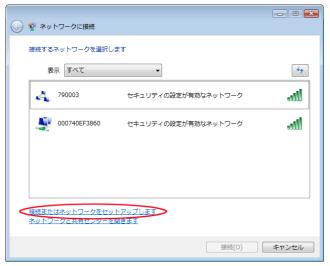
SMJ-01156

14.「ネットワークと共有センター」画面の「ネットワーク接続」を選択します。



SMJ-01157

15.「ネットワーク接続」画面が表示されますので、 「接続またはネットワークをセットアップしま す」をクリックします。



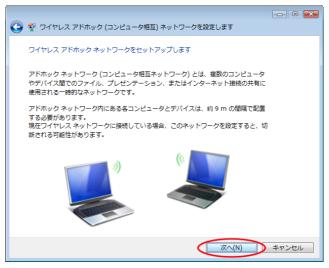
SMJ-01158

16.「ワイヤレスアドホック (コンピュータ相互) ネットワークを設定します」を選択して、[次へ] をクリックします。



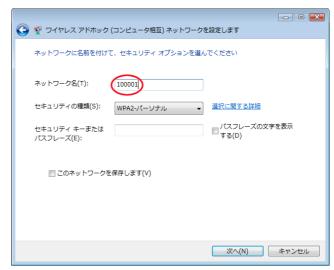
SMJ-01159

17.下記画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。



SMJ-01160

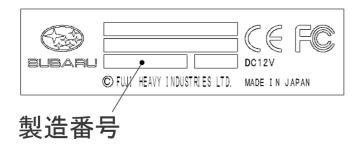
18.「ネットワーク名 (T)」には、通信させる SDI の製造番号を入力します。(ここでは例として「100001」を入力します。)



SMJ-01161

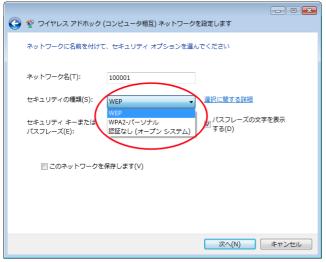
参考:

SDI の製造番号は SDI 側面のシールに記載されています。



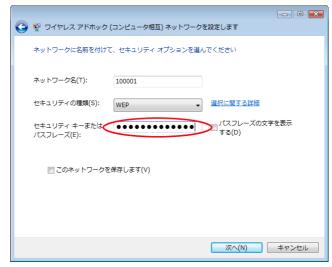
SMJ-00898

19.「セキュリティの種類(S)」は「WEP」を選択します。



SMJ-01162

20.「セキュリティキーまたはパスフレーズ(E)」には暗号キー(英数字)を入力します。入力する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の「SSMIII無線 LAN 通信」の"WEP キー"を参照してください。



SMJ-01163

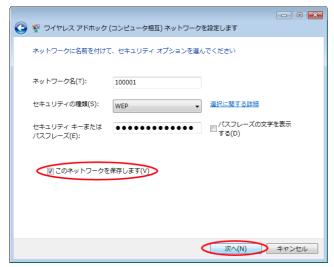
参考:

ネットワークキーを入力の際は小文字で入力してください。"CapsLock" (キャップスロック) 状態 (大文字) で入力すると警告画面が表示されます。



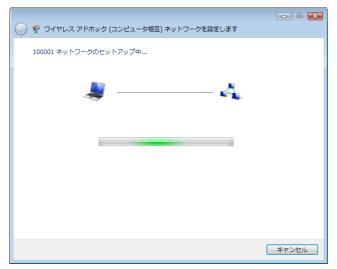
SMJ-01164

21.「このネットワークを保存します (Y)」にチェックを付けて、[次へ] ボタンをクリックします。



SMJ-01165

22.下記画面が表示されますので、そのままお待ちください。



SMJ-01166

23.設定準備が正常に終了すると下記画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックして、PC 側の無線 LAN の設定を終了します。



SMJ-01167

PC 側の設定 (Windows 2000 の場合)

無線 LAN カード用ドライバおよび設定 ユーティリティのインストール

- *1.* PC 用無線 LAN カード付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
- 2. CD-ROM をセットすると、オートラン機能により画面が表示されます。 「無線 LAN セットアップ」をクリックします。



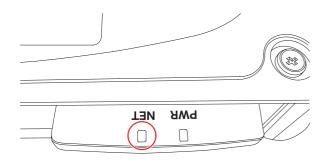
SMJ-00909

3. 設定ユーティリティおよびドライバが自動的に インストールされます。

次手順の画面が表示されるまでは、画面の指示に 従ってインストールを行なってください。

参考:

- 次手順までの詳細は無線 LAN カードに同梱されている「クイックユーザーガイド」を参照してください。
- 無線 LAN カードを PC に挿入する際、PC カードスロットは上下 2 つありますが、下側に挿入してください。上側に挿入すると無線 LAN カードに無線 LAN カードカバーが干渉する場合があります。
- 無線 LAN カードを PC に挿入する際は、しっかり奥まで差し込んでください。正常に差し込まれると無線 LAN カードの「NET」ランプが点滅します。



SMJ-00874

4. 「最終確認」画面が表示されたら、[OK] ボタンを クリックします。クリックすると PC が自動的に 再起動します。



SMJ-00910

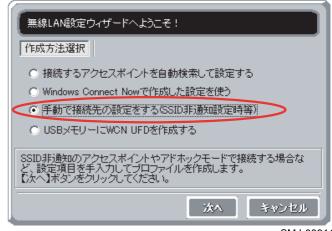
PC 側の無線 LAN の設定

注意:

ここからの設定は無線 LAN カードに同梱されている「クイックユーザーガイド」とは設定内容が異なります。

1. PC が再起動すると、自動的に「無線 LAN 設定 ウィザード」画面が表示されます。

「手動で接続先の設定をする (SSID 非通知設定時等)」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-00911

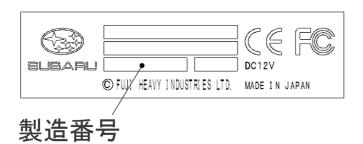
2.「接続先の設定」画面が表示されます。 「SSID」には、通信させる SDI の製造番号を入力 します。(ここでは例として「100001」を入力し ます。)



SMJ-00912

参考:

SDI の製造番号は SDI 側面のシールに記載されています。



SMJ-00898

3. 「モード パソコン間通信(アドホック)」は
 □ ¼ ¼ □ を選択(クリック)します。



SMJ-00914

4. 「通信規格」は「IEEE801.11b」を選択します。



SMJ-00915

5.「チャンネル」は「7ch」を選択します。



SMJ-00916

6. 設定内容を確認して、[次へ] ボタンをクリック します。



SMJ-00917

7. 「暗号化設定」画面が表示されます。 「暗号化方法」は「WEP128bit」を選択します。



SMJ-00918

8.「デフォルトキー」は「1」を選択します。



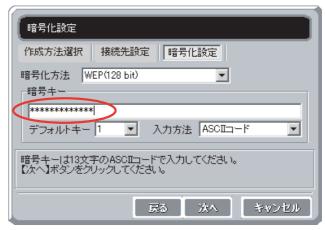
SMJ-00919

9.「入力方法」は「ASC Ⅱコード」を選択します。



SMJ-00920

10.「暗号キー」にはキー(英数字)を入力します。 入力する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱 の「SSMIII 無線 LAN 通信」を参照してください。



SMJ-00921

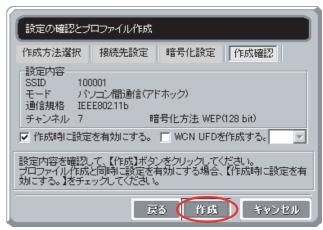
参考:

ネットワークキーを入力の際は小文字で入力してください。"CapsLock"(キャップスロック)状態(大文字)か否かは言語ツールバーで確認できます。



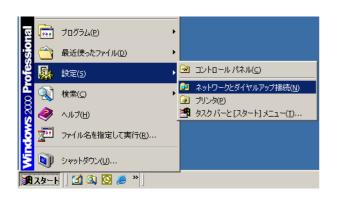
SMJ-00922

11.設定の確認画面が表示されますので、設定内容 を確認して、「作成」ボタンをクリックします。



SMJ-00923

12.タスクバーの「スタート」をクリックして、「設定」から「ネットワークとダイヤルアップ接続」 を選択します。



SMJ-00924

13.「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されますので、「Wireless LAN Adapter」をダブルクリックします。



SMJ-00925

参考:

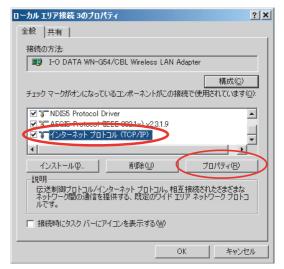
「ローカルエリア接続」アイコンが複数ある場合は、マウスポインタ (矢印)をアイコンの上に重ねると、上図のようにツールチップにデバイス名が表示されます。

14.「ローカルエリア接続状態」画面が表示されます ので、「プロパティ」をクリックします。



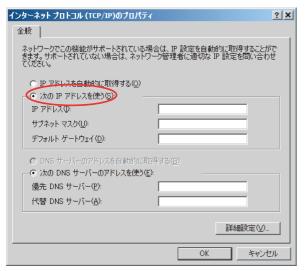
SMJ-00926

15.「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックします。



SMJ-00927

16.「次の IP アドレスを使う」にチェックを付けます。



SMJ-00928

17.「IP アドレス」にはアドレスを入力します。入力 する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の 「SSMIII 無線 LAN 通信」を参照してください。

インターネット ブロトコル (TCP/IP)のブロパティ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、P 設定を自動的に取得することができます。 サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な P 設定を問い合わせてください。
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)○ 次の IP アドレスを使う(S):
IP 7 ドレス Φ: 200 EM EM 200
サブネット マスク(山):
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):
© DNS サーバーのアドレスを自動的に再収得する(g) _ ○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):
詳細設定(火)
OK キャンセル

SMJ-00929

18.「サブネットマスク」には数字を入力します。入 力する文字は、SDI 用無線 LAN カードに同梱の 「SSMIII 無線 LAN 通信」を参照してください。

「ンターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)
─ 次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス Ø: 220 200 200 200 200 200 200 200 200 20
サブネット マスク(<u>U</u>): 200 mm mm 200
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):
C DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):
詳細設定⟨少
OK キャンセル

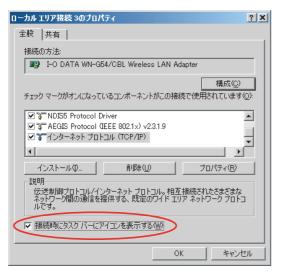
SMJ-00930

- *19.*デフォルトゲートウェイは何も入力せず、空白のままとします。
- 20.優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーは何も 入力せず、空白のままとします。
- 21.入力した設定内容を確認後、[OK] ボタンをクリックし画面を閉じます。

ンターネット ブロトコル (TCP/IP)のブロバティ	?)
全般	
ネットワークでこの機能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー てください。	なは、IP 設定を自動的に取得することがで ク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(②)	
—⑥ 次の IP アドレスを使う⑤: ——	
IP アドレスΦ:	229 255 255
サブネット マスク(<u>U</u>):	220 398 398 298
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	
C DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	· する(B)
_ ○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):	
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	
	詳細設定(⊻)
	OK
	OK 44000

SMJ-00931

22.「接続時にタスクバーにアイコンを表示する」に チェックを付けて、[OK] ボタンをクリックしま す。



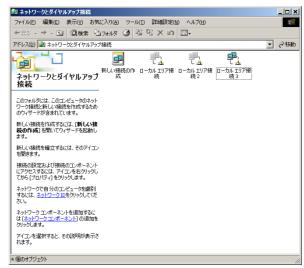
SMJ-00932

23.[閉じる]ボタンをクリックします。



SMJ-00933

24. さらに、下記画面を閉じます。 これで PC 側の設定は終了です。



SMJ-00934

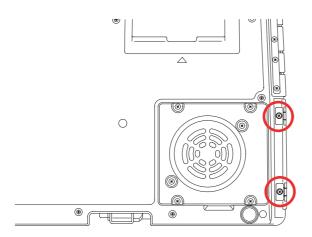
無線 LAN カードカバー

取り付け要領

注意:

無線 LAN カードカバーは簡易的であり、この保護カバーではPCに元々使用されている端子カバーと同等の防塵・防水性能は保証できません。

1. PC 底面の PC カードスロットの端子カバー取り 付けネジ 2 本を取り外します。

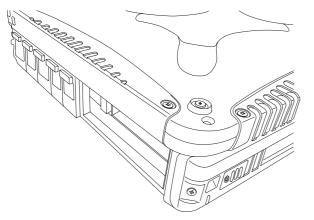


SMJ-00935

2. PCカードスロットの端子カバーを取り外します。

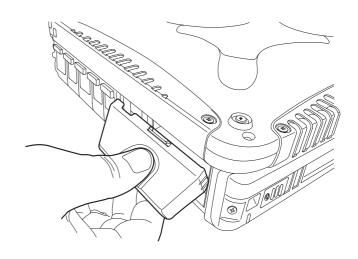
参考:

取り外したネジと端子カバーは無線 LAN カードカバーの取り付けに使用しません。紛失しないよう保管には十分気をつけてください。



SMJ-00936

3. 下図のように無線LANカードカバーの下側とPC カードスロットの下側(PC 底側)の溝を合わせ ます。

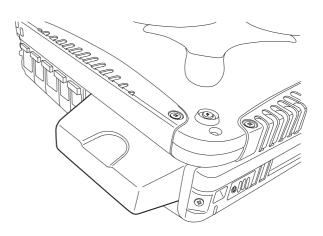


SMJ-00937

参考:

無線 LAN カードカバーの下側 2 箇所に固定用の突起がありますので、それを PC カードスロットの下側に合わせます。

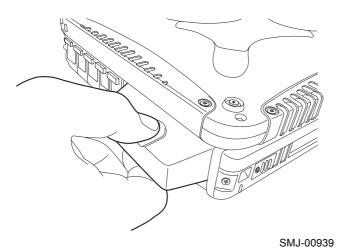
4. 無線LANカードカバーの上側をPCカードスロットの上側に合わせて、カバーを押し込みます。



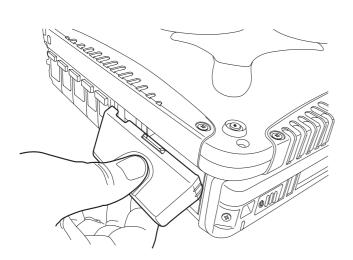
SMJ-00938

取り外し要領

1. 下図のように無線 LAN カードカバーの上面を指で押します。



2. カバー上部を押しながら、上側から取り外しま



SMJ-00937

参考:

す。

無線 LAN カードカバーは必ず上側から取り外してください。カバーの下側には固定用の突起が 2 箇所あり、下側から外すと突起が磨耗し、カバーがしっかり固定できなくなる恐れがあります。

SDI 側の無線 LAN の設定

1. SDIのCFカードスロットにSDI用無線LANカードを挿入します。

参考:

無線 LAN カードは、SDI の下側 (CF2) の CF カードスロットに挿入してください。

- 2. SDI と PC を USB ケーブルで接続します。
- 3. SDI の電源を ON にします。
- 4. SSMIII (PC アプリ) を起動します。
- 5. メインメニュー画面でファンクションキーバー の 回SD接続 をクリックするか、PC のファンクションキー F11 を押します。



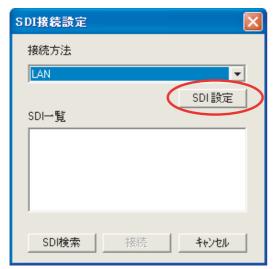
SMJ-00941

6.「SDI接続設定」画面が表示されますので、「接続方法」を「LAN」に設定します。



SMJ-00942

7.「SDI 設定」ボタンをクリックします。



SMJ-00943

8. SDI の設定」画面が表示されますので、製造番号を入力します。(ここでは例として「100001」を入力します。)

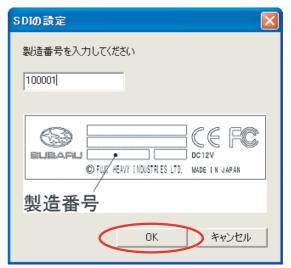


SMJ-00944

参考:

ここで入力する番号は「PC側の無線LANの設定」の「ネットワーク名(SSID)」で入力した番号と同じになります。もし違う場合は同じ番号としてください。違う番号の場合、SDIとPCの通信が確立されません。

9. 入力した番号を確認し、[OK] ボタンをクリック します。



SMJ-00945

10.設定完了画面が表示されますので、[OK] ボタン をクリックします。



SMJ-00946

11.SDI を再起動します。

無線 LAN 接続に切り替え

1. PC と SDI の通信が確立されるまで、そのまま待ちます。

通信が確立されると、タスクトレイのワイヤレスネットワークアイコンが非作動から作動に変化します(作動状態になるとアイコンの×印が無くなります)。



SMJ-00947

参考:

OS が Windows XP SP1、または Windows 2000 の場合、ネットワークアイコンが上記アイコンと異なります。 ただし、作動状態になると上記と同様にアイコンの×印が無くなります。



SMJ-00948



SMJ-00949

通信が確立されたら、SSMIII (PC アプリ) を起動します。

3. メインメニュー画面でファンクションキーバー の ELISD接続 をクリックするか、PC のファンクションキー F11 を押します。



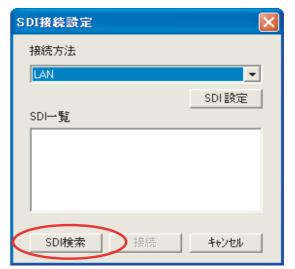
SMJ-00941

4. SDI の設定画面が表示されますので、「接続方法」を「LAN」に設定します。



SMJ-00942

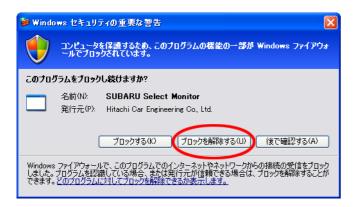
5. [SDI 検索] ボタンをクリックします。



SMJ-00950

参考:

Windows のセキュリティ設定によっては、下記画面が表示されることがあります。その場合は、[ブロックを解除する] をクリックしてください。



SMJ-01098

6. 「SDI 一覧」に接続可能な SDI が表示されますので、接続したい SDI にチェックを付けて [接続] ボタンをクリックします。



SMJ-00951

参考:

Windows ファイアウォールが動作している場合、接続可能な SDI が表示されないことがあります。その場合は、Windows ファイアウォールを無効にし、再度 [SDI 検索] を実施してください。

7. SDI 接続設定変更メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00952

8. PC アプリが自動的に終了しますので、再度 PC アプリを起動します。

参考:

- この時点から PC と SDI の接続方法が無線 LAN になります。
- 現在の PC と SDI の接続方法は画面左上のタイトルバー部に表示されます。



SMJ-00953

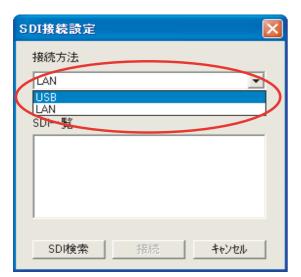
USB 接続に切り替え

- 1. SSMIII (PC アプリ)を起動します。
- 2. メインメニュー画面でファンクションキーバー の FIISD接続 をクリックするか、PC のファン クションキー F11 を押します。



SMJ-00941

3.「SDI接続設定」画面が表示されますので、「接続 方法」を「USB」に設定します。



SMJ-00954

4. [接続] ボタンをクリックします。



SMJ-00955

5. SDI 接続設定変更メッセージが表示されますの で、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00952

6. PC アプリが自動的に終了しますので、再度 PC アプリを起動します。

参考:

この時点からSDIの接続設定が「USB」になります。

7. タスクトレイの「ハードウェアの取り外し」アイ コン 🦠 をダブルクリックします



SMJ-00957

8.「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示さ れます。

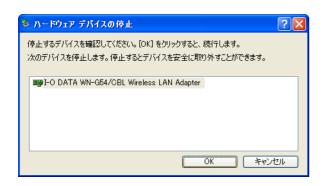
「Wireless LAN Adapter」を選択して、[停止] ボ タンをクリックします。



SMJ-00958

9.「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示され ます。

10.「Wireless LAN Adapter」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00959

11.PC の画面に「・・・は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、無線 LAN カードを 取り外します。



SMJ-00960

参考:

Windows 2000の場合は、下記画面が表示されます。



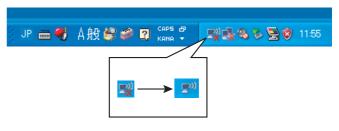
SMJ-00961

既に無線 LAN 設定が完了した機材を使用するとき

- *I.* SDI に無線 LAN カードを挿入した後、SDI の電源を ON にします。
- 2. PC に無線 LAN カードを挿入します。
- 3. PC と SDI の通信が確立されるまで、そのまま待ちます。

通信が確立されると、タスクトレイのワイヤレスネットワークアイコンが非作動から作動に変化

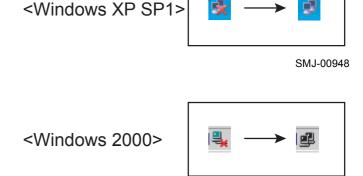
します(作動状態になるとアイコンの×印が無くなります)。



SMJ-00947

参考:

OS が Windows XP SP1、または Windows 2000 の場合、ネットワークアイコンが上記アイコンと異なります。 ただし、作動状態になると上記と同様にアイコンの×印が無くなります。



SMJ-00949

- 4. 通信が確立されたら、SSMIII (PC アプリ)を起動します。
- 5. この後は、希望の機能を選択して実行します。

参考:

一度、無線 LAN の設定が完了している場合は、ファンクションキーバーの 回SD接続 をクリックして、接続の設定または変更は必要ありません。

無線 LAN 関連用語一覧

用語	意味
ASCII	American Standard Code for Information Interchange の略称。コンピュータに認識させるために文字や記号一つ一つに割り当てられた固有の数字の体系として一般的なもの。
DNS サーバー	「DNS」とは Domain Name System の略称。インターネット上でのコンピュータの名前にあたるドメイン名を IP アドレスに変換するシステム。
IEEE	Institute of Electrical and Electronic Engineers の略称。米国電気電子学会のことで、電子部品や通信方式などの規格制定などを行なっている。
IP アドレス	「IP」とは Internet Protocol の略称。ネットワークや接続されたパソコンや通信機器に割り振られる識別番号。ネットワーク上にあるパソコンの住所にあたるもの。
LAN	Local Area Network の略称。コンピュータやプリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワーク。
OS	Operating System の略称。キーボード入力や画面出力といった入出力機能などパソコンのハードウエアと様々な要求に合わせたアプリケーションソフトとの橋渡しを行い、全体を管理するソフトウェア。
PC カード	統一規格化されたノート型パソコンの拡張カード。
SSID	Service Set Identifier の略称。これはネットワーク上のグループ名のようなもので、端末間で同じ SSID が登録されていないと通信できない。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略称。インターネット等で標準的に使われるプロトコルである。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略称。無線 LAN 通信におけるデータの暗号化技術のこと。コンピュータ間で無線 LAN 通信をする際に、お互いに共通の暗号キー(パスワードのようなもの)を設定し、暗号キーが一致しないとデータを解読できないようにする。
オートラン	CD を CD-ROM ドライブにセットすると自動的にプログラムが起動する機能。
ゲートウェイ	コンピュータ・ネットワークにおいて、異なる媒体やプロトコルを使用する他のネットワークと 接続するために使われるコンピュータまたはソフトウェアのこと。
サブネットマス ク	IP アドレスの中で、インターネットのような巨大ネットワークと、その下にあるパソコンなどを接続している小さなネットワークを識別するために定義している値。
ドライバ	OS が周辺機器を制御する中で製品毎に異なる仕様や制御方法を補い、OS と周辺機器との橋渡しを行なうソフトウェア。
ネットワークキー	無線 LAN で使用する暗号キーのこと。 ※ Windows Vista では"セキュリティキー"または"パスフレーズ"と表記しています。
プロトコル	コンピュータ同士がネットワークを介して通信を行なうために決められた、通信に関する約束ご と。
無線 LAN カー ド	無線通信でデータの送受信をする LAN 通信を行なうためにパソコンに挿入して使用する通信拡張カード。
ワイヤレスアク セスポイント	無線 LAN 通信において端末を接続するために電波を中継する機器。

通信メッセージについて

SSMIII は、PC アプリがインターフェースボックスを介して、SSMIII に対応する車両のコントロールモジュールと通信を行います。

PC アプリが通信中のときに、通信状態ウィンドウが画面に表示されます。これらの通信状態ウィンドウは以下のような意味を表します。

通信初期化

PC アプリが SSMIII に対応するコントロールモジュールと通信を開始したときに表示されます。通信を中止するには、 ボタンをクリックします。



SMJ-00120

通信エラー

何らかの原因により、PC アプリとコントロールモジュール間の通信ができなくなったときに、エラーコードとエラーメッセージが表示されます。エラーコードの内容とその対処方法は通信エラーコード一覧表を参照ください。



SMJ-00121

参考:

何らかの原因でエラーは発生しているが、エラーメッセージが表示されなかった場合は、PC アプリおよび SDI を再起動してください。SDI を再起動するときは、車両データリンクコネクタからダイアグケーブルを抜くか、または SDI の [MENU] キーと [DOWN] キーを両方同時に長押し(2 秒以上)して、SDI の PWR LED が消灯したことを確認した後、再度 SDI の電源を ON にしてください。

全ダイアグコードの点検

SSMIII に対応する全ての制御システムのコントロールモジュールの故障検出状況と、記憶されているダイアグコードをパソコン画面上に表示させることができます。

車両に故障が発生しているが、故障を起こしている 制御システムを特定できないときにこの点検を行 い、表示されたダイアグコードにより故障診断作業 を行います。

注意:

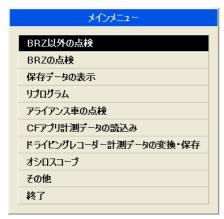
- クルーズコントロールシステムを装備している 車両の場合、点検を行なう前にクルーズコント ロールメインスイッチを ON にしてください。
- オートライト/オートワイパシステムを装備している車両の場合、点検を行なう前にライティングスイッチを(AUTO)以外の位置にしてください。

参考:

- 車種、仕様によりこの点検モードが機能しない場合があります。
- •「全ダイアグコードの点検」で表示されるものは、システムによって異なります。各システムの「ダイアグコードの点検」で"現在故障"や"過去故障"などに分かれているシステムでは"現在故障"のみが表示されますが、それ以外のシステムでは"現在故障"と"過去故障"を区別しておらず、必ずしも現在の状況を表示していない場合があります。

準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「全ダイアグコードの点検」を 選択してください。



SMJ-01258

SSMIII が制御システムと通信を開始すると、下の画面が表示されます。

点検を中止するときは、 ボタンをクリックします。



SMJ-00120

診断結果の表示

全ての制御システムのコントロールモジュールの 故障検出状況と、故障内容を表すダイアグコードが 画面に表示されます。



SMJ-00724

- •「ダイアグコード無し」は故障が検出されていないことを示します。
- •「通信不能!」は点検を行っている車両に、適応 する制御システムが装備されていないか、または 何らかの原因により通信ができないときに表示 されます。

個別システムの点検

SSMIII に対応する制御システムから、個別のシステムを選んで、コントロールモジュールへの入出力データ、記憶されているダイアグコードなどの情報をパソコン画面で見ることができます。

コントロールモジュールに記憶されているダイア グコードの消去、アクチュエータの強制駆動点検、 コントロールモジュールの機能設定などもこの画 面で行います。

注意:

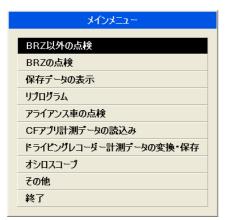
- クルーズコントロールシステムまたはオートエアコンシステムでは、点検を行なう前にシステムのメインスイッチを ON にしてください。
- オートライト/オートワイパシステムでは、点検 を行なう前にライティングスイッチを(AUTO) 以外の位置にしてください。

参考:

故障診断を行う車種、仕様により、一部の機能が実 行できない場合があります。

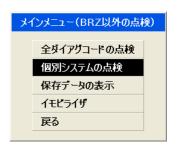
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



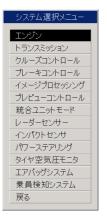
SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



SMJ-00129

5. PC アプリが選択されたシステムのコントロール モジュールと通信を始めると、診断対象システム の適合確認ダイアログボックスが表示されます。 [OK] ボタンをクリックしてください。

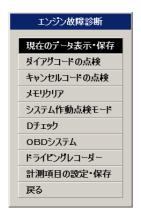
参考:

表示される適合確認ダイアログボックスは、車種、 仕様によって異なります



SMJ-00130

故障診断項目の選択画面が表示されます。



SMJ-00573

参考:

- 表示される診断項目の内容は、車種、仕様、制御システムによって異なります。
- ・故障診断を行う車両、仕様により、一部の点検調整項目を実行できない場合があります。

現在のデータ表示・保存

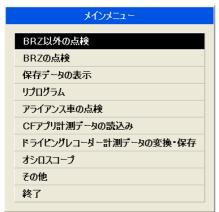
SSMIII に対応する制御システムのコントロールモジュールの入出力データや制御データを計測することができます。

これらのデータをデジタルデータ表示画面だけでなく、グラフ表示画面に切り換えて見ることができます。

さらに計測したデータに名前を付けて、パソコン内部の任意のフォルダに保存することも可能です。

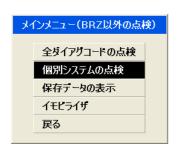
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



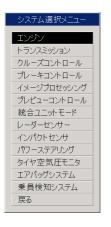
SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



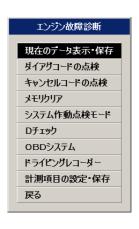
SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



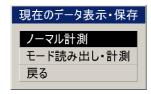
SMJ-00130

6. 故障診断項目から「現在のデータ表示・保存」を 選択してください。



SMJ-00573

7. 下記ダイアログボックスが表示されます。「ノーマル計測」を選択してください。



SMJ-00534

8. デジタルデータ画面が表示されて、自動的に計測が開始されます。

明慶辰 田昌 ありメ トーキ								
			<u> </u>					
			サンクツンケ歌 16	サンクリンク市	ウ開始から 8.38 秒			
項目	値	単位	最大	最小	平均			
■ エンジン水温	64	*c	64	64	64			
□ A/F補正1	2.3	%	3.1	1.6	1.6			
□ A/F学習1	0.0	%	0.0	0.0	0.0			
□ 吸入管絶対圧力	40	kPa	40	40	40			
□ エンジン回転数	825	rpm	845	824	833			
□ メータ車速	0	km/h	0	0	0			
□ 点火時期	14.5	deg	15.0	13.5	14.0			
□ 吸入空気温	18	*C	18	18	18			
□ 吸入空気量	3.89	g/s	4.12	3.88	3.98			
□ スロットル開度	2.4	%	2.4	2.4	2.4			
□ リア02センサ電圧値	0.180	V	0.785	0.080	0.275			
□ バッテリ電圧	14.3	V	14.5	14.2	14.3			
□ エアプロ電圧	1.30	V	1.34	1.30	1.30			
□ 燃料噴射1パルス幅	2.05	ms	2.05	2.05	2.05			
□ ノック補正	0.0	deg	0.0	0.0	0.0			
□ 大気圧	100	kPa	100	100	100			
□ 吸入管相対圧力	-61	kPa	-60	-61	-61			
□ ブライマリ過給圧制御	0.0	%	0.0	0.0	0.0			
□ CPCデューティ	0	%	0	0	0			
□ 燃料ポンプデューティ	33	%	33	33	33			
□ A/Fセンサ電流値1	0.00	mA	0.00	-0.13	-0.13			
□ A/Fセンサ抵抗値1	31	Ω	31	31	31			
□ A/Fセンサ出カラムダ1	0.98		1.00	0.98	0.98			

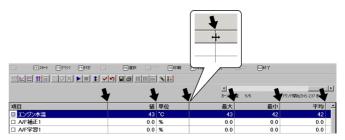
SMJ-00574

デジタルデータ画面では、コントロールモジュール の入出力データや制御データの現在値、最大値、最 小値および平均値がリアルタイムで表示されます。

デジタルデータ画面での操作

画面表示セルの横幅を変える

画面表示セルの横幅を調整することができます。下 図の矢印部分にポインタを合せてセル幅調整ポインタを表示させ、ドラッグして左右に移動させて見 やすいセル幅にします。



SMJ-00575

画面をスクロールさせる

画面右端のスクロールバーをマウスでドラッグして画面をスクロールさせることができます。また、スクロールバー上下端のスクロールボタンをクリックすることによっても画面をスクロールさせることができます。

最大	最小	平均	(
1.32	1.14	1.26	
2.56	1.79	2.05	
0.0	0.0	0.0	\sim
101	101	101	
-50	-65	-55	
0.0	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	1,0
0	0	0	
0	0	0	
33	33	33	\cup
0	0	0	
7	6	6	
9.4	9.4	9.4	
9.4	9.4	9.4	
64	64	64	
64	64	64	
0.13	-0.13	-0.13	
31	31	31	
1.02	0.98	0.99	
-0.08	-0.31	-0.23	
-9	-23	-16	
13.9	13.7	13.8	(

SMJ-00139

参考:

パソコンの上下矢印キー操作で、表示画面をセルひとつ分、上側または下側にスクロールすることができます。

パソコンの Page Up/Page Down キー操作で、表示 画面を一画面分、上側または下側にスクロールする ことができます。

計測を停止する

データリストツールバーの \blacksquare アイコン、またはファンクションキーバーの \blacksquare トル ボタンをクリックすれば、計測が停止されます。パソコンのファンクションキー F2 を押しても計測を停止することができます。



SMJ-00576

計測を開始する

データリストツールバーの ▶ アイコン、またはファンクションキーバーの 図ススート ボタンをクリックすれば、計測が開始されます。パソコンのファンクションキー F2 を押しても計測を開始することができます。



SMJ-00577

グラフ1画面に切り替える

グラフ1画面に切り替えるには計測を停止させます。

データリストツールバーの<mark>屋</mark>アイコン、またはファンクションキーバーの回クラフ₁ ボタンをクリックすれば、グラフ1画面になります。

パソコンのファンクションキー F3 を押してもグラフ1画面にすることができます。



SMJ-00578

グラフ2画面(8チャンネル1画面表示グラフ)に切り替える

グラフ 2 画面に切り替えるには計測を停止させます。

データリストツールバーの \square アイコンをクリックするか、ファンクションキーバーの \square^{571} ボタンを 2 回クリックすれば、グラフ 2 画面になります。ファンクションキーバーの [F3] ボタンは、押す毎に \rightarrow [F3 グラフ 1] \rightarrow [F3 グラフ 2] \rightarrow [F3 デジタル] \rightarrow の順番に替わります。

パソコンのファンクションキー F3 を 2 回押しても グラフ 2 画面にすることができます。



SMJ-00579

セルの順番を変える

画面に表示されるセルの順番を変えることができます。

順番を変えるセルを選択して、パソコンの [Ctrl] キーと [Shift] キーを同時に押しながら、上下矢印キーを押すと、セルひとつ分上側または下側に移動します。



SMJ-00152

セルの順番を初期化する

画面に表示されるセルの順番を初期化することが できます。

データリストツールバーの上アイコンをクリックすると、セルの順番が初期化されます。



SMJ-00718

データセレクト表示

全ての計測データから、必要なデータだけを選んで表示させることができます。

計測停止状態で、表示させたい項目の先頭にある チェックボックスをクリックしてチェックをつけ てください。パソコンの[スペース]キーを押して もチェックをつけることが可能です。

表示させたい項目を選択するには、マウスで計測したいアイテムをクリックするか、パソコンの上下矢印キーを操作してください。



SMJ-00153

データリストツールバーの
✓
アイコン、または
ファンクションキーバーの
回選択
ボタンをクリッ
クします。
画面には選択された項目だけが表示され
ます。

また、パソコンのファンクションキーF6を押しても選択された項目だけの表示にすることができます。



SMJ-00566

参考:

- データセレクト表示にすると、それまでに計測したデータは消去されます。
- データセレクト表示にすると、計測のサンプリン グが速くなります。(エンジンおよびトランス ミッションの計測のみ)
- チェック設定中に下のダイアログボックスが表示されたときは、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。

他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

全データ表示に戻る

データリストツールバーの アイコン、またはファンクションキーバーの回席 ボタンをクリックすれば、全データ表示になります。パソコンのファンクションキー F11 を押しても全データ表示に戻ることができます。



SMJ-00567

計測したデータを印刷する

計測を停止させます。

[ファイル]をクリックした後で[印刷]を選択するか、データリストツールバーの●アイコン、またはファンクションキーバーの^{図印刷} ボタンをクリックしてください。

パソコンのファンクションキーF8を押しても印刷することができます。



SMJ-00580

印刷プレビュー

印刷を実行する前に、問題なく印刷できるかプレビューすることができます。

[ファイル]をクリックした後、[印刷プレビュー] を選択してください。

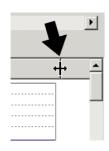


SMJ-00715

参考:

印刷範囲の一部が欠けてしまう場合は、セル幅 (下の画面の矢印部) を調整してください。

矢印部分にポインタを持っていけば調整ポインタ に変わりますのでマウスでドラッグして左右に動 かせば調整できます。



SMJ-00164

プリンタの設定

計測を停止させます。

[ファイル]をクリックした後、[プリンタの設定] を選択してください。



SMJ-00716

下のプリンタの設定ダイアログボックスが表示されたら、"プリンタ名"で使用するプリンタを選択します。

"印刷の向き"で"横"を選択して [OK] ボタンを クリックしてください。



SMJ-00166

参考:

"印刷の向き"で"縦"を選択しても印刷できますが、印刷範囲の一部が欠けることがあるので、印刷の向きを"横"にすることをお勧めします。

計測したデータを保存する

計測したデータを保存する方法には、計測したデータの全てを保存する方法と、計測データの必要な部分だけを切り抜いて保存する方法の2種類があります。

全データを保存する

計測を停止させます。

データリストツールバーの■アイコン、またはファンクションキーバーの回保す ボタンをクリックします。または、パソコンのファンクションキーF9を押します。



SMJ-00569

計測データの保存ダイアログボックスが表示され ます。

保存されるデータのファイル名は保存時の日時が 自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要 がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタン をクリックします。ファイル名を変更する場合は、 希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00677

参考:

計測データファイルが保存される場所は、PCアプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。

保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変 更して希望の場所に保存してください。

保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。

データを切り抜いて保存する

計測データの必要な部分だけを切り抜いて保存する操作方法については、「2 カーソル解析」項に記載してありますので、そちらを参照してください。

計測データの表示単位を SI 単位以外にする 計測を停止させます。

ファンクションキーバーの Mon SI ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F10 を押すと、設定されている表示単位で計測データが表示されます。



SMJ-00171

参考:

この機能を使うには、あらかじめ[ツール]メニューのオプションウインドウで、希望の単位に設定しておきます。

SI 単位表示に戻すには、ファンクションキーバーの lost ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F10 を押します。



SMJ-00173

故障診断メニュー画面に戻る

計測停止状態で、データリストツールバーの**ゴ**アイコン、またはファンクションキーバーの **ELIMPT** ボタンをクリックしてください。

また、パソコンのファンクションキー F12 を押しても前の画面に戻ることができます。



SMJ-00581

グラフ1画面

計測を停止させ、データリストツールバーの**屋**アイコン、またはファンクションキーバーの ^{図ケラフ1} ボタンをクリックすれば、グラフ1画面になります。

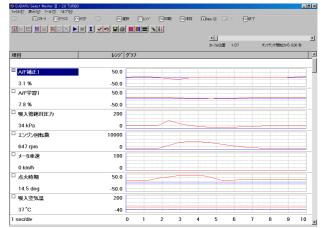
ファンクションキーバーの [F3] ボタンは、押す毎 に \rightarrow [F3 グラフ 1] \rightarrow [F3 グラフ 2] \rightarrow [F3 デジタル] \rightarrow の順番に替わります。

パソコンのファンクションキー F3 を押してもグラフ1 画面にすることができます。



SMJ-00578

グラフ1画面



SMJ-00582

計測の開始

データリストツールバーのightharpoonlineアイコン、またはファンクションキーバーのightharpoonlineボタンをクリックすれば、計測が開始されます。パソコンのファンクションキーightharpoonlineを押しても計測を開始することができます。



SMJ-00583

計測の停止

データリストツールバーの **■** アイコン、またはファンクションキーバーの **E** トル をクリックすれば、計測が停止されます。パソコンのファンクションキー F2 を押しても計測を停止することができます。



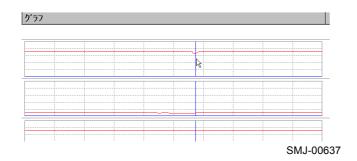
SMJ-00576

グラフカーソルを移動させる

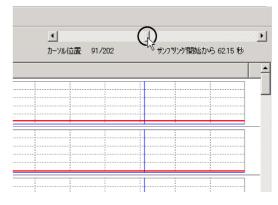
グラフ画面上で、移動させたい位置にマウスポインタを合わせてクリックすると、その位置にグラフカーソル移動します。また、グラフカーソルをドラッグすることでも移動させることができます。パソコンのキーボード上の左右矢印キーを操作することでも、グラフカーソルを移動することができます。このとき、[Ctrl] キーを押しながら左右矢印キーを操作すると、グラフカーソルを 10 データ分移動することができます。

参考:

グラフ画面上でマウスポインタを操作してグラフカーソルを移動する場合は、表示されている一画面上のみとなります。画面を横方向にスクロールするには、サンプリングステータスバーを操作して行なってください。

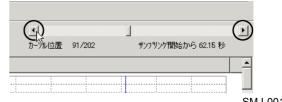


横方向へのスクロールはサンプリングステータス バーのスライダーバーをドラッグして左右に移動 させると、グラフ画面のグラフカーソルがドラッグ した方向に移動します。



SMJ-00187

サンプリングステータスバー両横の [<] または [>] ボタンをクリックしてもグラフカーソルを移動させることができます。



SMJ-00188

サンプリングステータスバーのスライダ機能

スライダーバー横の空白部分をクリックすれば、スライダがマウスポインタの位置になるまで、自動的にグラフ表示画面が横方向にスクロールします。



SMJ-00223

デジタルデータ画面に切り替える

計測を停止させ、データリストツールバーの<mark>図</mark>アイコン、またはファンクションキーバーの ^{図が572} ボタンを2回クリックすれば、デジタルデータ画面になります。

パソコンのファンクションキー F3 を押してもデジタルデータ画面にすることができます。



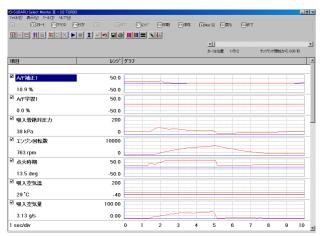
SMJ-00584

データセレクト表示

必要なグラフだけを選んで表示させることができます。計測停止状態で、表示させたい項目の先頭にあるチェックボックスをクリックしてチェックをつけてください。パソコンの[スペース]キーを押してもチェックをつけることが可能です。

次に、データリストツールバーの マアイコン、またはファンクションキーバーの 回選択 ボタンをクリックします。 画面には選択されたグラフだけが表示されます。

また、パソコンのファンクションキー F6 を押しても選択されたグラフだけの表示にすることができます。



SMJ-00559

参考:

- データセレクト表示にすると、それまでに計測したデータは消去されます。
- データセレクト表示にすると、計測のサンプリン グが速くなります。(エンジンおよびトランス ミッションの計測のみ)
- チェック設定中に下のダイアログボックスが表示されたときは、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。

他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00194

グラフ表示画面のレンジ変更

グラフ画面の縦横軸のレンジ設定を変更して、グラフ表示を見やすくすることができます。

1. 計測を停止した状態で、データリストツールバーの 「アイコン、またはファンクションキーバーの 「Divi) ボタンをクリックしてください。 パソコンのファンクションキー F7 を押してもレンジ変更画面にすることができます。

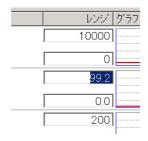


SMJ-00561

2. 表示されたレンジ入力ボックスに数字を入力してグラフ縦軸方向のレンジ設定をします。

参考:

一部の項目ではレンジ入力ボックスが表示されません。

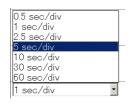


SMJ-00197

3. グラフ横軸 (時間軸) 方向の設定は、画面左下の レンジ選択ボックスをクリックして、希望の時間 設定にします。

参考:

表示される時間設定は、計測状態によって異なります。



SMJ-00198

4. グラフの縦軸と横軸のレンジ選択を決定したら、データリストツールバーの □ アイコン、またはファンクションキーバーの回○ ボタンをクリックして、レンジ設定を確定します。パソコンのファンクションキー F11 を押してもレンジ設定を確定することができます。



SMJ-00563

レンジ変更を中止する場合は、データリストツールバーのXアイコン、またはファンクションキーバーの回れかり ボタンをクリックします。パソコンのファンクションキーF12を押しても、レンジ変更を中止することができます。

参考:

時間軸レンジの選択ボックスで、30 sec/div または 60 sec/div を選択して計測を開始すると 10 秒間隔 で計測結果が表示されます。これは PC アプリ画面 の描画遅れを防ぐためのもので、異常ではありません。

計測を停止すると、30 sec/div または 60 sec/div の時間軸の画面が表示されます。

グラフ線の色を変える

グラフ線の色を任意の色に変更することができます。また、線色の変更は項目ごとに、または全項目 を一括に変更することができます。



SMJ-00411

全項目を一括で変更する場合は、**Ⅲ**アイコンをクリックして設定ダイアログボックスを表示させ、希望の色を選択して[OK]ボタンをクリックしてください。



SMJ-00411

グラフ線の太さを変える

グラフ線の太さを3種類のサイズから選ぶことができます。

計測を停止させ、データリストツールバーの**■**アイコンをクリックして設定ダイアログボックスを表示させ、希望の線太さを選択して [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00205

参考:

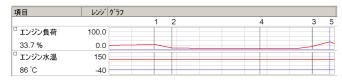
グラフ線太さ設定ダイアログボックスで、2pt または3ptを選択して計測を開始すると1ptの太さでグラフが表示されます。これはPCアプリ画面の描画遅れを防ぐためのもので、異常ではありません。計測を停止すると、選択した太さでグラフが表示されます。

マーキング機能

計測中または計測停止時にグラフ上の任意の位置にマーキングをすることができます。また、マーキングしたデータは、保存後に再描画しても保存時と同様にマーキングが表示されます。

計測中にマーキングする場合は、マーキングしたいタイミングでパソコンの数字キー、アルファベットキーまたは記号キーのいずれかのキーを押します。計測停止時および保存後にマーキングする場合は、マーキングしたい位置にカーソルを移動させて、パソコンの数字キー、アルファベットキーまたは記号キーのいずれかのキーを押します。

マーキングの番号はパソコンのキーを押した順に 自動的に振られます。



SMJ-00487

参考:

- サンプリングスピードより速くパソコンのキー を押すと、マーキングが番号順に表示されない場合があります。
- 一部のキーではマーキングすることができません。

マーキング消去機能

マーキングを消去することができます。 マーキングを消去する方法には、以下の2種類があります。

- 1) マーキング編集画面により消去する
- 2) パソコンのキーにより消去する

マーキング編集画面により消去する

1. 画面上にグラフを表示させ、メニューの「ツール」から、「マーキングの編集」を選択します。



SMJ-00853

2. マーキングの編集画面が表示されますので、消去 したいマーキング番号にチェックマークをつけ た後、[消去確定]ボタンをクリックします。



SMJ-00854

参考:

- [消去確定]ボタンをクリックすると、編集画面のマーキングは消去されますが、この時点ではグラフ上のマーキングは消去されません。
- チェックボックスの操作はパソコンのスペース キーを押すことによっても行なえます。

3. [OK] ボタンをクリックして編集画面を閉じます。編集画面が閉じると同時に、グラフ画面のマーキングが消去されます。



SMJ-00855

PC のキーにより消去する

- 画面上にグラフを表示させ、消去したいマーキングにカーソルを合わせます。
- 2. パソコンの数字キー、アルファベットキーまたは 記号キーのいずれかのキーを押します。

参考:

一部のキーではマーキングを消去することはできません。

グラフの順番を変える

画面に表示されるグラフの順番を変えることができます。

順番を変えるグラフを選択して、パソコンの [Ctrl] キーと [Shift] キーを同時に押しながら、上下矢印キーを押すと、グラフひとつ分上側または下側に移動します。

グラフの順番を初期化する

画面に表示されるグラフの順番を初期化することができます。

データリストツールバーの

」アイコンをクリックすると、グラフの順番が初期化されます。

計測したデータを印刷する

計測を停止させ、ファイルをクリックした後で印刷を選択するか、データリストツールバーの量アイコン、またはファンクションキーバーのIB印刷ボタンをクリックしてください。

パソコンのファンクションキー F8 を押しても印刷 することができます。

印刷プレビュー

計測を停止させて[ファイル]をクリックした後、 [印刷プレビュー]を選択してください。

プリンタの設定

計測を停止させて[ファイル]をクリックした後、[プリンタの設定]を選択してください。

計測したデータを保存する

計測停止状態で、データリストツールバーの**■**アイコン、またはファンクションキーバーの **四**保存 ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F9 を押してください。

計測データの表示単位を SI 単位以外にする

計測を停止させ、ファンクションキーバーの Won SI ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F10 を押すと、設定されている表示単位で計測データが表示されます。

参考:

- この機能を使うには、あらかじめツールメニュー のオプションウインドウで、希望の単位に設定し ておきます。
- SI単位表示に戻すには、ファンクションキーバー のPDSI ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F10 を押します。

故障診断メニュー画面に戻る

計測停止状態で、データリストツールバーの アイコン、またはファンクションキーバーの ITM ボタンをクリックしてください。パソコンのファンクションキー F12 を押しても前の画面に 戻ることができます。

グラフ2画面(8 チャンネル1画面 表示グラフ)

計測を停止させます。

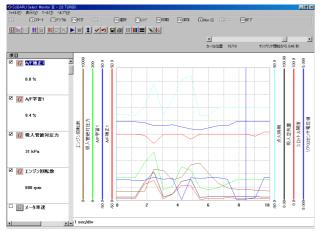
デジタルデータ画面で、データリストツールバーの アイコンをクリックするか、ファンクション キーバーの回がアコーボタンを 2 回クリックすれば、 グラフ2画面になります。

パソコンのファンクションキー F3 を 2 回押しても グラフ 2 画面にすることができます。



SMJ-00579

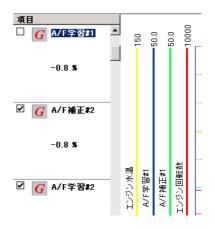
グラフ2画面



SMJ-00585

項目の先頭部分の[G]ボタンをクリックすると、[G]ボタンが赤く変化し、同時にグラフ表示部分にその項目の縦軸が表示されます。

項目の選択を解除するには、再度 [G] ボタンをクリックします。



SMJ-00216

参考:

- 最大 8 項目までのデータを 1 画面に表示することができます。
- ・項目軸の表示位置は、項目を選択した順で決まります。選択順の1~4番目がグラフの左側に、5~8番目がグラフの右側に表示されます。
- グラフ 1 画面と同様の手順で、計測の開始 / 停止、グラフカーソルの移動、データセレクト表示、レンジ変更およびグラフ線の色 / 太さの変更、マーキング機能などの操作をすることができます。

設定オールクリア機能

下記の設定内容を一括で初期状態にすることができます。

- 計測項目の表示順序:モデルごとの初期設定
- データセレクト表示:全ての計測項目が未選択
- ・グラフ画面の横軸レンジ:計測項目ごとの初期設定
- グラフ画面の縦軸レンジ: 0.5 sec/div
- グラフ画面のグラフ線色:全て赤色
- グラフ画面のグラフ線太さ:1ポイント
- トリガ機能: トリガなし
- •2カーソル解析:2カーソル解析終了 計測を停止した状態で、データリストツールバーの ↑アイコンをクリックします。



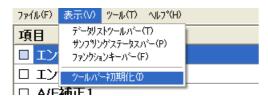
SMJ-00636

ツールバーの初期化機能

各種ツールバーの表示を初期状態に戻すことができます。なお、ツールバーの初期化を行なうと下記の状態に戻ります。

- ・表示の有無:全てのツールバーを表示
- ・表示位置:初期の表示位置

ツールバーの初期化を行なうには、メニューの「表示」から「ツールバー初期化」を選択します。



SMJ-00856

計測項目メモリー機能

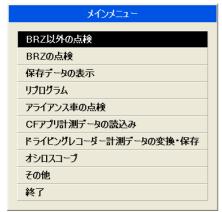
不具合現象ごとに計測すべき項目をあらかじめ設定しておき、必要に応じて設定したファイルを読み出して計測することができます。

参考:

- この計測項目設定ファイルをモードファイルと呼びます。
- 車種、仕様によりこの機能が使用できない場合があります。

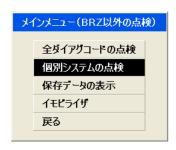
モードファイルを作成する

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



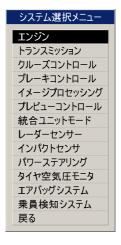
SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューでエンジンを選択してく ださい。



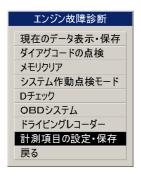
SMJ-00499

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-00130

6. 故障診断項目から「計測項目の設定・保存」を選択してください。



SMJ-00500

7. 計測項目選択画面が表示されます。一覧表の中から必要な計測項目を選択して、[選択完了]をクリックします。



SMJ-00501

参考:

項目設定中に下のダイアログボックスが表示された場合は、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

8. 保存確認ダイアログボックスが表示されます。 [はい]ボタンをクリックします。



SMJ-00502

9. モードファイルの保存ダイアログボックスが表示されます。

保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00503

参考:

モードファイルが保存される場所は、PC アプリ がインストールされている場所の以下のディレ クトリーのフォルダ内です。

「Data」フォルダ→「Engine または Transmission」 フォルダ→「小型または軽」フォルダ

保存場所を変更する場合は、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。

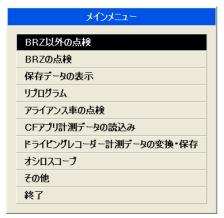
• 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。

モードファイルを読み出して計測する

参考:

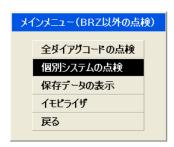
車種、仕様によりこの機能が使用できない場合があ ります。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



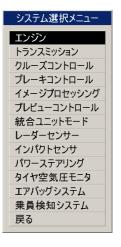
SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューでエンジンを選択してく ださい。



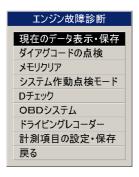
SMJ-00499

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



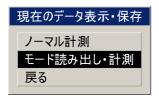
SMJ-00130

6. 故障診断項目から「現在のデータ表示・保存」を 選択してください。



SMJ-00504

7. 下記ダイアログボックスが表示されます。「モード読み出し・計測」を選択してください。



SMJ-00505

8. 保存されているファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。

目的のファイルを選択して、[Enter] キーを押すか、[開く]ボタンをクリックしてください。



SMJ-00506

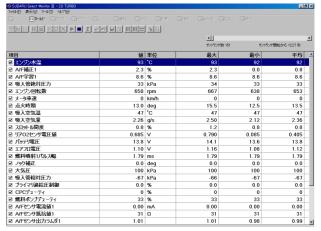
9. 計測開始確認画面が表示されます。[計測開始] ボタンをクリックします。



SMJ-00507

10.デジタルデータ画面が表示されます。

計測開始、計測停止などの操作については、「現在のデータ表示・保存」と同様に行なうことができます。操作の詳細は「現在のデータ表示・保存」項を参照してください。



SMJ-00586

参考:

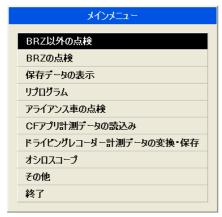
モードファイルを読み出した後に全データを表示したい場合は、データリストツールバーのプァイコン、またはファンクションキーバーの回戻る ボタンをクリックすれば、全データ表示になります。パソコンのファンクションキー F11 を押しても全データ表示にすることができます。

トリガ

計測中にトリガをかけることができます。トリガの設定方法には、あらかじめ計測項目にトリガを設定しておき自動的にトリガ検出する「入力データトリガ」、および手動でトリガをかける「マニュアルトリガ」の2種類があります。トリガ機能を利用して計測した場合の保存されるデータは、トリガ検出前が計測開始からトリガ検出時点まで、トリガ検出後は設定時間までとなります。

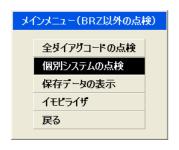
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



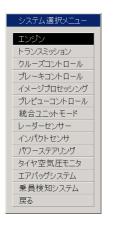
SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューでエンジンを選択してください。(ここではエンジンを選択しています)



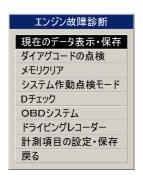
SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



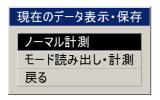
SMJ-00130

6. 故障診断項目から「現在のデータ表示・保存」を 選択してください。



SMJ-00504

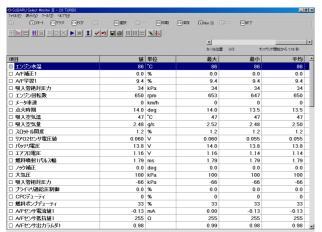
7. 下記ダイアログボックスが表示されます。「ノーマル計測」を選択してください。(ここでは仮に「ノーマル計測」を選択します)



SMJ-00534

8. デジタルデータ画面が表示されますので、計測を 停止します。

トリガ機能はデジタルデータ画面、グラフ 1 画面、グラフ 2 画面いずれの画面表示でも利用することができます。



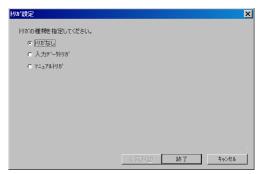
SMJ-00638

9. データリストツールバーの **1** アイコン、またはファンクションキーバーの My ボタンをクリックします。または、パソコンのファンクションキー F4 を押します。



SMJ-00641

10.トリガ設定画面が表示されます。



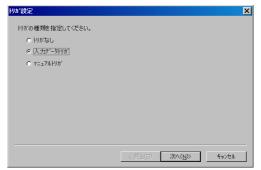
SMJ-00642

- 1) トリガなし
- トリガは行ないません。トリガ機能を解除する場合等に用います。
- 2) 入力データトリガ 計測項目の値に対してトリガを設定し、自動的に トリガを検出するときに用います。
- 3) マニュアルトリガ データ計測中にトリガスイッチを押すことに よって、手動でトリガをかけるときに用います。

入力データトリガを設定する

あらかじめ必要な項目にトリガを設定しておき、自動的にトリガ検出を行ないます。

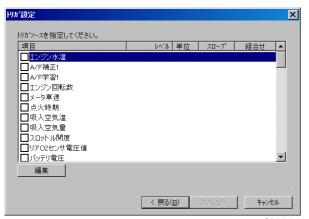
1. トリガの種類を指定する画面で、「入力データトリガ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



SMJ-00643

2. トリガソースを設定します。

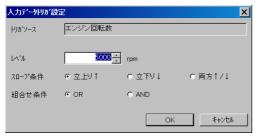
一覧表の中からトリガを設定する項目のチェックボックスをクリックするか、または項目をダブルクリックします。



SMJ-00644

3.「入力データトリガ設定」画面が表示されますので、各項目を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

計測項目がスイッチ入力以外の場合



SMJ-00645

1) レベル

トリガを検出する値(トリガレベル)を設定します。数値を直接入力するか、またはスピンボタンを操作して設定します。設定値は実際に取得できる値に限られますので、直接入力の場合に実在しない値を入力した場合は入力値の近似値が設定されます。

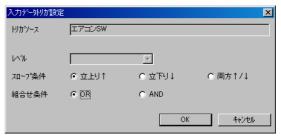
2) スロープ条件

計測データ値がトリガレベルに対し、どのような条件でトリガ検出するかを設定します。「両方↑/↓」を選択した場合、「立上り」または「立下り」のどちらか先に条件が成立した方をトリガとして検出します。

3)組み合わせ条件

複数のトリガを設定した場合の組み合わせ条件を 設定します。

計測項目がスイッチ入力の場合



SMJ-00646

1) レベル

トリガを検出する値(トリガレベル)を設定します。ボタンを操作して設定します。(計測項目によって選択できない場合があります。)

2) スロープ条件

計測データ値がトリガレベルに、どのように入ってきた時点をトリガ検出とするかを設定します。

「立上り \uparrow 」を選択した場合、OFF \rightarrow ON になった時点でトリガ検出します。

「立下り \downarrow 」を選択した場合、ON \rightarrow OFFになった時点でトリガ検出します。

「両方↑/↓」を選択した場合、どちらか先に条件 が成立した時点でトリガ検出します。

3)組み合わせ条件

複数のトリガを設定した場合の組み合わせ条件を 設定します。

4. トリガを設定した項目にはチェックボックスに チェックマークがつきます。

複数のトリガを設定する場合は、手順2と3を繰り返します。

全てのトリガソースの設定が終了したら、[次へ] ボタンをクリックします。



SMJ-00647

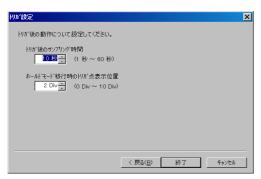
参考:

- 一度設定したトリガ内容を変更する場合は、設定項目を選択後、[編集]ボタンをクリックし、「入力データトリガ設定」画面を表示させてください。
- 現在トリガ設定してある項目をトリガ項目から 除外したい場合は、該当項目のチェックボックス をクリックしてチェックを外してください。
- 項目設定中に下のダイアログボックスが表示された場合は、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、トリガを設定したい項目を選んでください。



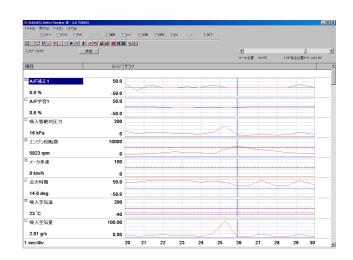
SMJ-00156

5. トリガ検出後の動作を設定します。設定が終了したら、[終了]ボタンをクリックします。



SMJ-00648

- 1)トリガ後のサンプリング時間トリガを検出した後に計測する時間を設定します。
- 2) ホールドモード移行時のトリガ点表示位置 計測終了時にグラフ画面で表示したときに、トリガを検出した時点(トリガ点)の表示位置を設定 します。
- 6. 計測画面が表示され、自動的に計測が開始されます。計測中トリガを検出したら、設定した時間分のデータを取得後、自動的に計測が終了します。



SMJ-00758

参考:

- 入力データトリガを設定すると、設定した項目の チェックボックスに「T」と表示されます。
- 入力データトリガで計測中でもマニュアルトリガが利用できます。この場合のトリガ検出後の計測時間も、入力データトリガと同様に、設定時間となります。
- ・計測中にデータリストツールバーの アイコンをクリックすると、トリガの有無に関係なく、クリックした時点で計測が終了します。また、ファンクションキーバーの ペール ボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキーF2を押すことによっても同様に計測を終了できます。
- グラフ表示の場合、トリガレベルが紫色の鎖線で表示されます。またトリガ点には、縦に緑色の鎖線で表示されます。
- サンプリングステータスバーの左側にトリガ情報が表示されます。また、[詳細]ボタンをクリックすると、設定したトリガの詳細情報が確認できる「入力データトリガ情報」画面が表示されます。

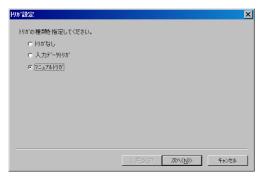


SMJ-00650

マニュアルトリガを設定する

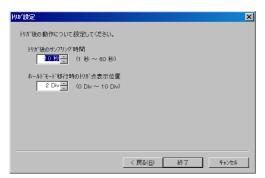
自動的にトリガ検出を行なわずに、トリガスイッチを押すことによって手動でトリガをかけます。

I. トリガの種類を指定する画面で、「マニュアルトリガ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



SMJ-00651

2. トリガ検出後の動作を設定します。 終了したら、[終了]ボタンをクリックします。

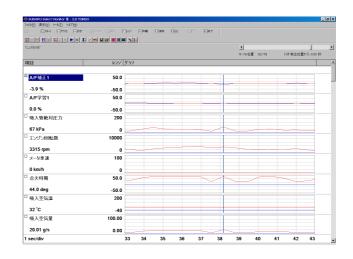


SMJ-00648

- 1) トリガ後のサンプリング時間 トリガスイッチを押した後に計測する時間を設定します。
- 2) ホールドモード移行時のトリガ点表示位置計測終了時にグラフ画面で表示したときに、トリガスイッチを押した時点(トリガ点)の表示位置を設定します。
- 3. 計測画面が表示され、自動的に計測が開始されます。

トリガをかけたい時点で、ファンクションキーバーの匠門がWボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキーF5 を押します。

その後、設定した時間分のデータを取得後、自動的に計測が終了します。



SMJ-00759

参考:

- 計測中にデータリストツールバーの アイコンをクリックすると、トリガの有無に関係なく、クリックした時点で計測が終了します。また、ファンクションキーバーの (日本・ルド) ボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキーF2 を押すことによっても同様に計測を終了できます。
- グラフ表示の場合はトリガ点が縦に緑色の鎖線で表示されます。
- サンプリングステータスバーの左側にトリガ情報が表示されます。

2カーソル解析

2 カーソル解析には、2 点間カーソル数値情報の表示およびデータの切り抜き保存の2つの機能があります。

2点間カーソル数値情報は、計測データの任意の 2点の数値、およびその 2点間の最大値、最小値、平均値を計算させて表示することができます。

データの切り抜き保存は、計測データの任意の2点間のデータを切り抜いて保存することができます。

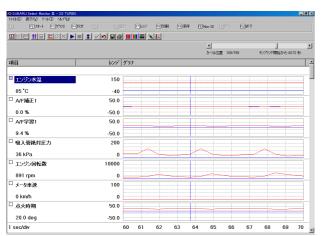
2点間カーソル数値情報

2 点間カーソル数値情報は、デジタルデータ画面、グラフ1画面またはグラフ2画面のいずれの画面でも使用できます。ただし、グラフ1またはグラフ2画面では選択した計測項目のみの情報が表示され、デジタルデータ画面では全計測項目の情報が表示されます。

2点間カーソル数値情報は、保存データを再表示した場合でも使用できます。

グラフ画面で数値情報を表示する

1. グラフ画面を表示させます。(ここでは仮にグラフ1画面で説明します。)



SMJ-00693

2. データリストツールバーの**††**アイコンをクリックします。



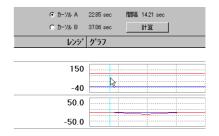
SMJ-00695

3. サンプリングステータスバーにカーソル選択ボタン、カーソル位置時間、カーソル間隔および計算ボタンが表示されます。

⊙ カーソル A	114.48 sec	間隔 0.00 sec
O カーソル B	114.48 sec	計算

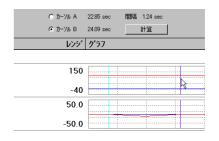
SMJ-00696

4. カーソル選択ボタンは「カーソル A」が選択されています。グラフカーソル A(水色)を希望の位置に移動させます。



SMJ-00697

5. カーソル選択ボタンで「カーソル B」を選択します。グラフカーソル B (紫色) を希望の位置に移動させます。



SMJ-00698

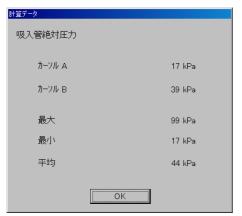
6. 計測項目を選択した後、データリストツールバーの □ アイコン、またはサンプリングステータスバーの [計算]ボタンをクリックします。



SMJ-00700

7. 数値情報画面が表示されます。

この画面を閉じるときは、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00701

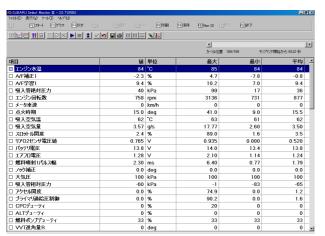
8.2 カーソル解析機能を終了するときは、再度**計**アイコンをクリックします。



SMJ-00702

デジタルデータ画面で数値情報を表示する

1. デジタルデータ画面を表示します。



SMJ-00703

2. データリストツールバーの******アイコンをクリックします。



SMJ-00695

参考:

- 2 点間カーソル情報表示の場合、値欄の表示値は 現在選択されているカーソル位置のデータ値が 表示されます。
- 2点間カーソル情報表示の場合、最大値、最小値 および平均値の表示値は計測開始点からの値で はなく、カーソルA、B間の値を表示します。
- 3. サンプリングステータスバーにカーソル選択ボタン、カーソル位置時間およびカーソル位置間隔が表示されます。



SMJ-00704

4. カーソル選択ボタンは「カーソル A」が選択されていますので、この状態のまま、カーソル A を希望の位置に移動します。



SMJ-00705

参考:

デジタルデータ画面では、カーソルが表示されませんので、カーソル選択ボタン横のカーソル位置時間でカーソル位置を確認してください。

5. カーソル選択ボタンで「カーソル B」を選択し、カーソル B を希望の位置に移動します。



SMJ-00706

6. カーソル間の数値情報を確認します。

デジタルデータ画面では、カーソル位置を移動すると、全計測項目の数値情報がリニアに計算されて表示されます。

	Monitor II - 20 TURE ツール① へんが出						_ 6
E RX	r–} [3°571 [MHA B		(ESEMB)	F9保存 EDNon SI	1155 1287	
패 낟(본) #	E MOX D	• 1 •		<u> </u>			
			15−7/A A 60.77 sec	RBN 8.85 sec	•		
			₱ ∄-YA-B 69.62 sec	FE31	カーソル位	置 119/159 ザン	フリンク開始から 69.62 秒
項目			値	単位	最大	最小	平均
■ エンジン水流	8		84	'C	85	84	84
□ A/F補正1			0.0	%	0.0	-3.1	-0.8
□ A/F学習1			9.4	%	9.4	7.0	7.8
□ 吸入管絶対	圧力		20	kPa	99	17	42
ロ エンジン回転	云数		1616	rpm	3136	767	1584
□ メータ車速			0	km/h	0	0	0
□ 点火時期			20.0	deg	20.0	14.0	17.5
□ 吸入空気法	1		62	·с	63	62	62
□ 吸入空気量	È		3.26	g/s	17.77	3.24	6.13
□ スロットル開	度		2.0	%	89.0	2.0	17.6
□ リア02セン	け電圧値		0.860	V	0.935	0.000	0.520
□ バッテリ電圧			13.8	V	13.9	13.6	13.8
ロ エアフロ電圧	E		1.24	V	2.10	1.24	1.40
□ 燃料噴射1	パルス幅		0.77	ms	6.40	0.77	2.30
□ ノック補正			0.0	deg	0.0	0.0	0.0
□ 大気圧			100	kPa	100	100	100
□ 吸入管相対	圧力		-81	kPa	-1	-83	-59
□ アクセル開き	Œ		0.0	%	74.9	0.0	12.5
ロ プライマリ過	給圧制御		0.0	%	90.2	0.0	16.9
□ CPCデュー	71		0	%	20	0	2
□ ALTデュー	Ī1		0	%	0	0	0
□ 燃料ポンプ	デューティ		33	%	33	33	33
□ VVT進角類	tr.		0	deq	0	0	0

SMJ-00707

7.2 カーソル解析機能を終了する時は、再度**計**アイ コンをクリックします。

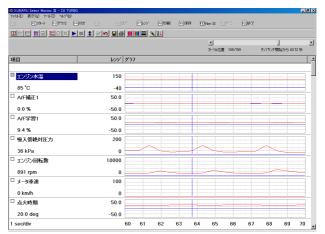


SMJ-00695

データの切り抜き保存

データの切り抜き保存は、デジタルデータ画面、グラフ1画面またはグラフ2画面のいずれの画面でも使用できます。

1. 計測画面を表示させます。(ここでは仮にグラフ 1 画面で説明します。)



SMJ-00693

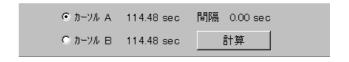
2. データリストツールバーの

| アイコンをクリックします。



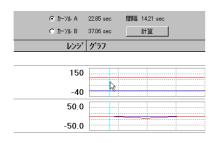
SMJ-00695

3. サンプリングステータスバーにカーソル選択ボタン、カーソル位置時間、カーソル間隔および計算ボタンが表示されます。



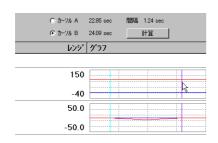
SMJ-00696

4. カーソル選択ボタンは「カーソル A」が選択されています。グラフカーソル A (水色) を希望の位置に移動させます。



SMJ-00697

5. カーソル選択ボタンで「カーソル B」を選択します。グラフカーソル B (紫色) を希望の位置に移動させます。



SMJ-00698

6. データリストツールバーの■アイコン、またはファンクションキーバーの回保存 ボタンをクリックします。または、パソコンのファンクションキー F9 を押します。



SMJ-00708

7. 保存方法の選択画面が表示されます。 「2 点カーソル間データの保存」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00709

参考:

このとき、「全データ保存」を選択すれば、切り抜き保存されずに、計測したデータが全て保存されます。

8. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00710

参考:

- 計測データファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。
- 全データの保存ファイルをデータ切抜き保存する場合、保存ファイル名を切り抜き前の全データの保存ファイル名と同じにして、上書き保存することはできません。

計測データの CSV 化

SSMIII がインストールされていない PC でも計測 データを解析できるように、計測データを CSV 形式のファイルにすることができます。計測データを CSV 化するには、保存したデータの解析画面から 行います。

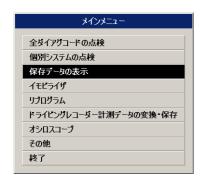
参考:

CSV ファイルとして保存できる計測データ数は、最大で50,000 データです。計測データ数が50,000 データ以上ある場合は、CSV 化する際に切り抜き保存によってデータ数を減らしてください。

メニューから CSV 化する方法

1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。

表示されたメインメニュー 画面で、「保存データの表示」を選択してください。



SMJ-00587

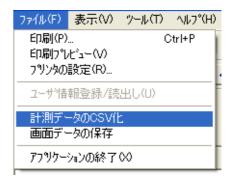
2. 保存されているファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。

"ファイルの種類"を選択後、目的のファイルを 選択して、[Enter] キーを押すか、[開く] ボタン をクリックしてください。



SMJ-00680

3. 保存したデータが表示されますので、メニューの「ファイル」から「計測データの CSV 化」を選択します。



SMJ-00822

4. CSVファイルの保存ダイアログが表示されます。 希望のファイル名を入力して、[保存]ボタンを クリックします。



SMJ-00823

参考:

- デフォルトで設定されるファイル名は、開いた保存データと同じになります。
- CSV ファイルが保存される場所は、PC アプリが インストールされている場所の「Data」フォル ダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する 場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- [保存] ボタンをクリックした後、下記ダイアロ グが表示された場合は保存データ数を減らす必 要があります。この場合は本章の「計測データ数 が多い場合」項の手順に従って CSV 化してくだ さい。



SMJ-00824

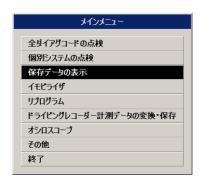
保存アイコンまたは保存ボタンから CSV 化する方法

参考:

■アイコンまたは四保存 ボタンから CSV 化する場合は、保存したデータを開いたときに、マーキング追加などの変更を加えた場合に有効となります。

1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。

表示されたメインメニュー画面で、「保存データ の表示」を選択してください。



SMJ-00587

2. 保存されているファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。

"ファイルの種類"を選択後、目的のファイルを選択してください。



SMJ-00680



SMJ-00569

4. 保存ダイアログが表示されますので、"ファイル の種類"で「CSV 形式の保存データ (*.csv)」を 選択します。



SMJ-00825

5. 希望のファイル名を入力して、[保存]ボタンを クリックします。



SMJ-00826

参考:

- デフォルトで設定されるファイル名は、開いた保存データと同じになります。
- CSV ファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- [保存] ボタンをクリックした後、下記ダイアロ グが表示された場合は保存データ数を減らす必 要があります。この場合は本章の「計測データ数 が多い場合」項の手順に従って CSV 化してくだ さい。



SMJ-00824

計測データ数が多い場合

CSV 化できるデータ数の上限は50,000データです。 データ数がこれより多い場合は、下記手順に従って データの切り抜き保存をすることにより CSV 化し てください。

参考:

ここでは保存アイコンまたは保存ボタンから CSV 化する手順を説明しますが、メニューの「ファイル」から「計測データの CSV 化」を選択した場合でも切り抜き保存して CSV 化することができます。

1. 前述の手順に従って、CSV ファイルの保存ダイ アログを表示させて[保存]ボタンをクリックし ます。



SMJ-00826

2. 下記ダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



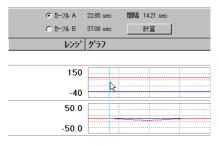
SMJ-00824

3. サンプリングステータスバーにカーソル選択ボタン、カーソル位置時間、カーソル間隔および計算ボタンが表示されます。



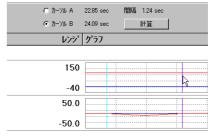
SMJ-00696

4. カーソル選択ボタンは「カーソル A」が選択されています。グラフカーソル A (水色) を希望の位置に移動させます。



SMJ-00697

5. カーソル選択ボタンで「カーソル B」を選択します。グラフカーソル B (紫色) を希望の位置に移動させます。



SMJ-00698

参考:

このとき、サンプリングステータスバーを見て、選択されている範囲のデータ数が 50,000 以下であることを確認してください。

6. データリストツールバーの **□** アイコンまたはファンクションキーバーの **□**保存 ボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキー F9 を押します。



SMJ-00708

参考:

メニューの「ファイル」から「計測データの CSV 化」を選択することによっても、次手順の「保存方法の選択画面」を表示できます。

7. 保存方法の選択画面が表示されます。

「2点カーソル間データの保存」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00709

8. 保存ダイアログが表示されますので、"ファイル の種類"で「CSV 形式の保存データ (*.csv)」を 選択します。



SMJ-00825

参考:

メニューの「ファイル」から「計測データの CSV 化」を選択した場合は、この手順は必要ありません。

9. 希望のファイル名を入力して、[保存]ボタンを クリックします。



SMJ-00826

参考:

- デフォルトで設定されるファイル名は、保存時の 日時になります。なお、データの切り抜き保存を した場合でも、CSV 化する場合は切り抜き前と 同じファイル名で保存することができます(切り 抜き前のファイルと拡張子が異なるため、上書き 保存になりません)。
- CSV ファイルが保存される場所は、PC アプリが インストールされている場所の「Data」フォル ダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する 場所"を変更して希望の場所に保存してくださ い。

画面データの保存

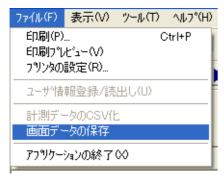
計測画面または保存データ表示画面で、画面イメージをそのまま画像として保存することができます。

参考:

- 画面データの保存は、計測結果表示画面(気筒モニターを除く)を保存することができます。
- 保存データのファイル形式は BMP (ビットマップ) となります。

保存手順

- 1. 計測画面または保存データ表示画面を表示します。計測画面を表示した場合は、計測を停止します。
- 2. メニューの「ファイル」から「画面データの保存」を選択します。



SMJ-00827

3. 画面データの保存ダイアログが表示されます。 希望のファイル名を入力して、ダイアログボック スの[保存]ボタンをクリックします。



SMJ-00828

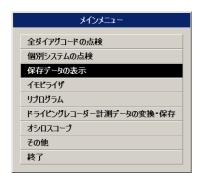
参考:

- デフォルトで設定されるファイル名は、計測データを保存する場合は保存時の日時となり、保存データを開いた場合は開いた保存データと同じになります。
- 画面データファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。

保存したデータを見る

故障診断中に保存したデータをパソコン画面上で 見ることができます。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「保存データ の表示」を選択してください。



SMJ-00587

3. 保存されているファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。

"ファイルの種類"を選択後、目的のファイルを 選択して、[Enter] キーを押すか、[開く] ボタン をクリックしてください。



SMJ-00680

4. 保存されていたファイルのデータが読み出されて、デジタルデータ画面が表示されます。

参考:

保存されているファイルの拡張子には以下の種類があります。ファイルの種類選択ボックスで必要なものを選択して表示させます。

- .adt: 全ダイアグコードの点検画面で保存された データの拡張子です。
- .ssm: デジタルデータ画面またはグラフ画面で保存されたデータの拡張子です。
- .obd: OBD システムの故障診断で保存されたデータの拡張子です。
- .sdr: ドライビングレコーダーで保存されたデータの拡張子です。
- .dig: 制御ユニットの点検結果が保存されたデータの拡張子です。
- .biu: ボディ統合ユニットのカスタマイズでの設定が保存されたデータの拡張子です。
- .ocl: アナログ計測で保存されたデータの拡張子です。
- .trq: TRAVIQ の故障診断で保存されたデータの 拡張子です。
- .trz: TREZIA の故障診断で保存されたデータの 拡張子です。
- .cx2: DEX、ディアスワゴン、プレオ、ルクラの 故障診断で保存されたデータの拡張子で す。

アライアンス車の保存データを開く場合は、メイン メニューで「アライアンス車の点検」を選択後、目 的の車両を選択して、「保存データの表示」を選択 してください。

E E (57571 E	(5) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	/ FB(F)(R)	THE Mon SI THE S	F2887	
NET HE BOX 4 4 ►		mt=f s faif			
			*(80000		
				71 977979	開始から 0.00 秒
項目	値	単位	最大	最小	平均
1ンジン水温	90	*C	95	90	93
□ A/F補正1	-0.8	%	7.8	-4.7	0.0
□ A/F学習1	8.6	%	8.6	0.0	7.0
□ 吸入管絶対圧力	32	kPa	78	16	32
コ エンジン回転数	649	rpm	3062	596	1066
□ メータ車速	0	km/h	0	0	0
□ 点火時期	14.5	deg	44.0	8.0	19.5
□ 吸入空気温	75	·с	75	74	74
□ 吸入空気量	2.38	g/s	14.06	2.23	3.98
□ スロットル開度	1.2	%	11.0	1.2	2.4
□ リア02センサ電圧値	0.100	V	0.930	0.010	0.470
□ バッテリ電圧	13.6	V	13.8	13.4	13.6
□ エアフロ電圧	1.12	V	1.90	1.10	1.24
□ 燃料噴射1パルス幅	1.79	ms	3.84	0.77	1.79
□ ノック補正	0.0	deg	0.0	0.0	0.0
□ 大気圧	100	kPa	100	100	100
□ 吸入管相対圧力	-68	kPa	-28	-84	-68
□ アクセル開度	0.0	%	8.6	0.0	1.2
コ ブライマリ過給圧制御	0.0	%	0.0	0.0	0.0
□ CPCデューティ	0	%	3	0	0
□ ALTデューティ	0	%	0	0	0
□ 燃料ポンプデューティ	33	%	33	33	33
□ VVT進角量R	0	deq	10	0	1

SMJ-00588

参考:

計測データの保存ファイルをダブルクリックすることによっても、保存データを見ることができます。保存ファイルが保存されているフォルダを開き、希望のファイルをダブルクリックすると、PC アプリが自動的に起動し、保存データの解析画面が表示されます。ただし、この方法で PC アプリを起動させた場合は、計測画面に移行することはできません。データ計測する場合は、「システムの起動手順」項に従った方法で PC アプリを起動してください。

表示画面の操作

保存データの表示画面では、データリストツールバーのボタンの種類および、サンプリングステータスバーの機能が通常のデジタルデータ画面やグラフ画面と一部異なります。これらにより、保存データから必要な部分を素早く探すことが可能となります。

データ送りボタン

データリストツールバーのデータ送りボタンをクリックして、グラフカーソルを移動させることができます。

[<] または [>] ボタンをクリックすると、グラフカーソルが 1 データ分戻る、または進みます。パソコンの左右矢印キーを押しても、グラフカーソルを 1 データ分戻る、または進めることができます。

[<<] または [>>] ボタンをクリックすると、グラフカーソルが1画面分戻る、または進みます。

パソコンの [Ctrl] キーを押しながら、左右矢印キーを押すことによって、グラフカーソルを 10 データ分戻す、または進めることができます。



SMJ-00222

データの切り抜き保存

保存されたデータを再表示した場合でも、必要なデータだけを切り抜いて保存することができます。 保存する操作方法については、「2カーソル解析」項に記載してありますので、そちらを参照してください。

参考:

切り抜き後のデータのファイル名を、切り抜き前のファイル名と同じにすることはできません。切り抜き保存する場合には、必ず切り抜き前とは別のファイル名にしてください。

その他の操作

保存データを表示した場合にも、マーキング機能、 2点間カーソル数値情報、レンジ変更などの機能が 計測時と同様に使用できます。

また、保存データを表示した際に変更した内容を保存することができます。

保存データの複数表示

SSMIII で保存したデータをパソコン画面上で複数表示させることができます。

表示させる操作方法は以下の2種類があります。

- パソコン画面上の SSMIII のアイコンから表示させる
- データリストツールバーのアイコンから表示させる

参考:

- 保存ファイルの複数表示は最大 5 つまで可能です。
- 高機能版気筒モニタの保存ファイル(.cym)は、 データリストツールバーの アイコンからは 複数表示させることができません。

パソコン画面上の SSMIII のアイコンから 表示させる

I. 目的の保存データのうちの1つを表示させます。 表示方法については「保存データを見る」項の手順を参照してください。

ファイル(E) 表示(y) クール(T) ヘルプ(H)					
E 157571 E	■ 同選択 図の	y rether	TO FREE Mon SI THE S	E2897	
		m ≡[\ [#]			
			*[[80000		
			カーソル位置 1/	71 9777797	開始から 0.00 秒
項目	値	単位	最大	最小	平均
☑ エンジン水温	90	*c	95	90	93
□ A/F補正1	-0.8	%	7.8	-4.7	0.0
□ A/F学習1	8.6	%	8.6	0.0	7.0
□ 吸入管絶対圧力	32	kPa	78	16	32
□ エンジン回転数	649	rpm	3062	596	1066
□ メータ車速	0	km/h	0	0	0
□ 点火時期	14.5	deg	44.0	8.0	19.5
□ 吸入空気温	75	·c	75	74	74
□ 吸入空気量	2.38	g/s	14.06	2.23	3.98
□ スロットル開度	1.2	%	11.0	1.2	2.4
□ リア02センサ電圧値	0.100	V	0.930	0.010	0.470
□ バッテリ電圧	13.6	V	13.8	13.4	13.6
□ エアフロ電圧	1.12	V	1.90	1.10	1.24
□ 燃料噴射1パルス幅	1.79	ms	3.84	0.77	1.79
□ ノック補正	0.0	deg	0.0	0.0	0.0
□ 大気圧	100	kPa	100	100	100
□ 吸入管相対圧力	-68	kPa	-28	-84	-68
□ アクセル開度	0.0	%	8.6	0.0	1.2
□ ブライマリ過給圧制御	0.0	%	0.0	0.0	0.0
□ CPCテューティ	0	%	3	0	0
□ ALTデューティ	0	%	0	0	0
□ 燃料ポンプデューティ	33	%	33	33	33
□ VVT進角量R	0	dea	10	0	1

SMJ-00588

2. デスクトップ画面を表示させて SSMIII のアイコンをダブルクリックします。

表示されたメインメニュー画面で「保存データの 表示」を選択してください。



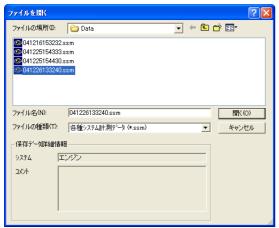
SMJ-00965

参考:

保存データを複数表示させているときはメインメニューの一部の機能のみ選択可能です。 他の機能を使用する場合は、保存データのどれか1つを残して他をすべて閉じてください。 表示されている保存データが1つの場合のみすべてのメインメニュー項目が選択可能です。

3. 保存されているファイルの一覧のダイアログ ボックスが表示されます。

目的のファイルを選択して、[Enter] キーを押すか、[開く] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00966

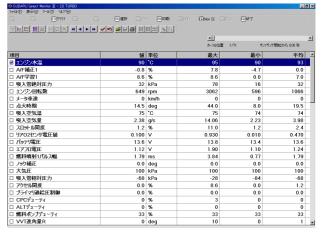
4. 目的のファイルが表示されます。さらに別の保存 データを追加表示させる場合は2に戻り保存デー タを選択してください。

参考:

アライアンス車の保存データを開く場合は、メイン メニューで「アライアンス車の点検」を選択後、目 的の車両を選択して、「保存データの表示」を選択 してください。

データリストツールバーの Pアイコンから表示させる

1.目的の保存データのうちの1つを表示させます。 表示方法については「保存データを見る」項の手順を参照してください。



SMJ-00588

2. データリストツールバーの **☞** アイコンをク リックします。



SMJ-00589

3. 保存されているファイルの一覧のダイアログ ボックスが表示されます。

目的のファイルを選択して、[Enter] キーを押すか、[開く] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00966

4. 目的のファイルが表示されます。さらに保存データを追加表示させたい場合は2に戻り目的のファイルを選択してください。

参考:

計測データの保存ファイルをダブルクリックすることによっても、保存データを複数表示することができます。保存ファイルが保存されているフォルダを開き、複数のファイルをダブルクリックすると保存データの解析画面が複数表示されます。

ただし、この方法で PC アプリを起動させた場合は、計測画面に移行することはできません。データ計測する場合は、「システムの起動手順」項に従った方法で PC アプリを起動してください。

- 以下の種類のファイルを複数表示させることができます。
- .adt: 全ダイアグコードの点検画面で保存された データの拡張子です。
- .ssm: デジタルデータ画面またはグラフ画面で保存されたデータの拡張子です。
- .obd: OBD システムの故障診断で保存されたデータの拡張子です。
- .sdr: ドライビングレコーダーで保存されたデー タの拡張子です。
- .dig: 制御ユニットの点検結果が保存されたデータの拡張子です。
- .biu: ボディ統合ユニットのカスタマイズでの設定が保存されたデータの拡張子です。

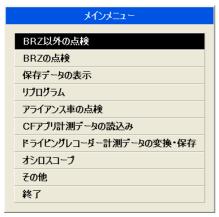
- .ocl: アナログ計測で保存されたデータの拡張子です。
- .trq: TRAVIQ の故障診断で保存されたデータの 拡張子です。
- .cym: 高機能版気筒モニタで保存されたデータの 拡張子です。
- 同じ名前の保存データは複数表示できません。
- .cym ファイルを開いた後、再度 SSMIII を起動し 表示言語の切り替えをした場合、.cym ファイル は言語が切り替わりません。
- .dig および .biu ファイルを開いた後、再度 SSMIII を起動し表示言語の切り替えをした場合、.dig および .biu ファイルは点検結果のみ言語が切り替わりません。
- タスクバーに表示されている最小化したウィンドウのファイル名を確認すると、ファイル名が先頭に表示されますが、.cym ファイルの場合ファイル名は末尾に表示されます。

ダイアグコードの点検

コントロールモジュールに記憶されているダイア グコード、またはキャンセルコードを確認すること ができます。

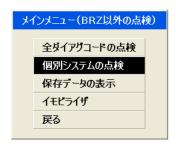
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-00130

6. 故障診断項目から「ダイアグコードの点検」を選択してください。



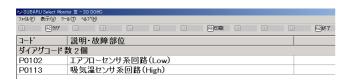
SMJ-00590

7. 目的の項目を選択してください。



SMJ-00229

8. ダイアグコード画面が表示されます。



SMJ-00232

参考:

表示画面の内容は、診断を行うシステム、車種、仕様、システムの故障診断モードによって異なります。

「最新のコード」

コントロールモジュールが検出した最新のダイア グコードが表示されます。

「メモリコード」

コントロールモジュールに記憶されている過去に 検出されたダイアグコードと、現在検出されている 最新のダイアグコードが表示されます。

「D チェックダイアグコード」

D チェックモードでの故障診断結果が表示されます。

「仮コード」

OBDシステムが検出した仮コードが表示されます。

「現在検出中のコード」

「現在故障」

コントロールモジュールが現在検出しているダイ アグコードが表示されます。

「過去に検出したコード」

「過去故障」

コントロールモジュールに記憶されている過去に 検出されたダイアグコードと、現在検出されている 最新のダイアグコードが表示されます。

「レディネスコード」

コントロールユニット内の各ダイアグコードに対 する自己診断状態を示すものです。

自己診断が未だ実施されていない、または自己診断が完了していないコントロールユニットのダイアグコードが表示されます。

自己診断が正常に完了し、正常/異常のいずれかを判定すると表示されなくなります。

注意:

自己診断はイグニッションスイッチON毎に実施される為、自己診断が正常に完了してレディネスコードが表示されなくなったとしても、イグニッションスイッチをOFF → ON するとレディネスコードが再度表示される場合があります。

参考:

・レディネスコードを活用した点検方法について修理完了後、修理が間違いなく完了したのかを確認する際に、レディネスコードを活用します。修理完了後にメモリクリアを実施し、該当のコントロールユニットに対して"点検モード"の実施、または"ドライブサイクル"を走行した後、レディネスコードを確認し、該当のダイアグコードが表示されていなければ、自己診断は完了していると判断できます。

その後、"現在故障"または"仮コード"の点検を実施した際に、該当のダイアグコードが表示されていなければ、修理が完了していると判断できます。

メモリクリアを実行すると、コントロールモジュールに記憶されている全てのダイアグコードが消去されます。

ダイアグコードが表示されないとき

コントロールモジュールにダイアグコードが記憶されていないときは、以下の画面が表示されます。



SMJ-00230

画面の操作指示に従って、[OK] ボタンをクリック してください。 クルーズコントロールシステムのコントロールモジュールにキャンセルコードが記憶されていないときは、以下の画面が表示されます。



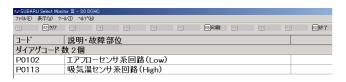
SMJ-00231

参考:

ダイアグコードが検出されない故障が発生している車両では、サービスマニュアルの故障診断手順に 従って修理作業を行ってください。

ダイアグコードが表示されるとき

コントロールモジュールにダイアグコードが記憶 されているときは、ダイアグコードとその故障原因 に関連するメッセージが画面に表示されます。



SMJ-00232

メモリクリアを実行するには

ファンクションキーバーのEMT ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F2 を押してください。

ダイアグコード画面を印刷するには

ファンクションキーバーの^{図印刷} ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F8 を押してください。

故障診断メニュー画面に戻るには

ファンクションキーバーの回終了 ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F12 を押してください。

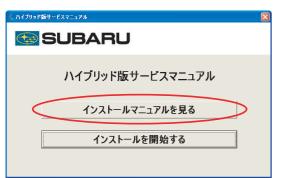
マニュアルリンク

SSMIII とサービスマニュアルをパソコン上で融合 させたものがマニュアルリンクです。

これまでは、サービスマニュアルを車種ごとに検索した上で、さらに該当ページを検索する必要がありました。しかし、SSMIII がインストールされたパソコンに、マニュアルリンク対応のハイブリッド版サービスマニュアルをインストールすることにより、SSMIIIの「ダイアグコードの点検」によって検出されるダイアグコードから、簡単な操作でサービスマニュアルの該当診断ページを閲覧することができます。マニュアルリンクにより、該当マニュアルを探すための時間削減による効率化を図ることができます。

参考:

- 車種により、この機能が使用できない場合があります。
- マニュアルリンク機能は、「全ダイアグコードの 点検」および各システムのダイアグコードの点検 で使用できます。
- マニュアルリンク機能を使用するには、以下のソフトウェアが必要になりますので、あらかじめインストールしてください。
 - Internet Explorer 5.5 以上(6.0 以上を推奨) Adobe Acrobat Reader 4.0 以上
- マニュアルリンク機能を使用するには、あらかじめ、診断対象車種のサービスマニュアルをインストール方法は、ハイブリッド版サービスマニュアルのインストール 時に表示されるメニューの「インストールマニュアルを見る」をクリックしてインストールマニュアルを参照してください。なお、インストールの際は、SSMIIIの PC アプリをインストールした後に、サービスマニュアルをインストールしてください。PC アプリがインストールされていないと、サービスマニュアルをインストールできません。



SMJ-00962

1. ダイアグコードの点検結果を表示します。(ここではエンジンのダイアグコードの点検を例にします。)

	クール(I) ヘルフで <u>H</u>)						
el Fe%	7 🔞					多印刷		F12 終了
コード	説明·i	故障部位	_					
タイアクコー	数 13個							
□ P0333	ノックセ	ンサ2系[回路(Hig	jh)				
□ P0102	エアフロ	1ーセンサ:	系回路(Low)				
□ P0123	スロット	ル開度セ	ンサA系	回路(Hi	gh)			
□ P0328	ノックセ	ンサ1系[回路(Hig	jh)				
□ P0118	水温セ	ンサ系回	路(High	1)				
□ P0183	燃料温	度センサ	系回路((High)				
□ P0113	吸気温	センサ系	回路(H	igh)				
□ P0108	吸気圧	センサ系	回路(H	igh)				
□ P1572	EGI-1	モピライサ	通信					
□ P0223	スロット	ル開度セ	ンサB系	回路(Hi	gh)			
□ P2122	アクセノ	レ開度セン	サD系 回]路(Lov	v)			
□ P2127	アクセノ	/開度セン	サE系 [路(Lov	v)			
□ P0198	油温セ	ンサ系回	路(Hial	1)				

SMJ-00794

参考:

ダイアグコードの点検手順は、該当項目を参照して ください。

2. サービスマニュアルで閲覧したいダイアグコードのチェックボックスにチェックマークを付けます。

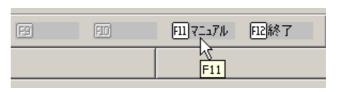


SMJ-00795

参考:

チェックマークは 1 つのダイアグコードにのみ付けることができます。

3. ファンクションキーバーの 回マニュアル をクリック するか、パソコンのファンクションキー F11 を 押します。



SMJ-00796

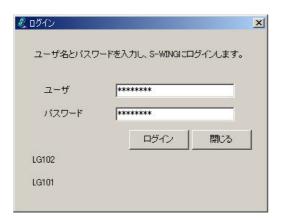
4. 参照先の設定画面が表示されますので、目的の参照先を選択し、クリックします。(ここでは、「PCマニュアル参照」を選択します。)



SMJ-01088

参考:

- •「Web マニュアル参照」をクリックして S-WING にログインした場合は、画面の指示にしたがって 作業を行ってください。なお、作業の不明点については、ハイブリッド版サービスマニュアルに付属の「サービスマニュアルの手引き」を参照してください。
- マニュアルリンクで初めて Web を参照したとき、またはパスワードが変更されたときは、ユーザー名とパスワードの入力を要求する画面が表示されます。その場合は、株式会社スバルインテリジェントサービス(SIS)から発行されたユーザー名とパスワードを入力してください。



SMJ-01089

5. マニュアル選択画面が表示されます。希望のマニュアルを選択して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00807

参考:

ここで選択されたサービスマニュアルは、「システム選択メニュー」画面に戻るまで適用されます。別のサービスマニュアルを閲覧したい場合は、一旦「システム選択メニュー」に戻るか、SSMIIIを再起動してください。

6. サービスマニュアルのダイアグコード検索結果 画面が表示されます。希望の機種の参照先 ☞ ボ タンをクリックします。



SMJ-00798

参考:

検索した結果、該当する機種が 1 つしかない場合 は、この画面は表示されません。 7. サービスマニュアルの故障診断画面が表示されます。これ以降の操作方法は、サービスマニュアルの手引きを参照してください。



SMJ-00799

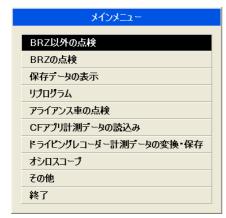
フリーズフレームデータ

* 車種・仕様によっては、当機能はサポートされておりません。

各システムのコントロールユニットがダイアグコードを検出したときの、コントロールユニットへの入力データおよびユニットの制御状態、ドライバの操作を記録することで、車両状態を推測し、故障診断に活用できます。

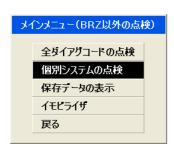
BRZ、または BRZ 以外の場合

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



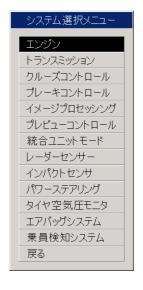
SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



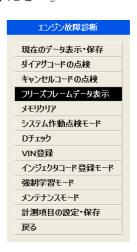
SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



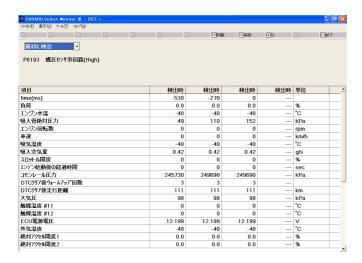
SMJ-00130

6. 故障診断項目で「フリーズフレームデータ表示」 を選択してください。



SMJ-01421

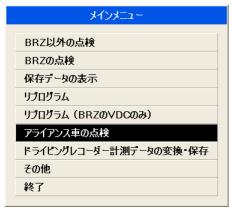
7. 下記のように、フリーズフレームデータ情報が表示されます。表示画面上部の選択ボックスで故障検出時点の種類を選ぶことで、ダイアグコード検出時点のデータ、およびその前または後を含む時系列データを表示させることができます。



SMJ-01422

アライアンス車の場合

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「アライアンス車の点検」を選択してください。



SMJ-01540

3. 通信対象車種を選択します。(ここでは "ステラ の点検"を選択しています。)



SMJ-01541

4. 年改区分を選択します。(ここでは "LA1 A タイプ" を選択しています。)



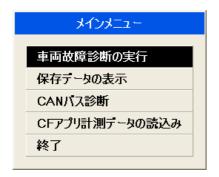
SMJ-01542

5. 通信対象車種の確認画面が表示されますので、内容を確認して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01543

6.「車両故障診断の実行」を選択します。



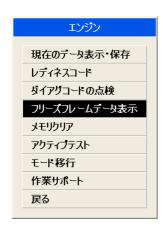
SMJ-01544

7. システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



SMJ-01545

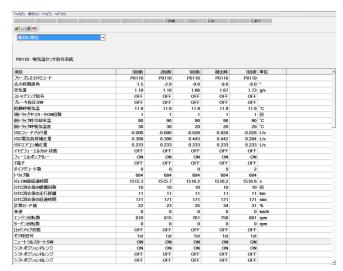
8. 故障診断項目で「フリーズフレームデータ表示」 を選択してください。



SMJ-01546

9. 下記のように、フリーズフレームデータ情報が表示されます。表示画面上部の選択ボックスで故障

検出時点の種類を選ぶことで、ダイアグコード検 出時点のデータ、およびその前または後を含む時 系列データを表示させることができます。



SMJ-01547

データの保存

データリストツールバーの■アイコン、またはファンクションキーバーの回保存 ボタンをクリックします。または、パソコンのファンクションキーF9を押します。



SMJ-01538

データの印刷

[ファイル]をクリックした後で[印刷]を選択するか、データリストツールバーの **3**アイコン、またはファンクションキーバーの **60**印刷 ボタンをクリックしてください。



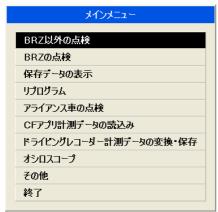
SMJ-01539

メモリクリア

故障修理後に各システムのコントロールモジュー ルに記憶されているダイアグコードを消去します。

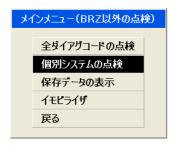
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-00130

6. 故障診断画面で、「メモリクリア」を選択してく ださい。



SMJ-00591

7. メモリクリアの確認画面が表示されます。 マウスで[はい]ボタンをクリックしてください。



SMJ-00241

メモリクリアが実行されると、下の画面が表示されます。画面表示に従って、イグニッションスイッチを OFF にして、マウスで [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00242

参考:

故障診断メニューにメモリクリアの項目が無いシステムもあります。これらのシステムではイグニッションスイッチをOFFにすることで、ダイアグコードが消去されます。

トランスミッションシステムのメモリクリア 2 について

トランスミッションシステムでは、故障診断画面に「メモリクリア」と「メモリクリア 2」が表示される場合があります。

「メモリクリア 2」を選択実行した場合は、トランスミッションコントロールモジュールに記憶されているダイアグコードと学習制御値が消去されます。

エアバッグのメモリクリアについて

エアバッグシステムでメモリクリアをする場合、全ての故障を修理してからメモリクリアを実行してください。もし故障が1つでもある場合、メモリクリアを実行できません。

また、DTC が記憶されていない状態で、メモリクリアを実行すると下記画面が表示される場合があります。その場合は、[いいえ]をクリックした後、「ダイアグコードの点検」を実施し、DTC の有無を確認してください。DTC が記憶されていなければ、メモリクリアの実施は不要です。



システム作動点検モード

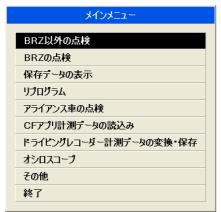
エンジン制御システムのアクチュエータを強制的 に駆動して、それらの作動を確認することができま す。

参考:

一部の車種にはこの機能は対応していません。

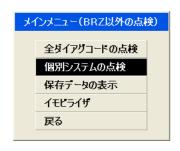
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューでエンジンを選択してください。



SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-00130

6. 故障診断画面で、「システム作動点検モード」を してください。



7. システム作動点検モードの内容選択画面が表示されます。

目的の項目を選択してください。



SMJ-00858

注意:

システム作動点検モードの中で、エンジンを始動して行なうモードの場合はアイドリング時にのみ行なってください。設定値によってはエンストの発生または制動力低下の可能性があり、走行中に作業を行なうと大変危険です。

参考:

故障診断を行う車両の仕様、装備によって表示項目 が異なります。

シーケンシャルターボ

この機能はシーケンシャルターボチャージャに関連するソレノイドバルブの作動点検に使用します。 点検を実行するためには、デリバリモードヒューズ (テストモード端子)を接続しておくことが必要です。

システム作動点検モードの内容選択画面で、シーケンシャルターボを選択すると、下の画面が表示されます。 ボタン ボタンをクリックすればソレノイドバルブの強制駆動点検が実行されます。

各バルブの良否判定は、強制駆動中のバルブ作動音 を確認してください。



SMJ-00250

参考:

車両に搭載されている、ヒューズを使用しないでください。

・デリバリモードヒューズ (テストモード端子)の 接続と分離は、イグニッションスイッチを OFF にして行ってください。

アクチュエータ ON/OFF 駆動

この機能はエンジン制御システムに関連するアクチュエータの作動点検に使用します。点検を実行するためには、デリバリモードヒューズ (テストモード端子)を接続しておくことが必要です。

システム作動点検モードの内容選択画面でアクチュエータ ON/OFF 駆動を選択すると、下の画面が表示されます。希望の項目を選択して 「本人の一ボタンをクリックすれば、アクチュエータの強制駆動点検が実行されます。



SMJ-00415

参者:

- 車両に搭載されている、ヒューズを使用しないでください。
- ・デリバリモードヒューズ(テストモード端子)の 接続と分離は、イグニッションスイッチを OFF にして行ってください。

防盗システム

イモビライザシステムの通信線のショート点検を 行うことができます。

(点検ではデリバリモードヒューズ (テストモード端子)を接続する必要はありません)

システム作動点検モードの内容選択画面で防盗システムを選択すると、下の画面が表示されてイモビライザシステムの通信線のショート点検が行われます。



SMJ-00252

防盗システムの点検結果

イモビライザシステムの通信線のショート点検が 終了して、異常がなければ下の画面が表示されま す。



SMJ-00253

上記以外の画面が表示されたときは、サービスマニュアルの故障診断手順に従って修理作業を行ってください。

燃料ポンプコントロール

この機能には燃料ポンプの「OFF 駆動」、および「ON/OFF 駆動」の2つのモードがあります。

参考:

- この機能を実行する場合、デリバリモードヒューズ(テストモード端子)を接続する必要はありません。
- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。

OFF 駆動

燃料ポンプを OFF させて、燃料配管の残圧抜きに 使用します。

操作は画面の指示に従って行なってください。

注意:

このモードを実行する場合は、アイドリングで行なってください。アクセルペダルを踏み込む等、アイドリング状態でなくなると、このモードが中止され、燃料ポンプが ON になります。

ON/OFF 駆動

燃料ポンプを ON/OFF させ、燃料タンクの燃料抜きに使用します。

操作は画面の指示に従って行なってください。

注意:

燃料タンク内に燃料が無い状態で燃料ポンプを作動させないでください。燃料ポンプを損傷させる恐れがあります。

アイドル点火時期固定

この機能はアイドリング時の点火時期を固定し、「アイドル点火時期補正」を停止することにより、 基本のアイドリング点火時期を確認すること、およびアイドル点火時期制御が正常に行なわれているかを確認することができます。

操作は画面の指示に従って行なってください。

参考:

- この機能を実行する場合、デリバリモードヒューズ(テストモード端子)を接続する必要はありません。
- 点火時期の固定値は車種により異なります。また固定値を変更することはできません。
- このモードに入っている間はエンジン回転数が 変動する場合があります。
- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。

アイドル回転数コントロール

この機能はアイドル回転数を任意の設定値に固定することができます。

操作は画面の指示に従って行なってください。

参考:

- この機能を実行する場合、デリバリモードヒューズ(テストモード端子)を接続する必要はありません。
- アイドル回転数の設定を UP させても、車種・標高などの条件によって、実際のエンジン回転数が UP しない場合があります。
- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。

インジェクタコントロール

この機能には、「噴射停止モード」および「噴射量コントロール」の2つのモードがあります。

参考:

- この機能を実行する場合、デリバリモードヒューズ (テストモード端子) を接続する必要はありません。
- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。

噴射停止モード

任意の気筒のインジェクタを停止させることにより、異常気筒を特定する際に役立てることができます。

操作は画面の指示に従って行なってください。

噴射量コントロール

設定した割合で燃料噴射量を増量することができます。エンジン不調が発生した場合など、空燃比リーンによって発生している問題か否かを調査する場合などに使用できます。

操作は画面の指示に従って行なってください。

注意:

- 燃料噴射量を増量すると、点火プラグに燃料が付着して、エンジン不調を起こすことがありますので注意してください。
- 燃料増量を行なうことによって排気ガスが悪化しますので、長時間使用しないようにしてください。

EGR バルブコントロール

この機能は EGR バルブを設定したステップ数に作動させ、EGR 量を任意に制御することができます。 EGR バルブが正常に作動しているのかどうかを確認する手段として使用できます。

操作は画面の指示に従って行なってください。

参考:

- この機能を実行する場合、デリバリモードヒューズ(テストモード端子)を接続する必要はありません。
- 制御できるステップ数は車種によって異なります。
- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。

オルタネータ制御コントロール

この機能はオルタネータを設定した発電モードで 作動させ、オルタネータおよびバッテリーの不具合 の有無を確認することができます。

操作は画面の指示に従って行なってください。

参考:

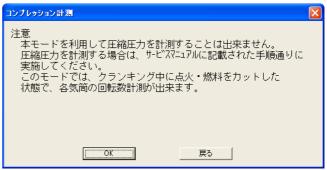
- この機能を実行する場合、デリバリモードヒューズ(テストモード端子)を接続する必要はありません。
- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。

コンプレッション計測

クランキング中の各気筒の回転数を計測すること ができます。

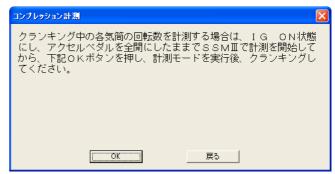
計測の開始

1. 記載内容を確認して、「OK」をクリックします。



SMJ-01514

2. 記載内容を確認して、「OK」をクリックします。



SMJ-01515

3. [実行] ボタンをクリックします。



SMJ-01516

参考:

[実行] ボタンをクリックする際は、イグニッションスイッチを ON の状態(エンジン停止状態)で、アクセルペダルは全開にしてください。

4. 計測が開始されますので、クランキングを開始してください。

参考:

下記画面が表示された場合は、[YES] ボタンをクリックするとメニュー画面に戻ります。

画面の操作指示に従って、再度計測を行ってください。



SMJ-01517



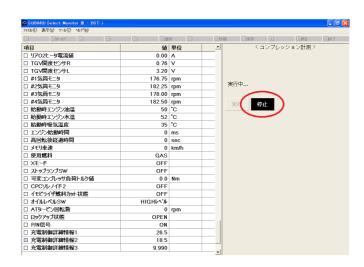
5. クランキング中の各気筒の回転数が表示されます。



SMJ-01519

計測の終了

1. 計測進行中の画面で、[停止] ボタンをクリック します。



SMJ-01520

2. ファンクションキーバーの E かい をクリックするか、PC のファンクションキー F2 を押します。



SMJ-01521

3. ファンクションキーバーの **四終了** をクリックするか、PC のファンクションキー F12 を押します



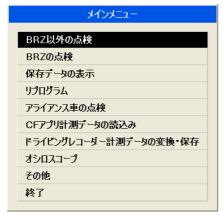
複数システム同時計測

SSM Ⅲに対応する複数の制御システムのコントロールモジュールの入出力データや制御データを、同時に計測することができます。

参考:

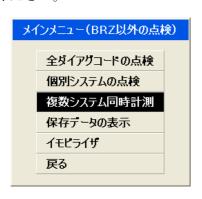
同時計測の対象システムは CAN 通信を使用したもののみです。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「複数システム同時計測」を選択してください。



SMJ-01281

4. システム選択画面が表示されます。一覧表の中から、同時計測の対象とするシステムを選択して、 [OK] をクリックします。

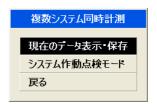


SMJ-01282

参考:

選択できるシステムは、最大3システムまでです。

5. 項目選択画面から目的の項目を選択してください。(ここでは「現在のデータ表示・保存」を選択しています。)



SMJ-01283

6. これ以降の故障診断手順については、「現在の データ表示・保存」項、または「システム作動点 検モード」項を参照してください。

参考:

デジタルデータ画面では、画面左上のシステム選択 ボックスをクリックして、システムを絞って表示させることができます。

Dチェック

この機能を使用すると、画面に表示される指示に 従って操作を実行するだけで、簡単に D チェック モード点検ができます。

D チェックモード点検はコントロールモジュール の自己診断機能の一つです。D チェックモード点検 を行うことで、より積極的にシステムの故障診断を 行うことができます。

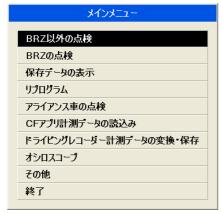
準備

- 1. システムの起動手順に従って、故障診断システムを接続します。
- 2. デリバリモードヒューズ (テストモード端子) を 接続してください。(イグニッションスイッチ OFF)

参考:

車両に搭載されている、ヒューズを使用しないでください。

- 3. イグニッションスイッチを ON にします。
- 4. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- メインメニューで「BRZ 以外の点検」を選択してください。



SMJ-01257

6. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

7. システム選択メニューで「エンジン」を選択してください。



SMJ-00129

8. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



9. 故障診断画面で、「D チェック」を選択してくだ さい。



SMJ-00593

操作確認画面が表示されます。画面表示に従って、 ボタンをクリックしてください。



SMJ-00261

D チェックモード操作指示画面が表示されます。この画面表示に従って、操作をすることで D チェックが行われます。

参考:

- Dチェックを実行するためには、デリバリモード ヒューズ (テストモード端子) を接続する必要が あります。
- 車両に搭載されている、ヒューズを使用しないでください。
- デリバリモードヒューズ (テストモード端子)の 接続と分離は、イグニッションスイッチを OFF にして行ってください。
- 車両を実走行させて D チェックモード点検をする場合、運転中にドライバーは SSMIII およびインターフェースボックスの操作をしないでください。

D チェックモードを始める



SMJ-00262

画面の指示に従ってイグニッションスイッチをON にします。(エンジン停止状態)

次の画面に進むには ボス M ボタンを、前の画面に戻るには 〈 **E** S M ボタンを、**D** チェックを終了するには *トンセル ボタンをクリックします。

チェックエンジンランプの点検



SMJ-00266

チェックエンジンランプが点灯または点滅していることを確認します。

チェックエンジンランプが点灯または点滅していれば、 ボタンをクリックしてください。前の画面に戻るには 〈戻る(B) ボタンを、D チェックを終了するには キャンセル ボタンをクリックします。

参考:

チェックエンジンランプが点灯していない場合は、 サービスマニュアルを参照してチェックエンジン ランプ回路の故障診断を行ってください。

アクチュエータの動作点検



SMJ-00270

フューエルポンプやラジエータファンなど、エンジン制御システムに関連する各種のアクチュエータが正常に作動しているか確認します。

参考:

アクチュエータの動作が異常な場合は、サービスマニュアルを参照して故障診断を行ってください。

スロットルバルブ開度センサ入力信号点検



SMJ-00274

アクセルペダルをゆっくり一杯の位置まで踏み込んでから、戻してください。

エンジン始動



SMJ-00278

エンジンを始動します。

次の画面に進むには ボヘル ボタンを、前の画面 に戻るには 〈 ES ® 」 ボタンを、D チェックを終了 するには * +ャンセル 「ボタンをクリックします。

車速信号点検



SMJ-00282

10km/h (6MPH) 以上の車速で走行します。

注意:

車両を実走行させて D チェックモード点検をする 場合、運転中にドライバーは SSMIII およびイン ターフェースボックスの操作をしないでください。

次の画面に進むには「ボスペルン」ボタンを、前の画面に戻るには 〈 E&B) ボタンを、D チェックを終了するには ・ キャンセル ボタンをクリックします。

O2 センサ点検



SMJ-00286

エンジン回転数を $2000 \sim 3000$ rpm にして、1 分間 以上その状態を維持します。

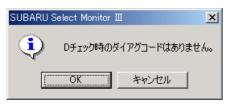
D チェックが終了すると、診断結果が表示されます。

途中で D チェックを終了するには ++ンセル ボタンをクリックします。

D チェックで故障が検出されなかったとき

故障が無い場合は以下のダイアログボックスが表示されます。

[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00287

D チェックモードの終了画面が表示されます。 [終了]ボタンをクリックして点検を終了してください。



SMJ-00289

D チェックで故障が検出されたとき

もし故障が検出された場合は、ダイアグコードが表示されます。

ダイアグコードを確認して、サービスマニュアルの 故障診断手順に従って修理作業を行ってください。

						F8 EDBJ			印練了
⊐- F°	説明·故	章部位							
ダイアグコー	さ数(Dチェッ	り)8個							
P1252	プレーキ負	圧ソレノイ	「系回路	(High)					
P1251	ブレーキ負	圧ルノイ	· 系回路	(Low)					
P1522	電気負荷	信号系	回路						
P1521	ブレーキ信	号系回题	各						
P0720	AT 車速	センサ系	回路						
P1715	プライマリロ	転数信	号系回路	各					
P0705	AT レンジ	ATレンジSW系回路							
P0790	E-Fsw3	谷同路							

SMJ-00290

参考:

D チェック終了後はイグニッションスイッチを OFFにして、デリバリモードヒューズ(テストモー ド端子)を分離してください。

OBD システム

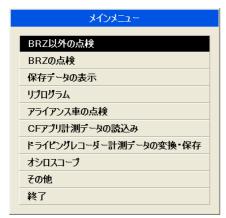
OBD システムの制御パラメータを確認することで、車両の故障診断を行うことができます。

参考:

この機能はOBDシステムを装備していない車両では、実行できません。

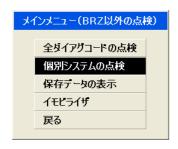
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-00130

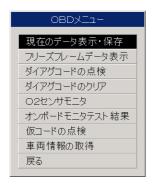
6. 故障診断項目から「OBD システム」を選択して ください。



7. OBD システムの項目選択画面が表示されます。 希望する項目を選択して、マウスをクリックして ください。

参考:

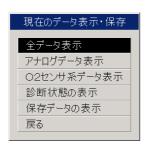
表示画面の内容は、診断を行うシステムによって異なります。



SMJ-00296

現在のデータ表示・保存

OBD メニュー画面で「現在のデータ表示・保存」を選択すると、下の画面が表示されます。

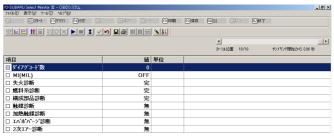


SMJ-00297

この画面に表示されている項目は、それぞれ以下の 内容を含んでいます。

全データ表示

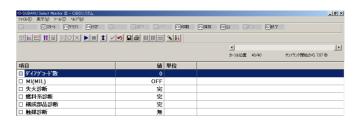
OBD システムの診断結果、診断に必要なコントロールモジュールへの入力信号などを確認することができます。



SMJ-00595

診断状態の表示

OBDシステムの診断結果を確認できます。



SMJ-00596

保存データの表示

SSMIIIのOBDシステムで保存したデータを呼び出して、確認することができます。

ファイルの種類のボックスで「OBD 計測データ (*.obd)」を選択します。

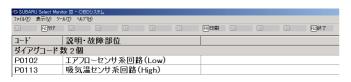


SMJ-00681

ダイアグコードの点検

OBD メニュー画面で「ダイアグコードの点検」を 選択すると、下の画面が表示されます。

この画面では、OBD システムで検出されたダイア グコードを確認することができます。

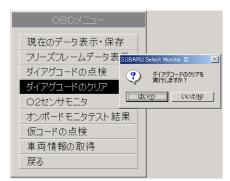


SMJ-00304

ダイアグコードのクリア

OBD メニュー画面で「ダイアグコードのクリア」を選択すると、下の画面が表示されます。

[はい] ボタンをクリックするとコントロールモジュールに記憶されているダイアグコードが消去されます。



SMJ-00305

ダイアグコードのクリアが実行されると、下の画面 が表示されます。

[OK] ボタンをクリックしてください。

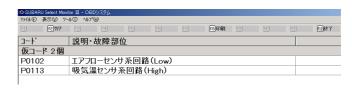


SMJ-00242

仮コードの点検

OBD メニュー画面で「仮コードの点検」を選択すると、下の画面が表示されます。

OBD システムが検出した仮コードが画面に表示されます。



SMJ-00309

エバポリークテスト

注意:

エバポリークテストを実施する場合、事前に OBD メニュー画面で「ダイアグコードのクリア」 を選択し、ダイアグコードをクリアしてください。



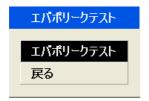
SMJ-01214

ダイアグコードをクリアしたあとは、OBD メニュー画面で「オンボードモニタテスト結果」を選択し、ELCM 関連項目(MID 欄に "\$3C" と表示されています。)の Val. 欄の値が "\$0000"になっていることを確認してください。

MID		TID		Val.	M
\$36		\$8C		\$0000	\$1
Unit ar	nd Scaling ID:	\$9D			
\$3C		\$C1		\$0000	\$1
Unit ar	nd Scaling ID:	\$FE			
\$3C		\$C2		\$0000	\$1
11-14	4 C 1 C	A			

SMJ-01215

- ・エンジンを始動させずに、繰り返しエバポリークテストを実施すると、キャニスターにエバポレーションガス成分が蓄積し、正確に診断できなくなります。5回連続してエバポリークテストを実施した場合は、エンジン暖機後に車速 48km/h 以上の走行を累積 10 分間以上実施して、キャニスターを浄化してください。
- エンジンを始動させずに、繰り返しエバポリークテストを実施すると、バッテリー電圧が低下します。バッテリー電圧の低下に注意して、エバポリークテストを実施してください。
- ・正確な診断結果が得られない、またはエバポリークテストの実施が出来ない恐れがあるため、以下の場合は、エバポリークテストを実施しないでください。
 - 車両が揺れている場合。
 - 燃料残量がフューエルタンク容量の 90%以上 ある場合。
 - ・燃料の給油中、または給油直後の場合。
 - フューエルフィラーキャップを開けている場合。
 - ELCM のコネクタを外している場合。
 - キャニスターを外している場合。
 - ELCM ~キャニスター間のホースを外している場合。
 - ELCM ~キャニスター間のホースを閉塞させている場合。
 - キャニスター~フューエルタンク間のホース を外している場合。
 - キャニスター~フューエルタンク間のホース を閉塞させている場合。
 - キャニスター~ CPC 間のホースを外している 場合。
 - ELCM ~大気フィルタ間のホースを閉塞させている場合。
 - 大気フィルタ~大気開放口間のホースを閉塞 させている場合。
- I. OBD メニュー画面で「エバポリークテスト」を 選択すると、下記画面が表示されます。 「エバポリークテスト」を選択すると、エバポリー クテスト実行画面へ進むことができます。



SMJ-01216

2. エバポリークテスト実行確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01217

参考:

エバポリークテストの実行条件を下記に記載します。

- ・イグニッションスイッチが ON。
- バッテリー電圧が 10.9V 以上。
- ・エンジン水温が 4.4 ℃以上、45 ℃以下。
- ・吸気温が 4.4 ℃以上、50 ℃以下。
- エンジン停止時。
- Dチェックモードになっていない。

上記実行条件を満たしていない場合、下記画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックして、エバポリークテスト実行条件を満たしてから、再度エバポリークテストを実施してください。



SMJ-01218

 下記画面が表示されますので、表示内容を確認 後、[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01219

参考:

上記画面で [OK] ボタンをクリックしても、エバポリークテストは中断されません。

4. OBD メニュー画面で「オンボードモニタテスト 結果」を選択します。



SMJ-01220

5. オンボードモニタテスト結果画面が表示される ので、エバポリークテストが完了するまで、しば らくおまちください。

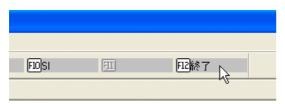
ELCM 関連項目 (MID 欄に "\$3C" と表示されています。) の Val. 欄、および Min. 欄、Max. 欄の値が "\$0000" 以外になると、エバポリークテスト完了を意味します。

MID	TID	Val.	Min.	Max.	Resul
\$36	\$8C	\$0000	\$0000	\$0000	OK
Unit and Scaling II	D: \$9D				_
\$3C	\$C1	\$DCD5	\$8000	\$FC81	OK
Unit and Scaling II	D: \$FE				
\$3C	\$C2	\$DB9C	\$BCF2	\$7FFF	OK
Hait and Caslina II	3. C CC	 			

SMJ-01221

参考:

- エバポリークテストが完了するまで 10 ~ 30 分間を要します。
- 30 分以上経過してもエバポリークテストが完了 しない場合は、途中で実行条件が外れてしまい、 エバポリークテストが中断された可能性があり ます。実行条件を満たしてから、再度エバポリー クテストを実施して下さい。
- 6. エバポリークテスト完了後、[終了]ボタンをク リックします。



SMJ-01222

7. OBD メニュー画面で「仮コードの点検」を選択 します。

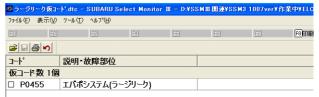


SMJ-01223

注意:

イグニッションスイッチを OFF にすると仮コードがクリアされてしまいます。

8. 仮コードの点検画面が表示されます。

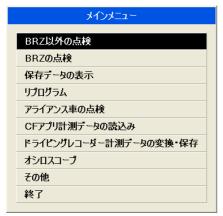


機能チェックシーケンス

ブレーキコントロールシステムの故障診断画面には、機能チェックシーケンスの項目があります。機能チェックシーケンスは ABS システム、VDC システムの油圧制御バルブの動作点検と、VDC システムの舵角センサーの中立位置設定、横 G センサの0点設定を行うことができます。

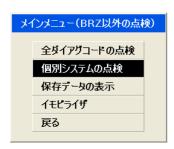
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

システム選択メニューで「ブレーキコントロール」を選択してください。



SMJ-00313

5. ブレーキコントロールシステムの適合確認ダイ アログボックスが表示されます。[OK] ボタンを マウスでクリックしてください。



SMJ-00314

6. 故障診断項目から「機能チェックシーケンス」を 選択してください。



ABS 機能チェックモード

ABS が搭載されている車両で機能チェックシーケンスを選択すると、下の画面が表示されます。 画面指示に従って操作をすれば、ABSの機能チェックモードが自動的に開始されて油圧制御バルブの動作点検が行われます。



SMJ-00316

参考:

- ブレーキペダルは点検が終了するまで踏み続けます。もし途中で放してしまうと正しく点検が行われません。
- この点検はデリバリモードヒューズ(テストモード端子)を接続する必要はありません。
- この点検を行うときは必ずサービスマニュアルを参照してください。

VDC 機能チェックモード

VDC が搭載されている車両で機能チェックシーケンスを選択すると、下の画面が表示されます。 画面指示に従って操作をすれば、VDCの機能チェックモードが自動的に開始されて油圧制御バルブの動作点検が行われます。



SMJ-00535

参考:

- この点検はデリバリモードヒューズ(テストモー ド端子)を接続する必要はありません。
- この点検を行うときは必ずサービスマニュアルを参照してください。

舵角センサー機能中立 & 横 G センサー 0 点設定モード

VDC が搭載されている車両で舵角センサー機能中立 & 横 G センサー 0 点設定モードを選択すると、下の画面が表示されます。

画面指示に従って操作をすれば、舵角センサー機能中立設定と横 G センサー 0 点設定を行うことができます。

参考:

この設定作業を行うときは必ずサービスマニュアルを参照してください。



故障情報表示

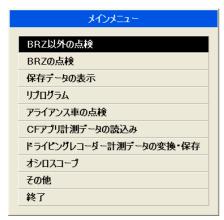
ブレーキコントロールシステムのコントロールモジュールが故障を検出したときの、コントロールモジュールへの入力データおよび、モジュールの制御状態を確認することができます。

参考:

故障情報はメモリクリアを実施しても消去されない場合があります。

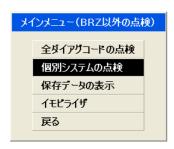
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「ブレーキコントロール」を選択して、[Enter] キーを押すか、マウスの左ボタンをクリックしてください。



SMJ-00313

5. ブレーキコントロールシステムの適合確認ダイ アログボックスが表示されます。[OK] ボタンを マウスでクリックしてください。



SMJ-00314

6. 故障診断項目から「故障情報表示」を選択して [Enter] キーを押すか、マウスの左ボタンをクリックしてください。



7. 故障情報が表示されます。表示画面上部の選択 ボックスで過去3回までの故障検出時点のデータ を選んで表示させることができます。



SMJ-00324

参考:

- コントロールモジュールには常に最新の3つの 故障情報が記憶されます。
- 画面に '?' マークがついたダイアグコードが表示された場合は、故障検出時に故障情報が正しくコントロールモジュールに記憶されなかったことを示します。

パラメータの選択

VDC コントロールモジュールを補用品に交換した場合に、この機能を使用してコントロールモジュールにパラメータの選択・登録を行ないます。

参考:

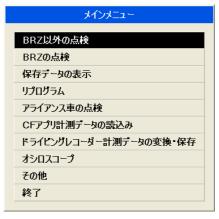
- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。
- 補用品でないコントロールモジュールでは、この 機能は使用できません。
- アプライドモデルによっては、仕向地の確認画面が表示されます。該当する仕向地に応じて、[Yes]または [No] ボタンをクリックしてください。
- アプライドモデルによっては、「モデルNoプレート」に記載されているオプションコード(4 桁)を入力する必要があります。オプションコードが3桁の場合は、頭に"O"をつけて4桁で入力してください。
- アプライドモデルおよびオプションコードの確認は、車両に取り付けてある「モデル No プレート」を参照してください。車両の取り付け場所はサービスマニュアルを参照してください。



SMJ-01171

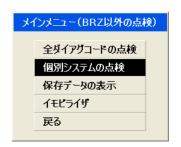
登録手順

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」を選択してください。



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。

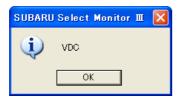


SMJ-01259

4. システム選択メニューでブレーキコントロール を選択してください。



5. 診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



SMJ-00860

6. 故障診断項目から「パラメータの選択」を選択してください。



SMJ-00861

7. アプライドモデルを入力して、[Enter] キーを押します。



SMJ-00862

8. 下記画面が表示されますので、そのままお待ちください。



SMJ-00863

9. 車両情報の確認画面が表示されます。表示された アプライドモデルとグレードが正しいことを確 認して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00864

参考:

万一、このとき表示されたアプライドモデルとグレードが車両と異なる場合は、[OK] をクリック後、再度登録作業を行なってください。

パラメータの確認

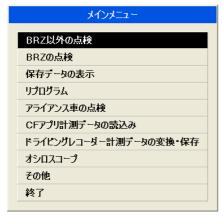
VDC コントロールモジュールに登録してあるパラメータを確認することができます。

参考:

この機能は VDC コントロールモジュールが補用品でなくても使用することができます。

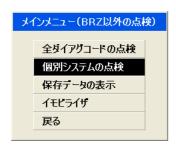
確認手順

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」を選択してください。



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューでブレーキコントロール を選択してください。



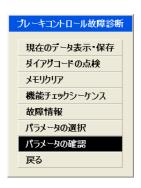
SMJ-00313

5. 診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



SMJ-00860

6. 故障診断項目から「パラメータの確認」を選択してください。



7. パラメータの確認画面が表示されますので、該当 車両の「アプライドモデル」および「グレード」 が含まれていることを確認して、[OK] ボタンを クリックします。

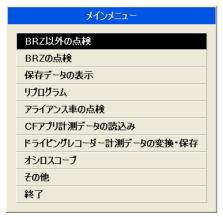


ボディ統合ユニット機能チェック

ボディ統合ユニットが制御しているアクチュエータを強制的に駆動して、それらの作動状態を確認することができます。

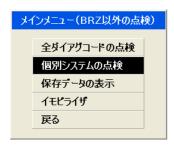
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「統合ユニットモード」 を選択してください。



SMJ-00327

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-00328

6. 統合ユニットモード故障診断から「機能チェック」を選択してください。

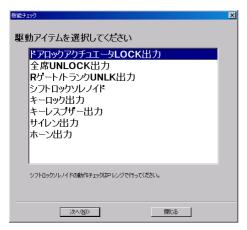


SMJ-00329

表示された選択画面から、点検を行うアクチュエータを選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。

参考:

- 選択画面に表示されているアクチュエータが車 両に装着されていない場合、そのアクチュエータ を選択しても機能チェックは行われません。
- シフトロックソレノイドの動作チェックは、Pレンジで行なってください。



SMJ-00544

選択されたアクチュエータの実行確認画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



SMJ-00333

アクチュエータの強制駆動が行われます。 アクチュエータの作動状態を確認したら[終了]ボタンをクリックしてください。



SMJ-00334

機能チェック終了メッセージが表示されます。 [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00335

機能チェックの結果、アクチュエータに作動不良がある場合、サービスマニュアルを参照して点検修理を行ってください。

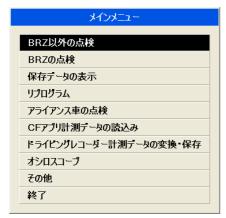
ユニットカスタマイズ

ボディ統合ユニットが制御するアクチュエータの 作動内容、作動時間などの設定を行うことができま す。

注意:

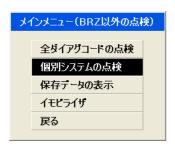
ユニットカスタマイズ機能を使用するときは、必ず サービスマニュアルを参照して設定作業を行って ください。誤った設定をすると、システムの動作不 良などの故障の原因になります。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「統合ユニットモード」 を選択してください。



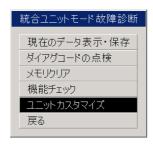
SMJ-00327

参考:

- オートライト/オートワイパのユニットカスタマイズを実施する場合は、上記画面で「オートライト/オートワイパシステム」を選択し、作業を進めてください。
- レイン/ライトセンサーの取り外し、または交換した場合は、上記画面で「オートライト/オートワイパシステム」を選択し、初期設定を実施する必要があります。
- アイドリングストップのユニットカスタマイズ を実施する場合は、上記画面で「アイドリングス トップ」を選択し、作業を進めてください。
- ・コンビネーションメータのユニットカスタマイズを実施する場合は、上記画面で「コンビネーションメータ」を選択し、作業を進めてください。
- 5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



6. 統合ユニットモード故障診断から「ユニットカス タマイズ」を選択してください。



SMJ-00340

表示された選択画面から、設定を行う項目を選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。

参考:

設定作業は必ずサービスマニュアルを参照して 行ってください。誤った設定をすると、アクチュ エータの作動不良などの故障の原因になります。



SMJ-00342

選択された項目のカスタマイズ設定画面が表示されます。希望の設定を選択後、[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00343

設定終了メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00416

制御ユニットの点検結果

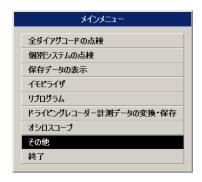
各システムのコントロールモジュールの故障診断結果やエンジンのアイドリング回転数、バッテリ電圧などのデータを、一覧表にして印刷したり保存することができます。この一覧表には、お客様名や車両登録番号などの情報を入力することができます。

参考:

- この機能はエンジンをアイドリング状態にして 実施してください。
- この機能はトラヴィックには対応していません。

一覧の表示方法

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「その他」を 選択してください。



SMJ-00599

3. その他のメニューで「制御ユニット点検結果」を 選択してください。



SMJ-00346

4. 制御ユニット点検結果のメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。

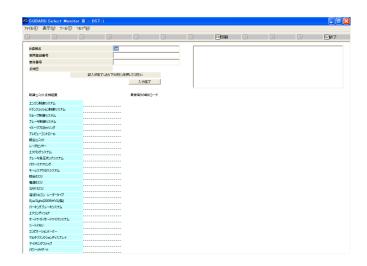


SMJ-01460

5. コントロールモジュールの故障診断結果や、エン ジンのアイドリング回転数などの一覧表が表示 されます。

お客様名 / 車両登録番号 / 車体番号の項目欄を入力してください。

入力内容に誤りがないか確認して、[入力完了] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01461

6. 故障診断を開始する確認ダイアログボックスが表示されます。[はい]ボタンをクリックしてください。



SMJ-00471

7. 下記画面が表示された場合は、画面の操作指示に 従って、[はい]または[いいえ]ボタンをクリッ クしてください。



SMJ-01453

8. 下記画面が表示されますので、そのまましばらく お待ちください。

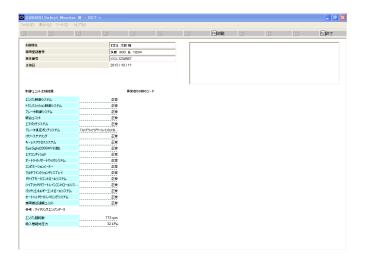


SMJ-01462

9. 故障診断が終了すると、一覧表の空欄にデータが 入力され、同時に保存確認ダイアログボックスが 表示されます。

参考:

- 車種、仕様によって一覧表の一部の項目データが '--' で表示される場合があります。
- 車種、仕様によって一覧表の表示項目が異なります。



SMJ-01465

10.データを保存するときは、保存確認ダイアログ ボックスの[はい]ボタンをクリックしてくださ い。



SMJ-00472

11.「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00682

参考:

- 点検結果ファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。

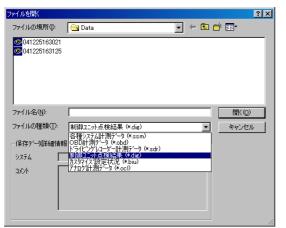
保存したファイルを表示させるには

1. メインメニュー画面より「保存データの表示」を 選択し、クリックします。



SMJ-00587

2.「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。"ファイルの種類"をクリックし「制御 ユニット点検結果(*.dig)」に変更してください。



SMJ-00683

3. 目的のファイルを選択後、[開く] ボタンをクリックすることにより、保存されたファイルを開くことができます。



SMJ-00684

印刷するには

[ファイル]をクリックした後で[印刷]を選択するか、データリストツールバーの**国**アイコン、またはファンクションキーバーの**国印刷** ボタンをクリックしてください。

パソコンのファンクションキー F8 を押しても印刷 することができます。



SMJ-00580

カスタマイズ機能表示

ボディ統合ユニットのカスタマイズ機能の設定状態を一覧表にして印刷および保存することができます。

一覧表には車両登録番号や車体番号などの情報を 入力することができます。

参考:

- 本機能からでは、カスタマイズ設定を変更することはできません。カスタマイズ設定を変更したい場合は、「ユニットカスタマイズ」から行なってください。
- この機能はトラヴィックには対応していません。

一覧表の表示方法

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「その他」を 選択してください。



SMJ-00599

3. その他のメニューで「カスタマイズ設定状況」を 選択してください。



SMJ-00483

4. カスタマイズ設定状況のメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。

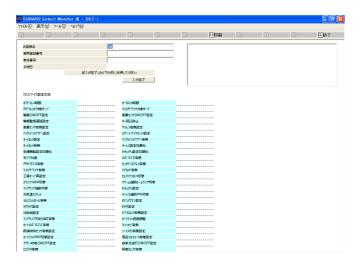


SMJ-01463

5. ボディ統合ユニットのカスタマイズ機能の設定 状態一覧表が表示されます。

お客様名/車両登録番号/車体番号の項目欄を入力してください。

入力内容に誤りがないか確認して、[入力完了] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01464

6. カスタマイズ設定状況を開始する確認ダイアロ グボックスが表示されます。[はい]ボタンをク リックしてください。

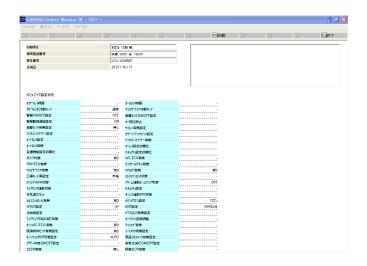


SMJ-00471

7. カスタマイズ設定状況が終了すると、一覧表の空欄にデータが入力され、同時に保存確認ダイアログボックスが表示されます。

参考:

- 車種、仕様によって一覧表の表示項目データが '--' で表示される場合があります。
- 車種、仕様によって一覧表の表示項目が異なります。



SMJ-01468

8. データを保存するときは、保存確認ダイアログ ボックスの[はい]ボタンをクリックしてくださ い。



SMJ-00472

9. 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



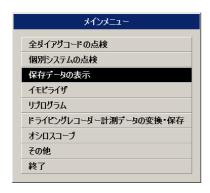
SMJ-00685

参考:

- ・設定状況ファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。

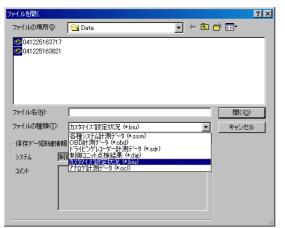
保存したファイルを表示させるには

1. メインメニュー画面より「保存データの表示」を 選択し、クリックします。



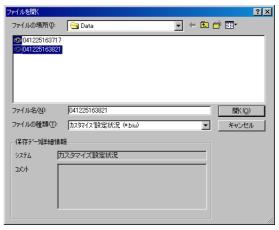
SMJ-00587

2.「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。"ファイルの種類"をクリックし「カスタマイズ設定状況(*.biu)」に変更してください。



SMJ-00686

3. 目的のファイルを選択後、[開く]ボタンをクリックすることにより、保存されたファイルを開くことができます。



SMJ-00687

印刷するには

[ファイル]をクリックした後で[印刷]を選択するか、データリストツールバーの **3**アイコン、またはファンクションキーバーの **10**印刷 ボタンをクリックしてください。

パソコンのファンクションキー F8 を押しても印刷 することができます。



SMJ-00580

EyeSight 診断結果(BRZ 以外)

EyeSight 関連の診断結果を一覧表にして印刷および保存することができます。

一覧表には車両登録番号や車体番号などの情報を 入力することができます。

参考:

この機能はトラヴィックには対応していません。

一覧の表示方法

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「その他」を 選択してください。



SMJ-00599

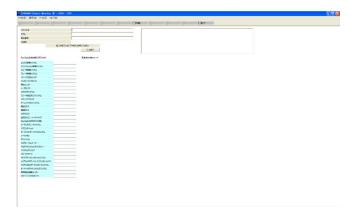
その他のメニューで「EyeSight 診断結果 (BRZ 以外)」を選択してください。



SMJ-01450

4. EyeSight 診断結果の一覧表が表示されます。 メカニック名 / モデル / 車台番号の項目欄を入力 してください。

入力内容に誤りがないか確認して、[入力完了] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01451

5. 画面の指示にしたがって、エンジンを始動し、アイドリング状態にします。 次の画面に進むには[はい]ボタンをクリックしてください。



SMJ-01452

 下記画面が表示された場合は、画面の操作指示に 従って、[はい]または[いいえ]ボタンをクリッ クしてください。



SMJ-01453

 下記画面が表示されますので、そのまましばらく お待ちください。

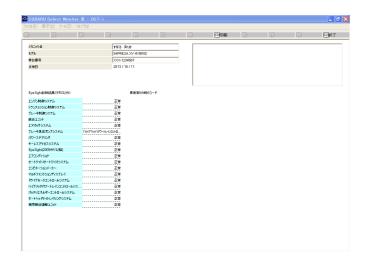


SMJ-01454

8. 故障診断が終了すると、一覧表の空欄にデータが 入力され、同時に保存確認ダイアログボックスが 表示されます。

参考:

車種、仕様によって一覧表の表示項目が異なります。



SMJ-01455

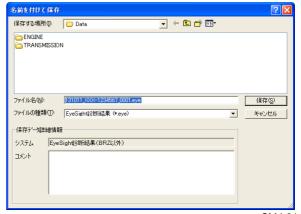
9. データを保存するときは、保存確認ダイアログ ボックスの[はい]ボタンをクリックしてくださ い。



SMJ-01456

10.「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示 されます。

保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



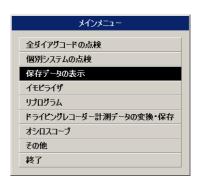
SMJ-01457

参考:

- 点検結果ファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。

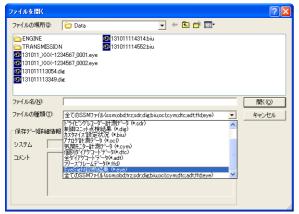
保存したファイルを表示させるには

1. メインメニュー画面より「保存データの表示」を 選択し、クリックします。



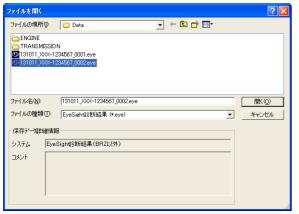
SMJ-00587

2.「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。"ファイルの種類"をクリックし「EyeSight 診断結果(*.eye)」に変更してください。



SMJ-01458

3. 目的のファイルを選択後、[開く]ボタンをクリックすることにより、保存されたファイルを開くことができます。



SMJ-01459

印刷するには

[ファイル]をクリックした後で[印刷]を選択してください。

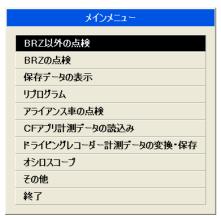


SMJ-00580

インパクトセンサ

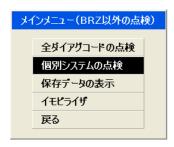
この機能により、セキュリティシステムのインパクトセンサの感度調整を行うことができます。 この作業を行うときは、必ずサービスマニュアルを 参照してください。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「インパクトセンサ」を 選択してください。



SMJ-00720

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-00361

6. 故障診断メニュー画面で、「感度調整モード」を 選択してください。



SMJ-00362

7. 感度調整モード実行確認ダイアログボックスが表示されます。[はい]ボタンをクリックしてください。



参考:

- インパクトセンサの感度は、数字が大きいほど鈍感になります。
- 感度調整が正常に行われなかった場合は、ブザー が 4 回吹鳴されます。



SMJ-00365

9. 感度変更確認ダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。

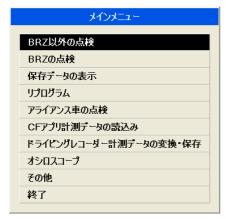


カメラ調整

ADA システムのカメラの調整を行うときに、この機能を使用します。

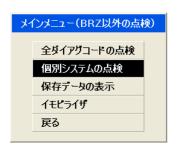
参考:

- ・カメラの調整作業を行うときは、必ずサービスマニュアルを参照してください。
- アイサイトの「カメラ調整・検査」に関しては、 サービスマニュアルを参照してください。
- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニュー画面で、「ADA_ 追従クルコンシステム」を選択してください。



SMJ-01208

5. 項目選択画面から目的のタイプを選択してください。(ここでは「ADA カメラタイプ (2008MY 以前)」を選択しています。)



SMJ-01209

参考:

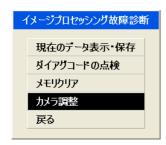
- •「ADA カメラタイプ (2008MY 以前)」 および 「追 従クルコン レーダータイプ」は日本仕様のみサ ポートしています。
- 2010MY 以降のアイサイトで、カメラ調整・検査 を実施する場合は、カメラカバーに装着されている P-CR OFF スイッチおよび LANE OFF スイッチを同時に押しながら「EyeSight(2009MY 以降)」を選択してください。

6. 項目選択画面から「イメージプロセッシング」を 選択してください。



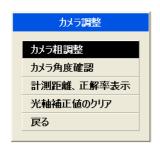
SMJ-01210

7. 故障診断項目から「カメラ調整」を選択してください。



SMJ-01211

8. カメラ調整画面が表示されます。サービスマニュアルの調整手順に従って、カメラの調整・検査作業を行ってください。



SMJ-01212

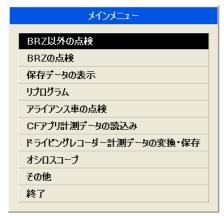
レーダー軸調整 (ADA カメラシステム)

この機能により、ADA カメラシステムのミリ波 レーダーの調整を行うことができます。

参考:

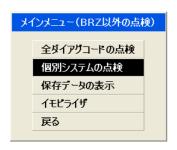
ミリ波レーダーの調整作業を行うときは、必ずサービスマニュアルを参照してください。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニュー画面で、「ADA_ 追従クル コンシステム」を選択してください。



SMJ-01208

5. 項目選択画面から目的のタイプを選択してください。(ここでは「ADA カメラタイプ (2008MY 以前)」を選択しています。)



SMJ-01209

参考:

「ADA カメラタイプ (2008MY 以前)」 および 「追従 クルコン レーダータイプ」 は日本仕様のみサポー トしています。

6. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



7. 故障診断項目から、「現在のデータ表示・保存」を選択してください。



SMJ-00789

8. データ計測画面で、「ターゲット距離」を表示させます。

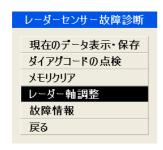


SMJ-00719

参考:

SSMIII に表示されている「ターゲット距離」が 8 m 以下の場合、車両前方にある反射物を移動させてください。

9. 故障診断項目から、「レーダー軸調整」を選択してください。



SMJ-00723

10.レーダー軸調整の確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックして計測を実行します。

画面に表示される軸調整結果にしたがって、ミリ 波レーダーの調整作業を行なってください。調整 作業は必ずサービスマニュアルを参照して行なってください。

レーザー光軸調整(追従クルー ズコントロールシステム)

この機能により、追従クルーズコントロールシステムのレーザーレーダーの調整を行なうことができます。

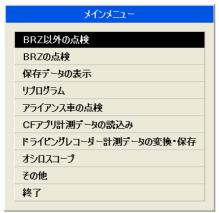
警告:

故障診断項目から「レーザー光軸調整」を選択した後で、光軸調整を完了させずに調整途中で強制終了した場合、コントロールユニットは光軸未調整とみなし、システム異常と判定する。このため、光軸調整を行なう場合は、必ず光軸調整ができる設備・環境を整えてから「レーザー光軸調整」を選択し、必ず作業を完了させること。

参考:

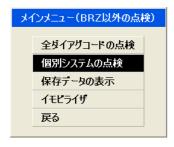
レーザーレーダーの調整作業を行なう時は、必ず サービスマニュアルを参照してください。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニュー画面で、「ADA_ 追従クル コンシステム」を選択してください。



SMJ-01208

5. 項目選択画面から「追従クルコン レーダータイプ」を選択してください。



SMJ-01213

参考:

「ADA カメラタイプ (2008MY 以前)」 および 「追従 クルコン レーダータイプ」 は日本仕様のみサポー トしています。

6. 診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



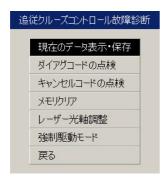
10.レーザー光軸調整の確認画面が表示されますの

で、[OK] ボタンをクリックして計測を実行します。画面に表示される光軸調整結果にしたがっ

て、レーザーレーダーの調整作業を行なってください。 調整作業は必ずサービスマニュアルを参照

して行なってください。

7. 故障診断項目から「現在のデータ表示・保存」を選択してください。



SMJ-01020

8. データ計測画面で、「先行車距離」を表示させます。

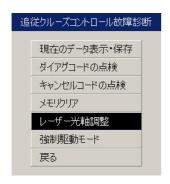
項目	値	単位	最大	最小	平均	2
□ レーダー温度	正常		- 1	191	140	- 8
ロ キャンセル理由フラグ	理由表示なし		-	100	140	
□ READYフラグ	OFF				-	
ロ ブレーキ制御中フラグ	非制御中		-	100	12	
□ LSF40フラグ	OFF		-	190	140	
ロ クルコンセットONフラグ	OFF			100	140	
ロ クルコンメインONフラグ	OFF		-		140	
■ 先行車距離	0.0	m	0.0	0.0	0.0	
□ 相対速度	0.0	m/s	0.0	0.0	0.0	
ロ メッセージカウンタ	4754		4754	4050	4404	
ロ 汚れ検知フラグ	汚れ無し		-	120	140	
ロ 太陽光フラグ	太陽光無し		-		140	
ロ フェールフラグ	正常					
ロレーザー動作フラグ	非作動		-		190	
ロ 上方向軸ずれフラグ	正常		120	100		
ロ 下方向軸ずれフラグ	正常		-	12	140	
ロ 左方向軸ずれフラグ	正常		-		140	
ロ 右方向軸ずれフラグ	正常			100		
□ 先行車ターゲット角度	0.0	deg	0.0	0.0	0.0	
□ 先行車ターゲット幅	0.0	m	0.0	0.0	0.0	
ロョーレート	0.0	deg/s	0.0	0.0	0.0	
□ 車両停止フラグ	停止		-	100	140	
ロレーザー技光フラグ	投光		-	120		
□ 車速	0.0	km/h	0.0	0.0	0.0	

SMJ-01021

参考:

SSMIII に表示されている「先行車距離」が 5m 以下の場合、車両前方にある反射物を移動させてください。

9. 故障診断項目から「レーザー光軸調整」を選択してください。

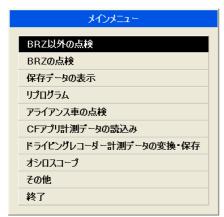


CAN システム異常箇所

CAN システムに何らかの故障がある場合に、その故障箇所を確認することができます。

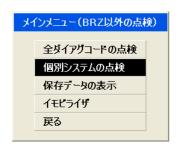
参考:

- 本機能は DTC が記憶される故障についてのみ対応しています。 DTC が記憶されない故障の場合、 異常簡所は表示されません。
- CAN システムの「ダイアグコードの点検」で表示される DTC は、ボディ統合ユニットの「ダイアグコードの点検」で表示される DTC のうち、CAN システム関連のコードのみを表示しています。したがって、CAN システムで表示される DTC は、ボディ統合ユニットからでも確認することができます。
- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「CAN システム」を選択してください。



SMJ-01005

5. 診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



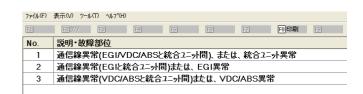
SMJ-01006

6. 故障診断項目から「異常箇所」を選択してください。



SMJ-01007

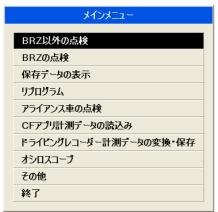
7. 異常箇所が表示されます。



追従クルーズコントロール強制 駆動モード

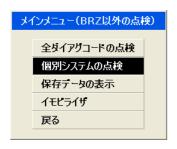
追従クルーズコントロールシステムでは運転者が ブレーキペダルを踏まなくても、システム作動時、 コントロールユニットによってブレーキが自動的 に作動される場合があります。この場合に使用され るブレーキランプを強制的に点灯させることに よって、点灯回路を点検することができます。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「追従クルーズコントロール」を選択してください。



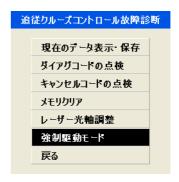
SMJ-01018

5. 診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



SMJ-01019

6. 故障診断項目から「強制駆動モード」を選択して ください。



SMJ-01023

7. 強制駆動モード選択画面が表示されますので、 「ブレーキランプ点灯駆動」を選択してください。



SMJ-01024

8. 強制駆動確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01025

参考:

この時、ブレーキランプは 1 秒間隔で、3 回だけ点灯します。

9. 強制駆動終了確認画面が表示されますので、 [OK] ボタンをクリックし、イグニッション SW を OFF にした後、作業を終了します。



SMJ-01026

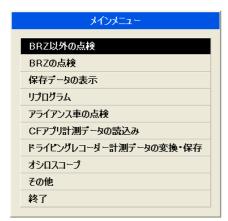
イモビライザの登録(キーレス アクセス & プッシュスタートシ ステムなし)

警告:

- セキュリティ ID および登録コマンドは機密情報 として扱い、部外者に公表しないこと。
- 無線機や自動車電話を取付ける場合は、イモビライザシステムに電波の影響が無いように取付けること。
- ・故障診断中またはイモビライザ登録中に携帯電話や無線機等を操作しないこと。
- イモビライザ登録中に異なるIDのキーをイグニッションスイッチに近づけないこと。イグニッションキーがキーホルダーに付いている場合、診断を実行する前にキーホルダーから外すこと。また、複数のイグニッションキーがキーホルダーなどでつなげられている場合、必ずキーホルダーから外し、1本ずつに分けて作業すること。
- 登録したイグニッションキーでエンジンを始動できない場合、イグニッションキーをイグニッションスイッチから抜き、イモビライザ警告灯が点滅を始めるまで約1秒待ち、再びゆっくりイグニッションキーを回しエンジンを始動すること。

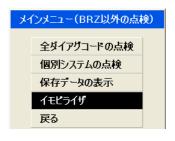
準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「イモビライザ」を選択してください。



SMJ-01260

参考:

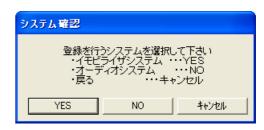
手順 2. で「BRZ の点検」を選択した場合は、「個別システムの点検」を選択したあと、「イモビライザ」を選択してください。

4. 使用するインターフェースボックスを設定します。(ここでは DENSO DST-i を選択しています。)



SMJ-01479

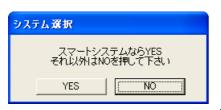
5. システムの選択画面が表示されますので、[YES] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01090

参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。 6. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[NO] をクリックしてください。

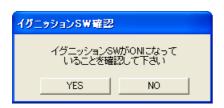


SMJ-01067

参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

7. 下記の画面が表示されますので、イグニッション スイッチが ON になっていることを確認して 「YES」をクリックします。



SMJ-01009

8. 適合確認ダイアログボックスが表示されます。 [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00867

9. コマンドを入力して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00433

参考:

メインメニュー画面に戻る場合は[終了]ボタンをクリックしてください。

10.登録モード実行確認画面が表示されますので、 [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00434

11.セキュリティ ID を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00435

12.セキュリティ ID の照合が行なわれますので、そ のままお待ちください。



SMJ-00436

13.キー登録実行確認画面が表示されますので、 [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00441

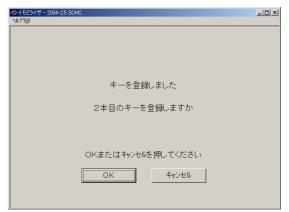
14.キーの登録が行なわれますので、そのままお待 ちください。



SMJ-00437

15.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。

他にも登録するキーがあるときは [OK] ボタンを クリックします。他に登録するキーが無いときは [キャンセル] ボタンをクリックして、手順 26 に 進みます。

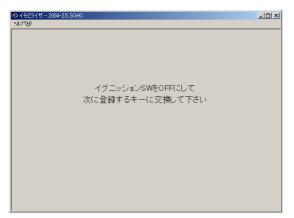


SMJ-00438

16.イグニッションスイッチを OFF にして、登録するキーに交換します。

参考:

キーの交換作業は30秒以内に行なってください。



SMJ-00439

17.イグニッションスイッチを OFF にすると下記画 面が表示されます。登録したいキーをキーシリン ダに挿入して、イグニッションスイッチを ON に してください。



SMJ-00440

18.キー登録実行確認画面が表示されますので、 [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00441

19.キーの登録が行なわれますので、そのままお待ちください。



SMJ-00442

20.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。

他にも登録するキーがあるときは [OK] ボタンを クリックします。他に登録するキーが無いときは [キャンセル] ボタンをクリックして、手順 26 に 進みます。



SMJ-00443

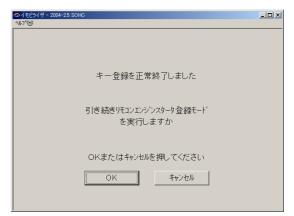
- 21.手順 18~21 と同様の作業を行ないます。
- 22.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。

他にも登録するキーがあるときは [OK] ボタンを クリックします。他に登録するキーが無いときは [キャンセル] ボタンをクリックして、手順 26 に 進みます。



SMJ-00444

- 23.手順 18~21 と同様の作業を行ないます。
- 24.リモコンエンジンスタータ登録モード実行確認 画面が表示されます。
- 25.実行する場合は [OK] ボタンをクリックします。 実行しない場合は [キャンセル] ボタンをクリッ クして、手順 29 に進みます。



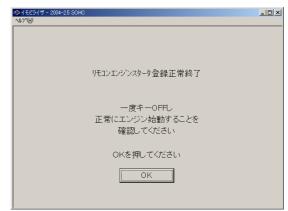
SMJ-00445

26.リモコンエンジンスタータの登録が行なわれますので、そのままお待ちください。



SMJ-00446

27.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



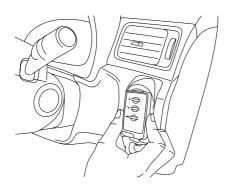
SMJ-00447

28.イモビライザシステムおよびリモコンエンジン スタータが正常に作動することを確認後、登録作 業を終了します。

イモビライザの登録(キーレス アクセス & プッシュスタートシ ステムあり)

警告:

- セキュリティ ID および登録コマンドは機密情報 として扱い、部外者に公表しないこと。
- 無線機や自動車電話を取付ける場合は、携帯機に 電波の影響が無いように取付けること。
- ・ 故障診断中または携帯機登録中に携帯電話や無線機等を操作しないこと。
- イモビライザの登録作業にはプッシュエンジンスイッチに携帯機をかざす操作が含まれる。その操作を行なう際は以下に注意すること。
 - 1) バッテリー電圧が 11V 以上あることを確認して、各モードを実行すること。
 - 2) 車内に持ち込む携帯機は 1 本だけとする。追加登録等で、複数の携帯機を所持する場合は、登録する携帯機以外は車外に出した状態で登録すること。
 - 3) 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際、携帯機を2個以上重ねず、必ず分けて1個ずつで行なうこと。(携帯機がキーホルダーに付いている場合、作業前にキーホルダーから外すこと。)
 - 4) 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす 時、下記のように携帯機をプッシュエンジン スイッチに近接させること。



SMJ-01126

- (1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。
- (2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンスイッチ側にする。
- (3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで 近づける。

また、キーレスアクセス&プッシュスタートシステム装着車両の部品を交換する際、「携帯機」、「照合コントロールユニット」、「ID コード BOX」、

「ステアリングロックコントロールユニット」、「ボディ統合ユニット」の各部品は、必ず新品を使用し、絶対に中古部品と交換しないこと。中古部品を使用した場合、各部品の内部が損傷する恐れがある。

中古部品と交換不可の部品				
(下記のイラストは一例です。各部品の形状は車 種によって異なります。)				
• 携帯機	1 a a a a a a a a a a a a a a a a a a a			
	SMJ-01225			
・照合コントロールユニット				
・ID コード BOX	SMJ-01226			
	SMJ-01227			
・ステアリングロックコントロールユニット	SMJ-01228			
ボディ統合ユニット				
	SMJ-01229			

- 登録した携帯機でエンジンを始動できない場合、 イモビライザ警告灯が点滅を始めるまで約1秒 待ち、再び登録した携帯機でエンジンを始動する こと。
- キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が誤作動を起こす可能性があるため、携帯機およ び受信機アンテナの周辺 10cm 以内に PC を置か ないこと。

参考:

- 携帯機、照合コントロールユニット、ボディ統合 ユニット、コンビネーションメータを交換した場合は「スマートイモビライザの登録」を行ってく ださい。
- ステアリングロックコントロールユニットを交換した場合は「スマートコントロールユニットの登録」を行ってください。
- ID コードBOX交換時には、「スマートコントロールユニットの登録」、「エンジンコントロールユニットの登録」の順番で各登録を行ってください。
- エンジンコントロールユニットを交換した場合は「エンジンコントロールユニットの登録」を 行ってください。
- 電源コントロールユニット、ゲートウェイコントロールユニットを交換した場合は、イモビライザ登録の必要はありません。
- イグニッションを ON する場合は、ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを 2回押してください。電源の状態は、プッシュエンジンスイッチを1回押すごとに、ACC-ON、IG-ON、OFF、ACC-ON・・・と遷移します。
- エンジン始動の際、AT車の場合はブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュエンジンスイッチを1回押してください。MT車の場合はクラッチペダルを踏んだ状態で、プッシュエンジンスイッチを1回押してください。
- 下記の作業を行なう際は、「リモコンエンジンスタータの登録」を行ってください。
 - 1) リモコンエンジンスタータの取り付け
 - 2) リモコンエンジンスタータの交換
 - 3) リモコンエンジンスタータ装着車両の照合コントロールユニット交換
- ボディ統合ユニットおよびコンビネーションメーターの交換時には、「スマートイモビライザの登録」を行ってください。
- 携帯機を紛失した場合は、「携帯機の ID を消去する」を行なってください。なお、全ての携帯機を紛失した場合は、「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム 部品故障時の対応一覧」

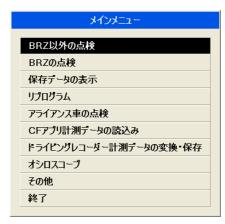
を参照してください。室内アンテナのコネクタ接触不良などが原因で正常に登録できない場合があります。この場合はキーレスアクセス室内アンテナ(フロント)のコネクタ接触不良などを修理してからイモビライザの登録を行なってください。(イモビライザの登録ではキーレスアクセス室内アンテナ(フロント)のみを使用して登録を行なっています。)

スマートイモビライザの登録

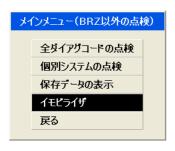
キーレスアクセス & プッシュスタートシステム搭載車のイモビライザの登録ができます。

参考:

- 2012MY 以降でセキュリティータグ無しのモデルに関しては、別冊子「イモビライザー登録マニュアル」を参照してください。
- 下記手順は携帯機の追加登録時の場合です。追加または交換部品によっては、下記手順で記載した表示画面およびブザー吹鳴回数に違いがあります。その場合は、表示画面の指示にしたがって作業を行ってください。
- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



3. 項目選択画面から「イモビライザ」を選択してください。



SMJ-01260

参考:

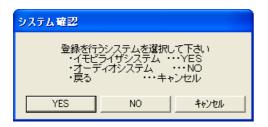
手順 2. で「BRZ の点検」を選択した場合は、「個別システムの点検」を選択したあと、「イモビライザ」を選択してください。

4. 使用するインターフェースボックスを設定します。(ここでは DENSO DST-i を選択しています。)



SMJ-01479

5. システムの選択画面が表示されますので、[YES] ボタンをクリックしてください。

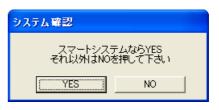


SMJ-01090

参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。

6. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[YES]をクリックしてください。



SMJ-00967

参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

7. コマンドを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

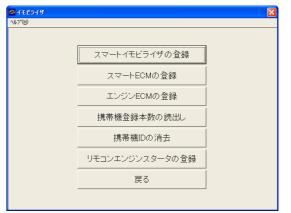


SMJ-00968

参考:

メインメニュー画面に戻る場合は [終了] ボタンを クリックしてください。

8. 登録モード選択画面が表示されますので、[スマートイモビライザの登録]ボタンをクリックします。



SMJ-01068

9. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00969

10.セキュリティ ID を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00970

11.セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。



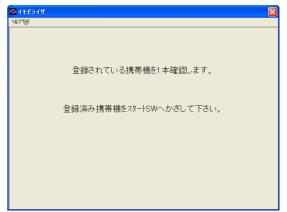
SMJ-00971

12.続いてスマートイモビライザの登録処理が行われますので、そのままお待ちください。



SMJ-00972

13.登録済み携帯機の確認画面が表示されますので、すでに登録されている携帯機のうち 1 本をプッシュエンジンスイッチへかざしてください。ブザーが1回吹鳴したら、携帯機をプッシュエンジンスイッチから離し、次の手順に進んでください。

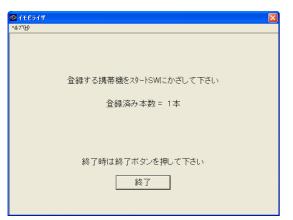


SMJ-00973

参考:

- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際は下記のように携帯機をプッシュエンジンスイッチに近接させてください。
 - 1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。
 - 2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンス イッチ側にする。
 - 3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで近づける。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから30秒以内に行ってください。

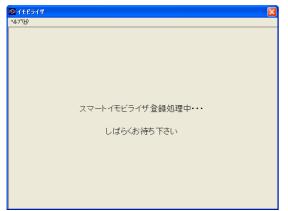
14.携帯機登録の実行画面が表示されますので、追加登録したい携帯機 1 本をプッシュエンジンスイッチにかざしてください。



SMJ-00974

参考:

- ブザーが 2 回吹鳴したら、携帯機をかざす作業 は終了ですが、作業後 10 秒間は携帯機を車内 (セレクトレバー付近)で保持してください。
- ・次の携帯機の登録時には、先に登録した携帯機を 車内に置かないでください。
- 全ての携帯機の登録が完了するまで「終了」ボタンをクリックしないでください。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから30秒以内に行ってください。
- *15*.携帯機の登録が行われますので、そのままお待ちください。

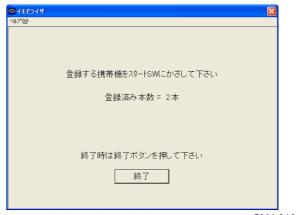


SMJ-00975

16.登録が正常に終了すると下記画面のように「登録済み本数」が1本増えます。

他にも登録する携帯機があるときは、手順 12 ~ 13 と同様に登録作業を行ってください。

他に登録する携帯機が無いときは [終了] ボタン をクリックして、手順 15 に進みます。



SMJ-01010

17.下記の画面が表示されますので、プッシュエンジンスイッチの電源を OFF にします。次に運転席のドアを開閉してください。



SMJ-01127

18.下記の画面が表示されますので、イグニッションを ON にしてください。



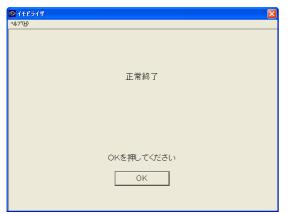
SMJ-00977

19.エンジンコントロールユニットへの登録が行われますので、そのままお待ちください。



SMJ-00978

20.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01003

21.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が正常に作動することを確認後、登録作業を終了します。

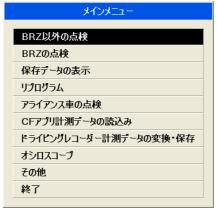
スマートコントロールユニットの登録

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに スマート関連コントロールユニットの登録ができ ます。

参考:

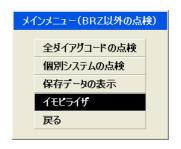
2012MY 以降でセキュリティータグ無しのモデルに関しては、別冊子「イモビライザー登録マニュアル」を参照してください。

1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「イモビライザ」を選択してください。

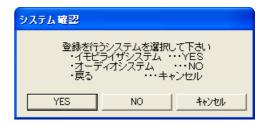


SMJ-01260

参考:

手順 2. で「BRZ の点検」を選択した場合は、「個別システムの点検」を選択したあと、「イモビライザ」を選択してください。

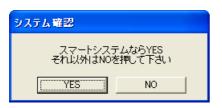
4. システムの選択画面が表示されますので、[YES] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01090

参考

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。 5. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[YES]をクリックしてください。



SMJ-00967

参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

6. コマンドを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

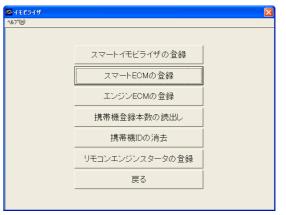


SMJ-00968

参考:

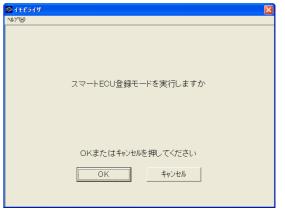
メインメニュー画面に戻る場合は [終了] ボタンを クリックしてください。

7. 登録モード選択画面が表示されますので、[スマート ECM の登録] ボタンをクリックします。



SMJ-01069

8. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 「OK」ボタンをクリックします。



SMJ-00992

9. セキュリティ ID を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



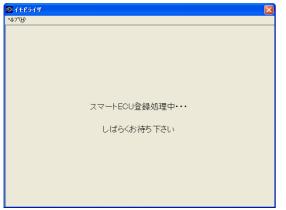
SMJ-00970

10.セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。



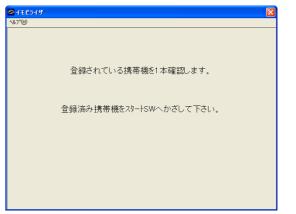
SMJ-00971

11.続いてスマートコントロールユニットの登録処理が行われますので、そのままお待ちください。



SMJ-00995

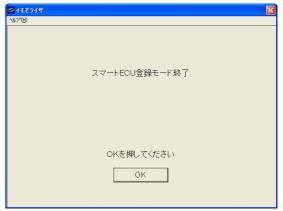
12.登録済み携帯機の確認画面が表示されますので、すでに登録されている携帯機のうち 1 本をプッシュエンジンスイッチへかざしてください。ブザーが1回吹鳴したら、携帯機をプッシュエンジンスイッチから離し、次の手順に進んでください。



SMJ-00973

参考:

- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際は下記のように携帯機をプッシュエンジンスイッチに近接させてください。
 - 1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。
 - 2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンス イッチ側にする。
 - 3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで近づ ける。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから 30 秒以内に行ってください。
- 13.自動的にスマートコントロールユニットの登録が行われ、登録が正常に終了すると下記の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



SMJ-00997

14.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が正常に作動することを確認後、登録作業を終了 します。

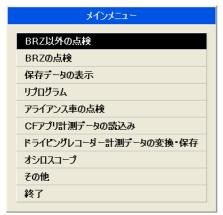
エンジンコントロールユニットの登録

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに エンジンコントロールユニットの登録ができます。

参考:

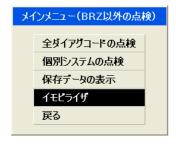
2012MY 以降でセキュリティータグ無しのモデルに関しては、別冊子「イモビライザー登録マニュアル」を参照してください。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「イモビライザ」を選択してく ださい。

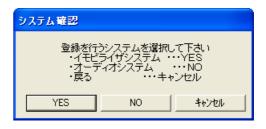


SMJ-01260

参考:

手順 2. で「BRZ の点検」を選択した場合は、「個別システムの点検」を選択したあと、「イモビライザ」を選択してください。

4. システムの選択画面が表示されますので、[YES] ボタンをクリックしてください。

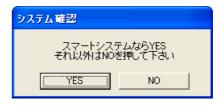


SMJ-01090

参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。

5. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[YES]をクリックしてください。



SMJ-00967

参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

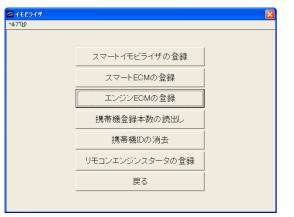
6. コマンドを入力して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00968

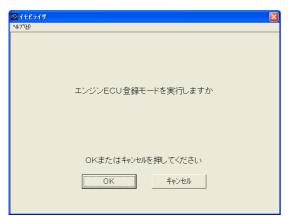
参考:

メインメニュー画面に戻る場合は [終了] ボタンを クリックしてください。 7. 登録モード選択画面が表示されますので、[エンジン ECM の登録]ボタンをクリックします。



SMJ-01070

8. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 「OK」ボタンをクリックします。



SMJ-00999

9. セキュリティ ID を入力して、[OK] ボタンをク リックします。



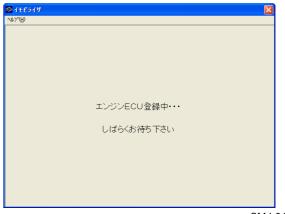
SMJ-00970

10.セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。



SMJ-00971

11. 続いてエンジンコントロールユニットの登録処 理が行われますので、そのままお待ちください。



SMJ-01002

12.登録が正常に終了すると下記画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします



SMJ-01003

13.下記の画面が表示された後、メインメニュー画面に戻りますので、そのままお待ちください。



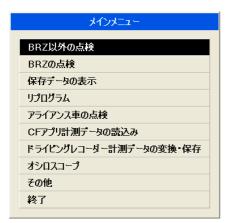
SMJ-01004

14.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が正常に作動することを確認後、登録作業を終了します。

携帯機登録本数の読出し

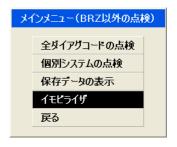
現在車両に登録されている携帯機の本数を読み出すことができます。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「イモビライザ」を選択してく ださい。

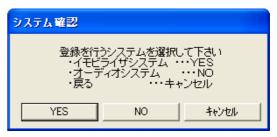


SMJ-01260

参考:

手順 2. で「BRZ の点検」を選択した場合は、「個別システムの点検」を選択したあと、「イモビライザ」を選択してください。

4. システムの選択画面が表示されますので、[YES] ボタンをクリックしてください。

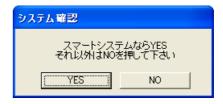


SMJ-01090

参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になります。

5. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[YES]をクリックしてください。



SMJ-00967

参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

6. コマンドを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

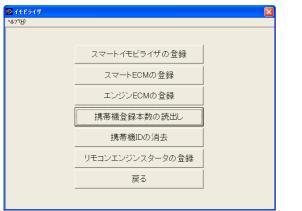


SMJ-00968

参考:

メインメニュー画面に戻る場合は [終了] ボタンを クリックしてください。

7. 登録モード選択画面が表示されますので、[携帯機登録本数の読出し] ボタンをクリックします。



SMJ-01071

8. 携帯機登録本数読出しモードの実行確認画面が 表示されますので、[OK] ボタンをクリックしま す。



SMJ-00982

9. 現在の携帯機登録本数が表示されます。[OK] ボタンを押すとメインメニュー画面に戻ります。



SMJ-00983

携帯機の ID を消去する

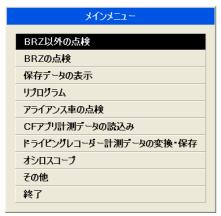
キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに 登録された携帯機の ID を、1 つを残して消去できます。

参考:

この機能で、携帯機の ID をすべて消去することは できません。プッシュエンジンスイッチにかざした 携帯機のみ ID が残ります。

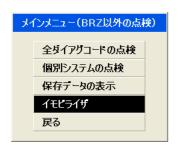
1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。

2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「イモビライザ」を選択してく ださい。

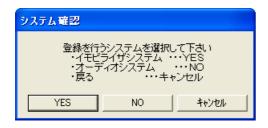


SMJ-01260

参考:

手順 2. で「BRZ の点検」を選択した場合は、「個別システムの点検」を選択したあと、「イモビライザ」を選択してください。

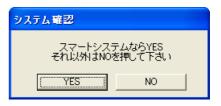
4. システムの選択画面が表示されますので、[YES] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01090

参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。 5. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[YES]をクリックしてください。



SMJ-00967

参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

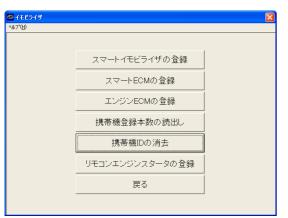
6. コマンドを入力して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00968

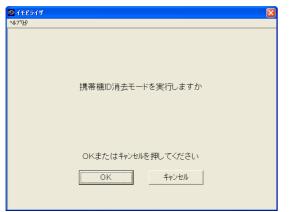
参考:

メインメニュー画面に戻る場合は [終了] ボタンを クリックしてください。 7. 登録モード選択画面が表示されますので、[携帯機 ID の消去] ボタンをクリックします。



SMJ-01072

8. 携帯機 ID 消去モード実行確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00984

9. セキュリティ ID を入力して、[OK] ボタンをク リックします。



10.セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。



SMJ-00971

11.続いて携帯機 ID 消去処理が行われますので、そのままお待ちください。



SMJ-00987

12.登録済み携帯機の確認画面が表示されますので、すでに登録されている携帯機のうち、IDを 残したい携帯機を1本プッシュエンジンスイッチ へかざしてください。

ブザーが1回吹鳴したら、携帯機をプッシュエンジンスイッチから離し、次の手順に進んでください。



SMJ-00988

参考:

- プッシュエンジンスイッチにかざした携帯機の み ID が残ります。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際 は下記のように携帯機をプッシュエンジンス イッチに近接させてください。
 - 1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。
 - 2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンス イッチ側にする。
 - 3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで近づける。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから 30 秒以内に行ってください。

13.携帯機IDの消去が正常に終了すると下記画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00989

14.ID を残した携帯機を使用して、キーレスアクセス & プッシュスタートシステムが正常に作動することを確認後、作業を完了します。

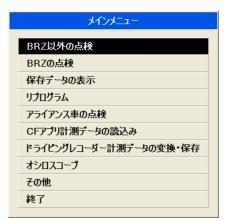
リモコンエンジンスタータの登録

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに リモコンエンジンスタータを登録できます。

参考:

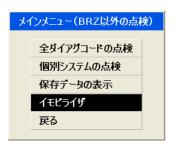
2012MY 以降でセキュリティータグ無しのモデルに関しては、別冊子「イモビライザー登録マニュアル」を参照してください。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「イモビライザ」を選択してく ださい。

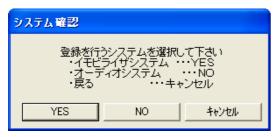


SMJ-01260

参考:

手順 2. で「BRZ の点検」を選択した場合は、「個 別システムの点検」を選択したあと、「イモビライ ザ」を選択してください。

4. システムの選択画面が表示されますので、[YES] ボタンをクリックしてください。

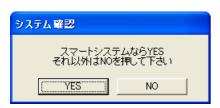


SMJ-01090

参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。

5. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、「YES]をクリッ クしてください。



SMJ-00967

参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、 本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッ シュスタートシステム」と同義です。

6. コマンドを入力して、[OK] ボタンをクリックし ます。



SMJ-00968

参考:

メインメニュー画面に戻る場合は [終了] ボタンを クリックしてください。

7. 登録モード選択画面が表示されますので、[リモ コンエンジンスタータの登録]ボタンをクリック します。



SMJ-01073

8. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01012

9. セキュリティ ID を入力して、[OK] ボタンをク リックします。



SMJ-00970

10.セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。



SMJ-0971

11.続いてリモコンエンジンスタータの登録処理が 行われますのでそのままお待ちください。



SMJ-01016

12.リモコンエンジンスタータの登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01017

13.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム およびリモコンエンジンスタータが正常に作動 することを確認後、登録作業を終了します。

部品故障時の対応一覧 キーレスアクセス&プッシュスタートシステム

注意: 部品交換する場合は、必ず新品を使用し、絶対に中古部品と交換しないこと。 中古部品を使用した場合、各部品の内部が損傷する恐れがある。

	・ボディ統合ユニット		SMJ-01229
よって異なります。)	・ステアリングロックコントロールユニット		SMJ-01228
中古部品と交換不可の部品(下記のイラストは一例です。各部品の形状は車種によって異なります。)	· ID = - F BOX		SMJ-01227
中古部品と交換不可の笥	・照合コントロールユニット	The Inches In	SMJ-01226
Ī	· 携带機		SMJ-01225

SSM 耳聋像毛一下聪明

ホ ト ぶ 名	ななる	用意する物1	用意する物2	金
スマートイモビライザの登録	携帯機の追加登録時や照合コントロールコニット、ボディ統合コニット、コンピネーション メージ交換時に行っ。(集件機は7本まで発展可能)	セキュリティID	登録済携帯機が1本必要	[照合コントロールユニット]交換時は、登録済み携帯機が全数必要になる
スマートコントロールユニットの登録	スマートコントロールユニットの登録 IDコード BOX またはステアリングロックコントロールユニットを交換した場合に行う。	セキュリティID	登録済携帯機が1本必要	
携帯機IDの消去	携帯機IDを1本残して、全て消去する。(1本はモードを実行する際に必要)	セキュリティID	登録済携帯機が1本必要	
エンジンコントローアコニットの登録	エンジンコントロールユニットと ID コード BOX 間の登録を行う。	セキュリティID		「エンジンコントローケコニット」以外が影響液みでなければ、本キードは実施できない。
リモコンエンジンスタータの登録	リモコンエンジンスタータを装着した場合に行う。	セキュリティID		

※スマートイモビライザの登録には、ステアリングロックの初期化作業、エンジンコントロールコニットの登録も含まれます。

イグニッションスイッチが OFF の状態、および全席ドアが閉じた状態ではボディ統合ユ その場合 ◎印は、故障していないが盗難防止上、交換が必要な部品です。(※1, ※2) 各登録作業を実施する際は、イグニッションスイッチが ON の状態、および運転席ドアを開けた状態にしてくさい。イグニッションスイッチが OFF の状態、および全席ドアが閉じた状態ではボデニットがスリーブモードになり、各登録作業が実施できなくなります。 ニットがスリーブモードになり、各登録作業が実施できなくなります。 照合コントロールユニット交換後に、スマートイモビライザの登録を実施していない状態でイグニッションスイッチを 10 回 ON/OFF すると、イグニッションスイッチを ON できなくなります。・ は、運転席ドアを開けた状態にして、スマートイモビライザの登録を実施してください。(この場合はイグニッションスイッチが OFF の状態でもスマートイモビライザの登録実施は可能です)

<故障/紛失した部品が1個の場合

			ı							
		処置手順 5								
		処置手順4								
部品交換後の処置		処置手順3								
		処置手順 2	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯 機を追加したい場 合)	(* 4)	(* 4)	ステアリングロック 初期化作業 (※2)	Hンジンコントロー ルコニットの登録実 施			
		处置手順 1	携帯機ID の消去実施 (故障/紛失した 携帯機のID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※1)	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートコントロー ルコニットの登録実 施	スマートコントロー アコニットの登録実 施	ドンジンコントロー アコニットの発験実 施	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートイモビライ ザの登録実施
		1 4 7 × 7 + 2 1 7 1 7 ×								0
出級		ボ続 ニケクシャ ユト							0	
寛が必要な		H 7 \						0		
奏または用:		BOX BOX		0			0			
左記部品故障時、交換または用意が必要な部品	ステア	シロコロユ / シソーニャ グクトイッ				0				
左配部品	V	ボンロゴー ロイイン		0	0					
		装	受録済携帯 機 1 本	登録したい 携帯機全数	登録済携帯 機全数	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本		登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本
		u * ? × ソ * □ ハ								0
		ボ続 ニ デ 合 ッ イ ユ ト							0	
		H						0		
ことが部品		ID ID BOX					0			
故障/紛失した部品		シロコロユ ンッソーニト グクトバッ				0				
	V 8344	ボンロュート シー・			0					
	携帯機	産産 大谷線 大谷線		0						
	携	旧 も り か か	0							

 1. 携帯機を全て故障/紛失した場合は、「照合コントロールユニット」、「IDコードBOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 2. 「照合コントロールユニット」を交換した場合に、登録済携帯機が全数揃ってない場合は「IDコードBOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 3. ステアリングロック初割化作業:イグニックションスイッチを OFF にして運転席ドアを開閉もしくは閉開した後、約 10 秒待ってステアリングがロックされていれば初期化は完了しています。
 4. リモコンエンジンスタータが装着されている車両で「照合コントロールコニット」を交換して場合は、リモコンエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 5. スマートイモビライザの登録作業はそのままでは実施できません。新品のボディ統合ユニットをご用意の上、株式会社S U B A R U 国内サービス部・サービス部・サービス部の携帯機を追加登録できません。
 5. 照合コントロールユニット交換後、必ず登録済の携帯機全数を、初回の「スマートイモビライザの登録」で登録してください。マスター携帯機1本のみを登録した場合は、登録済の携帯機を追加登録できません。
 6. 配の未登録携帯機ならば追加登録できます。)

〈故障/紛失した部品が2個の場合〉

		処置手順 5																	
		処置手順 4		スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯 機を追加したい 場合)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯 機を追加したい場合)														
部品交換後の処置		处置手順3		携帯機ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機のID を消去)	携帯機ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機のID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯 機を追加したい場合)													
		処置手順 2	(*4)	ステアリングロック 初期化作業 (※3)	ドングンコントロー アリコットの発験実 語	ドンジンコントロー ルコニットの登録実 施	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯 機を追加したい場合)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯 機を追加したい場合)	(※4)	(※4)	(※4)	(※4)	((※4)	(※4)	(※4)	(※4)	(※4)	(* 4)
		処置手順 1	スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 2) (※ 6)	スマートコントロー ルコニットの登録実 施	スペートコントロー ルコニットの登録実 施	携帯機IDの消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	携帯機ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	携帯機 ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※1)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 6)					
		コンド ツォー メータ						0						0					0
問問		ボディ ごット ニット					0						0					0	
交換または用意が必要な部品		7 7 7 1 7 7 7 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7				0						0					0		
ほたは用		D □ □ ⊢ BOX	0		0				0	0	0	0	0	0		0			
	アナア	ロコロユ		0						0					0				
左記部品故障時、	<	ボンロリー アー・	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		携帯機	登録済 携帯機全数	磁銀済携帯 機 1 本	登録済携帯 機 1 本	登録済携帯 機 1 本	登録済携帯 機 1本	登録済携帯 機 1本	登録したい携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録済携帯 機全数	登録済携帯 機全数	登録済携帯 機全数	登録済携帯 機全数	登録済携帯 機全数
		コネッ× ソー・ リーンタ						0						0					0
		ボ雑ニアウン					0						0					0	
		1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7				0						0					0		
こと部品		D □ − ⊨ BOX			0						0					0			
故障/紛失した部品	アナイン	リロコロユッシンーニト		0						0					0				
	< E	誰 ンロリー・	0						0						0	0	0	0	0
	:機	全て故 職/紛 失							0	0	0	0	0	0					
	携帯機	正常な もの有 り	0	0	0	0	0	0											

※1. 携帯機を全て故障/紛失した場合は、「照合コントロールユニット」、「ID コードBOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※2. 「照合コントロールユニット」を交換した場合に、登録済携帯機が全数揃ってない場合は「ID コードBOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※3. ステアリングロック初期化作業: イグニッションスイッチを OFFにして運転席ドアを開閉もしくは閉開した後、約 10 秒待ってステアリングがロックされていれば初期化は完了しています。
 ※3. ステアリンメンスタータが装着されている車両で 間合コントロールユニット」を交換した場合は、カモンエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 ※4. リモコンエンジンスタータが装着されている車両できません。新品のボディ統合ユニットをご用意の上、株式会社SUBARU 国内サービス部 サービス窓口担当者までご連絡ください。
 ※6. 照合コントロールユニット交換後、必ず登録済の携帯機全数を、初回の「スマートイモビライザの登録して登録してください。マスター携帯機1本のみを登録した場合は、登録済の携帯機を追加登録できません。
 (新品の未登録構帯機ならば追加登録できます。)

		処置手順 5										
		処置手順 4										
部品交換後の処置		処置手順3	ドングンコントロー アリニットの登録実 施	Hングンコントロー アコニットの登録実 施								
		処置手順 2	ステアリングロック 初期化作業 (※3)	ステアリングロック 初期化作業 (※3)	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートイモビライ ザの登録実施	エンジンコントロー ルコニットの登録実 施	スマートコントロー ルコニットの登録実 施	スやートコントロー ルコニットの登録実 施			
		処置手順 1	スマートコントロー ルコニットの登録実 施	スマートコントロー ルコニットの登録実 施	スマートコントロー ルコニットの登録実 施	スマートコントロー ルコニットの登録実 施	スマートコントロー ルユニットの登録実 施	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートイモビライ ザの登録実施 (※5)
		14 ツメ ソチョー ブーソタ				0			0		0	0
祖號		ボ雑 ニアウル			0			0		0		0
資が必要な]		/ / / / / / / / / / / / / / / /		0			0			0	0	
左記部品故障時、交換または用意が必要な部品		BOX BOX	0				0	0	0			
2降時、交換	ステア	2 D U D U 7 9 7] 11 7 8 2 7 5 9	0	0	0	0						
左記部品表	- V 210	ボンロコンロコ イン・										
		烧 带 裱	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機 1 本	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本	登録済携帯 機1本
		コ ネ ツ メ ソ ト コ ー ブ ー ソ ダ				0			0		0	0
		ボ続 ニゲータップ			0			0		0		0
	1	H 7 ~ ~ II 7 II II ~ ~ 7 J I I ~ ~		0			0			0	0	
故障/紛失した部品		BOX BOX	0				0	0	0			
故障/紛步	ステア	シロコロユ ンシン ゴト グクトイン	0	0	0	0						
	< E	ボンロコ プレート グライン										
	携帯機	帝7 暦/総 米										
	携	田 も の か か か か か										

 ・携帯機を全て故障/紛失した場合は、「照合コントロールユニット」、「ID コードBOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 2. 「照合コントロールユニット」を交換した場合に、登録済携帯機が全数揃ってない場合は「ID コードBOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 3. ステアリングロック初期化作業:イグニッションスイッチを OFFにして運転席ドアを開閉もしくは閉開した後、約 10 秒待ってステアリングがロックされていれば初期化は完了しています。
 4. リモコンエンジンスタータが装着されている車両で「照合コントロールユニット」を交換した場合は、カモコンエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 5. スマートイモビライザの登録作業はその主までは実施できません。新品のボディ総合ユニットをご用意の上、株式会社S UBARU 国内サービス部 サービス窓口担当者までご連絡ください。
 5. スマートイモビライザの登録作業はそのままでは実施できません。新品のボディ総合ユニットをご用意の上、株式会社S UBARU 国内サービス部 サービス窓口担当者までご連絡ください。
 6. エロールユニット交換後、必ず登録方の携帯機を追加登録できません。

<故障/紛失した部品が3個の場合>

故障/紛失した部品	288						左記部品故障時	,	交換または用意が必要な部品	必要な部品				部品交換後の処置				
携帯機	4			1				E 0	アドド		2							
正第な 全ても もの有 曜/*	救怨 ロンロリ コマラリー リマラット	ンロ ロ ロ リ ソッソー リ ト グクト ブッ	BOX N BOX	1 7 7 1 7 1 1 7 7 7 1 1 4 2	ボ続 ニア合う	1 * 7 * 7 * 7 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 *	携带機	まンロリ ロマー リマ	ンロコロユ ンシン ゴト ググトグッ	BOX ™ BOX	1 7 7 1 7 4 6 7 7 7 1 4 7	ボ結 II デ合ッ イユト	ロ ネ ツ メ ソ ト == ブ ー ソ 女	処置手順 1	処置手順2	処置手順3	処置手順 4	処置手順5
0	0	0					磁線済 携帯機全数	0	0	0				スマートイルビライ ザの発験実施 (※ 2) (※ 6)	(※4)			
0	0		0				登録済 携帯機全数	0		0				スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 6)	(* 4)			
0	0			0			登録済 携帯機全数	0		0	0			スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 2) (※ 6)	(※4)			
0	0				0		登録済 携帯機全数	0		0		0		スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 2) (※ 6)	(※4)			
0	0					0	登録済 携帯機全数	0		0			0	スマートイルビライ ザの発験実施 (※ 2) (※ 6)	(**4)			
0		0	0				登録済携帯 機 1 本		0	0				スマートコントロー ルコニットの登録実 施	ステアリングロック 初期化作業 (※3)		携帯機 ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯機を追加した い場合)
0		0		0			登録済携帯 機 1 本		0		0			スマートコントロー ルコニットの登録実 施	ステアリングロック 初期化作業 (※3)	ドンジンコントロー アユニットの登録実 施	携帯機 ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯機を追加した い場合)
0		0			0		登録済携帯 機1本		0			0		スマートコントロー ルユニットの登録実 施	携帯機ID の消去実施 (故障/紛失した携帯 機のIDを消去)	スマートイモビライ ザの登録実施		
0		0				0	登録済携帯 機1本		0				0	スマートコントロー ルユニットの登録実 施	携帯機IDの消去実施 (故障/紛失した携帯 機のIDを消去)	スマートイモビライ ザの登録実施		
0			0	0			登録済携帯 機 1 本			0	0			スマートコントロー ルコニットの登録実 施		携帯機 ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携 帯機を追加した い場合)	
0			0		0		醫録済携帯 機 1 本			0		0		スマートコントロールコールコニットの路線実施		携帯機 ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携 帯 機 を 追加 した い場合)	
0			0			0	登録済携帯 機 1 本			0			0	スマートコントロー ルユニットの登録実 施	エンジンコントロー ルユニットの登録実 施	携帯機 ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯機を追加した い場合)	
0				0	0		登録済携帯 機1本				0	0		携帯機 ID の消去実施 (故障 / 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯機を追加した い場合)			
0				0		0	整録済携帯 機 1 本				0		0	携帯機IDの消去実施 (佐障/ 紛失した携帯 機の ID を消去)	スマートイモビライ ザの登録実施 (携帯機を追加した い場合)			

※1. 携帯機を全て故障/紛失した場合は、「照合コントロールユニット」、「ID コード BOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※2. 「照合コントロールユニット」を交換した場合に、登録済携帯機が全数揃ってない場合は「ID コード BOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※3. ステアリングロック初期化作業: イグニッションスイッチを OFFにして運転席ドアを開閉もしくは開開した後、約 10 秒待ってステアリングがロックされていれば初期化は完了しています。
 ※3. ステアリングフタータが装着されている車両で「照合コントロールユニット」を交換した場合は、リモコンエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 ※4. リモコンエンジンスタータが装着されている車両で「照合コントロールユニット」を交換した場合は、リモコンエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 ※5. スマートイモビライザの登録作業はそのままでは実施できません。新品のボディ統合ユニットをご用意の上、株式会社SUBARU 国内サービス部 サービス窓口担当者までご連絡ください。
 ※6. 照合コントロールユニット交換後、必ず登録済の携帯機を追加登録できません。
 ※6. 照合コントロールコニット交換したの登録してください。マスター携帯機1本のみを登録した場合は、登録済の携帯機を追加登録できます。)
 (新品の未登録機帯機ならば追加登録できます。)

		処置手順 5																				
		処置手順 4																				
		処置手順 3																				
		処置手順 2	携帯機ID の消去実施 (故障/紛失した携帯 機のIDを消去)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(*4)	(* 4)	(*4)	(*4)	(**4)	(*4)
部品交換後の処置		処置手順 1	スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 5)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※1)	スマートイモビライ ザの登録実施	スマートイモビライ ザの登録実施 (※1)	スマートイモビライ ザの発録実施 (※ 1) (※ 5)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)	スマートイモビライ ザの登録実施 (※6)											
		ロネジメ ソ + = 1 ブ ー ツ 女	0					0				0			0		0	0				0
		ボボイー アット	0				0				0			0		0		0			0	
	\$2/\ ±	1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				0				0			0			0	0			0		
必要な部品		□ □ □ BOX		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
交換または用意が必要な部品	ステア	ココロユ		0					0	0	0	0							0	0	0	0
時、交換ま	四人二	1 × 1 1 1 × 1 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左記部品故障時、		携帯機	登録済携帯 機 1 本	登録したい携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい携帯機全数	登録したい 携帯機全数	登録済携帯 機全数	登録済携帯 機全数	聲録済携帯 機全数	登録済携帯 機全数
		コ ネ ツ メ ソ ー = ブ ー ソ ダ	0					0				0			0		0	0				0
		ボ緒ニケーシャルト	0				0				0			0		0		0			0	
	```\ F	1 7 7 1 7 4 6 7 4 9 7 4 1 4 9				0				0			0			0	0			0		
		ID ⊐− ド BOX			0				0				0	0	0				0			
	ステア	コンプロロンプト		0					0	0	0	0							0	0	0	0
	1 V	がトロール ロール ユニット		0	0	0	0	0											0	0	0	0
故障/紛失した部品		金て故障/総 失		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
故障/紛5	携帯機	正常な もの有 り	0																			

※1. 携帯機を全て故障/紛失した場合は、「照合コントロールユニット」、「ID コード BOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※2. 「照合コントロールユニット」を交換した場合に、登録済携帯機が全数揃ってない場合は「ID コード BOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※3. ステアリングロック初期化作業: イグニッションスイッチを OFF にして運転席ドアを開閉もしくは閉開した後、約 10 秒待ってステアリングがロックされていれば初期化は完了しています。
 ※3. ステアリングフタータが装着されている車両で「照合コントロールユニット」を表換した場合は、リモコンエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 ※4. リモコンエンジンスタータが装着されている車両で「照合コントロールユニット」を交換した場合は、リモコンエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 ※5. スマートイモビライザの登録作業はその主までは実施できません。新品のボディ総合ユニットをご用意の上、株式会社SUBARU 国内サービス部 サービス窓口担当者までご連絡ください。
 ※6. 照合コントロールユニット交換後、必ず登録方の携帯機を追加登録できません。
 ※6. 照合コントロールコニット交換を登録してください。マスター携帯機1本のみを登録した場合は、登録済の携帯機を追加登録できます。)
 (新品の未登録携帯機ならば追加登録できます。)

故障/紛失した部品	こと部品							左記部品故障時、交換または用意が必要な部品	F、交換ま/	とは用意が、	必要な部品				部品交換後の処置				
接 発 での か な な 有 な 有 な 有 な 有 な 有 な 有 な 有 な 有 な 有		部ンロコー イン・コート ファイン・コート イン・コート	スリロコロユ ドンッソーニト アグクトイッ	BOX BOX	H ソ マ テ ゴ ソ ロ ロ ブ シ ジ ソ l ロ ユ ト	ボ綿 I デ 合 ッ イ ユ ト	u * ツ × ソ ≠ □   万 │ ソ を	表表	鹿 ンロリ 合 ン ー ニ ト ブ ニ ブ ト ブ ニ ブ ト ブ ジ	スリロコロユ アンッソーニト アグクトバッ	D	エント / II ソロログリログソーユッ	ボ 海 I ア 小 シ イ コ ト	ロ ネ ツ メ ソ ト =   万 丨 ソ 女	处置手順 1	处置手順 2	处置手順3	处置手順 4	処置手順 5
		0		0	0			登録済携帯 機全数	0		0	0			スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 6)	(*4)			
		0		0		0		登録済携帯 機全教	0		0		0		スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 6)	(*4)			
		0		0			0	登録済携帯 機全教	0		0			0	スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 6)	(*4)			
		0			0	0		登録済携帯 機全数	0			0	0		スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 6)	(*4)			
		0			0		0	登録済携帯 機全教	0			0		0	スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 6)	(*4)			
		0				0	0	登録済携帯 機全教	0				0	0	スマートイモビライ ザの登録実施 (※ 5) (※ 6)	(* 4)			
			0	0	0			登録済携帯 機1本		0	0	0			メシートコントロー アコニットの発験実 插	ステアリングロック 初期化作業 (※3)	Hングンロントロー アリニットの警察実 施		
			0	0		0		登録済携帯 機1本		0	0		0		スマートイモビライ ザの登録実施				
			0	0			0	登録済携帯 機1本		0	0			0	スマートイモビライ ザの登録実施				
			0		0	0		登録済携帯 機1本		0		0	0		スマートイモビライ ザの登録実施				
			0		0		0	登録済携帯 機1本		0		0		0	スマートイモビライ ザの登録実施				
			0			0	0	登録済携帯 機1本		0			0	0	スマートイモビライ ザの登録実施 (※5)				
				0	0	0		登録済携帯 機1本			0	0	0		スマートイモビライ ザの登録実施				
				0	0		0	登録済携帯 機 1 本			0	0		0	スマートイモビライ ザの登録実施				
				0		0	0	登録済携帯 機1本			0		0	0	スマートイモビライ ザの登録実施 (※5)				
					0	0	0	登録済携帯 機1本				0	0	0	スマートイモビライ ザの登録実施 (※5)				

※1. 携帯機を全て故障/紛失した場合は、「照合コントロールユニット」、「ID コード BOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※2. 「照合コントロールユニット」を交換した場合に、登録済携帯機が全数揃ってない場合は「ID コード BOX」を新品に交換し、スマートイモビライザの登録を実施してください。
 ※3. ステアリングロック初期化作業: イグニッションスイッチを OFF にして運転席ドアを開閉もしくは閉開した後、約 10 秒待ってステアリングがロックされていれば初期化は完了しています。
 ※4. リモコンエンジンスタータが装着されている車両で「照合コントロールユニット」を交換した場合は、約 10 サインエンジンスタータの登録を実施して下さい。
 ※5. スマートイモビライザの登録作業はその主までは実施できません。新品のボディ統合ユニットをご用意の上、株式会社S UBARU 国内サービス部 サービス窓口担当者までご連絡ください。
 ※6. 五マートイエック・サンル交換後、必ず登録済の携帯機全数を、初回の「スマートイモビライザの登録して登録してください。マスター携帯機1本のみを登録した場合は、登録済の携帯機を追加登録できません。
 (新品の未登録機構機ならば追加登録できます。)

# AT 関連学習・点検モード

トランスミッション ASSY、ATF および TCM 等を 交換した際に、エア抜きや学習を実行させることが できます。

また、AWD から FWD への切替え作業や、デファレンシャル関連の組付け違いの点検を行なうことができます。

# 注意:

行った作業項目により、必要な学習または作業を下表に表記します。

下表の学習または作業を行なわなかった場合、変速 ショックなどの不具合が発生しますので、必ず実行 してください。

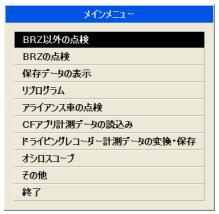
作業項目	必要な学習または作業
TCM の交換	・AT 学習
ATF の交換	・AT エア抜き
トランスミッション ASSY の交換または分 解	・AT 学習 ・AT エア抜き ・リヤデフ点検モード
コントロールバルブボ ディの交換	・AT 学習 ・AT エア抜き
「メモリクリア 2」の実 行	・AT 学習
リヤデファレンシャル の交換 フロント・リヤハイポ イドギアの交換	・リヤデフ点検モード

# 参考:

車両の仕様によって、ATエア抜きモード、リヤデフ点検モードがメニューに表示されない場合があります。その場合は作業が不要です。

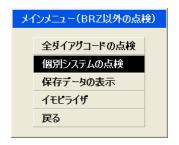
# 準備

1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「トランスミッション」 を選択してください。



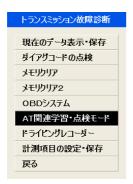
SMJ-01099

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-01100

6. 故障診断項目から「AT 関連学習・点検モード」 を選択してください。



SMJ-01101

# AT 学習モード

本作業を完了した後、実際に走行して変速ショックなどの不具合がないか確認してください。万一、不具合がある場合は、再度学習作業を行ってください。

学習を実施しても不具合が解消されない場合は、他の部位に問題がないか確認してください。

#### 注意:

TCM の交換、およびトランスミッション ASSY の交換または分解時には、必ず「AT 学習モード」を実行してください。

1. 項目選択画面から「AT 学習モード」を選択してください。



SMJ-01102

2. 画面の指示にしたがって、各スイッチおよびモードの設定をします。

次の画面に進むには [OK] ボタンをクリックしてください。

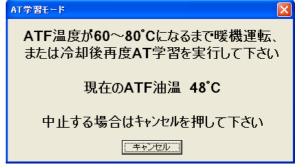


SMJ-01128

# 参考:

下記画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって ATF 温度が表示の範囲内になるまで、暖機運転するか、または冷却してください。ATF 温度が表示の範囲内になると自動的に次の手順に移行します。

学習を中止するときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

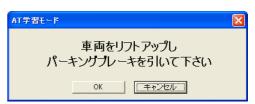


SMJ-01129

#### 参考:

ATF を冷却する際は、エンジンを停止してください。

3. 画面の指示にしたがって、車両をリフトアップ し、パーキングブレーキを引いてください。 次の画面に進むには[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-01130

# 注意:

- 学習制御時、車両が振動するため、タイヤ下部は 地面から 30 cm 以上離してください。
- トランスファークラッチの学習を行うとき、タイヤが回転するため、パーキングブレーキは確実に強く引いてください。
- ・セレクトレバーを P レンジにしてください。
- 4. 画面の指示にしたがって、イグニッションスイッチを OFF にしてください。



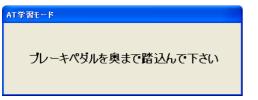
SMJ-01106

5. 画面の指示にしたがって、エンジンを始動します。



SMJ-01107

6. 画面の指示にしたがって、ブレーキペダルを奥まで踏込んでください。

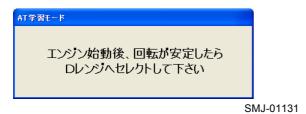


SMJ-01109

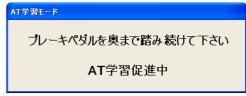
# 参考:

以後、手順8 までブレーキペダルを踏込んだ状態にしてください。

7. 画面の指示にしたがって、セレクトレバーを D レンジにしてください。



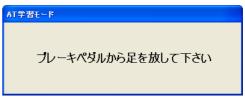
8. 下記画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



SMJ-01111

#### 参考:

- 学習中、2 分以上経過しても上記画面のままの場合、ブレーキペダルから足を放し、再度学習作業を行ってください。
- 学習中、エンジンがハンチングし、学習を異常終了する場合があります。このような場合には、ヘッドライトをハイビームにした状態で、再度学習作業を行ってください。
- 9. 画面の指示にしたがって、ブレーキペダルから足を放してください。



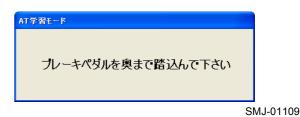
SMJ-01112

*10*.下記画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



SMJ-01113

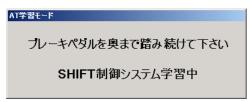
11.画面の指示にしたがって、ブレーキペダルを奥 まで踏込んでください。



# 参考:

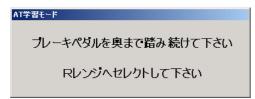
以後、手順 19 までブレーキペダルを踏込んだ状態にしてください。

12.下記画面が表示されますので、そのまましばら くお待ちください。



SMJ-01114

13.画面の指示にしたがって、セレクトレバーを R レンジにしてください。



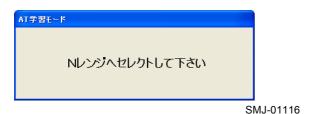
SMJ-01115

*14*.下記画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



SMJ-01114

15.画面の指示にしたがって、セレクトレバーを N レンジにしてください。

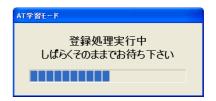


16.画面の指示にしたがって、イグニッションス イッチを OFF にしてください。



SMJ-01106

17.下記画面が表示されますので、そのまましばら くお待ちください。



SMJ-01118

18.画面の指示にしたがって、エンジンを始動します。



SMJ-01107

19.学習が正常に終了すると下記画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01119

# 参考:

• 作業中、下記画面が表示されることがあります。 その場合は、表示内容を確認後、[OK] ボタンを クリックしてください。



SMJ-01108

上記の表示内容について、表示内容のおもな原因および処置を下表に表記します。

表示内容のおもな原因	処置
・ダイアグコードの検 出	ダイアグコードに基づき故障部位を修復後、「AT 学習モード」をはじめからやり直してください。



SMJ-01120

上記の表示内容について、表示内容のおもな原因および処置を下表に表記します。

表示内容のおもな原因	処置
・AT 学習中にダイアグ コードを検出した	ダイアグコードに基づき故障部位を修復後、「AT 学習モード」をはじめからやり直してください。
・AT 学習中に指示されていない操作をした・ブレーキペダルの踏込みが弱い・パーキングブレーキの引きが弱い・異常なアイドルアップ	「AT 学習モード」をは じめからやり直してく ださい。

- エラー等により、AT 学習が強制終了した場合、 セレクトレバーが P レンジ等に入らなくなる場合があります。その場合は、1度イグニッション スイッチを OFF してから再度セレクトレバーを 操作してください。
- 車両の仕様によって表示されない画面があります。この場合は画面の指示に従って作業を行ってください。

# AT エア抜きモード

#### 注意:

コントロールバルブボディ、および ATF の交換、トランスミッション ASSY の交換または分解時には、必ず「AT エア抜きモード」を実行してください。

#### 参考:

作業手順については、当項目の「AT 学習モード」を参考にし、画面指示にしたがって、作業を行なってください。

# リヤデフ点検モード

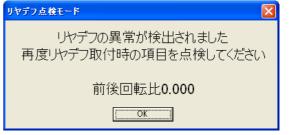
リヤデファレンシャル、トランスミッションおよび フロント・リヤハイポイドギア交換後に、その車両 に不適合の部品を組付けていないかを確認するこ とができます。

操作手順については画面の指示にしたがって作業を行なってください。

#### 注意:

上記の部品を交換した場合は、必ず「リヤデフ点検 モード」を実行してください。

以下の画面が表示された場合は、再度交換した部品がその車両に適合しているかを確認してください。



SMJ-01169

#### 参考:

車両の仕様によって、以下の画面が表示される場合 があります。その場合はリヤデフ点検作業が不要で す。



SMJ-01170

# AWD ON/OFF 切替モード

この機能は、FWD と AWD の切替えをすることが できます。

操作は画面の指示に従って行なってください。

# 注意:

FWD に切替えをした後は、必ず AWD に戻してください。

# 参考:

車両の仕様によって、AWD ON/OFF 点検モードが メニューに表示されない場合があります。その場合 の AWD ON/OFF 切替えは、FWD ヒューズホルダ へのヒューズ抜き差しによって行なってください。 FWD ヒューズホルダの取り付け場所は、サービス マニュアルを参照してください。

# パーキングブレーキシステム整 備作業モード

本項目では、パーキングブレーキシステムに関連する各整備作業モードについて記載されています。

#### 注意:

行った作業項目により、実施が必要なモードを下表に表記します。

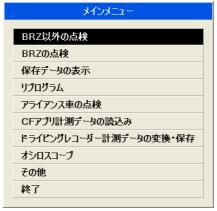
下表のモードを実施しなかった場合、ダイアグコードが検出されるなどの不具合が発生しますので、必ず実施してください。

作業項目	実施が必要なモード
パーキングブレーキコ ントロールユニットの 取り外し	・フォースセンサキャリブレーションモード
パーキングブレーキコ ントロールユニット交 換	<ul><li>フォースセンサキャリブレーションモードクラッチセンサキャリブレーションモード</li></ul>
パーキングブレーキア クチュエータ交換	<ul><li>パーキングブレーキ取り外しモード</li><li>フォースセンサキャリブレーションモード</li><li>クラッチセンサキャリブレーションモード</li></ul>
パーキングブレーキ ASSY 取り外し	<ul><li>パーキングブレーキ取り外しモード</li><li>フォースセンサキャリブレーションモード</li></ul>
パーキングブレーキ シュー交換	<ul><li>パーキングブレーキ取り外しモード</li><li>パーキングブレーキ慣らし走行モード</li><li>フォースセンサキャリブレーションモード</li></ul>
パーキングブレーキ シュークリアランス調 整	・フォースセンサキャリブレーションモード
クラッチディスク交換	<ul><li>クラッチセンサキャリブレーションモード</li><li>クラッチミートポジション設定</li></ul>
クラッチマスターシリ ンダ ASSY 交換	<ul><li>クラッチセンサキャリブレーションモード</li><li>クラッチミートポジション設定</li></ul>

作業項目	実施が必要なモード
クラッチオペレーティ ングシリンダ ASSY 交 換、または取り外し	<ul><li>クラッチセンサキャリブレーションモード</li><li>クラッチミートポジション設定</li></ul>
クラッチペダル交換、 または位置調整	<ul><li>クラッチセンサキャリブレーションモード</li><li>クラッチミートポジション設定</li></ul>
パラメータ初期化	<ul><li>フォースセンサキャリブレーションモードクラッチセンサキャリブレーションモード</li></ul>

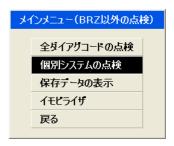
# 準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



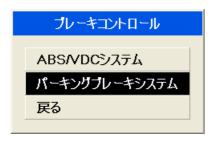
SMJ-01259

4.システム選択メニューで「ブレーキコントロール」を選択してください。



SMJ-01172

5. 項目選択画面から「パーキングブレーキシステム」を選択してください。



SMJ-01173

6. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-01174

7. 故障診断項目から「整備作業モード」を選択してください。



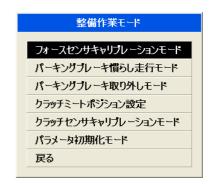
SMJ-01175

# フォースセンサキャリブレーション モード

フォースセンサーの調整を行ないます。

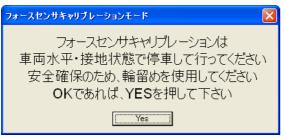
#### 注意:

- ・以下のいずれかの作業を行なった場合、必ず「フォースセンサキャリブレーションモード」を 実施してください。
  - ・パーキングブレーキコントロールユニット取り 外し
  - ・パーキングブレーキコントロールユニット交換
  - パーキングブレーキアクチュエータ交換
  - ・パーキングブレーキ ASSY 取り外し
  - パーキングブレーキシュー交換
  - パーキングブレーキシュークリアランス調整
  - ・パラメータ初期化
- •「フォースセンサキャリブレーションモード」を 行なう際は、安全確保のため、水平な場所に車両 を停車し、輪留めを使用してください。
- 項目選択画面から「フォースセンサキャリブレーションモード」を選択してください。



SMJ-01176

2. 画面の指示にしたがって、車両を水平・接地状態で停車し、安全確保のため、輪留めを使用します。 次の画面に進むには[Yes]ボタンをクリックして ください。

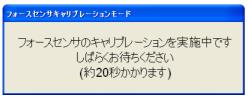


SMJ-01177

# 参考:

8秒以内に[Yes] ボタンをクリックしなかった場合、整備作業モード選択画面まで戻ります。再度「フォースセンサキャリブレーションモード」を選択して作業を進めてください。

3. 下記画面が表示されますので、そのまましばらく お待ちください。



SMJ-01178

4. 画面の指示にしたがって、イグニッションスイッチを OFF にしてください。

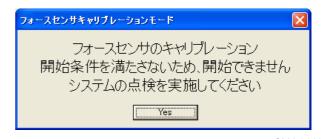
[Yes] ボタンをクリックして作業を終了します。



SMJ-01179

#### 参考:

作業中、下記画面が表示されることがあります。その場合は、表示内容を確認後、[Yes] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01180

上記の表示内容について、表示内容のおもな原因および処置を下表に表記します。

表示内容のおもな原因	処置
・車両が停止状態になっていない	車両を水平な場所で、 接地状態で停車させ、 「フォースセンサキャ リブレーションモー ド」をはじめからやり 直してください。
・ダイアグコードの検 出	ダイアグコードに基づき故障部位を修復後、「フォースセンサキャリブレーションモード」をはじめからやり直してください。
• 電源電圧異常	バッテリーおよび電源 系ハーネスの故障部位 を修復後、「フォースセ ンサキャリブレーショ ンモード」をはじめか らやり直してくださ い。
・パーキングブレーキ システムが動作中	パーキングブレーキシ ステム動作が終了後、 「フォースセンサキャ リブレーションモー ド」をはじめからやり 直してください。

# パーキングブレーキ慣らし走行モード

パーキングブレーキシューの慣らしを行なうこと ができます。

#### 注意:

パーキングブレーキシューを交換した場合、パーキ ングブレーキのシュークリアランスを調整後、必ず 「パーキングブレーキ慣らし走行モード」を実施し てください。

#### 参者:

- 作業手順については、当項目の「フォースセンサ キャリブレーションモード」を参考にし、画面指 示にしたがって、作業を行なってください。
- 作業中、下記画面が表示されることがあります。 その場合は、表示内容を確認後、[Yes] ボタンを クリックしてください。



SMJ-01181

上記の表示内容について、表示内容のおもな原因お よび処置を下表に表記します。

表示内容のおもな原因	処置
・車両が停止状態になっていない	車両を水平な場所で、接地状態で停車させ、「パーキングブレーキ慣らし走行モード」をはじめからやり直してください。
・ダイアグコードの検 出	ダイアグコードに基づき故障部位を修復後、「パーキングブレーキ慣らし走行モード」をはじめからやり直してください。
・電源電圧異常	バッテリーおよび電源 系ハーネスの故障部位 を修復後、「パーキング ブレーキ 慣らし走行 モード」をはじめから やり直してください。

表示内容のおもな原因	処置
・パーキングブレーキ システムが動作中	パーキングブレーキシ ステム動作が終了後、 「パーキングブレーキ 慣らし走行モード」を はじめからやり直して ください。

# パーキングブレーキ取り外しモード

パーキングブレーキを分解する場合に、この機能を 使用してパーキングブレーキケーブルを解放位置 にすることができます。

#### 注意:

- 「パーキングブレーキ取り外しモード」を行なう 際は、必ず車両をリフトアップ状態にしてくださ
- ・以下のいずれかの作業を行う場合、必ず「パーキ ングブレーキ取り外しモード」を実施してくださ
  - パーキングブレーキコントロールユニット交換
  - パーキングブレーキアクチュエータ交換
  - ・パーキングブレーキ ASSY 取り外し
  - パーキングブレーキシュー交換

#### 参考:

- 作業手順については、当項目の「フォースセンサ キャリブレーションモード」を参考にし、画面指 示にしたがって、作業を行なってください。
- 作業中、下記画面が表示されることがあります。 その場合は、表示内容を確認後、[Yes] ボタンを クリックしてください。



SMJ-01182

上記の表示内容について、表示内容のおもな原因および処置を下表に表記します。

表示内容のおもな原因	処置
・車両が停止状態になっていない	車両を水平な場所で、 リフトアップ状態にし て、「パーキングブレー キ取り外しモード」を はじめからやり直して ください。
・ダイアグコードの検 出	ダイアグコードに基づき故障部位を修復後、「パーキングブレーキ 取り外しモード」をは じめからやり直してく ださい。
• 電源電圧異常	バッテリーおよび電源 系ハーネスの故障部位 を修復後、「パーキング ブレーキ取り外しモー ド」をはじめからやり 直してください。
<ul><li>パーキングブレーキ システムが動作中</li></ul>	パーキングブレーキシ ステム動作が終了後、 「パーキングブレーキ 取り外しモード」をは じめからやり直してく ださい。

# クラッチミートポジション設定

*この機能は、MT モデルのみサポートしています。

クラッチミートポジションを設定します。

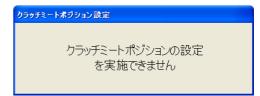
#### 注意:

- •「クラッチミートポジション設定」を行なう際は、 安全確保のため、周囲に障害物のない水平な場所 で実施してください。
- ・クラッチミートポジションの設定がずれていると、早期解除や解除遅れにつながる恐れがあります。設定終了後、安全な場所でアクセル連動解除タイミングを確認し、早期解除や解除遅れがないことを確認してください。

- ・以下のいずれかの作業を行なった場合、必ず「クラッチミートポジション設定」を実施してください。
  - クラッチディスク交換
  - ・クラッチマスターシリンダ ASSY 交換
  - ・クラッチオペレーティングシリンダ ASSY 交換、または取り外し
  - ・クラッチペダル交換、または位置調整

# 参考:

- ・作業手順については、当項目の「フォースセンサ キャリブレーションモード」を参考にし、画面指 示にしたがって、作業を行なってください。
- ・作業中、下記画面が表示されることがあります。 5 秒後、自動的に故障診断メニューへ戻ります。



SMJ-01183

上記の表示内容について、表示内容のおもな原因および処置を下表に表記します。

表示内容のおもな原因	処置
・ダイアグコードの検 出	ダイアグコードに基づき故障部位を修復後、「クラッチミートポジション設定」をはじめからやり直してください。
• 電源電圧異常	バッテリーおよび電源 系ハーネスの故障部位 を修復後、「クラッチ ミートポジション設 定」をはじめからやり 直してください。
・パーキングブレーキ システムが動作中	パーキングブレーキシ ステム動作が終了後、 「クラッチミートポジ ション設定」をはじめ からやり直してくださ い。

# クラッチセンサキャリブレーション モード

*この機能は、MT モデルのみサポートしています。

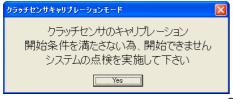
クラッチセンサーの調整を行ないます。

# 注意:

- 以下のいずれかの作業を行なった場合、必ず「クラッチセンサキャリブレーションモード」を実施してください。
  - パーキングブレーキコントロールユニット交換
  - パーキングブレーキアクチュエータ交換
  - クラッチディスク交換
  - ・クラッチマスターシリンダ ASSY 交換
  - ・クラッチオペレーティングシリンダ ASSY 交換、または取り外し
  - ・クラッチペダル交換、または位置調整
  - パラメータ初期化

# 参考:

- ・作業手順については、当項目の「フォースセンサ キャリブレーションモード」を参考にし、画面指 示にしたがって、作業を行なってください。
- 作業中、下記画面が表示されることがあります。 その場合は、表示内容を確認後、[Yes] ボタンを クリックしてください。



SMJ-01184

上記の表示内容について、表示内容のおもな原因および処置を下表に表記します。

表示内容のおもな原因	処置
・車両が停止状態になっていない	車両を水平な場所で、 接地状態で停車させ、 「クラッチセンサキャ リブレーションモー ド」をはじめからやり 直してください。

表示内容のおもな原因	処置
・ダイアグコードの検 出	ダイアグコードに基づ き故障部位を修復後、 「クラッチセンサキャ リブレーションモー ド」をはじめからやり 直してください。
• 電源電圧異常	バッテリーおよび電源 系ハーネスの故障部位 を修復後、「クラッチセ ンサキャリブレーショ ンモード」をはじめか らやり直してくださ い。
•パーキングブレーキ システムが動作中	パーキングブレーキシ ステム動作が終了後、 「クラッチセンサキャ リブレーションモー ド」をはじめからやり 直してください。

# パラメータ初期化モード

パーキングブレーキコントロールユニット交換後に DTC「パラメータ選択異常」が検出された場合、パーキングブレーキシステムの制御パラメータを 初期化することができます。

#### 注意:

「パラメータ初期化モード」を実行した場合は、必ず「フォースセンサキャリブレーションモード」および「クラッチセンサキャリブレーションモード」を実施してください。

#### 参考:

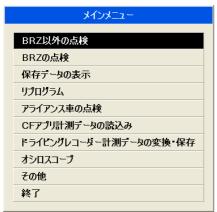
作業手順については、当項目の「フォースセンサキャリブレーションモード」を参考にし、画面指示にしたがって、作業を行なってください。

# エアコンディショナ

本項目では、エアコンディショナシステムに関連するものについて記載されています。

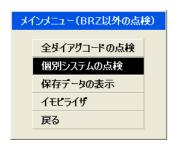
# 準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「エアコンディショナ」 を選択してください。



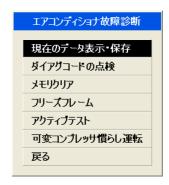
SMJ-01199

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-01200

6. 故障診断項目から希望の項目を選択してください。



SMJ-01201

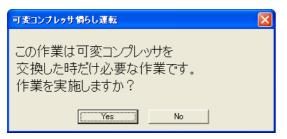
# 可変コンプレッサ慣らし運転

可変コンプレッサを交換後の慣らし運転を行ないます。

#### 注意:

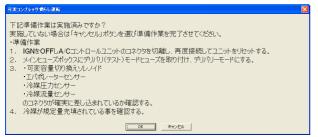
「可変コンプレッサ慣らし運転」は可変コンプレッサを交換した場合にのみ必要な作業です。

1. 実施確認画面が表示されます。表示内容を確認して [YES] ボタンをクリックしてください。



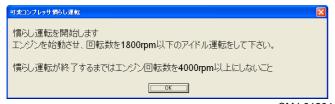
SMJ-01202

2. 準備作業実施確認画面が表示されますので、準備作業内容を確認して、全ての準備作業が実施済みであれば、[OK] ボタンをクリックして作業を進めます。



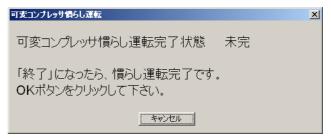
SMJ-01203

3. 開始確認画面が表示されます。表示内容を確認して、[OK] ボタンをクリックします。



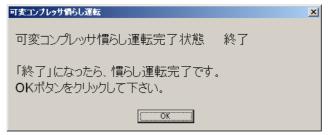
SMJ-01204

4. 慣らし運転実行中画面が表示されますので、その ままお待ちください。



SMJ-01205

5. 慣らし運転終了画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。



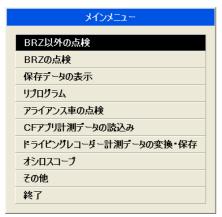
SMJ-01206

# パワーステアリングシステム

本項目では、パワーステアリングシステムに関連するものについて記載されています。

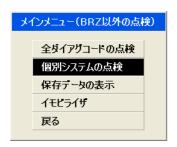
# 準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニュー画面で、「パワーステアリング」を選択してください。



SMJ-01531

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。

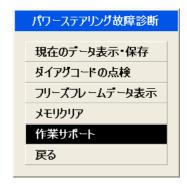


SMJ-01532

# アシスト MAP 選択情報クリア

電動パワーステアリングシステムのアシストマップを消去します。

1. 項目選択画面から「作業サポート」を選択してく ださい。



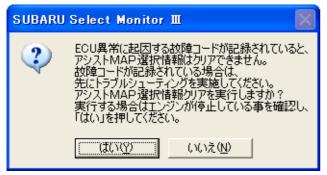
SMJ-01533

2. 項目選択画面から「アシスト MAP 選択情報クリア」を選択してください。



SMJ-01534

3. 記載内容を確認して、「はい」をクリックします。



SMJ-01535

4. アシストMAP選択情報クリアが正常に終了する と下記画面が表示されます。記載内容を確認して、「OK」をクリックします。



SMJ-01536

#### 参考:

下記画面が表示された場合は、[OK]ボタンをクリックし、トラブルシューティングを実施した上で、作業をやりなおしてください。



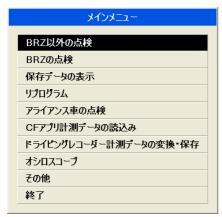
SMJ-01537

# キーレスアクセスシステム

本項目では、キーレスアクセスシステムに関連する 各整備作業モードについて記載されています。

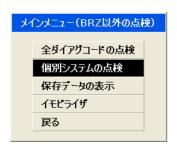
# 準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニュー画面で、「キーレスアクセスシステム」を選択してください。



SMJ-01185

5. 項目選択画面から「照合 ECU」を選択してくだ さい。



SMJ-01186

# 参考:

車種・仕様によっては、この画面は表示されません。

6. 診断車種選択メニューで該当する車種を選択してください。(ここでは「レガシィ」を選択しています。)



SMJ-01187

#### 参考:

車種・仕様によっては、この画面は表示されません。

7. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-01188

# 参考:

車種・仕様によっては、この画面は表示されません。

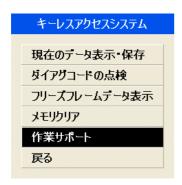
# キーレスアクセスシステムチェック

各発信機からの出力信号が、車両に登録されている 携帯機へ正常に届いているかを確認することがで きます。

#### 参考:

出力信号が携帯機へ正常に届いていると、ブザーが 吹鳴され、携帯機の LED が点滅されます。

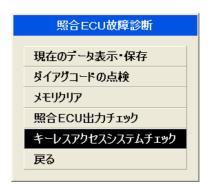
1. 項目選択画面から「作業サポート」を選択してください。



SMJ-01250

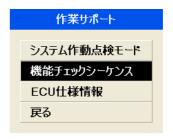
# 参考:

下記画面が表示された場合は、「キーレスアクセス システムチェック」を選択し、手順 3 へ進んでく ださい。



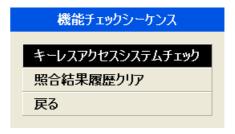
SMJ-01251

2. 項目選択画面から「機能チェックシーケンス」を 選択してください。



SMJ-01252

3. 項目選択画面から「キーレスアクセスシステム チェック」を選択してください。



SMJ-01253

#### 参考:

表示される項目選択画面は、車種、仕様によって異なります。

4. キーレスアクセスシステムチェックを実施する、 チューナを設定し、[OK] ボタンをクリックする とシステムチェックが実行されます。(ここでは 運転席車室外発信機 室内チューナを選択してい ます。)



SMJ-01254

# 照合ユニット出力チェック

照合ユニットからチューナー、発信機への電源供給、およびブザーの駆動を行い、各部品の動作を確認することができます。

# 注意:

各部品が正しく動作しているかどうかを確認する場合は、各部品を駆動させている間に照合ユニットの出力ラインにオシロスコープ等で波形をチェックする必要があります。

# 参考:

作業手順については、当項目の「キーレスアクセスシステムチェック」を参考にし、画面指示にしたがって、作業を行なってください。

# 照合結果履歴クリア

過去の「照合結果履歴」を消去することができます。

#### 注意:

チューナー、または発信機を交換した後は必ず「照合結果履歴クリア」を実行してください。

#### 参考:

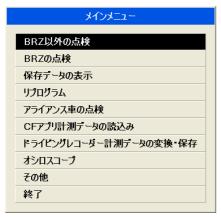
作業手順については、当項目の「キーレスアクセスシステムチェック」を参考にし、画面指示にしたがって、作業を行なってください。

# オートライト / オートワイパシ ステム

本項目では、オートライト/オートワイパシステム に関連する各整備作業モードについて記載されて います。

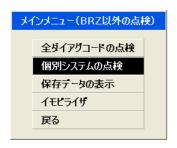
# 準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニュー画面で、「オートライト / オートワイパシステム」を選択してください。



SMJ-01245

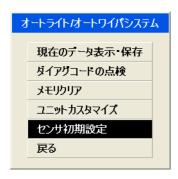
5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-01246

# センサ初期設定

1. 項目選択画面から「センサ初期設定」を選択して ください。



SMJ-01247

2. センサ初期設定の確認画面が表示されますので、 [はい]ボタンをクリックして初期化設定を実行 します。



SMJ-01248

3. センサ初期設定が正常に終了すると下記画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01249

# EV システム点検モード

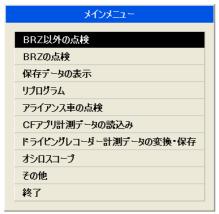
本項目では、EV システムに関連する「メモリクリア」、「機能チェックシーケンス」、「ユニットカスタマイズ」、「ブレーキ負圧ポンプの履歴クリア」について記載されています。

#### 警告:

EV 車両の高電圧回路の点検、整備は重度の感電、 火傷の恐れがあるため大変危険です。実際の高電圧 回路の点検、整備を行う際は、必ずサービスマニュ アルを参照し、手順および内容を順守して作業を 行ってください。

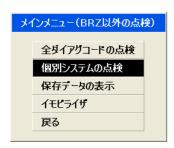
# 準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「EV システム」を選択 してください。



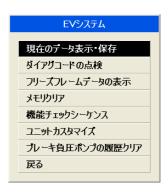
SMJ-01192

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-01193

6. 故障診断項目から希望の項目を選択してください。



SMJ-01194

# メモリクリア

故障部品交換後、または修理後にシステムのコントロールモジュールに記憶されているダイアグコードを消去します。

# 注意:

行った作業項目により、実施が必要な項目を下表に表記します。

下表のモードを実施しなかった場合、ダイアグコードが検出されるなどの不具合が発生しますので、必ず実施してください。

作業項目	実施が必要なメモリクリ ア、またはオフセット
EVシステム制御ユニット 交換	<ul><li>・上記6項目すべて</li><li>・BPS (ブレーキポジションセンサ) オフセット</li></ul>
インバータ交換	• インバータ
車載充電器交換	• 車載充電器
エアコンシステム交換	• エアコンシステム
DCDC コンバータ交換	• DCDC コンバータ
BPS (ブレーキポジション センサ) 交換	・BPS (ブレーキポジ ションセンサ) オフ セット

# 実施手順

項目選択画面からメモリクリアを実施する項目を 選択してください。



SMJ-01195

# 参考:

作業手順については、画面指示にしたがって、作業を行ってください。

# 機能チェックシーケンス

EV システム関連のアクチュエータを強制的に駆動して、それらの動作、または機能について不具合の有無を確認することができます。

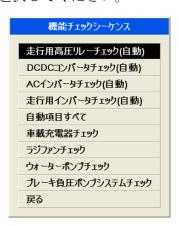
# 参考:

実施する項目についての内容を下表に表記します。

実施項目	内容
走行用高圧リレーチェック(自動)	走行用高圧リレーを駆動 させ、動作に不具合がないかを確認します。
DCDC コンバータチェック (自動)	制御線および DCDC コン バータ本体に異常がない か確認します。
AC インバータチェック (自動)	制御線およびエアコンイ ンバータ本体に異常がな いか確認します。
走行用インバータチェック(自動)	制御線および走行用イン バータ本体に異常がない か確認します。
車載充電器チェック	車載充電器の機能に不具合がないかを確認します。
ラジファンチェック	ラジエータファンを強制 的に駆動させます。
ウォータポンプチェック	ウォータポンプを強制的 に駆動させます。
ブレーキ負圧ポンプシス テムチェック	ブレーキ負圧ポンプを強 制的に駆動させます。

# 実施手順

項目選択画面から機能チェックシーケンスを実施する項目を選択してください。



SMJ-01196

#### 参考:

作業手順については、画面指示にしたがって、作業を行ってください。

# ユニットカスタマイズ

システムのコントロールモジュールの制御内容などの設定を行うことができます。

項目選択画面からカスタマイズを実施する項目を 選択してください。



SMJ-01197

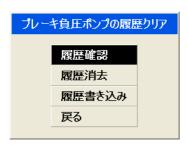
#### 参考:

- 作業手順については、画面指示にしたがって、作業を行ってください。
- 国内仕向けでは、「速度表示切替」と「ウェルカムサウンド」のカスタマイズは無効です。

# ブレーキ負圧ポンプの履歴クリア

ブレーキ負圧ポンプの稼動履歴の確認、消去、および書き込みをすることができます。

項目選択画面からメモリクリアを実施する項目を 選択してください。



SMJ-01198

# 警告:

- •「履歴消去」はブレーキ負圧ポンプを交換したときのみ実施してください。ブレーキ負圧ポンプ交換時以外で履歴の消去を実施した場合、ブレーキが効かなくなるなど人命に関わる重大な事故につながる恐れがあります。
- •「履歴書き込み」は EV- コントロールユニットを 交換したときのみ実施してください。 EV- コント ロールユニット交換時以外で履歴の書き込みを

実施した場合、ブレーキが効かなくなるなど人命に関わる重大な事故につながる恐れがあります。

#### 注意:

・EV-コントロールユニット交換時に「ブレーキ負圧ポンプの履歴クリア」を実施する際は、EV-コントロールユニット交換前に本項「履歴確認」を選択し、"総稼動時間"および"総稼動回数"をメモ等に控えてください。

"総稼動時間"および "総稼動回数"をメモ等に 控えなかった場合、EV-コントロールユニット交 換後では履歴が消えてしまい、本項「履歴書き込 み」を実施できず、EV-コントロールユニット交 換と同時にブレーキ負圧ポンプをも交換しなけ ればなりません。

• 本項「履歴確認」を実施の際、"総稼動時間"および"総稼動回数"が読み出せない場合は、EV-コントロールユニット交換と同時にブレーキ負 圧ポンプも交換してください。

#### 参考:

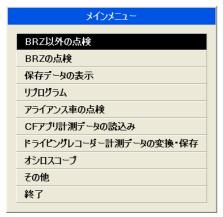
作業手順については、画面指示にしたがって、作業 を行ってください。

# アイドリングストップメンテナ ンスモード

アイドリングストップコントロールユニット、スタータ ASSY 交換時のメンテナンスを実行させることができます。

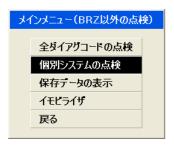
# 準備

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニュー画面で、「アイドリングストップ」を選択してください。



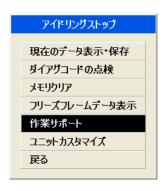
SMJ-01230

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



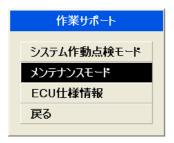
SMJ-01231

6. 項目選択画面から「作業サポート」を選択してく ださい。



SMJ-01232

7. 故障診断項目から「メンテナンスモード」を選択してください。



SMJ-01233

## スタータ交換時メンテナンス

### 始動回数クリア

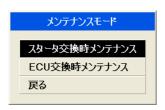
スタータ ASSY 交換時に、この機能を使用してエンジン始動回数履歴をクリアすることができます。

#### 注意:

スタータ ASSY 交換時には必ず「始動回数クリア」 を実施してください。

実施しなかった場合、スタータ ASSY 交換時期が 不明になります。

1. 項目選択画面から「スタータ交換時メンテナンス」を選択してください。



SMJ-01234

2. 項目選択画面から「始動回数クリア」を選択してください。



SMJ-01235

3. 始動回数クリア実行確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01236

4. 始動回数クリアが正常に終了すると下記画面が 表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01237

## コントロールユニット交換時メンテ ナンス

#### 注意:

アイドリングストップコントロールユニット交換時には必ず「コントロールユニット交換時メンテナンス」を実施してください。

実施しなかった場合、スタータ ASSY 交換時期が 不明になります。

## 始動回数読込み コントロールユニット→ SSM

アイドリングストップコントロールユニットを交換する前に、エンジン始動回数履歴を読込み、保存することができます。

1. 項目選択画面から「ECU 交換時メンテナンス」を 選択してください。



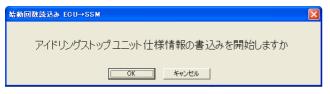
SMJ-01238

2. コントロールユニット交換メニュー画面で「始動 回数読込み ECU→SSM」を選択してください。



SM.I-01239

3. 始動回数読込み開始の確認画面が表示されます。 [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01240

4. 読込みデータが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01241

5. 下記ダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01242

6. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタン

をクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。

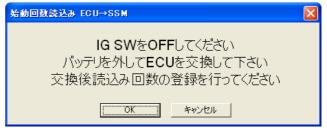


SMJ-01243

#### 参考:

計測データファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な文書を入力して記録することができます。

7. 下記ダイアログが表示されますので、内容を確認 し、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01244

### 始動回数書込み SSM →コントロールユ ニット

アイドリングストップコントロールユニット交換後に、エンジン始動回数履歴をコントロールユニットに書き込むことができます。

#### 参考:

作業手順については、当項目の「始動回数読込み コントロールユニット→ SSM」を参考にし、画面 指示にしたがって、作業を行なってください。

# CAN バス接続 ECU の確認

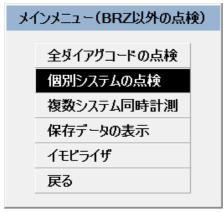
各ユニットとの接続状況を確認することができます。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01469

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択 してください。



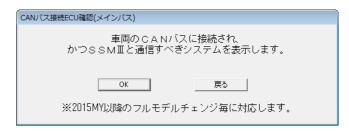
SMJ-01470

4. システム選択メニューで「CAN バス接続 ECU 確認 (メインバス)」を選択してください。



SMJ-01471

5. 下記画面が表示されますので、 表示内容を確認 後、[OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01472

**6.** 下記画面が表示されますので、そのままお待ちください。



SMJ-01473

7. CAN バス接続されているシステムが表示されます。

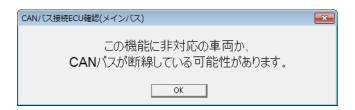
[OK] ボタンをクリックして作業を終了します。



SMJ-01474

## 参考:

下記画面が表示された場合は、車両の仕様、ダイアグケーブルおよび USB ケーブルの接続を確認してください。

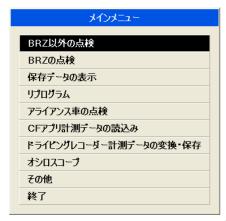


SMJ-01475

# 電動オイルポンプ点検モード

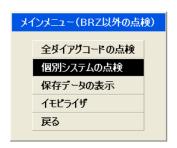
本項目では、電動オイルポンプシステムの点検モードについて記載されています。

- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動 し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」を選択してください。



SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「トランスミッション」 を選択してください。



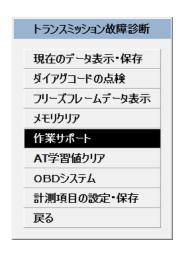
SMJ-01099

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-01293

6. 故障診断項目から「作業サポート」を選択してく ださい。



SMJ-01294

7. 項目選択画面から「メンテナンスモード」を選択してください。



SMJ-01295

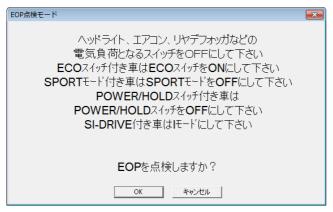
8. 項目選択画面から「EOP 点検モード」を選択してください。



SMJ-01296

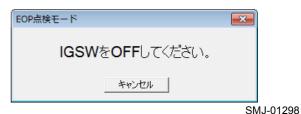
9. 画面の指示にしたがって、各スイッチおよびモードの設定をします。

次の画面に進むには [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01297

10.画面の指示にしたがって、イグニッションス イッチを OFF にしてください。

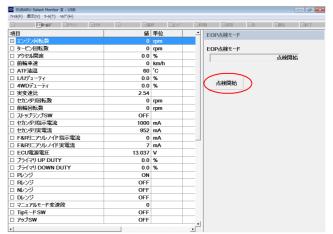


11.画面の指示にしたがって、イグニッションス イッチを ON にしてください。



SMJ-01299

12.下記画面が表示されますので、[点検開始]ボタンをクリックします。



SMJ-01300

#### 参考:

• 下記画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって ATF 温度が表示の範囲内になるまで、暖機運転するか、または冷却してください。 ATF 温度が表示の範囲内になると自動的に次の手順に移行します。

学習を中止するときは、[キャンセル]ボタンを クリックします。



SMJ-01301

画面の指示にしたがって、イグニッションスイッチを OFF にし、エンジン停止後、再度イグニッションスイッチを ON にします。

次の画面に進むには [OK] ボタンをクリックしてください。



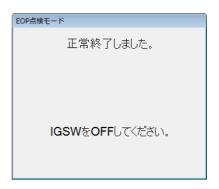
SMJ-01302

13.下記画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



SMJ-01303

14. 点検モードが正常に終了すると下記画面が表示されます。画面の指示にしたがって、イグニッションスイッチを OFF にしてください。



SMJ-01304

*15*.下記画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



SMJ-01305

# SDI ドライビングレコーダー (SDR)

再現性の乏しい故障が発生している場合など、車両データを連続して計測し、トリガスイッチを押すことにより、スイッチを押す10分前からスイッチを押してから5秒後までのデータを保存することができます。また、保存したデータを表示してデータを解析することができます。

本機能を使用する場合は、以下の手順によってデータの計測・解析を行ないます。

- 1) SDR 用設定ファイルを作成する。
- 2) SDR データを計測する。
- 3) 計測した SDR データを保存する。
- 4) 保存したデータを開き解析する。

#### 注意:

ドライビングレコーダー機能を使用して計測を行なう際は車両のデータリンクコネクタにダイアグケーブル接続状態で運転するため、取り回しに気をつけ、運転に支障のないよう注意してください。また、ケーブル接続状態で車両を運転し、計測を行なうことへの安全性配慮について、十分にお客様に説明し、了承していただいた上で計測作業を行なってください。

#### 参考:

- ・ドライビングレコーダー機能を使用して計測を 行なう場合は、CFカードが必要になりますので、 あらかじめ準備してください。
- CF カードを SDI に挿入する、または取り出す際は、SDI の電源を OFF にして行なってください。 SDIの電源が ON の状態で挿入および取り出しを 行なうと、CF カードの内部が損傷する恐れがあります。
- 本機能を使用するときは、必ず目的の車種の設定ファイルを作成後に計測してください。 CF カード内の設定ファイルが他の車種の場合は計測できません。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。

# SDR 用設定ファイルを作成する

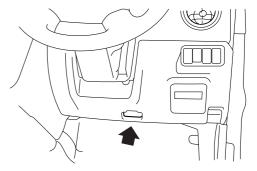
CF カードに計測項目を選択した設定ファイルを作成します。

- 1. SDI、ダイアグケーブル、USB ケーブル、PC ア プリがインストールされているパソコン、CF カードを用意します。
- 2. SDI のカードスロット「CF1」に CF カードをセットします。

- 3. SDIのダイアグ通信コネクタにダイアグケーブルの本体側コネクタを接続します。
- 4. ダイアグケーブルの車両側コネクタを車両デー タリンクコネクタに差し込み、SDI の PWR LED が点灯することを確認します。

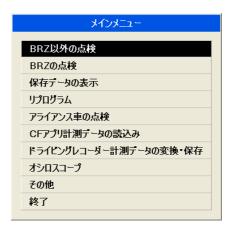
#### 参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッチを ON またはエンジンを始動して、SDI の [PWR] キーを押し、PWR LED が点灯することを確認します。



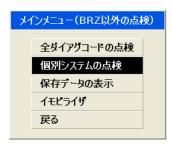
SMJ-00115

- 5. USB ケーブルで、SDI をパソコンに接続します。
- 6. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 7. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 8. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

9. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

10.システム選択メニュー画面でエンジンを選択してください。



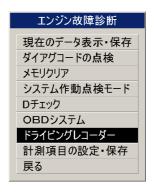
SMJ-00510

11.診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



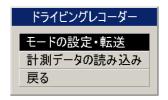
SMJ-00511

12.故障診断項目から「ドライビングレコーダー」を 選択してください。



SMJ-00512

13.ドライビングレコーダーメニューから「モード の設定・転送」を選択してください。



SMJ-00513

14.計測項目選択画面が表示されます。

計測すべき推奨項目はあらかじめ選択されていますが、計測項目を追加/削除する場合は項目のチェックボックスを操作してください。

選択が完了したら[選択完了]ボタンをクリックします。



SMJ-00514

#### 参考:

項目設定中に下のダイアログボックスが表示された場合は、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

15.[選択完了] ボタンをクリックした後、[転送] ボタンをクリックします。



SMJ-00515

16.SDIに挿入してあるCFカードにSDR用設定ファイルが作成されると、下記メッセージが表示されます。



SMJ-00516

#### 参考:

上記以外のメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージにしたがって操作し、設定ファイルを作成してください。

## SDR データを記録する

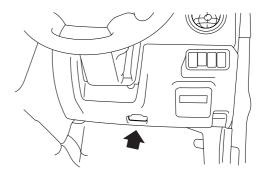
計測中に SDI の [TRG] キーまたはオプションのリモートボックスのトリガスイッチを押し、SDRデータを CF カードに記録します。

#### 参考:

- CF カードを SDI に挿入する、または取り出す際は、SDI の電源を OFF にして行なってください。 SDI の電源が ON の状態で挿入および取り出しを 行なうと、CF カードの内部が損傷する恐れがあ ります。
- CFカードに記録される計測データの長さは、SDIの [TRG] キーを押した時点より10分前から5秒後までです。
- SDR用設定ファイルが書き込まれているCFカードを、SDIのカードスロット「CF1」に挿入します。
- 2. SDIのダイアグ通信コネクタにダイアグケーブル の本体側コネクタを接続します。
- 3. ダイアグケーブルの車両側コネクタを車両デー タリンクコネクタに差し込み、SDI の PWR LED が点灯することを確認します。

#### 参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッチを ON またはエンジンを始動して、SDI の [PWR] キーを押し、PWR LED が点灯することを確認します。



SMJ-00115

4. SDIの電源がONになると自動的に計測が開始され、SDIに下記画面が表示されます。

ドラレコモード 計測中

SMJ-00555

#### 参考:

- CF カード内に SDR 用設定ファイルがない場合は、スタンドアローンモードになります。
- SDI 本体がドライビングレコーダーとして作動 している場合、画面に「ドラレコモード」と表示 されます。
- 計測中にマーキングする場合は、マーキングしたい時点で SDI の [TRG] キーまたはリモートボックスのトリガスイッチを短押し(1秒以下)します。
- 記録したい時点でSDIの[TRG]キーまたはリモートボックスのトリガスイッチを長押し(1秒以上)します。

[TRG] キーまたはトリガスイッチを押すと SDR データが CF カードに記録されます。SDR データが CF カードに記録される際、SDI の画面に下記のように表示されます。

ドラレコモード トリガ記録中

SMJ-00556

6. SDR データが CF カードに記録されると、自動的 に再度計測が開始されます。

計測を停止したい場合は、ダイアグケーブルを車両データリンクコネクタから外すか、または SDIの [MENU] キーと [DOWN] キーを両方同時に長押し(2 秒以上)して、SDIの電源を OFF にしてください。

#### 参考:

SDR 用リモートボックスを使用せずに始動データを計測する場合は、イグニッションスイッチを ON (エンジン停止) にした状態で少し時間をおき、SDI の画面に「計測中」が表示されたら、エンジンを始動してデータを計測してください。

## SDR データを保存する

CFカードに記録したSDRデータをパソコンに保存します。

CFカードから SDR データを読み出す方法には、SDI のカードスロットから、またはパソコンのカードスロットからの 2 通りがあります。

#### 参考:

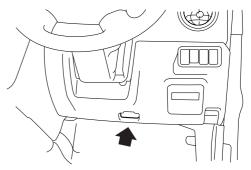
CFカードをSDIに挿入する、または取り出す際は、SDIの電源をOFFにして行なってください。SDIの電源がONの状態で挿入および取り出しを行なうと、CFカードの内部が損傷する恐れがあります。

#### SDIの CF カードスロットから読み出す場合

- 1. SDI のカードスロット「CF1」に、SDR データが 記録された CF カードをセットします。
- 2. **SDI** のダイアグ通信コネクタにダイアグケーブルの本体側コネクタを接続します。
- 3. ダイアグケーブルの車両側コネクタを車両デー タリンクコネクタに差し込み、SDI の PWR LED が点灯することを確認します。

#### 参考:

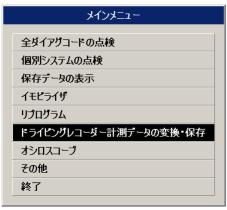
ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッチを ON またはエンジンを始動して、SDI の [PWR] キーを押し、PWR LED が点灯することを確認します。



SMJ-00115

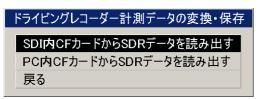
- 4. USB ケーブルで、SDI をパソコンに接続します。
- 5. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 6. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。

7. 表示されたメインメニュー画面で、「ドライビン グレコーダー計測データの変換・保存」を選択し てください。



SMJ-00602

8. ドライビングレコーダー計測データの変換・保存 画面で、「SDI内 CFカードから SDR データを読 み出す」を選択してください。



SMJ-00521

9. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00690

#### 参考:

- ・計測データファイルが保存される場所は、PCアプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。
- 10.下記メッセージが表示されます。

現在の設定ファイルを使用して引き続き計測する場合は[はい]ボタンをクリックします。 現在の設定ファイルを削除し、計測を停止する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

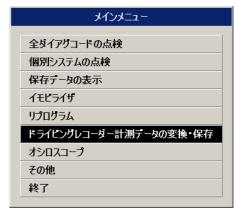


SMJ-00522

# パソコンのカードスロットから読み出す場合 参考:

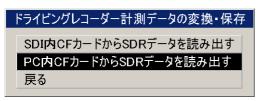
パソコンに CF カードスロットがない場合、別途PC カードアダプターを用意する必要があります。

- 1. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「ドライビン グレコーダー計測データの変換・保存」を選択し てください。



SMJ-00602

3. ドライビングレコーダー計測データの変換・保存 画面で、「PC 内 CF カードから SDR データを読 み出す」を選択してください。



SMJ-00526

4. SDR 計測データが入っている CF カードをパソコンのカードスロットに挿入し、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00527

 下記ダイアログボックスが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00528

6. CFカードがセットしてあるドライブを選択して、 [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00529

7. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタン

をクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00691

#### 参考:

- ・計測データファイルが保存される場所は、PCアプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。
- 8. 下記メッセージが表示されます。

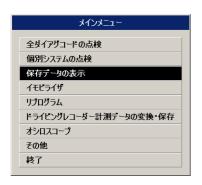
現在の設定ファイルを使用して引き続き計測する場合は[はい]ボタンをクリックします。 現在の設定ファイルを削除し、計測を停止する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。



SMJ-00522

## 保存したデータを開き解析する

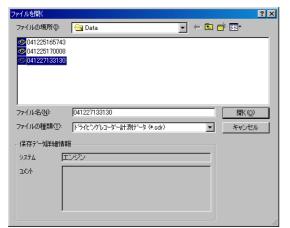
- 1. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「保存データ の表示」を選択してください。



SMJ-00587

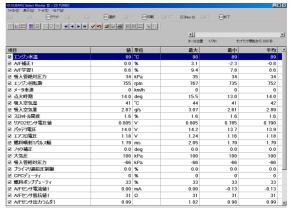
3. 保存されているファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。

"ファイルの種類"で「ドライビングレコーダー 計測データ (*.sdr)」を選択後、目的のファイル を選択して、[Enter] キーを押すか、[ 開く ] ボタ ンをクリックしてください。



SMJ-00692

保存されていたファイルのデータが読み出されて、デジタルデータ画面が表示されます。



SMJ-00604

#### 参考:

表示画面の操作は「保存したデータを見る」項と同様に行なうことができます。操作方法は「保存した データを見る」項を参照してください。

## トリガ機能

あらかじめ計測項目にトリガを設定しておき自動 的にトリガ検出して計測データを自動的に保存す ることができます。

トリガ設定は計測項目を選択した設定ファイルを 作成する際に行います。

トリガの設定方法には、コントロールユニットデータに対しあらかじめ計測項目にトリガを設定しておき自動的にトリガ検出する「入力データトリガ」があります。

1. 計測項目選択画面を表示して、項目選択後、「トリガ」ボタンをクリックします。



SMJ-01055

2. トリガ設定画面が表示されますので、「入力データトリガ」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-01056

- 3. トリガソースを設定します。
  - 一覧表の中からトリガを設定する項目のチェックボックスをクリックするか、または項目をダブルクリックします。



SMJ-01057

4. 入力データトリガ設定画面が表示されますので、 各項目を設定して、[OK] ボタンをクリックしま す。

# 計測項目がスイッチ入力以外の場合



SMJ-01058

#### 1) レベル

トリガを検出する値(トリガレベル)を設定します。数値を直接入力するか、またはスピンボタンを操作して設定します。設定値は実際に取得できる値に限られますので、直接入力の場合に実在しない値を入力した場合は入力値の近似値が設定されます。

#### 2) スロープ条件

計測データ値がトリガレベルに対し、どのような条件でトリガ検出するかを設定します。「両方↑/↓」を選択した場合、「立上り」または「立下り」のどちらか先に条件が成立した方をトリガとして検出します。

#### 3)組み合わせ条件

複数のトリガを設定した場合の組み合わせ条件を 設定します。

#### 参考:

複数の項目をトリガ設定する場合、「OR」または「AND」のどちらかに統一してください。

## 計測項目がスイッチ入力の場合



SMJ-01059

#### 1) レベル

トリガを検出する値(トリガレベル)を設定します。ボタンを操作して設定します。(計測項目によって選択できない場合があります。)

#### 2) スロープ条件

計測データ値がトリガレベルに、どのように入って きた時点をトリガ検出とするかを設定します。

「立上り $\uparrow$ 」を選択した場合、OFF $\rightarrow$ ONになった時点でトリガ検出します。

「立下り $\downarrow$ 」を選択した場合、ON $\rightarrow$ OFFになった時点でトリガ検出します。「両方 $\uparrow$ / $\downarrow$ 」を選択した場合、どちらか先に条件が成立した時点でトリガ検出します。

#### 3)組み合わせ条件

複数のトリガを設定した場合の組み合わせ条件を設定します。

#### 参考:

複数の項目をトリガ設定する場合、「OR」または「AND」のどちらかに統一してください。

5. トリガを設定した項目にはチェックボックスに チェックマークがつきます。

複数のトリガを設定する場合は、手順3と4を繰り返します。全てのトリガソースの設定が終了したら、「終了」ボタンをクリックします。



SMJ-01060

#### 参考:

- 一度設定したトリガ内容を変更する場合は、設定項目を選択後、[編集]ボタンをクリックし、「入力データトリガ設定」画面を表示させてください。
- 現在トリガ設定してある項目をトリガ項目から 除外したい場合は、該当項目のチェックボックス をクリックしてチェックを外してください。
- 項目設定中に下のダイアログボックスが表示された場合は、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、計測項目(手順 1)またはトリガ設定項目(手順 3)でチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、トリガを設定したい項目を選んでください。



SMJ-01061

6. トリガを設定した項目にはチェックボックスに「T」マークが付きます。「選択完了」ボタンをクリックした後、[転送]ボタンをクリックします。



SMJ-01062

7. SDI に挿入してある CFカードに SDR 用設定ファイルが作成されると、下記メッセージが表示されます。



SMJ-01063

#### 参考:

上記以外のメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージにしたがって操作し、設定ファイルを作成してください。

# DST-i ドライビングレコーダー (SDR)

再現性の乏しい故障が発生している場合など、車両データを連続して計測し、トリガスイッチを押すことにより、スイッチを押す10分前からスイッチを押してから5秒後までのデータを保存することができます。また、保存したデータを表示してデータを解析することができます。

本機能を使用する場合は、以下の手順によってデータの計測・解析を行ないます。

- 1) SDR 用設定ファイルを作成する。
- 2) SDR データを計測する。
- 3) 計測した SDR データを保存する。
- 4) 保存したデータを開き解析する。

#### 注意:

- ・ドライビングレコーダー機能を使用して計測を 行なう際は車両のデータリンクコネクタにデー タリンクケーブル接続状態で運転するため、取り 回しに気をつけ、運転に支障のないよう注意して ください。また、ケーブル接続状態で車両を運転 し、計測を行なうことへの安全性配慮について、 十分にお客様に説明し、了承していただいた上で 計測作業を行なってください。
- イグニッションスイッチ OFF 後など、計測不要な状況では、必ずモードスイッチを OFF/REC にしてください。モードスイッチを ON のままで長時間放置した場合、確実にバッテリがあがります。

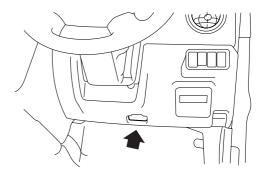
#### 参考:

- ・ドライビングレコーダー機能を使用して計測を 行なう場合は、SDカードが必要になりますので、 あらかじめ準備してください。
- ・ドライビングレコーダー機能を使用して計測を 行なう際、モードスイッチを「ON の状態で記録 する場合」と「OFF/REC の状態で記録する場合」 の2つの方法があります。
- SD カードを DST-i に挿入する、または取り出す際は、DST-i の電源を OFF にして行なってください。 DST-i の電源が ON の状態で挿入および取り出しを行なうと、SD カードの内部が損傷する恐れがあります。
- 本機能を使用するときは、必ず目的の車種の設定 ファイルを作成後に計測してください。SD カー ド内の設定ファイルが他の車種の場合は計測で きません。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが DST-i である場合のみ、実施が可能です。

## SDR 用設定ファイルを作成する

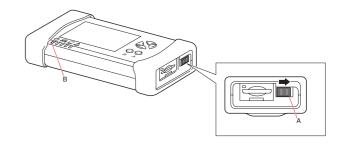
SD カードに計測項目を選択した設定ファイルを作成します。

- 1. DST-i、データリンクケーブル、USB ケーブル、 PC アプリがインストールされているパソコン、 SD カードを用意します。
- 2. DST-i のカードスロットに SD カードをセットします。
- 3. データリンクケーブルでDST-iを車両データリンクコネクタに接続します。



SMJ-00115

4. DST-i のモードスイッチを ON にし、電源インジケータが緑色に点灯することを確認します。

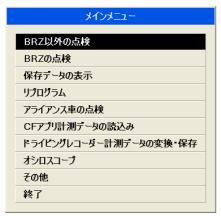


SMJ-01306

A: モードスイッチ

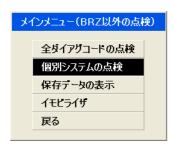
- B: 電源インジケータ
- USB ケーブルで、DST-i をパソコンに接続します。
- 6. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 7. パソコン画面上の SSM Ⅲのアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。

8. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



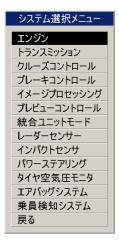
SMJ-01257

9. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

10.システム選択メニュー画面でエンジンを選択してください。



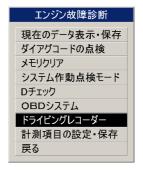
SMJ-00510

11.診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



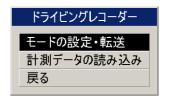
SMJ-00511

12.故障診断項目から「ドライビングレコーダー」を 選択してください。



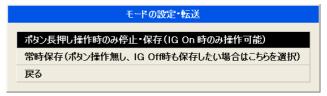
SMJ-00512

13.ドライビングレコーダーメニューから「モード の設定・転送」を選択してください。



SMJ-00513

14.項目選択画面から「ボタン長押し操作時のみ停止・保存(IG On 時のみ操作可能)」または「常時保存(ボタン操作無し、IG Off 時も保存したい場合はこちらを選択)」を選択してください。(ここでは「ボタン長押し操作時のみ停止・保存(IG On 時のみ操作可能)」を選択しています。)



SMJ-01485

15.計測項目選択画面が表示されます。

計測すべき推奨項目はあらかじめ選択されていますが、計測項目を追加/削除する場合は項目の チェックボックスを操作してください。

選択が完了したら[選択完了]ボタンをクリックします。



SMJ-01486

#### 参考:

項目設定中に下のダイアログボックスが表示された場合は、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

16.[選択完了] ボタンをクリックした後、[転送] ボタンをクリックします。



SMJ-01487

17.DST-i に挿入してある SD カードに SDR 用設定 ファイルが作成されると、下記メッセージが表示 されます。



SMJ-01488

#### 参考:

上記以外のメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージにしたがって操作し、設定ファイルを作成してください。

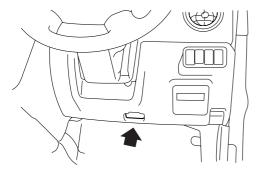
# SDR データを記録する

計測中に DST-i の「保存」を選択し、A キーを押す ことで SDR データを SD カードに記録します。

#### 参考:

- SDカードをDST-iに挿入する、または取り出す際は、DST-iの電源をOFFにして行なってください。DST-iの電源がONの状態で挿入および取り出しを行なうと、SDカードの内部が損傷する恐れがあります。
- 計測データの長さは、DST-iの A キーを押した 時点より 10 分前から 5 秒後までです。
- *I.* SDR用設定ファイルが書き込まれているSDカードを、DST-iのSDカードスロットに挿入します。

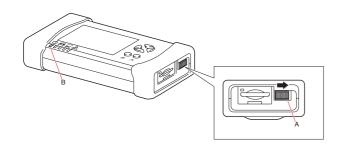
2. データリンクケーブルでDST-iを車両データリン クコネクタに接続します。



SMJ-00115

#### モードスイッチを ON の状態で記録する場 合

3. DST-i のモードスイッチを ON にし、電源インジケータが緑色に点灯することを確認します。



SMJ-01306

- A: モードスイッチ
- B: 電源インジケータ
- DST-i の電源が ON になると自動的に計測が開始 され、DST-i に下記画面が表示されます。



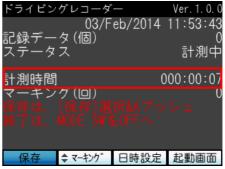
SMJ-01480

#### 参考:

- SD カード内に SDR 用設定ファイルがない場合は、スタンドアローンモードになります。
- DST-i 本体がドライビングレコーダーとして作動している場合、画面に「ドライビングレコーダー」と表示されます。
- 画面内の表示項目の説明を以下に記載します。 記録データ(個): SD カードに記録したデータ 数を表示します。

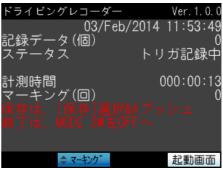
ステータス:現在の計測状態を表示します。 計測時間:計測開始からの計測時間を表示します。 マーキング(回):マーキングの回数を表示しま す。

• 画面中の"計測時間"がカウントされていることで、正常に計測できていることが判断できます。



SMJ-01493

5. 記録したい時点で DST-i の A キーを押します。A キーを押すと SDR データが SD カードに記録されます。 SDR データが SD カードに記録される際、 DST-i に下記画面が表示されます。



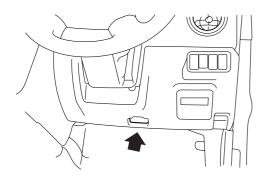
SMJ-01481

6. SDR データが SD カードに記録されると、自動的 に再度計測が開始されます。

計測を停止したい場合は、データリンクケーブルを車両データリンクコネクタから外すか、またはDST-iの画面で「起動画面」を選択し、Aキーを押してください。

### モードスイッチを OFF/REC の状態で記録 する場合

- DST-i 用シガーケーブルで車両と DST-i を接続します。
- 4. データリンクケーブルを車両データリンクコネ クタに差し込み、イグニッションスイッチを ON にします。



SMJ-00115

 DST-i の電源が ON になると自動的に計測が開始 され、DST-i に下記画面が表示されます。



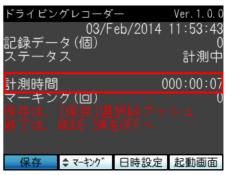
SMJ-01480

#### 参考:

- SD カード内に SDR 用設定ファイルがない場合は、スタンドアローンモードになります。
- DST-i 本体がドライビングレコーダーとして作動している場合、画面に「ドライビングレコーダー」と表示されます。
- 画面内の表示項目の説明を以下に記載します。 記録データ(個): SD カードに記録したデータ 数を表示します。

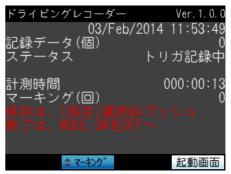
ステータス:現在の計測状態を表示します。 計測時間:計測開始からの計測時間を表示します。

- マーキング(回):マーキングの回数を表示します。
- 画面中の"計測時間"がカウントされていることで、正常に計測できていることが判断できます。



SMJ-01493

6. 記録したい時点で DST-i の A キーを押します。A キーを押すと SDR データが SD カードに記録されます。 SDR データが SD カードに記録される際、 DST-i に下記画面が表示されます。



SMJ-01481

7. SDR データが SD カードに記録されると、自動的 に再度計測が開始されます。

計測を停止したい場合は、データリンクケーブルを車両データリンクコネクタから外すか、またはDST-iの画面で「起動画面」を選択し、Aキーを押してください。

# SDR データを保存する

SDカードに記録したSDRデータをパソコンに保存します。

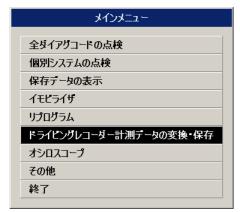
SD カードから SDR データを読み出す方法には、 DST-i のカードスロットから、またはパソコンの カードスロットからの2通りがあります。

#### 参考:

SD カードを DST-i に挿入する、または取り出す際は、DST-i の電源を OFF にして行なってください。 DST-i の電源が ON の状態で挿入および取り出しを行なうと、SD カードの内部が損傷する恐れがあります。

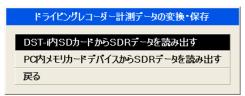
## DST-i の SD カードスロットから読み出す 場合

- *1.* DST-i のカードスロットに、SDR データが記録された SD カードをセットします。
- 2. USB ケーブルで、DST-i をパソコンに接続します。
- 3. DST-i のモードスイッチを ON にして、電源イン ジケータが点灯することを確認してください。
- *4.* パソコン画面上の SSM Ⅲのアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 5. 表示されたメインメニュー画面で、「ドライビン グレコーダー計測データの変換・保存」を選択し てください。



SMJ-00602

6. ドライビングレコーダー計測データの変換・保存 画面で、「DST-i内 SD カードから SDR データを 読み出す」を選択してください。



SMJ-01489

7. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタン

をクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00690

#### 参考:

- 計測データファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- ・保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。
- 8. 下記メッセージが表示されます。 現在の設定ファイルを使用して引き続き計測する場合は[はい]ボタンをクリックします。現在の設定ファイルを削除し、計測を停止する場合は [いいえ]ボタンをクリックします。



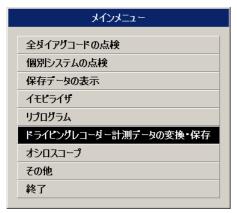
SMJ-00522

# パソコンのカードスロットから読み出す場合

#### 参考:

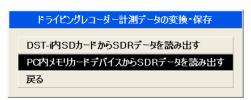
パソコンに SD カードスロットがない場合、別途 SD カードリーダーを用意する必要があります。

- 1. パソコン画面上の SSM Ⅲのアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「ドライビン グレコーダー計測データの変換・保存」を選択し てください。



SMJ-00602

3. ドライビングレコーダー計測データの変換・保存 画面で、「PC 内メモリーカードデバイスから SDR データを読み出す」を選択してください。



SMJ-01490

4. SDR計測データが入っているSDカードをパソコンのカードスロットに挿入し、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01491

5. 下記ダイアログボックスが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



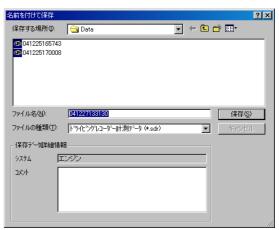
SMJ-01492

6. SD カードがセットしてあるドライブを選択して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00529

7. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00691

#### 参考:

- ・計測データファイルが保存される場所は、PCアプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。
- 8. 下記メッセージが表示されます。 現在の設定ファイルを使用して引き続き計測する場合は[はい]ボタンをクリックします。 現在の設定ファイルを削除し、計測を停止する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。



SMJ-00522

# 保存したデータを開き解析する

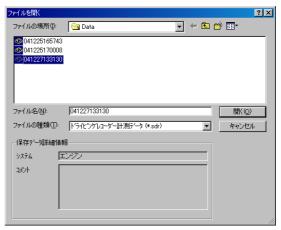
- *1.* パソコン画面上の SSM Ⅲ のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 2. 表示されたメインメニュー画面で、「保存データ の表示」を選択してください。



SMJ-00587

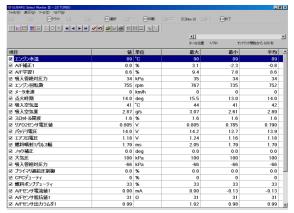
3. 保存されているファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。

"ファイルの種類"で「ドライビングレコーダー 計測データ(*.sdr)」を選択後、目的のファイル を選択して、[Enter] キーを押すか、[ 開く ] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00692

4. 保存されていたファイルのデータが読み出されて、デジタルデータ画面が表示されます。



SMJ-00604

#### 参考:

表示画面の操作は「保存したデータを見る」項と同様に行なうことができます。操作方法は「保存した データを見る」項を参照してください。

## トリガ機能

あらかじめ計測項目にトリガを設定しておき自動 的にトリガ検出して計測データを自動的に保存す ることができます。

トリガ設定は計測項目を選択した設定ファイルを 作成する際に行います。

トリガの設定方法には、コントロールユニットデータに対しあらかじめ計測項目にトリガを設定しておき自動的にトリガ検出する「入力データトリガ」があります。

1. 計測項目選択画面を表示して、項目選択後、「トリガ」ボタンをクリックします。



SMJ-01055

2. トリガ設定画面が表示されますので、「入力データトリガ」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-01056

- 3. トリガソースを設定します。
  - 一覧表の中からトリガを設定する項目のチェックボックスをクリックするか、または項目をダブルクリックします。



SMJ-01057

4. 入力データトリガ設定画面が表示されますので、 各項目を設定して、[OK] ボタンをクリックします。

## 計測項目がスイッチ入力以外の場合



SMJ-01058

1) レベル

トリガを検出する値(トリガレベル)を設定します。数値を直接入力するか、またはスピンボタンを操作して設定します。設定値は実際に取得できる値に限られますので、直接入力の場合に実在しない値を入力した場合は入力値の近似値が設定されます。

2) スロープ条件

計測データ値がトリガレベルに対し、どのような条件でトリガ検出するかを設定します。「両方↑/↓」を選択した場合、「立上り」または「立下り」のどちらか先に条件が成立した方をトリガとして検出します。

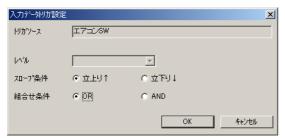
3) 組み合わせ条件

複数のトリガを設定した場合の組み合わせ条件を 設定します。

#### 参考:

複数の項目をトリガ設定する場合、「OR」または「AND」のどちらかに統一してください。

### 計測項目がスイッチ入力の場合



SMJ-01059

#### 1) レベル

トリガを検出する値(トリガレベル)を設定します。ボタンを操作して設定します。(計測項目によって選択できない場合があります。)

#### 2) スロープ条件

計測データ値がトリガレベルに、どのように入ってきた時点をトリガ検出とするかを設定します。「立上り↑」を選択した場合、OFF  $\rightarrow$  ON になった時点でトリガ検出します。「立下り↓」を選択した場合、ON  $\rightarrow$  OFF になった時点でトリガ検出します。「両方↑/↓」を選択した場合、どちらか先に条件が成立した時点でトリガ検出します。

#### 3)組み合わせ条件

複数のトリガを設定した場合の組み合わせ条件を 設定します。

#### 参考:

複数の項目をトリガ設定する場合、「OR」または「AND」のどちらかに統一してください。

5. トリガを設定した項目にはチェックボックスに チェックマークがつきます。

複数のトリガを設定する場合は、手順3と4を繰り返します。全てのトリガソースの設定が終了したら、「終了」ボタンをクリックします。



SMJ-01060

#### 参考:

- 一度設定したトリガ内容を変更する場合は、設定項目を選択後、[編集]ボタンをクリックし、「入力データトリガ設定」画面を表示させてください。
- 現在トリガ設定してある項目をトリガ項目から 除外したい場合は、該当項目のチェックボックス をクリックしてチェックを外してください。
- 項目設定中に下のダイアログボックスが表示された場合は、選択項目数が限界に達したことを意味します。この場合それ以上選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、計測項目(手順 1)またはトリガ設定項目(手順 3)でチェックを付けた項目の中から不要な項目のチェックを外してから、トリガを設定したい項目を選んでください。



SMJ-01061

6. トリガを設定した項目にはチェックボックスに 「T」マークが付きます。「選択完了」ボタンをクリックした後、「転送」ボタンをクリックします。



SMJ-01062

7. DST-i に挿入してある SD カードに SDR 用設定 ファイルが作成されると、下記メッセージが表示 されます。



SMJ-01063

#### 参考:

上記以外のメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージにしたがって操作し、設定ファイルを作成してください。

## 日時設定

DST-iの内蔵時計の日付と時間を設定することができます。

#### 参考:

- DST-i を長期間放置した際にリセットされた日時を設定することができます。
- SD カードに SDR 用設定ファイルを書き込むと、 自動的に日時が設定されます。
- 1. 右キーまたは左キーで設定を行う項目に移動し、 上キーと下キーで希望の値に設定します。
- 2. 設定が終了したら、「UPDATE」を選択して A キーを押します。

#### 参考:

設定を中止するときは、データリンクケーブルを車両データリンクコネクタから外すか、または DST-iの画面で「起動画面」を選択し、A キーを押してください。



SMJ-01482

# SDI コントロールユニット -アナログ同時計測(SDR)

ドライビングレコーダーでも、オプションのパルス /アナログキットを使用して、アナログデータとコ ントロールユニット データを同時に計測すること ができます。

本機能を使用する場合は、以下の手順によってデータの計測・解析を行ないます。

- 1) SDR 用設定ファイルを作成する。
- 2) SDR データを計測する。
- 3) 計測した SDR データを保存する。
- 4) 保存したデータを開き解析する。

なお、ドライビングレコーダーでコントロールユニット - アナログ同時計測を行なう基本的な手順は、ドライビングレコーダーと同様です。したがって、本項目では「SDR 用設定ファイルを作成する」、および「SDR データを記録する」方法の説明のみ記述します。それら以外の操作方法は「SDIドライビングレコーダー(SDR)」項を参照してください。

#### 参考:

- 本機能は SDI にパルス/アナログカートリッジ が装着されていないと使用できません。
- パルス/アナログキットの取り扱い上の注意、パルス/アナログカートリッジを SDI に取り付ける方法、および SDI のファームウェアを更新する方法は「SDI-アナログ計測」項を参照してください。
- 本機能を使用して計測を行なう場合は、CFカードが必要になりますので、あらかじめ準備してください。
- CF カードを SDI に挿入する、または取り出す際は、SDI の電源を OFF にして行なってください。 SDIの電源が ON の状態で挿入および取り出しを 行なうと、CF カードの内部が損傷する恐れがあ ります。
- 本機能を使用するときは、必ず目的の車種の設定 ファイルを作成後に計測してください。 CF カー ド内の設定ファイルが他の車種の場合は計測で きません。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。

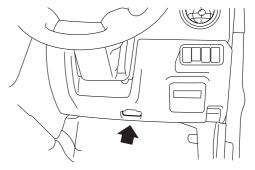
## SDR 用設定ファイルを作成する

CF カードに計測項目を選択した設定ファイルを作成します。

- 1. SDI、ダイアグケーブル、USB ケーブル、PC ア プリがインストールされているパソコン、CF カードを用意します。
- 2. SDI のカードスロット「CF1」に CF カードをセットします。
- 3. SDI のダイアグ通信コネクタにダイアグケーブ ルの本体側コネクタを接続します。
- 4. ダイアグケーブルの車両側コネクタを車両デー タリンクコネクタに差し込み、SDI の PWR LED が点灯することを確認します。

#### 参考:

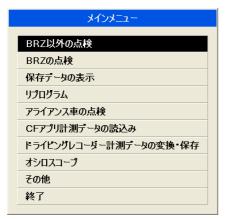
ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッ チを ON またはエンジンを始動して、SDI の [PWR] キーを押し、PWR LED が点灯することを確認しま す。



SMJ-00115

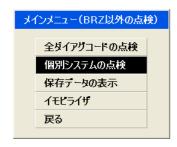
- 5. USB ケーブルで、SDI をパソコンに接続します。
- 6. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 7. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。

8. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



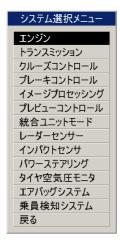
SMJ-01257

9. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

10.システム選択メニューでエンジンを選択してく ださい。



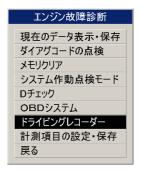
SMJ-00510

11.診断対象ダイアログボックスの適合確認ウイン ドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックし ます。



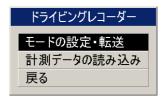
SMJ-00511

12.故障診断項目から「ドライビングレコーダー」を 選択してください。



SMJ-00512

13. ドライビングレコーダーメニューから「モード の設定・転送」を選択してください。



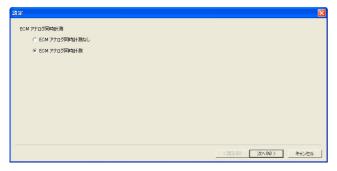
SMJ-00513

14.計測項目選択画面が表示されますので、[アナログ] ボタンをクリックします。



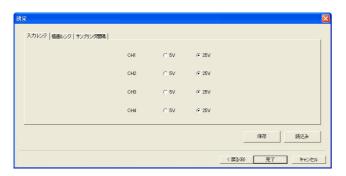
SMJ-00831

15.設定画面が表示されますので、「ECM アナログ 同時計測」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-00814

16.「入力レンジ」タブを選択して、アナログデータ の入力レンジを設定します。希望のレンジを設定 してください。



SMJ-00832

#### 参考:

入力レンジ設定の詳細な内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

17.「描画レンジ」タブを選択して、アナログデータ の描画レンジを設定します。希望のレンジを設定 してください。

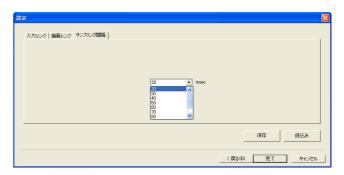


SMJ-00833

#### 参考:

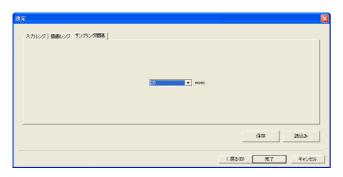
描画レンジ設定の詳細な内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

18.「サンプリング間隔」タブを選択して、アナログ データのサンプリング間隔を設定します。ドロッ プダウンメニューから希望の間隔を設定してく ださい。



SMJ-00834

19.全てのタブの設定が完了したら、[完了] ボタン をクリックします。



SMJ-00835

#### 参考:

- ・入力レンジ、描画レンジおよびサンプリング間隔の設定は、設定ファイルとして保存したり、保存した設定ファイルを読み込んだりすることができます。これらの操作は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」と同様に行なうことができます。操作方法は該当項目を参照してください。
- ・設定ファイルを読み込む際には、ダイアログボックス内のシステム欄に「ECM アナログ同時計測」と表示されるファイルを選択してください。
- 20.アナログ計測項目が追加された、計測項目選択 画面が表示されます。

コントロールユニットデータ計測項目は、計測すべき推奨項目はあらかじめ選択されていますが、計測項目を追加/削除する場合は項目のチェックボックスを操作してください。また、アナログ計測項目は全ての項目が選択されていますので、必要に応じてチェックマークを外してください。

計測項目の選択が完了したら[選択完了]ボタンをクリックします。



SMJ-00836

#### 参考:

チェック設定中に下のダイアログボックスが表示されたときは、コントロールユニット データの選択項目数が限界に達したことを意味します(アナログデータの選択項目数は関係ありません)。この場合それ以上コントロールユニット データを選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けたコントロールユニットデータの項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

21.[選択完了] ボタンをクリックした後、[転送] ボタンをクリックします。



SMJ-00837

22.SDIに挿入してあるCFカードにSDR用設定ファイルが作成されると、下記メッセージが表示されます。



SMJ-00516

#### 参考:

上記以外のメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージにしたがって操作し、設定ファイルを作成してください。

## SDR データを記録する

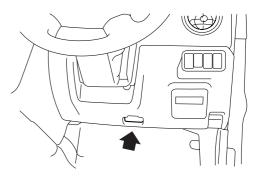
計測中に SDI の [TRG] キーまたはオプションのリモートボックスのトリガスイッチを押し、SDRデータを CF カードに記録します。

#### 参考:

- CF カードを SDI に挿入する、または取り出す際は、SDI の電源を OFF にして行なってください。 SDIの電源が ONの状態で挿入および取り出しを 行なうと、CF カードの内部が損傷する恐れがあります。
- CFカードに記録される計測データの長さは、SDIの [TRG] キーを押した時点より10分前から5秒後までです。
- I. SDI、ダイアグケーブル、USB ケーブル、SDR 用 設定ファイルが書き込まれている CF カード、パ ルス/アナログボックス、パルス/アナログプ ローブを用意します。
- 2. SDR 用設定ファイルが書き込まれている CF カードを、SDI のカードスロット「CF1」に挿入します。
- 3. パルス/アナログボックスを SDI に接続します。
- 4. パルス/アナログプローブをパルス/アナログ ボックスに接続します。
- 5. パルス/アナログプローブを計測したい場所に接続します。
- 6. ダイアグケーブルで SDI を車両のデータリンク コネクタに接続します。

#### 参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッ チを ON またはエンジンを始動して、SDI の [PWR] キーを押し、PWR LED が点灯することを確認しま す。



SMJ-00115

7. SDIの電源がONになると自動的に計測が開始され、SDIに下記画面が表示されます。

ドラレコモード アナログ 同時計測中

SMJ-00838

#### 参考:

SDI 本体がドライビングレコーダーとして作動している場合、画面に「ドラレコモード」と表示されます。

8. 記録したい時点でSDIの[TRG]キーまたはリモートボックスのトリガスイッチを長押し(1秒以上)します。

[TRG] キーまたはトリガスイッチを押すと SDR データが CF カードに記録されます。SDR データが CF カードに記録される際、SDI の画面に下記のように表示されます。

ドラレコモード トリガ記録中

SMJ-00556

9. SDR データが CF カードに記録されると、自動的 に再度計測が開始されます。

計測を停止したい場合は、ダイアグケーブルを車両データリンクコネクタから外すか、または SDI の [MENU] キーと [DOWN] キーを両方同時に長押し (2 秒以上) して、SDI の電源を OFF にしてください。

#### 参考:

SDR 用リモートボックスを使用せずに始動データを計測する場合は、イグニッションスイッチを ON (エンジン停止) にした状態で少し時間をおき、SDI の画面に「アナログ同時計測中」が表示されたら、エンジンを始動してデータを計測してください。

## SDR データを保存する

SDR データを保存する方法は、「SDI ドライビング レコーダー (SDR)」と同様です。操作方法は「SDI ドライビングレコーダー (SDR)」の「SDR データ を保存する」項を参照してください。

## 保存したデータを開き解析する

保存したデータを開き解析する方法は、「SDI ドライビングレコーダー(SDR)」と同様です。操作方法は「SDI ドライビングレコーダー(SDR)」の「保存したデータを開き解析する」項を参照してください。

# DST-i コントロールユニット -アナログ同時計測(SDR)

ドライビングレコーダーでも、オプションのオシロスコーププローブを使用して、アナログデータとコントロールユニット データを同時に計測することができます。

本機能を使用する場合は、以下の手順によってデータの計測・解析を行ないます。

- 1) SDR 用設定ファイルを作成する。
- 2) SDR データを記録する。
- 3) SDR データを保存する。
- 4) 保存したデータを開き解析する。

なお、ドライビングレコーダーでコントロールユニット・アナログ同時計測を行なう基本的な手順は、ドライビングレコーダーと同様です。したがって、本項目では「SDR 用設定ファイルを作成する」、および「SDR データを記録する」方法の説明のみ記述します。それら以外の操作方法は「DST-i ドライビングレコーダー(SDR)」項を参照してください。

#### 参考:

- オシロスコーププローブの取り扱い上の注意、オシロスコーププローブを DST-i に取り付ける方法は「DST-i アナログ計測」項を参照してください。
- 本機能は DST-i にオシロスコーププローブが装 着されていないと使用できません。
- 本機能を使用して計測を行なう場合は、SDカードが必要になりますので、あらかじめ準備してください。
- SD カードを DST-i に挿入する、または取り出す際は、DST-i の電源を OFF にして行なってください。 DST-i の電源が ON の状態で挿入および取り出しを行なうと、SD カードの内部が損傷する恐れがあります。
- 本機能を使用するときは、必ず目的の車種の設定 ファイルを作成後に計測してください。SD カー ド内の設定ファイルが他の車種の場合は計測で きません。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが DST-i である場合のみ、実施が可能です。
- ・オシロ機能ソフトは㈱デンソーのホームページ からダウンロード頂く必要があります。 また、オシロ機能は単体も PC も画面表示言語

は英語のみとなります。 オシロ機能の仕様と取扱説明書 ソフトのダウン

オシロ機能の仕様と取扱説明書、ソフトのダウンロードは下記をご参照下さい。 オシロ機能の仕様: http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/dst-i_spec.html オシロ機能の取扱説明書(日本語):

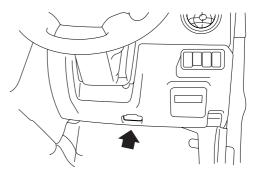
http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html オシロ機能ソフトのダウンロード:

http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/setup/ja/software.html

# SDR 用設定ファイルを作成する

SD カードに計測項目を選択した設定ファイルを作成します。

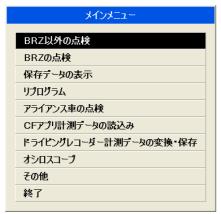
- 1. DST-i、データリンクケーブル、USB ケーブル、PC アプリがインストールされているパソコン、SD カードを用意します。
- DST-i のカードスロットに SD カードをセットします。
- 3. データリンクケーブルでDST-iを車両データリン クコネクタに接続します。



SMJ-00115

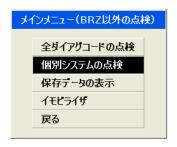
- 4. DST-iのPWR LEDが点灯することを確認します。
- 5. USBケーブルで、DST-iをパソコンに接続します。
- 6. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 7. パソコン画面上の SSM Ⅲのアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。

8. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



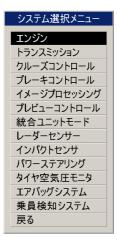
SMJ-01257

9. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

10.システム選択メニューでエンジンを選択してく ださい。



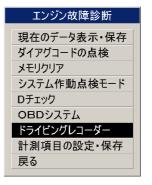
SMJ-00510

11.診断対象ダイアログボックスの適合確認ウインドウが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



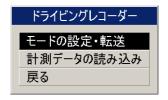
SMJ-00511

12.故障診断項目から「ドライビングレコーダー」を 選択してください。



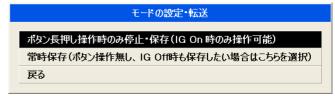
SMJ-00512

13. ドライビングレコーダーメニューから「モード の設定・転送」を選択してください。



SMJ-00513

14.項目選択画面から「ボタン長押し操作時のみ停止・保存(IG On 時のみ操作可能)」または「常時保存(ボタン操作無し、IG Off 時も保存したい場合はこちらを選択)」を選択してください。(ここでは「ボタン長押し操作時のみ停止・保存(IG On 時のみ操作可能)」を選択しています。)



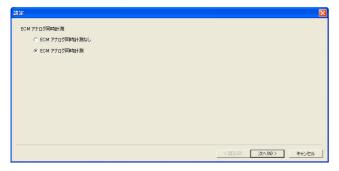
SMJ-01485

15.計測項目選択画面が表示されますので、[アナログ] ボタンをクリックします。



SMJ-00831

16.設定画面が表示されますので、「ECM アナログ 同時計測」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-00814

17.「入力レンジ」タブを選択して、アナログデータ の入力レンジを設定します。希望のレンジを設定 してください。



SMJ-00832

#### 参考:

入力レンジ設定の詳細な内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

18.「描画レンジ」タブを選択して、アナログデータ の描画レンジを設定します。希望のレンジを設定 してください。



SMJ-00833

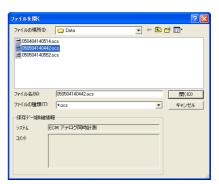
#### 参考:

描画レンジ設定の詳細な内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

19.設定が完了したら、[完了] ボタンをクリックします。

#### 参考:

- サンプリング間隔は、30ms 固定のため設定不要です。
- ・入力レンジ、描画レンジおよびサンプリング間隔の設定は、設定ファイルとして保存したり、保存した設定ファイルを読み込んだりすることができます。これらの操作は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」と同様に行なうことができます。操作方法は該当項目を参照してください。
- ・設定ファイルを読み込む際には、ダイアログボックス内のシステム欄に「ECM アナログ同時計測」と表示されるファイルを選択してください。



SMJ-00817

20.アナログ計測項目が追加された、計測項目選択 画面が表示されます。

コントロールユニットデータ計測項目は、計測すべき推奨項目はあらかじめ選択されていますが、計測項目を追加/削除する場合は項目のチェックボックスを操作してください。また、アナログ計測項目は全ての項目が選択されていますので、必要に応じてチェックマークを外してください。計測項目の選択が完了したら[選択完了]ボタンをクリックします。



SMJ-00836

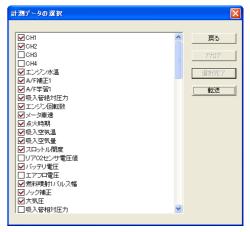
#### 参考:

チェック設定中に下のダイアログボックスが表示されたときは、コントロールユニット データの選択項目数が限界に達したことを意味します(アナログデータの選択項目数は関係ありません)。この場合それ以上コントロールユニット データを選択することはできません。他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けたコントロールユニットデータの項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

21.[選択完了] ボタンをクリックした後、[転送] ボタンをクリックします。



SMJ-00837

22.DST-i に挿入してある SD カードに SDR 用設定 ファイルが作成されると、下記メッセージが表示されます。



SMJ-01513

#### 参考:

上記以外のメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージにしたがって操作し、設定ファイルを作成してください。

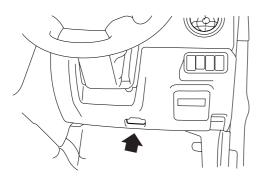
# SDR データを記録する

計測中に DST-i の「保存」を選択し、A キーを押す ことで SDR データを SD カードに記録します。

#### 参考:

- SDカードをDST-iに挿入する、または取り出す際は、DST-iの電源をOFFにして行なってください。DST-iの電源がONの状態で挿入および取り出しを行なうと、SDカードの内部が損傷する恐れがあります。
- SD カードに記録される計測データの長さは、 DST-iのAキーを押した時点より10分前から5 秒後までです。
- 1. DST-i、データリンクケーブル、USB ケーブル、 SDR用設定ファイルが書き込まれているSDカー ド、オシロスコーププローブを用意します。

- 2. SDR 用設定ファイルが書き込まれている SD カードを、DST-iの SD カードスロットに挿入します。
- 3. オシロスコーププローブを DST-i に接続します。
- オシロスコーププローブを計測したい場所に接続します。
- 5. データリンクケーブルでDST-iを車両データリンクコネクタに接続します。



SMJ-00115

- 6. DST-i のモードスイッチを ON にします。
- 7. DST-i の電源が ON になると自動的に計測が開始 され、DST-i に下記画面が表示されます。



SMJ-01483

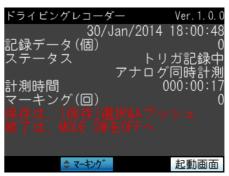
#### 参考:

- SD カード内に SDR 用設定ファイルがない場合 は、スタンドアローンモードになります。
- DST-i 本体がドライビングレコーダーとして作動している場合、画面に「ドライビングレコーダー」と表示されます。
- 画面内の表示項目の説明を以下に記載します。 記録データ(個): SD カードに記録したデータ 数を表示します。

ステータス:現在の計測状態を表示します。 計測時間:計測開始からの計測時間を表示しま す。

マーキング(回):マーキングの回数を表示します。

- ・画面中の"計測時間"がカウントされていることで、正常に計測できていることが判断できます。
- 8. 記録したい時点で DST-i の A キーを押します。A キーを押すと SDR データが SD カードに記録さ れます。 SDR データが SD カードに記録される 際、DST-i に下記画面が表示されます。



SMJ-01484

9. SDR データが SD カードに記録されると、自動的 に再度計測が開始されます。

計測を停止したい場合は、データリンクケーブルを車両データリンクコネクタから外すか、またはDST-iの画面で「起動画面」を選択し、Aキーを押してください。

# SDR データを保存する

SDR データを保存する方法は、「DST-i ドライビングレコーダー (SDR)」と同様です。操作方法は「DST-i ドライビングレコーダー (SDR)」の「SDR データを保存する」項を参照してください。

# 保存したデータを開き解析する

保存したデータを開き解析する方法は、「DST-i ドライビングレコーダー(SDR)」と同様です。操作方法は「DST-i ドライビングレコーダー(SDR)」の「保存したデータを開き解析する」項を参照してください。

# リモートボックス

オプションのリモートボックスを使用することによって、SDI の電源を ON にすることができます。また、トリガ信号検出および内蔵 G センサの出力信号の計測ができます。

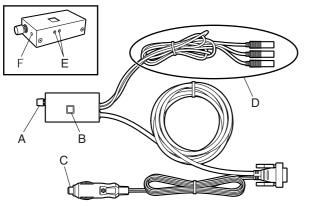
#### 参考:

- リモートボックスはオプション設定となっており、標準ではSSMIIIキットに付属していません。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。

## 取り扱い上の注意

- ・ダイアグケーブルまたはACアダプタにより、SDI に電源が供給されている場合は、SDI の電源が OFF の状態 (PWR LED が消灯) でも、リモートボックスには電源が供給されています。このため、リモートボックスの接続または取り外しの際は、必ず SDI への電源供給を全て切断した状態で行なってください。SDI へ電源を供給した状態で接続、取り外しを行なうと、故障の原因になります。
- リモートボックスは絶対に分解しないでください。
- 本製品は防水仕様ではありません。水、オイル、 グリース等がかからないように注意してください。

# 各部の名称



SMJ-00711

A:トリガスイッチ B:POWER ON ボタン

C:シガープラグ D:プローブ

E:バイアス調整穴 F:LED ライト

## SDIへの接続

1. ダイアグケーブル、AC アダプタを SDI から取り 外します。

#### 注意:

SDIの電源供給を全て切断した状態にします。

SDIのリモートボックスコネクタにリモートボックスを接続します。

# リモートボックスの機能

### SDI本体の電源起動

以下の操作をすることによって、SDI の PWR キーを押さずに SDI の電源を ON にすることができます。

### 1) スイッチ操作

リモートボックスの POWER ON ボタン (青色) を押すことにより、SDI の電源が ON になります。

#### 2) イグニッション信号検知

リモートボックスのシガープラグを車両に接続し、イグニッションスイッチをアクセサリ(ACC)位置にすると、イグニッション信号を検出し自動的にSDIの電源がONになります。

#### 3) 加速度検知

リモートボックスをドアポケット等にセットした後ドアを開閉すると、リモートボックスに内蔵されているGセンサのX軸またはY軸の出力電圧を検出し、自動的にSDIの電源がONになります。

#### 参考:

この機能は、ドライビングレコーダー機能を使用して始動時のデータを計測する場合に重要となります。

# トリガ信号出力

ドライビングレコーダーモードで、リモートボックスのトリガスイッチを押すことにより、SDIの[TRG]キーを押すのと同様に、トリガをかけることができます。

# G センサアナログ出力

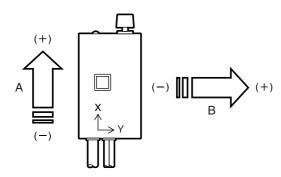
リモートボックスに内蔵されている G センサの X 軸および Y 軸の出力電圧を、それぞれ独立して計測することができます。

# G センサアナログ出力計測

- 1. SDI、リモートボックス、パルス/アナログキット、PC アプリがインストールされたパソコンを用意します。
- 2. リモートボックスを車両の水平または垂直な場所にしっかり固定します。

#### 参考:

• G センサの加速度検出方向は、リモートボックスに表示されている X 軸および Y 軸の矢印方向が+(プラス)側として出力されます。

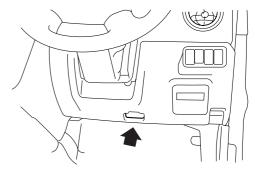


SMJ-00712

- A: 矢印の方向に加速度を与えると、X軸方向のアナログ出力(赤色プローブ)の電圧が上がる。
- B: 矢印の方向に加速度を与えると、Y 軸方向のア ナログ出力(青色プローブ)の電圧が上がる。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。
- 3. リモートボックスを SDI に接続します。
- 4. ダイアグケーブルで SDI を車両のデータリンク コネクタに接続します。

#### 参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッ チを ON またはエンジンを始動してから、SDI の [PWR] キーを押して PWR LED が点灯することを 確認します。



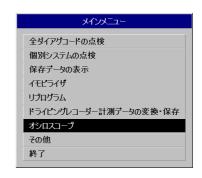
SMJ-00115

- 5. USB ケーブルで、SDI をパソコンに接続します。
- 6. パルス/アナログボックスを SDI に接続します。
- 7. リモートボックスの赤色および青色のプローブ をパルス/アナログボックスのアナログポート に、黒色プローブを COM ポートにそれぞれ接続 します。

#### 参考:

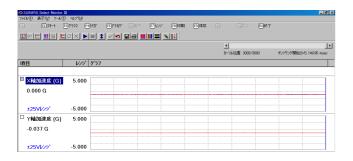
プローブの赤色は X 軸、青色は Y 軸の信号を出力し、黒色は GND となります。

- 8. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 9. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 10.表示されたメインメニュー画面で「オシロス コープ」を選択してください。



SMJ-00614

11.アナログ計測画面が表示されますので、入力レンジを「5V」に設定します。入力レンジの設定方法については「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。



SMJ-00713

#### 参考:

本 G センサの出力特性は 1.3V/G です。また、0 G での出力電圧は 2.5V です。したがって、G センサの出力値を物理量(単位: G)で表示させたい場合は、アナログ設定の変換レートおよびオフセットに下記数値を入力してください。

- ・変換レート= 0.769
- ・オフセット= -1.923



SMJ-00821

上記のように、物理量表示を設定した上で、リモートボックスを水平にした状態で 0 点 (0G) からずれている場合は、プラスドライバをバイアス調整穴に差し込み、調整ネジを回して波形レベルを調整してください。調整の際、ドライバを時計方向に回すと、波形は一(マイナス)側に移動します。

# リプログラム

SSMIII にはパススルー方式のリプログラム機能が搭載されています。ここでは、SSMIII を用いたリプログラム作業の概要について説明します。

# コントロールユニットのリプログラム作業時の注意点

### 作業前に

- 無線 LAN または Bluetooth を使用した場合、リプログラムは実行できません。リプログラムを実行する場合は USB 接続で行ってください。
- リプログラム作業は高圧電線から 50m 以上離れた場所で行う。
- ・リプログラム作業は高電圧を発生する機器から 10m 以上離れた場所で行う。
- リプログラム作業は電気ノイズを発生するもの (点火を点検中の車両等)から2m以上離れた場 所で行う。
- 電波を発生する電子機器(携帯電話やポケットベル等) から 2m 以上離れた場所で行う。
- リプログラム作業を始める前に、全ての電気装置 (灯火器類、シートヒータ、オーディオ、シガー ライタ、パワーシート等)のスイッチを OFF に する。
- 雰囲気温度0℃以下ではリプログラムは自動的に 中断される。
- ・リプログラムを実施する前に、必ず PC の電源管理の設定を「常に ON」に設定する。「常に ON」に設定しておかないと、リプログラムの途中でPC の電源が OFF になることにより通信エラーが発生し、リプログラムができなくなる可能性がある。
- ・リプログラム前にリプログラム対象コントロールユニットも含めた全てのコントロールユニットのDTCを確認し、DTCがある場合は故障箇所を修復してください。故障箇所の修復後は必ず「メモリクリア」を実行してください。

#### 作業中は

- 車両のスイッチ類には一切触れないこと。
- ペダルを踏まない、またドアの開閉も行わないこと。
- 車両から離れないこと。
- ケーブルやコネクタには触らず、またインターフェースボックスも動かさないこと。
- リプログラム実施中に、コンビメータ内の一部の 警告灯が点灯したり、またはマルチインフォメー

ション部に「Err HC」、「Err EG」などが表示される場合がありますが、異常ではありません。

### 作業後に

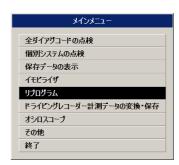
リプログラム終了時、CAN 通信対象ユニットに CAN 通信関連の DTC が残っている場合がありま す。その場合は必ず「メモリクリア」を実行してく ださい。

## コントロールユニットリプログラム 作業(BRZ の VDC 以外の場合)

- 1. インターフェースボックス、USB ケーブル、SSM Ⅲアプリがインストールされているパソコン、ダ イアグケーブルまたはデータリンクケーブルを 用意します。
- 2. デリバリモードヒューズ(テストモード端子)(緑色)を接続する。

#### 参考:

- 車種によってはジャンパハーネスの接続が必要な場合があります。
- 車両に搭載されている、ヒューズを使用しないでください。
- デリバリモードヒューズ (テストモード端子)の 接続と分離は、イグニッションスイッチを OFF にして行ってください。
- 3. ダイアグケーブルまたはデータリンクケーブル でインターフェースボックスを車両のデータリ ンクコネクタに接続します。
- 4. USB ケーブルで、インターフェースボックスを パソコンに接続します。
- 5. イグニッションスイッチを ON にします。
- 6. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックしてSSMIIIを起動します。メインメニュー 画面が表示されます。
- 7. メインメニューから「リプログラム」を選択し実 行します。



SMJ-00605

8. Serch FlachWrite (サーチフラッシュライト) の画面が表示されます。メニューの「オプション」から「データベース選択」をクリックします。



SMJ-01081

9. データベース選択画面が表示されますので目的 のデータベースファイル (.mdb ファイル) を選 択した後、「開く」ボタンをクリックします。



SMJ-01082

10.Serch FlachWrite の画面で、「車両仕様」の各項目を選択し、「検索」ボタンをクリックします。(ここでは、仮に「車種」を「NewAge インプレッサ」とします。)

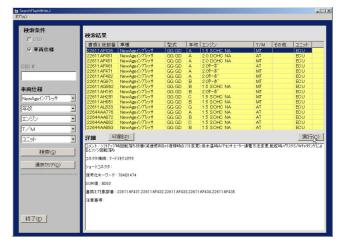


SMJ-01083

### 参考:

データベース上に無い PAK ファイルをネットリ プロからダウンロードし、リプログラムする場

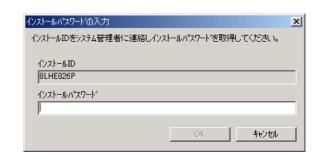
- 合、Serch FlachWrite (サーチフラッシュライト) で検索することはできません。この場合は、ネットリプロでダウンロードした PAK ファイルを直接ダブルクリックして、リプログラムを実施してください。
- 選択した検索条件で検索結果が表示されない場合、[検索クリア] ボタンを押すことで検索項目をクリアし、検索項目を初期設定に戻すことができます。
- 11.検索結果を確認し、書換え後部番欄にリストアップされている PAK ファイルをダブルクリックするか、PAK ファイルを選択した後に[実行]ボタンを押してください。



SMJ-01084

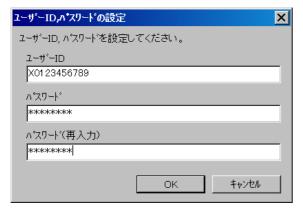
#### 参考:

- •[印刷] ボタンを押すことで、検索結果欄の選択項目とそれらの詳細を印刷することができます。
- 初めてPCアプリをインストールしたパソコンで リプログラムを実行すると、インストールパス ワードの入力を要求する画面が表示されます。そ の場合は、弊社品質保証部にインストール ID を 連絡し、対応するパスワードを入手してください。



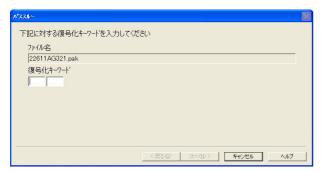
SMJ-00371

PC アプリをインストール後、初めてリプログラムを実行すると、ユーザー ID とパスワードを設定する画面が表示されます。その場合は、希望のユーザー ID とパスワードを入力してください。



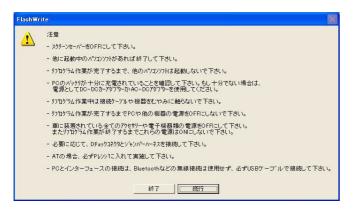
SMJ-00547

リプログラム作業中に複号化キーワードの入力 を要求する画面が表示されます。その場合は、弊 社品質保証部発行の資料を参照してください。



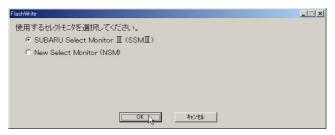
SMJ-01117

12.リプログラム時の注意事項を記述した画面が表示されますので、注意事項を確認した後、[続行] ボタンをクリックします。



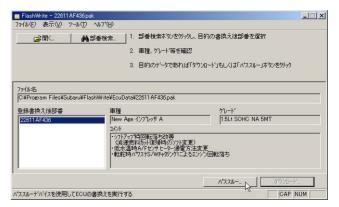
SMJ-01414

*13.*パススルーデバイス選択画面が表示されます。 「SUBARU Select Monitor III (SSMIII)」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-01086

14.FlashWrite (フラッシュライト) 画面で、[パススルー] ボタンをクリックし、リプログラムを実行します。



SMJ-01087

#### 参考:

使用しているインターフェースボックスが DST-i の場合、対応していない PAK ファイルを選択すると、[パススルー] ボタンをクリックできず、リプログラムを実行できません。その場合は、使用するインターフェースボックスを SDI に変更してください。

インターフェースボックスの設定方法については、「インターフェースボックスの選択」項を参照し、使用するインターフェースボックスを SDI に設定してください。

15.画面の指示にしたがってリプロ作業を行なってください。なお、リプロ作業の不明点については、FlashWriteのヘルプファイルを参照してください。

# リプログラム中に通信エラーが発生した場合の対処方法

リプログラム中にPCまたはインターフェースボックスの電源が OFF になる、ダイアグケーブルまたは USB ケーブルが抜けるなど、何らかの原因で通信エラーが発生した場合は、下記ダイアログボックスが表示されます。この場合は、下記参考を参照の上、画面に表示される指示に従い、再リプログラムを行なってください。

リプログラム中に通信エラーとなった場合でも、基本的にはコントロールユニットを破損させないようになっています (サンバーを除く)。しかし、通信エラー時の対応によってはコントロールユニットを破損させてしまうことになりますので十分注意してください。



SMJ-00761

#### 参考:

SSMIII でリプログラムする場合、コントロールユニット内のリプロに関する情報が PC 内のハードディスクにメモリされます。再リプログラムの際はこの情報を使用します。また、この情報を使用します。また、られます。した後に書き換えられます。した後にまると、ハートでラムしたが見られて、カードでリーのであると、ハードでリーが発生したのであるため、両にリーのはいるによりでは、必ずハードではのため、内に、ローに関がした場がます。というによったのため、内に、ローに関いでは、必ずハードディスクにメモリされたの事がよりに、なお、ハードディスクによるに、なお、ハードディスクによるに、なお、ハードディスクによるには、PCの電源をOFFにしても消去されません。

## メインマイコンとサブマイコンのリプログ ラムについて

コントロールユニットにメインマイコンとサブマイコンがある場合、NSMでは2回リプログラムを実行していました。しかし、SSMIIIではメインマイコンとサブマイコンを連続して書き換えることができるため、1回のリプログラムで両方書き換えることができます。

## コントロールユニットリプログラム 作業(BRZ の VDC の場合)

本項目では、CUW (CalibrationUpdateWizard) を利用した、BRZ の VDC のリプログラムの手順について記載されています。

#### 参考:

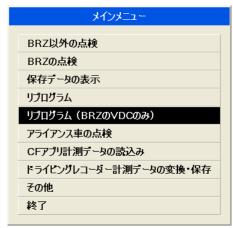
CUW を利用したリプログラムは、BRZ の VDC にのみ実施可能です。

#### 準備

- 1. インターフェースボックス、USB ケーブル、SSM Ⅲアプリがインストールされているパソコン、ダ イアグケーブルまたはデータリンクケーブルを 用意します。
- 2. ダイアグケーブルまたはデータリンクケーブル でインターフェースボックスを車両のデータリ ンクコネクタに接続します。
- 3. USB ケーブルで、インターフェースボックスを パソコンに接続します。
- 4. イグニッションスイッチを ON にします。
- 5. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックしてSSMIIIを起動します。メインメニュー 画面が表示されます。

# SSMIII アプリケーションから CUW を起動する場合

1. メインメニューで「リプログラム(BRZ の VDC のみ)」を選択してください。



SMJ-01377

2. 表示言語を設定します。(ここでは Japanese を選択しています。)



SMJ-01378

#### 参考:

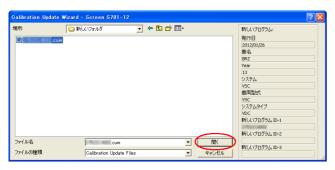
初期設定では、常に English に設定されています。

3. 設定内容を確認後、[ファイルを開く]ボタンを クリックします。



SMJ-01379

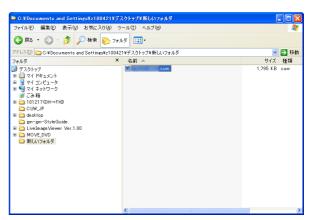
4. 目的の .cuw ファイルを選択し、[ 開く ] ボタンを クリックします。



SMJ-01380

## .cuw ファイルから CUW を起動する場合

1. 目的の .cuw ファイルを選択し、ダブルクリック します。



SMJ-01381

2. 表示言語を設定します。(ここでは Japanese を選択しています。)

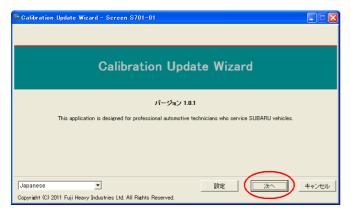


SMJ-01382

#### 参考:

初期設定では、常に English に設定されています。

3. [次へ] ボタンをクリックします。



SMJ-01383

# リプログラムの実施

1. [次へ] ボタンをクリックします。



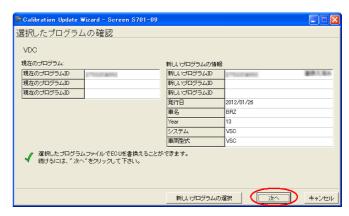
SMJ-01384

2. 下記画面が表示されますので、そのままお待ちください。



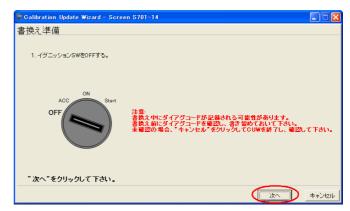
SMJ-01385

3. [次へ] ボタンをクリックします。



SMJ-01386

4. 表示内容を確認して[次へ]ボタンをクリックしてください。



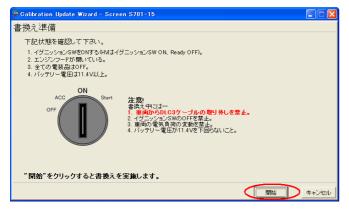
SMJ-01387

5. 下記画面が表示されますので、そのまましばらく お待ちください。



SMJ-01388

6. 表示内容を確認して [開始] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01389

7. 下記画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



SMJ-01390

8. 表示内容を確認して[次へ]ボタンをクリックしてください。



SMJ-01391

9. 下記画面が表示されますので、そのままお待ちください。



SMJ-01392

10.表示内容を確認して[次へ]ボタンをクリックしてください。



SMJ-01393

11.下記画面が表示されますので、そのままお待ちください。



SMJ-01394

12.リプログラムが正常に終了すると下記画面が表示されます。表示内容を確認して[終了]ボタンをクリックしてください。



SMJ-01395

# オプション設定

## 画面表示フォントの変更

画面表示フォントの種類、サイズ、スタイルを変更 することができます。

[ツール]をクリックした後[オプション]をクリックして、フォント選択タブを表示させます。



SMJ-00606

"フォント"選択ボックス横の矢印をクリックして、 希望するフォントを選んでください。

"サイズ"選択ボックス横の矢印をクリックして、 希望するサイズを選択してください。

"スタイル"のボックス横の矢印をクリックして、 希望するスタイル(細字/太字)を選択してください。

選択が完了したら[OK]ボタンをクリックします。



SMJ-00103

## 表示単位の変更

SSMIII の表示基本単位は SI 単位ですが、速度 / 温度 / 圧力 / 空気流量の単位を SI 単位以外に設定することが可能です。

[ツール]をクリックした後、[オプション]をクリックします。



SMJ-00606

単位選択タブを表示させ、希望の表示単位を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-00105

デジタルデータ画面またはグラフ画面で、ファンクションキーバーのPDNon SIをクリックするか、パソコンのファンクションキーのF10を押すと、設定した表示単位で計測データが表示されます。



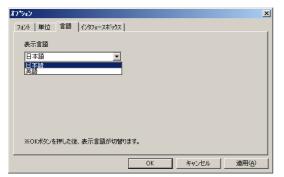
SMJ-00607

## 表示言語の変更

[ツール]をクリックした後[オプション]をクリックして、言語選択タブを選択して表示させます。 表示された選択ボックスから、希望の言語を選択します。

#### 参考:

インストール時はパソコンの環境の言語に設定されます



SMJ-00871

# 通信ログデータ

必要に応じて、通信ログデータを記録および取得することができます。

#### 参考:

通信ログデータとは、SSMIII アプリケーションの利用状況やデータ通信の記録です。操作やデータの送受信が行われた日時と、行われた操作の内容や送受信されたデータの中身などが記録されます。

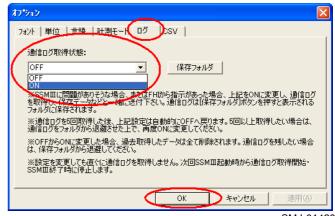
# 通信ログデータの記録手順

[ツール]をクリックした後、[オプション]をクリックします。



SMJ-00606

2. ログ設定タブを表示させ、通信ログ取得状態を設定して [OK] ボタンをクリックしてください。



SMJ-01423

#### 参考:

- 通信ログ取得状態を OFF から ON に変更した場合、過去に取得した通信ログデータは全て消去されます。過去に取得した通信ログデータを残したい場合は、保存フォルダから退避させてください。
- SSMIII アプリケーションの起動を5回行った 後、通信ログ取得状態の設定は自動的に OFF へ 戻ります。
- 3. SSMIII を再起動してください。
- 4. 記録させたい通信ログデータに応じて、SSMIII アプリケーションを操作します。
- 5. SSMIII を終了します。

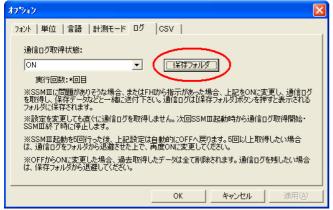
#### 参考:

以上の手順により、SSMIII を再起動してから終了するまでの通信ログデータが保存フォルダに記録されます。

## 通信ログデータの保存先の確認

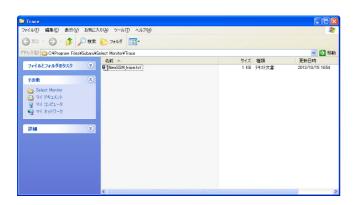
取得した通信ログデータの保存先を確認します。

ログ設定タブを表示させ、[保存フォルダ]ボタンをクリックしてください。



SMJ-01466

通信ログデータの保存先が表示されます。



SMJ-01467

## 表示値文字列形式の変換

表示文字列の形式を CSV 形式に変換することができます。

[ツール]をクリックした後、[オプション]をクリックします。



SMJ-00606

CSV 設定タブを表示させ、文字列形式表示の出力 方法を [数値に変換] に設定して [OK] ボタンをク リックしてください。



SMJ-01444

# SDI-アナログ計測

オプションのパルス/アナログカートリッジ、パルス/アナログボックスおよびパルス/アナログプローブを使用して、アナログデータの計測ができます。

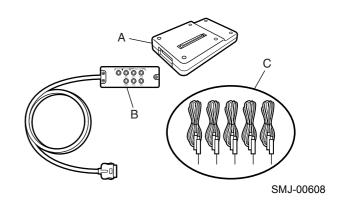
#### 参考:

- パルス/アナログカートリッジ、パルス/アナログボックス、パルス/アナログプローブはオプション設定となっており、標準では SSMIII キットに付属していません。
- アナログ計測で保存できる最大データ数は 5000 データです。
- この計測器は、差動入力のため、マイナス(一) 側も計測が可能です。また、入力チャンネルは 4ch、マイナス(一)入力は共通となっています。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。

## 取り扱い上の注意

- SDI、パルス/アナログカートリッジ、パルス/ アナログボックス、パルス/アナログプローブは 絶対に分解しないでください。
- パルス/アナログカートリッジの取り付け、取り 外しの際は、SDIの電源がOFF (PWR LED が消 灯)の状態で行なってください。電源がONの状態で取り付け、取り外しを行なうと、SDI 本体お よびパルス/アナログカートリッジの故障の原 因となります。
- SDI 本体裏側のカバーは、正しく取り付けてください。カバーが正しく取り付けられていないと、SDI の電源が切断される場合があります。
- 静電気を帯びた状態で、SDI 本体またはパルス/ アナログカートリッジのコネクタ部に触れない でください。SDI 本体およびパルス/アナログ カートリッジの故障の原因となります。
- 本製品は防水仕様ではありません。水、オイル、 グリース等がかからないように注意してください。
- 許容入力電圧範囲は、「COM」端子に対して±30Vです。故障の原因となりますので、許容電圧を超えた信号を入力させないようにしてください。

# パルス/アナログキットの内容品



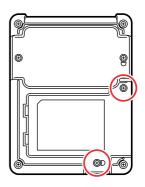
A:パルス/アナログカートリッジ B:パルス/アナログボックス

C: パルス/アナログプローブ

# 計測前の準備

# パルス/アナログカートリッジを SDI に取付ける

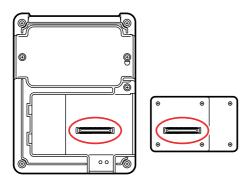
- *I.* SDI、パルス/アナログカートリッジおよびプラスドライバーを用意します。
- 2. SDI 裏面のコーションラベルが貼り付けてあるカバーの取付けネジ2本を緩めて、カバーを取り外します。



SMJ-00609

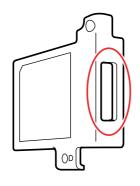
3. パルス/アナログカートリッジを SDI に取付けます。

パルス/アナログカートリッジとSDIのコネクタの 位置が合うように、注意して取り付けてください。



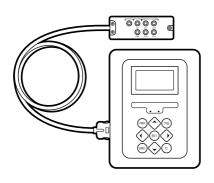
SMJ-00610

4. カバーについているメクラプラグを取り外します。(メクラプラグを取り外したところにパルス/アナログボックスのコネクタを差し込みます。)



SMJ-00611

- 5. カバーを正しく取り付けた後、取り外したネジ2 本を締め付けます。
- 6. SDI 裏側カバーのメクラプラグを外した箇所に、 パルス/アナログボックスを接続します。



SMJ-00612

7. **SDI** の電源が **ON** になることを確認して、作業を 終了します。

### SDI のファームウェアを更新する

初めてアナログ計測を開始するときは、SDIのファームウェアのバージョンアップを行ってください。SDIのファームウェアのバージョンが古いと、アナログ計測ができません。

パルス/アナログカートリッジを取り付けた後に、アナログ計測を開始すると、下記画面が表示されますので、画面の指示にしたがってバージョンアップを行なってください。 なお、バージョンアップ中は、バージョンアップが完了するまで、そのままお待ちください。



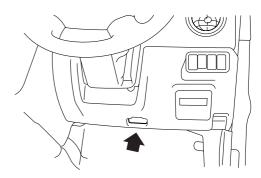
SMJ-00613

## 計測を開始する

- I. SDI、ダイアグケーブル、USB ケーブル、PC ア プリがインストールされているパソコン、パルス /アナログボックス、パルス/アナログプローブ を用意します。
- 2. ダイアグケーブルで SDI を車両のデータリンク コネクタに接続します。

#### 参考:

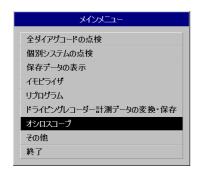
ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッチを ON またはエンジンを始動してから、SDI の [PWR] キーを押して PWR LED が点灯することを確認します。



SMJ-00115

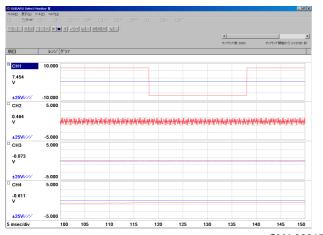
3. USB ケーブルで、SDI をパソコンに接続します。 4. パルス/アナログボックスを SDI に接続します。

- 5. パルス/アナログプローブをパルス/アナログ ボックスに接続します。
- 6. パルス/アナログプローブを計測したい場所に接続します。
- 7. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 8. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 9. 表示されたメインメニュー画面で「オシロスコープ」を選択してください。



SMJ-00614

10.グラフ1画面が表示されて、自動的に計測が開始されます。



SMJ-00615

## アナログ計測設定

アナログ計測時は、入力レンジ、描画レンジおよび 計測モードを必要に応じて設定してください。また、設定したデータを保存したり、保存した設定 ファイルを読み出すことができます。

## 計測モードを選択する

計測する際のモードを、自動停止させずに連続して 計測するか、または5000データ取得後自動停止させるかを選択します。

1. 計測を停止した状態でファンクションキーバー の Fi アナロケ ボタンをクリックするか、パソコンの ファンクションキー F5 を押します。



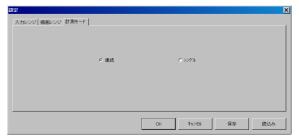
SMJ-00617

2. 設定画面が表示されますので、「計測モード」タブをクリックします。

「連続」または「シングル」のどちらか1つを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

「連続」を選択した場合は、自動的に停止せずに連続して計測します。

「シングル」を選択した場合は、5000 データ取得後、自動的に計測が停止します。



SMJ-00618

#### 参考:

初期状態では「連続」が設定されています。必要に 応じて「シングル」を設定してください。

### 描画レンジを設定する

描画レンジ設定は、計測中パソコンの画面に表示されるレンジを設定します。描画レンジには入力されるデータのレンジに応じて自動的にレンジが設定される「オートレンジ設定」、および希望のレンジを手動で設定できる「ユーザー設定」があります。

1. 計測を停止した状態でファンクションキーバー の FT か ボタンをクリックするか、パソコンの ファンクションキー F5 を押します。



SMJ-00617

設定画面が表示されますので「描画レンジ」タブをクリックします。

希望の項目の値を変更し、設定が完了したら [OK] ボタンをクリックします。

### オートレンジ設定



SMJ-00619

オートレンジ設定にすると、入力データに応じて自動的にレンジが設定されます。

### ユーザー設定



SMJ-00620

ユーザー設定では、チャンネル毎に希望の値を設定して描画することができます。また、変換レートを入力することで、単なる電圧表示ではなく、物理値として表示することができます。

#### 1)項目

入力した名称が計測画面の「項目」に表示されます。 2)変換レート

IV 当たりの変換値を設定します。変換レートの数値は、お使いの計測器の取扱説明書を参照してください。

3) オフセット

変換した値のオフセット値を設定します。

4) 単位

単位を設定します。

5) オートレンジ

チャンネル毎にオートレンジ設定またはユーザー 設定を個別に設定ができます。チェックを付けた チャンネルは、変換レートとオフセットで算出した 値をベースにオートレンジで描画されます。

6) 最大

描画レンジの最大値を設定します。

7) 最小

描画レンジの最小値を設定します。

#### 参考:

設定項目に数値等を入力した際に、入力した数値を確定する場合は、入力カーソルを他の入力ボックスに移動するか、パソコンの [Enter] キーを押してください。また、入力カーソルを他の入力ボックスに移動する場合は、マウスを使用するか、パソコンの [Tab] キーを押してください。

## 入力レンジを選択する

入力レンジ設定は、入力データのレンジに応じて、5Vまたは25Vのどちらか1つを選択してください。

I. 計測を停止した状態でファンクションキーバー のFIアナロゲ ボタンをクリックするか、パソコンの ファンクションキー F5 を押します。



SMJ-00617

2. 設定画面が表示されます。入力レンジを 5V または 25V のどちらか 1 つを選択して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00621

初期設定は 25V に設定されています。必要に応じて設定を 5V に変更してください。万一、入力データが 5V 以上にもかかわらず 5V を設定した場合には、下図のように「レンジオーバー」と表示されます。この場合は入力レンジ設定を 25V に変更してください。



SMJ-00622

#### 参考:

入力レンジ設定「5V」は、入力レンジ設定「25V」より分解能が高く設定されています。入力が5V以内の計測の場合は、入力レンジ設定「5V」を選択することにより高精度な計測が可能になります。

# 設定を保存する

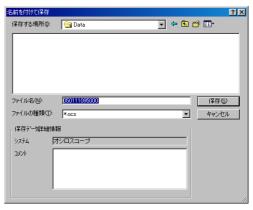
入力レンジ、描画レンジおよび計測モードの設定内容を保存することができます。

1. アナログ計測設定画面を表示させ、[保存]ボタンをクリックします。



SMJ-00621

2. 設定データの保存ダイアログボックスが表示されます。保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00623

#### 参考:

[保存]ボタンをクリックしたとき、いずれのタブが表示されていても、全てのタブの設定内容が保存されます。例えば、入力レンジ設定が表示されている時に保存したとしても、描画レンジおよび計測モードの設定内容も保存されます。

#### 設定ファイルを読み込む

入力レンジ、描画レンジおよび計測モードの保存情報を読み出して設定することができます。

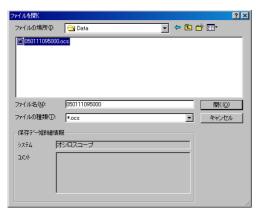
入力レンジ、描画レンジまたは計測モードのいずれかの設定画面で、[読込み]ボタンをクリックします。



SMJ-00621

2. 保存されている設定ファイル一覧のダイアログボックスが表示されます。

目的のファイルを選択して、[Enter] キーを押すか、[開く]ボタンをクリックしてください。



SMJ-00624

#### 参考:

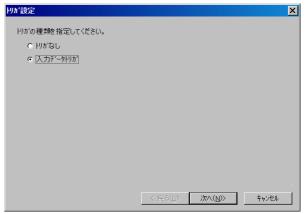
- 設定ファイルを読み込む際には、ダイアログボックス内のシステム欄に「オシロスコープ」と表示されるファイルを選択してください。
- [読込み]ボタンをクリックしたとき、いずれのタブが表示されていても、全てのタブの設定内容が読み込まれます。例えば、入力レンジ設定が表示されている時に読み込みしたとしても、描画レンジおよび計測モードの設定内容も読み込まれます。

# トリガ機能

計測中にトリガをかけることができます。トリガの 設定方法は、あらかじめ計測項目にトリガを設定し ておき自動的にトリガ検出する「入力データトリ ガ」のみとなります。アナログ計測の場合は、手動 でトリガをかける「マニュアルトリガ」はありませ ん。

I. 計測を停止した状態でファンクションキーバー の FM ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F4 を押します。

2. トリガ設定画面が表示されますので、「入力データトリガ」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



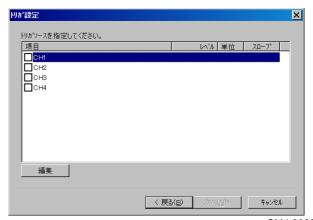
SMJ-00626

#### 参考:

トリガ設定を解除したい場合は、上の画面で「トリガなし」を選択した後、[終了]ボタンをクリックします。

3. トリガソースを設定します。

一覧表の中からトリガを設定するチャンネルの チェックボックスをクリックするか、またはチャンネルをダブルクリックします。



SMJ-00627

4. 「入力データトリガ設定」画面が表示されます。 設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックしま す。



SMJ-00628

設定項目の内容は以下の通りです。

#### 1) レベル

トリガを検出する値 (トリガレベル) を設定します。数値を直接入力するか、またはスピンボタンを操作して設定します。設定値は実際に取得できる値に限られますので、直接入力の場合に実在しない値を入力した場合は入力値の近似値が設定されます。

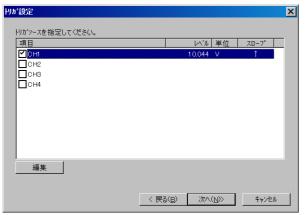
#### 2) スロープ条件

計測データ値がトリガレベルに対し、どのような条件でトリガ検出するかを設定します。 「両方 ↑ / ↓」を選択した場合、「立上り」または「立下り」のどちらか先に条件が成立した方をトリガとして検出します。

5. トリガを設定したチャンネルにはチェックボックスにチェックマークが付きます。

アナログ計測の場合は、トリガを設定できるのは1チャンネルのみとなります。

設定内容を変更する必要がなければ、[次へ]ボタンをクリックします。

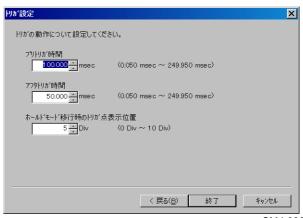


SMJ-00629

#### 参考:

一度設定した内容を変更する場合は、設定項目を選択後、[編集]ボタンをクリックし、「入力データトリガ設定」画面を表示させ、設定内容を変更してください。

6. トリガの動作設定画面が表示されます。設定が完了したら、「終了」ボタンをクリックします。



SMJ-00630

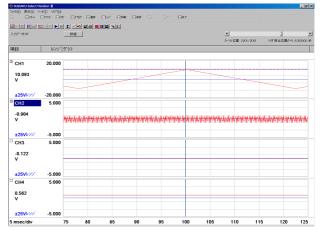
#### 1) プリトリガ時間

トリガを検出した時点より、どのくらい前までの データを保存するかを設定します。設定時間より 前のデータは破棄されます。

#### 2) アフタトリガ時間

トリガを検出した後に計測する時間を設定します。

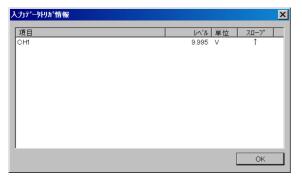
- 3) ホールドモード移行時のトリガ点表示位置計測終了時にトリガ点の表示位置を設定します。
- 7. 計測画面が表示され、自動的に計測が開始されます。計測中トリガを検出したら、設定した時間分のデータを取得後、自動的に計測が終了します。



SMJ-00760

#### 参考:

- トリガを設定すると、設定した項目のチェック ボックスに「T」と表示されます。
- トリガレベルが紫色の鎖線で、またトリガ点は緑色の鎖線でそれぞれ表示されます。
- サンプリングステータスバーの左側にトリガ情報が表示されます。また、[詳細]ボタンをクリックすると、設定したトリガの詳細情報が確認できる「入力データトリガ情報」画面が表示されます。



SMJ-00632

## オートレンジでレンジ変更する

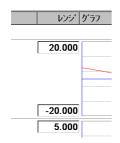
描画レンジが「オートレンジ設定」になっていて も、手動でレンジ変更することができます。

計測を停止した状態で、データリストツールバーの
 アイコン、またはファンクションキーバーの回じが ボタンをクリックします。または、パソコンのファンクションキー F7 を押します。



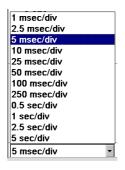
SMJ-00561

2. 表示されたレンジ入力ボックスに数値を入力して、グラフ縦軸方向のレンジ設定をします。



SMJ-00633

3. グラフ横軸(時間軸)方向の設定は、画面左下のレンジ選択ボックスをクリックして、希望の時間設定にします。



SMJ-00634

#### 参考:

- 時間軸のレンジを1 msec/divまたは2.5 msec/divに設定して計測することはできません。1 msec/divまたは2.5 msec/divを選択した場合は自動的に5 msec/divに設定されます。1 msec/divまたは2.5 msec/divの設定は、解析時のみ有効となります。
- 時間軸のレンジを長くすると、それに伴ってサンプリング周期も遅くなります。
- 4. グラフの縦軸と横軸のレンジ選択を決定したら、 データリストツールバーの ○ アイコン、または ファンクションキーバーの回○ ドタンをク リックして、レンジ設定を確定します。パソコン のファンクションキー F11 を押すことによって も、レンジ設定を確定できます。



SMJ-00563

レンジ変更を中止する場合は、データリストツールバーのメアイコン、またはファンクションキーバーの回せが対ボタンをクリックします。パソコンのファンクションキーF12を押しても、レンジ変更を中止することができます。

# 設定項目を初期化する

データリストツールバーの
●アイコンをクリックすると下記の設定項目は全て初期化されます。



SMJ-00636

入力レンジ:25V

描画レンジ:オートレンジ設定

計測モード:連続時間軸:5msec/div

• トリガ機能:トリガなし

## その他の操作について

アナログ計測でも以下の機能は、「個別システムの 点検」と同様に操作することができます。操作方法 については該当する項目を参照してください。

- 1.「現在データの表示・保存」項と同様に操作できる機能
- 計測の開始および停止
- デジタルデータ画面
- グラフ2画面
- 画面表示セルの横幅を変える
- セルまたはグラフの順番を変える
- セルまたはグラフの順番を初期化する
- データセレクト表示
- 全データ表示に戻る
- 計測したデータを保存する
- 計測したデータを印刷する
- 印刷プレビュー
- プリンタの設定
- グラフカーソルを移動させる
- グラフ線の色を変える
- グラフ線の太さを変える
- マーキング機能
- 2.2 カーソル解析機能
- 3. 保存したデータを見る
- 4. フォント、単位および言語の設定

# DST-i アナログ計測

オシロスコーププローブを使用して、アナログデータの計測することができます。

#### 参考:

- アナログ計測で保存できる最大データ数は 5000 データです。
- この計測器は、差動入力のため、マイナス(-) 側も計測が可能です。また、入力チャンネルは 4ch、マイナス(-)入力は共通となっています。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが DST-i (LCD 付きモデル) である場合のみ、 実施が可能です。
- オシロ機能ソフトは㈱デンソーのホームページ からダウンロード頂く必要があります。

また、オシロ機能は単体も PC も画面表示言語は英語のみとなります。

オシロ機能の仕様と取扱説明書、ソフトのダウン ロードは下記をご参照下さい。

オシロ機能の仕様:

http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/dst-i_spec.html オシロ機能の取扱説明書 (日本語):

http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html

オシロ機能ソフトのダウンロード:

http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/setup/ja/software.html

# SDI コントロールユニット -アナログ同時計測

オプションのパルス/アナログキットを使用して、 アナログデータとコントロールユニットデータを 同時に計測することができます。

#### 参考:

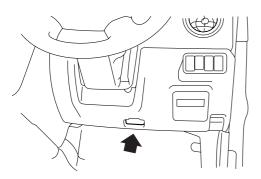
- この機能は SDI にパルス/アナログカートリッジが装着されていないと使用できません。
- パルス/アナログキットの取り扱い上の注意、パルス/アナログカートリッジを SDI に取り付ける方法、および SDI のファームウェアを更新する方法は「SDI-アナログ計測」項を参照してください。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。

# コントロールユニット - アナログ同時計測を開始する

- SDI、ダイアグケーブル、USB ケーブル、PC ア プリがインストールされているパソコン、パルス /アナログボックス、パルス/アナログプローブ を用意します。
- 2. ダイアグケーブルで SDI を車両のデータリンク コネクタに接続します。

#### 参考:

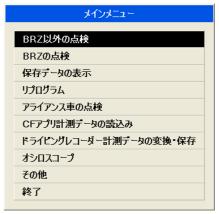
ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッ チを ON またはエンジンを始動してから、SDI の [PWR] キーを押して PWR LED が点灯することを 確認します。



SMJ-00115

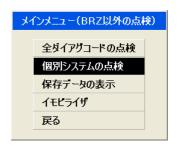
3. USB ケーブルで、SDI をパソコンに接続します。 4. パルス/アナログボックスを SDI に接続します。

- 5. パルス/アナログプローブをパルス/アナログ ボックスに接続します。
- **6.** パルス/アナログプローブを計測したい場所に接続します。
- 7. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 8. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 9. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



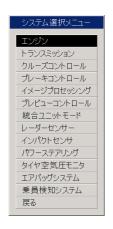
SMJ-01257

10.項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

11.システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



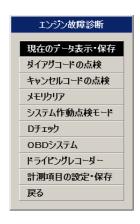
SMJ-00129

12.診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



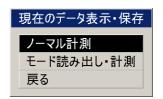
SMJ-00130

13.故障診断項目から「現在のデータ表示・保存」を選択してください。



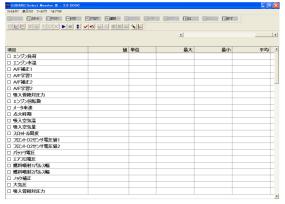
SMJ-00573

14.下記ダイアログボックスが表示されます。「ノーマル計測」を選択してください。



SMJ-00534

15.計測画面が表示され、自動的に計測が開始されますので、計測を停止します。



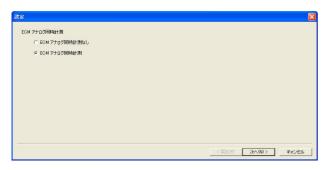
SMJ-00811

16.ファンクションキーバーのEPナロヴ キーを押すか、またはパソコンのファンクションキー F5 を押します。



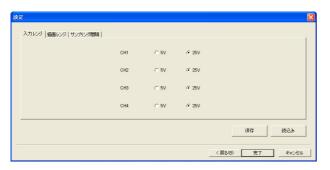
SMJ-00813

17.設定画面が表示されますので、「ECM アナログ 同時計測」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-00814

18.「入力レンジ」タブを選択して、アナログデータ の入力レンジを設定します。希望のレンジを設定 してください。



SMJ-00832

#### 参考:

入力レンジ設定の詳細内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

19.「描画レンジ」タブを選択して、アナログデータ の描画レンジを設定します。希望のレンジを設定 してください。

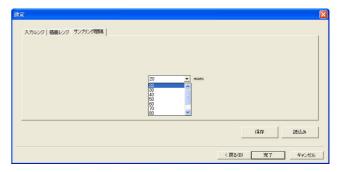


SMJ-00833

#### 参考:

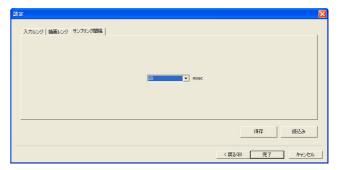
描画レンジ設定の詳細内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

20.「サンプリング間隔」タブを選択して、アナログ データのサンプリング間隔を設定します。ドロッ プダウンメニューから希望の間隔を設定してく ださい。



SMJ-00834

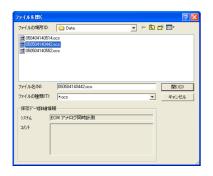
21.全てのタブの設定が完了したら、[完了] ボタン をクリックします。



SMJ-00835

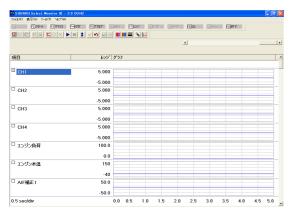
#### 参考:

- ・入力レンジ、描画レンジおよびサンプリング間隔の設定は、設定ファイルとして保存したり、保存した設定ファイルを読み込んだりすることができます。これらの操作は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」と同様に行なうことができます。操作方法は該当項目を参照してください。
- ・設定ファイルを読み込む際には、ダイアログボックス内のシステム欄に「ECM アナログ同時計測」と表示されるファイルを選択してください。



SMJ-00817

22.データリストツールバーの ▶ アイコンか、ファンクションキーバーの Ex オタンをクリック するか、またはパソコンのファンクションキー F2 を押して、計測を開始します。



SMJ-00818

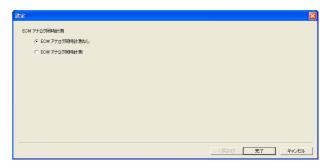
# コントロールユニット - アナログ同時計測を終了する

ファンクションキーバーの国アカケーキーを押すか、またはパソコンのファンクションキー F5 を押します。



SMJ-00813

2. 設定画面が表示されますので、「ECM アナログ同時計測なし」を選択して、[完了] ボタンをクリックします。



SMJ-00819

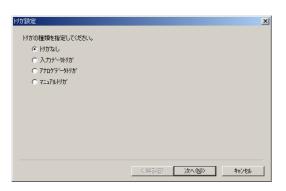
# トリガ機能

計測中にトリガをかけることができます。トリガの設定方法には、コントロールユニットデータに対しあらかじめ計測項目にトリガを設定しておき自動的にトリガ検出する「入力データトリガ」、アナログデータに対し自動的にトリガ検出する「アナログデータトリガ」、および手動でトリガをかける「マニュアルトリガ」の3種類があります。トリガ機能を利用して計測した場合の保存されるデータは、トリガ検出前が計測開始からトリガ検出時点まで、トリガ検出後は設定時間までとなります。

# トリガを設定する

1. 計測を停止した状態でファンクションキーバー の 回門が ボタンをクリックするか、パソコンの ファンクションキー F4 を押します。

2. トリガ設定画面が表示されますので、希望のトリガの種類を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-01054

#### 参考:

トリガ設定を解除したい場合は、上の画面で「トリガなし」を選択した後、[終了]ボタンをクリックします。

3. これ以降のトリガ設定方法については、「入力 データトリガ」と「マニュアルトリガ」はコント ロールユニットデータ計測の「トリガ」項を、「ア ナログデータトリガ」は「SDI-アナログ計測」の 「トリガ機能」項をそれぞれ参照してください。 ただし、アナログ計測のトリガ機能にある「プリ トリガ時間」の設定は、本機能にはありません。

# データセレクト表示

全ての計測データから、必要なデータだけを選んで表示させることができます。

計測停止状態で、表示させたい項目の先頭にある チェックボックスをクリックしてチェックをつけ てください。パソコンの[スペース]キーを押して もチェックをつけることが可能です。

表示させたい項目を選択するには、マウスで計測したいアイテムをクリックするか、パソコンの上下矢印キーを操作してください。



SMJ-00820

#### 参考:

計測項目にチェックをつける際は必ずコントロールユニットデータとアナログデータ共に 1 データ以上チェックをつけてください。コントロールユニットデータとアナログデータの両方にチェックをつけないとセレクト表示できません。

データリストツールバーの
✓アイコン、またはファンクションキーバーの
図選択
ボタンをクリックします。画面には選択された項目だけが表示されます。

また、パソコンのファンクションキー F6 を押しても選択された項目だけの表示にすることができます。



SMJ-00566

#### 参考:

- データセレクト表示にすると、それまでに計測したデータは消去されます。
- データセレクト表示にすると、コントロールユニットデータの計測のサンプリングが速くなります。(エンジンおよびトランスミッションの計測のみ)
- ・チェック設定中に下のダイアログボックスが表示されたときは、コントロールユニットデータの選択項目数が限界に達したことを意味します(アナログデータの選択項目数は関係ありません)。この場合それ以上コントロールユニットデータを選択することはできません。

他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けたコントロールユニットデータの項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

## 設定オールクリア機能

データリストツールバーの<u>●</u>アイコンをクリックすると下記の設定項目は全て初期化されます。

- 計測項目の表示順序:モデルごとの初期設定
- データセレクト表示:全ての計測項目が未選択
- グラフ画面の横軸レンジ:計測項目ごとの初期設定
- グラフ画面の縦軸レンジ: 0.5 sec/div
- グラフ画面のグラフ線色:全て赤色
- グラフ画面のグラフ線太さ:1ポイント
- トリガ機能:トリガなし
- 2カーソル解析:2カーソル解析終了
- 入力レンジ:25V
- 描画レンジ: オートレンジ設定

## その他の操作について

コントロールユニット-アナログ同時計測でも以下の機能は、「個別システムの点検」または「SDI-アナログ計測」と同様に操作することができます。操作方法については該当する項目を参照してください。

- 1.「現在データの表示・保存」項と同様に操作できる機能
- 計測の開始および停止
- デジタルデータ画面
- グラフ画面
- 画面表示セルの横幅を変える
- セルまたはグラフの順番を変える
- セルまたはグラフの順番を初期化する
- 全データ表示に戻る
- 計測したデータを保存する
- 計測したデータを印刷する
- 印刷プレビュー
- プリンタの設定
- グラフカーソルを移動させる
- グラフ線の色を変える
- グラフ線の太さを変える
- マーキング機能
- コントロールユニットデータのグラフレンジ設定
- 2. 「SDI- アナログ計測」項と同様に操作できる機能
- アナログデータのグラフレンジ設定
- 3.2 カーソル解析機能
- 4. 保存したデータを見る
- 5. フォント、単位および言語の設定

# DST-i コントロールユニット -アナログ同時計測

オシロスコーププローブを使用して、アナログデータとコントロールユニットデータを同時に計測することができます。

#### 参考:

- オシロスコーププローブの取り扱い上の注意、オシロスコーププローブを DST-i に取り付ける方法は「DST-i アナログ計測」項を参照してください。
- この機能は DST-i にオシロスコーププローブが 装着されていないと使用できません。この機能 は、使用するインターフェースボックスが DSTi (LCD 付きモデル) である場合のみ、実施が可 能です。
- オシロ機能ソフトは(株)デンソーのホームページ からダウンロード頂く必要があります。

また、オシロ機能は単体も PC も画面表示言語 は英語のみとなります。

オシロ機能の仕様と取扱説明書、ソフトのダウン ロードは下記をご参照下さい。

オシロ機能の仕様:

http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/dst-i_spec.html オシロ機能の取扱説明書(日本語):

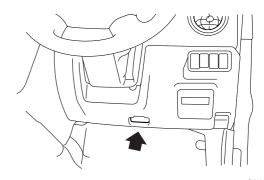
http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html オシロ機能ソフトのダウンロード:

http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/setup/ja/software.html

# コントロールユニット - アナログ同時計測を開始する

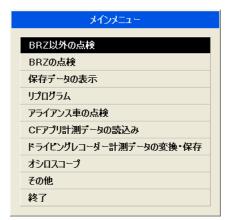
- DST-i、データリンクケーブル、USB ケーブル、 オシロスコーププローブを用意します。
- 2. オシロスコーププローブを DST-i に接続します。
- オシロスコーププローブを計測したい場所に接続します。

4. データリンクケーブルでDST-iを車両データリンクコネクタに接続します。



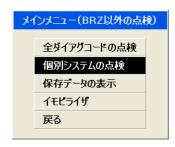
SMJ-00115

- 5. オシロスコーププローブを計測したい場所に接続します。
- 6. DST-i のモードスイッチを ON にします。
- 7. 車両のイグニッションスイッチを ON にします。
- 8. パソコン画面上の SSM Ⅲのアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 9. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

10.項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

11.システム選択メニューで目的のシステムを選択してください。(ここではエンジンを選択しています。)



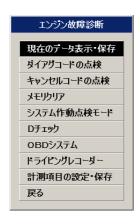
SMJ-00129

12.診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



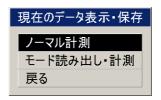
SMJ-00130

13.故障診断項目から「現在のデータ表示・保存」を選択してください。



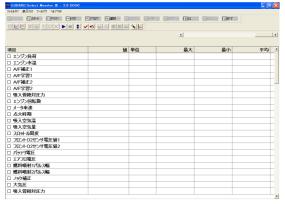
SMJ-00573

14.下記ダイアログボックスが表示されます。「ノーマル計測」を選択してください。



SMJ-00534

15.計測画面が表示され、自動的に計測が開始されますので、計測を停止します。



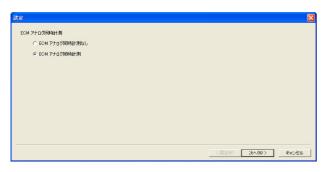
SMJ-00811

16.ファンクションキーバーのEPカケーキーを押すか、またはパソコンのファンクションキー F5 を押します。



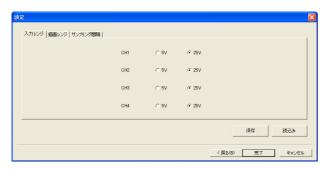
SMJ-00813

17.設定画面が表示されますので、「ECM アナログ 同時計測」を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-00814

18.「入力レンジ」タブを選択して、アナログデータ の入力レンジを設定します。希望のレンジを設定 してください。



SMJ-00832

#### 参考:

入力レンジ設定の詳細内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

19.「描画レンジ」タブを選択して、アナログデータ の描画レンジを設定します。希望のレンジを設定してください。



SMJ-00833

#### 参考:

描画レンジ設定の詳細内容は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」項を参照してください。

20.設定が完了したら、[完了] ボタンをクリックします。

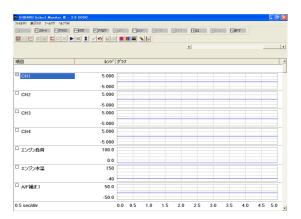
#### 参考:

- サンプリング間隔は、31.25 ms 固定のため設定 不要です。
- ・入力レンジ、描画レンジおよびサンプリング間隔の設定は、設定ファイルとして保存したり、保存した設定ファイルを読み込んだりすることができます。これらの操作は「SDI-アナログ計測」の「アナログ計測設定」と同様に行なうことができます。操作方法は該当項目を参照してください。
- ・設定ファイルを読み込む際には、ダイアログボックス内のシステム欄に「ECM アナログ同時計測」と表示されるファイルを選択してください。



SMJ-00817

21.データリストツールバーの ▶ アイコンか、ファンクションキーバーの Exx→ ボタンをクリック するか、またはパソコンのファンクションキー F2 を押して、計測を開始します。



SMJ-00818

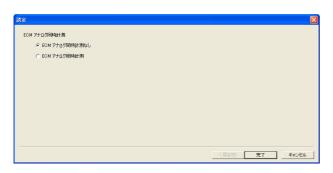
# コントロールユニット - アナログ同時計測を終了する

1. ファンクションキーバーのEPカケーキーを押すか、またはパソコンのファンクションキー F5 を押します。



SMJ-00813

2. 設定画面が表示されますので、「ECM アナログ同時計測なし」を選択して、[完了] ボタンをクリックします。



SMJ-00819

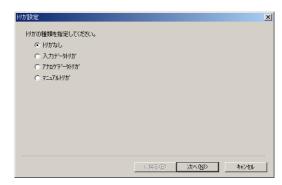
# トリガ機能

計測中にトリガをかけることができます。トリガの設定方法には、コントロールユニットデータに対しあらかじめ計測項目にトリガを設定しておき自動的にトリガ検出する「入力データトリガ」、アナログデータに対し自動的にトリガ検出する「アナログデータトリガ」、および手動でトリガをかける「マニュアルトリガ」の3種類があります。トリガ機能を利用して計測した場合の保存されるデータは、トリガ検出前が計測開始からトリガ検出時点まで、トリガ検出後は設定時間までとなります。

# トリガを設定する

1. 計測を停止した状態でファンクションキーバー の 回門 ボタンをクリックするか、パソコンの ファンクションキー F4 を押します。

2. トリガ設定画面が表示されますので、希望のトリガの種類を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



SMJ-01054

#### 参考:

トリガ設定を解除したい場合は、上の画面で「トリガなし」を選択した後、[終了]ボタンをクリックします。

3. これ以降のトリガ設定方法については、「入力 データトリガ」と「マニュアルトリガ」はコント ロールユニットデータ計測の「トリガ」項を、「ア ナログデータトリガ」は「SDI-アナログ計測」の 「トリガ機能」項をそれぞれ参照してください。 ただし、アナログ計測のトリガ機能にある「プリ トリガ時間」の設定は、本機能にはありません。

# データセレクト表示

全ての計測データから、必要なデータだけを選んで表示させることができます。計測停止状態で、表示させたい項目の先頭にあるチェックボックスをクリックしてチェックをつけてください。パソコンの[スペース]キーを押してもチェックをつけることが可能です。表示させたい項目を選択するには、マウスで計測したいアイテムをクリックするか、パソコンの上下矢印キーを操作してください。



SMJ-00820

#### 参考:

計測項目にチェックをつける際は必ずコントロールユニットデータとアナログデータ共に 1 データ以上チェックをつけてください。コントロールユニットデータとアナログデータの両方にチェックをつけないとセレクト表示できません。

データリストツールバーの

✓
アイコン、または
ファンクションキーバーの

図選択
ボタンをクリッ
クします。
画面には選択された項目だけが表示され
ます。

また、パソコンのファンクションキーF6を押しても選択された項目だけの表示にすることができます。



SMJ-00566

#### 参考:

- データセレクト表示にすると、それまでに計測したデータは消去されます。
- データセレクト表示にすると、コントロールユニットデータの計測のサンプリングが速くなります。(エンジンおよびトランスミッションの計測のみ)
- ・チェック設定中に下のダイアログボックスが表示されたときは、コントロールユニットデータの選択項目数が限界に達したことを意味します(アナログデータの選択項目数は関係ありません)。この場合それ以上コントロールユニットデータを選択することはできません。

他の項目を選びたい場合は、すでにチェックを付けたコントロールユニットデータの項目の中から不要な項目のチェックを外してから、表示させたい項目を選んでください。



SMJ-00156

# 設定オールクリア機能

データリストツールバーの

▼アイコンをクリックすると下記の設定項目は全て初期化されます。

・ 計測項目の表示順序:モデルごとの初期設定

- データセレクト表示:全ての計測項目が未選択
- グラフ画面の横軸レンジ:計測項目ごとの初期設定
- グラフ画面の縦軸レンジ: 0.5 sec/div
- グラフ画面のグラフ線色:全て赤色
- グラフ画面のグラフ線太さ:1ポイント
- トリガ機能:トリガなし
- 2 カーソル解析: 2 カーソル解析終了
- 入力レンジ:25V
- 描画レンジ: オートレンジ設定

### その他の操作について

コントロールユニット-アナログ同時計測でも以下の機能は、「個別システムの点検」または「SDI-アナログ計測」と同様に操作することができます。操作方法については該当する項目を参照してください。

- 1.「現在データの表示・保存」項と同様に操作できる機能
- 計測の開始および停止
- デジタルデータ画面
- グラフ画面
- 画面表示セルの横幅を変える
- セルまたはグラフの順番を変える
- セルまたはグラフの順番を初期化する
- 全データ表示に戻る
- 計測したデータを保存する
- 計測したデータを印刷する
- 印刷プレビュー
- プリンタの設定
- グラフカーソルを移動させる
- グラフ線の色を変える
- グラフ線の太さを変える
- マーキング機能
- コントロールユニットデータのグラフレンジ設定
- 2. 「SDI- アナログ計測」 項と同様に操作できる機能
- アナログデータのグラフレンジ設定
- 3.2 カーソル解析機能
- 4. 保存したデータを見る
- 5. フォント、単位および言語の設定

## 気筒モニター

気筒モニターを使用することで、各気筒の燃焼状態をモニターすることができます。本機能には大別すると下記の3種類があります。

1) 簡易版気筒モニター

簡易版気筒モニターは、通常の SSMIII のデータ 計測と同様に、エンジン回転数および各気筒の失 火カウンタを表示します。

2) 高機能版気筒モニター

高機能版気筒モニターは、クランクシャフトポジションセンサおよびカムシャフトポジションセンサのパルスデータを元に標準偏差、エンジン回転数などを算出し、数値およびグラフを表示します。

なお、高機能版気筒モニターでの表示画面は通常の SSMIII の画面と若干違いますが、基本的な操作方法は同じですので、本項で説明の無い操作方法は、該当する項目を参照してください。

#### 参考:

• 標準偏差とは、全気筒または各気筒の回転のバラッキを数値化したものです。この数値が他の気筒に比べて異常に高い場合は、燃焼状態が悪いと判断します。

また、本機能ではエンジン回転数の平均値も表示しており、この数値が他の気筒に比べて異常に低いときも、燃焼状態が悪いと判断します。

- 気筒モニター機能を使用する場合は、あらかじめ SDI にパルス/アナログカートリッジを装着してください。パルス/アナログカートリッジが装着されていないと、故障診断項目に「気筒モニター」が表示されません。
- ・センサ信号を取り出す際は、コントロールユニットのコネクタ部より取り出してください。センサ 付近から信号を取り出すと、ノイズ等の影響により正確に計測できない恐れがあります。
- クランクシャフトポジションセンサとカムシャフトポジションセンサの信号ラインをショートさせないように十分注意してください。
- 高機能版気筒モニターで計測した場合、ウィルス 対策などのセキュリティソフトを使用している と計測時間が長くなる場合があります。この場合 はセキュリティソフトを終了してから計測して ください。
- 3) 高機能版気筒モニター (パルス計測不要) 高機能版気筒モニター (パルス計測不要) は、エ ンジンコントロールユニットから取得したデー

タを元に標準偏差、エンジン回転数などを算出 し、数値およびグラフを表示します。

なお、高機能版気筒モニター(パルス計測不要)での表示画面は通常の SSMIII の画面と若干違いますが、基本的な操作方法は同じですので、本項で説明の無い操作方法は、該当する項目を参照してください。

#### 参考:

• 標準偏差とは、全気筒または各気筒の回転のバラッキを数値化したものです。この数値が他の気筒に比べて異常に高い場合は、燃焼状態が悪いと判断します。

また、本機能ではエンジン回転数の平均値も表示しており、この数値が他の気筒に比べて異常に低いときも、燃焼状態が悪いと判断します。

- 高機能版気筒モニター(パルス計測不要)で計測した場合、ウィルス対策などのセキュリティソフトを使用していると計測時間が長くなる場合があります。この場合はセキュリティソフトを終了してから計測してください。
- 一部の車種にはこの機能は対応していません。

### 簡易版気筒モニターで計測する

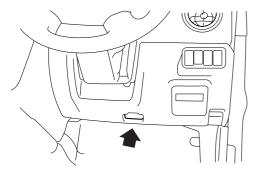
#### 参考:

通常のエンジンのデータ表示で「ラフネスモニター」が無い場合は、「簡易版気筒モニター」は使用できません。

- 1. インターフェースボックス、USB ケーブル、SSM Ⅲアプリがインストールされているパソコン、ダ イアグケーブルまたはデータリンクケーブルを 用意します。
- 2. ダイアグケーブルまたはデータリンクケーブル でインターフェースボックスを車両のデータリ ンクコネクタに接続します。

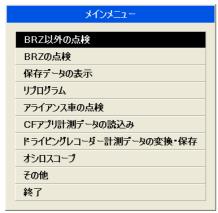
#### 参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッ チを ON またはエンジンを始動してから、SDI の [PWR] キーを押して PWR LED が点灯することを確認します。



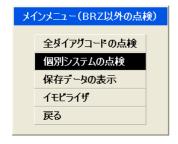
SMJ-00115

- 3. USB ケーブルで、インターフェースボックスを パソコンに接続します。
- 4. エンジンを始動します。
- 5. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。
- 6. メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

7. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

8. システム選択メニューでエンジンを選択してく ださい。



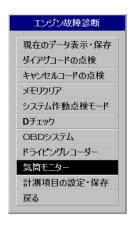
SMJ-00129

9. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-00130

10.故障診断項目から「気筒モニター」を選択してください。



11.診断項目から「簡易版気筒モニター」を選択してください。

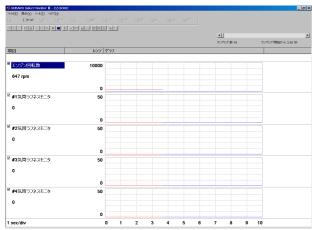


SMJ-00763

#### 参考:

通常のエンジンのデータ表示で「ラフネスモニター」が無い場合は、「簡易版気筒モニター」は表示されません。

12.グラフ画面が表示され、自動的に計測が開始されます。



SMJ-00764

## 高機能版気筒モニターで計測する

高機能版気筒モニターには「自動設定計測」と「マニュアル設定計測」があり、通常は自動設定計測で計測します。

#### 参考:

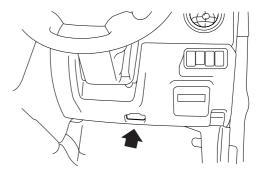
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。
- 一部の車種にはこの機能は対応していません。

### 自動設定計測

- SDI、ダイアグケーブル、USB ケーブル、PC ア プリがインストールされているパソコン、パルス /アナログボックス、パルス/アナログプローブ を用意します。
- 2. ダイアグケーブルで SDI を車両のデータリンク コネクタに接続します。

#### 参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッ チを ON またはエンジンを始動してから、SDI の [PWR] キーを押して PWR LED が点灯することを 確認します。



SMJ-00115

- 3. USB ケーブルで、SDI をパソコンに接続します。
- 4. パルス/アナログボックスをSDIに接続します。
- 5. クランクシャフトポジションセンサの信号ライン (+側) と、パルス/アナログボックスの CR 端子をパルス/アナログプローブで接続します。

#### 参考:

センサ信号の取り出しは、コントロールユニットの コネクタ部より行なってください。センサ付近から 信号を取り出すと、ノイズ等の影響により正確に計 測できない恐れがあります。

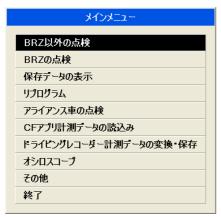
6. カムシャフトポジションセンサの信号ライン(+側) と、パルス/アナログボックスの CAM 端子をパルス/アナログプローブで接続します。

#### 参考:

センサ信号の取り出しは、コントロールユニットの コネクタ部より行なってください。センサ付近から 信号を取り出すと、ノイズ等の影響により正確に計 測できない恐れがあります。

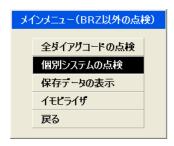
- 7. コントロールユニットのグランドライン (-側) と、パルス/アナログボックスの COM 端子をパルス/アナログプローブで接続します。
- 8. エンジンを始動します。
- 9. パソコン画面上の SSMIII のアイコンをダブルク リックして PC アプリを起動します。

10.メインメニューで「BRZ 以外の点検」または 「BRZ の点検」を選択してください。(ここでは 「BRZ 以外の点検」を選択しています。)



SMJ-01257

11.項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

12.システム選択メニューでエンジンを選択してください。



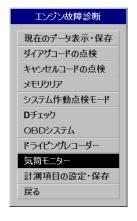
SMJ-00129

13.診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをマウスでク リックしてください。



SMJ-00130

14.故障診断項目から「気筒モニター」を選択してください。



SMJ-00762

#### 参考:

SDI にパルス/アナログカートリッジが装着されていないと、「気筒モニター」は表示されません。

15.診断項目から「高機能版気筒モニター」を選択してください。



16.高機能版気筒モニター画面が表示されますので、データリストツールバーの ▶ アイコン、またはファンクションキーバーの [日及十] ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F2 を押します。また、メニューの「計測」から「自動設定計測」を選択しても、計測を開始することができます。



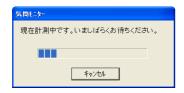
SMJ-00804

17.カムシャフトポジションセンサ信号の取り出し 先確認ダイアログボックスが表示されます。取り 出し先を確認して、[OK] ボタンをクリックしま す。



SMJ-00767

18.自動的に計測が開始されますので、そのままお待ちください。もし、計測を中止したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。また、データリストツールバーの ■ アイコンかファンクションキーバーの EMプ ボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキーF2を押すことによっても、計測を停止することができます。



SMJ-00851

#### 参考:

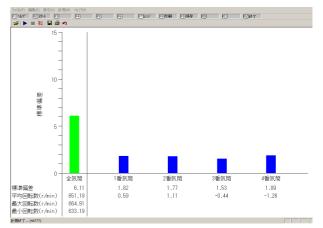
上記ダイアログボックスが画面上から消えた後、すぐに次のダイアログボックスが表示されない場合がありますが、次のダイアログボックスが表示されるまでそのままお待ちください。

19.計測が終了すると下記ダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00769

20.グラフ画面が表示されます。



SMJ-00805

#### 参考:

燃焼状態が正常でも、ラジエータファンや A/C が ON/OFF するなど、エンジン運転状態が変化すると、全気筒標準偏差が異常に大きくなる場合があります。このような場合は再計測してください。

21.気筒モニターを終了したい場合は、メニューの「ファイル」から「気筒モニターの終了」を選択するか、またはデータリストツールバーの「アイコンかファンクションキーバーの「ELMAT」 ボタンをクリックしてください。また、パソコンのファンクションキー F12 を押しても終了することができます。



SMJ-00772

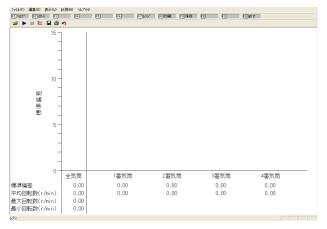
#### マニュアル設定計測

気筒モニターでは通常のエンジン回転領域は自動的に計測できますが、それ以外の回転領域を計測したい場合は手動設定により計測します。

#### 参考:

マニュアル設定計測を行なう目安としては、自動設定計測を行ったとき、最小エンジン回転数が400rpm以下の場合に行なってください。

1. 高機能版気筒モニター計測画面を表示させます。



SMJ-00806

2. メニューの「計測」から「マニュアル設定計測」を選択します。



SMJ-00774

3. 計測回転範囲の設定画面が表示されます。矢印ボタンを操作して回転範囲を設定した後、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00775

#### 参考:

計測回転範囲の設定の目安は、「計測下限回転」を 自動設定計測時の最小エンジン回転数よりマイナ ス 100rpm としてください。

4. カムセンサ信号の取り出し先確認ダイアログボックスが表示されます。取り出し先を確認して、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00767

5. 自動的に計測が開始されますので、そのままお待ちください。もし、計測を中止したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。また、データリストツールバーの ■ アイコンかファンクションキーバーの Exみプ ボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキー F2 を押すことによっても、計測を停止することができます。



SMJ-00851

#### 参考:

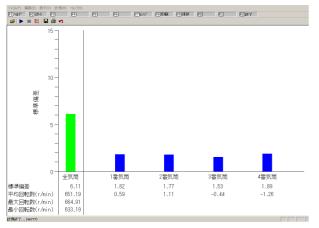
上記ダイアログボックスが画面上から消えた後、すぐに次のダイアログボックスが表示されない場合がありますが、次のダイアログボックスが表示されるまでそのままお待ちください。

6. 計測が終了すると下記ダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00769

7. グラフ画面が表示されます。

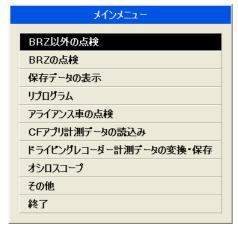


SMJ-00805

# 高機能版気筒モニター(パルス計測 不要)で計測する

#### 参考:

- 一部に車種にはこの機能は対応していません。
- 1. システムの起動手順に従って PC アプリを起動し、メインメニュー画面を表示します。
- 2. メインメニューで「BRZ 以外の点検」を選択してください。



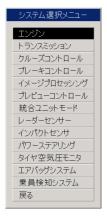
SMJ-01257

3. 項目選択画面から「個別システムの点検」を選択してください。



SMJ-01259

4. システム選択メニューで「エンジン」を選択してください。



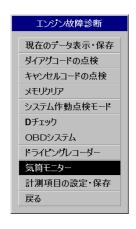
SMJ-00129

5. 診断対象システムの適合確認ダイアログボック スが表示されます。[OK] ボタンをクリックして ください。



SMJ-00130

6. 故障診断項目から「気筒モニター」を選択してく ださい。



SMJ-00762

- 7. 故障診断項目から「高機能版気筒モニター(パルス計測不要)」を選択してください。
- 8. 高機能版気筒モニター画面が表示されますので、データリストツールバーの ▶ アイコン、またはファンクションキーバーの [2]計測 ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F2 を押します。



SMJ-01267

9. 自動的に計測が開始されますので、そのままお待ちください。もし、計測を中止したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。また、データリストツールバーの ■ アイコンかファンクションキーバーの E ストップ ボタンをクリックするか、またはパソコンのファンクションキー F2 を押すことによっても、計測を停止することができます。



SMJ-00851

#### 参考:

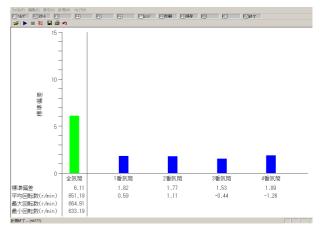
上記ダイアログボックスが画面上から消えた後、すぐに次のダイアログボックスが表示されない場合がありますが、次のダイアログボックスが表示されるまでそのままお待ちください。

10.計測が終了すると下記ダイアログボックスが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00769

11.グラフ画面が表示されます。



SMJ-00805

#### 参考:

燃焼状態が正常でも、ラジエータファンや A/C が ON/OFF するなど、エンジン運転状態が変化すると、全気筒標準偏差が異常に大きくなる場合があります。このような場合は再計測してください。

12.気筒モニターを終了したい場合は、メニューの「ファイル」から「気筒モニターの終了」を選択するか、またはデータリストツールバーの 「アイコンかファンクションキーバーの 「匹修了」 ボタンをクリックしてください。また、パソコンのファンクションキー F12 を押しても終了することができます。



## グラフレンジを変更する

高機能版気筒モニターでは、通常、計測が終了する とグラフ縦軸のレンジは自動的に設定されますが、 このレンジを手動で設定することができます。

#### 参考:

簡易版気筒モニターでのレンジ変更は「現在のデータ表示・保存」と同様に行なえますので、そちらを参照してください。

1. メニューの「表示」から「グラフレンジの設定」を選択します。または、データリストツールバーの 『 アイコンまたはファンクションキーバーの 『ロルジ』 ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F7 を押します。



SMJ-00778

2. 表示されたグラフレンジ設定画面の矢印をクリックします。



SMJ-00779

3. 希望のレンジを選択後、[OK] ボタンをクリック して設定を確定します。

レンジ変更を中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。



SMJ-00780

# 計測データを保存する

高機能版気筒モニターで計測したデータの保存方法を説明します。

#### 参考:

簡易版気筒モニターでの保存は「現在のデータ表示・保存」と同様に行なえますので、そちらを参照してください。

1. メニューの「ファイル」から「名前を付けて保存」を選択します。または、データリストツールバーの ■ アイコンか、ファンクションキーバーの 四保存 ボタンをクリックするか、パソコンのファンクションキー F9 を押します。



SMJ-00783

2. 計測データの保存ダイアログボックスが表示されます。

保存されるデータのファイル名は保存時の日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更する必要がなければ、ダイアログボックスの[保存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更する場合は、希望するファイル名を入力してください。



SMJ-00784

#### 参考:

計測データファイルが保存される場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。

保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更 して希望の場所に保存してください。

# 保存したデータを見る

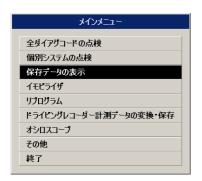
高機能版気筒モニターで保存したデータを見る場合は、メインメニューから開く、または高機能版気筒モニター画面から開くという2つの方法があります。

#### 参考:

簡易版気筒モニターで保存したデータを見る方法は「保存データの表示」項を参照してください。

### メインメニューから開く

1. メインメニュー画面で、「保存データの表示」を 選択してください。



SMJ-00587

2.「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。"ファイルの種類"をクリックし、「気筒モニター計測データ (*. cym)」に変更します。



SMJ-00785

3. ファイル一覧の中から希望のファイルを選択し、 [開く] ボタンをクリックします。



SMJ-00786

### 高機能版気筒モニター画面から開く



SMJ-00787

2. 「開く」ダイアログボックスが表示されます。ファイル一覧の中から希望のファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



SMJ-00788

# SDI スタンドアローン診断

パソコンを使用せずに、SDI を単体で使用しても故障診断を行うことができます。

なお、スタンドアローン診断を行なうときには、あらかじめ CF アプリをインストールした CF カードを SDI のカードスロットに挿入しておく必要があります。

#### 参考:

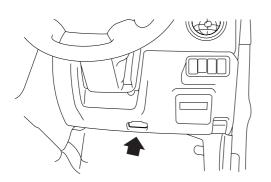
- CFカードをSDIに挿入する、または取り出す際は、SDIの電源をOFFにして行ってください。
   (SDIのPWR LEDが消灯)SDIの電源がONの状態で挿入および取り出しを行うと、CFカードの内部が損傷する恐れがあります。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが SDI である場合のみ、実施が可能です。

### 準備(SDI をスタンドアローンモー ドで起動する)

- I. SDI のカードスロット「CF1」に CF アプリをインストールしてある CF カードをセットします。
- 2. SDIのダイアグ通信コネクタにダイアグケーブルの本体側コネクタを接続します。
- 3. ダイアグケーブルの車両側コネクタを車両デー タリンクコネクタに差し込み、SDI の PWR LED が点灯することを確認します。

#### 参者

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッ チを ON、またはエンジンを始動してから、SDI の [PWR] キーを押して PWR LED が点灯することを 確認します。



SMJ-00115

4. ディスプレイにソフトウェアのバージョンが表示された後、初期メニュー画面が表示されます。 [UP] キーまたは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00726

#### 参考:

- SDI 本体がドライビングレコーダーモードとして作動している場合は、SDIの [MENU] キーと[C] キーを両方同時に長押し(2 秒以上)して、スタンドアローンモードに移行させてください。
- SDIのキー操作をしないで、一定時間が経過すると自動的にSDIの電源がOFFになる場合があります。(SDIのPWR LEDが消灯) このような場合は[PWR]キーを押して、SDIを再起動してください。

スタンドアローンモードを終了するには、初期メニュー画面で「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00754

#### 参考:

スタンドアローンモードを終了すると、CFカード内にSDR用設定ファイルがある場合はドライビングレコーダーモードに移行しますが、設定ファイルが無い場合は、再度スタンドアローンモードで起動します。ドライビングレコーダーモードにしたい場合は、CFカード内にSDR用設定ファイルを作成してSDIを起動してください。

## 全ダイアグコードの点検

SSMIII に対応する全制御システムのコントロールモジュールの故障検出状況と、記憶されているダイアグコードを画面上に表示させることができます。車両に故障が発生しているが、故障を起こしている制御システムを特定できないときにこの点検を行い、表示されたダイアグコードにより故障診断作業を行ないます。

#### 参考:

- クルーズコントロールシステムを装備している 車両では、点検をする前にクルーズコントロール メインスイッチを ON にしてください。
- 車種、仕様によりこの点検モードが機能しない場合があります。
- 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「DTC 点検」を 選択して、[ENT] キーを押します。

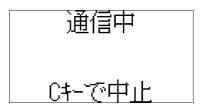
初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して[ENT] キーを押します。



SMJ-00757

3. SDI が制御システムと通信を開始すると、下記画面が表示されます。

点検を中止する場合は[C]キーを押します。



SMJ-00451

4. 下記画面が表示されます。クルーズコントロール システム装備車両は、クルーズコントロールメイ ンスイッチを ON にしてから [ENT] キーを押し てください。それ以外の車両はそのまま [C] キー を押してください。

#### 参考:

この画面は車両の仕様によって表示されない場合 があります。



SMJ-00452

5. 各コントロールユニットに記憶されているダイ アグコードが表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーを押すと画面がスクロールします。

ダイアグコードを確認後、[C] キーを押します。



# 個別システムのダイアグコード点検

#### 準備

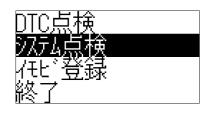
SSMIII に対応する制御システムから、個別のシステムを選んで、記憶されているダイアグコードなどの情報を SDI 画面で見ることができます。

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



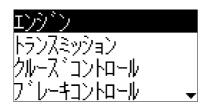
SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。
[UP] キーまたは [DOWN] キーで「システム点検」
を選択して、[ENT] キーを押します。
初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、
または「終了」を選択して[ENT] キーを押します。



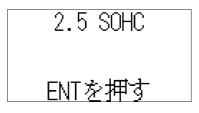
SMJ-00727

3. システム選択メニュー画面が表示されます。 [UP] キーまたは [DOWN] キーで「エンジン」を 選択して、[ENT] キーを押します。(ここでは仮 にエンジンを選択します) メニュー選択に戻る場合は [C] キーを押します。



SMJ-00454

4. 診断対象システムの適合確認画面が表示されますので [ENT] キーを押します。



SMJ-00455

 故障診断メニュー画面が表示されます。[UP] キーまたは[DOWN] キーで「DTC 点検」を選択 して、[ENT] キーを押します。
 [C] キーを押すとシステム選択メニューに戻り

[C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。



SMJ-01097

## データ表示

SSMIII に対応する制御システムのコントロールモジュールの入出力データや制御データを計測することができます。

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



2. メニュー選択画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「システム点検」 を選択して、[ENT] キーを押します。

初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して[ENT] キーを押します。

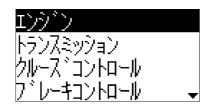


SMJ-00727

3. システム選択メニュー画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「エンジン」を 選択して、[ENT] キーを押します。(ここでは仮 にエンジンを選択します)

メニュー選択画面に戻る場合は[C]キーを押します。



SMJ-00454

4. 診断対象システムの適合確認画面が表示されま すので [ENT] キーを押します。



SMJ-00455

5. 故障診断メニュー画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「データ表示」 を選択して、[ENT] キーを押します。

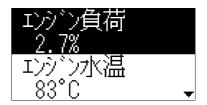
[C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。



SMJ-00728

6. 現在データが表示されます。

[C] キーを押すと故障診断メニューに戻ります。



SMJ-00729

### データセレクト表示

全ての計測データから、必要なデータだけを選んで表示させることができます。

1. 表示させたい計測項目を選択し [TRG] キーを押します。[TRG] キーを押すと、選択された計測項目に "*" が表示されます。



SMJ-00730

2. 表示させたい計測項目の選択が終了したら、 [ENT] キーを押します。"*"の付いた計測項目 のみが表示されます。



SMJ-00731

全データ表示に戻したい場合は、再度 [ENT] キーを押します。

#### 参考:

計測項目の選択状態("*"の付いた状態)は SDI の電源を OFF にしても記憶されます。次回起動時には現在の選択状態で表示されます。

#### RUN/HOLD モード

データ計測を一時的に停止し、過去のサンプリング データをモニターすることができます。

データの計測を HOLD モードにしたい時に、 [RIGHT] キーおよび [LEFT] キーを同時に長押し(2 秒以上) します。データ計測が HOLD モードになると SDI 画面左下に" **4**" が表示されます。



SMJ-01141

[RIGHT] キーまたは [LEFT] キーを押して、時間軸 を移動させて、過去のサンプリングデータをモニ ターすることができます。

HOLD モードを解除したい場合は、再度 [RIGHT] キーおよび [LEFT] キーを同時に長押し(2 秒以上)します。

#### 参考:

- HOLD モードの間は、データ計測は行ないません。データ計測を再開するには RUN モードにする必要があります。
- HOLD モードでも、計測データの保存は可能です。
- ・機能操作については、メニュー選択画面で、「ヘルプ」を選択すると確認することができます。

MENU長押し: ↑ データ保存 LEFT+RIGHT: RUN/HOLDモード•

SMJ-01142

### 計測データの保存

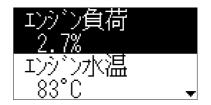
スタンドアローン診断でも計測データを保存することができます。CFカード内に計測データを保存し、保存した計測データをパソコンに保存して解析します。

#### 参考:

- CF カードに保存しただけでは、計測データを解析することはできません。解析する場合はパソコンに保存する必要があります。
- CF カードの空き容量が 10MB 以下の場合は、計 測データを保存することができません。この場 合、CF カード内の不要なデータを消去するか、 または十分な空き容量のあるCFカードに交換し てください。

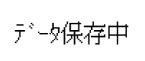
### CF カードへの保存方法

1. 現在データを表示します。(ここではエンジンを 例にしています。)



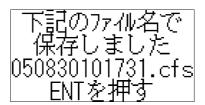
SMJ-00729

- 2. SDI の [MENU] キーを長押し (2 秒以上) します。
- 3. SDI の画面に下記が表示されますので、そのまま お待ちください。



SMJ-00839

4. 保存確認画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。



## CF カードの保存データをパソコン に保存

CF カードに保存した計測データをパソコンに保存します。

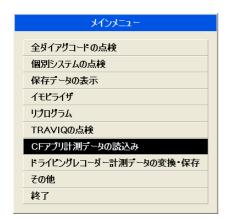
CF カードから計測データを読み出す方法には、大別すると、SDI のカードスロットから、またはパソコンのカードスロットからの2通りがあります。

#### 参考:

CFカードをSDIに挿入する、または取り出す際は、SDIの電源を OFF にして行なってください。SDIの電源がONの状態で挿入および取り出しを行なうと、CFカードの内部が損傷する恐れがあります。

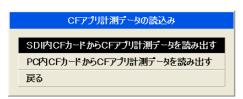
### SDI のカードスロットから読み出す

1. メインメニュー画面で「CF アプリ計測データの 読込み」を選択します。



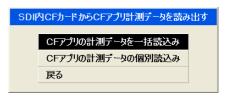
SMJ-00841

2. CF アプリ計測データの読込み画面で、「SDI 内 CF カードから CF アプリ計測データを読み出す」を選択します。



SMJ-00842

3. SDI内 CF カードから CF アプリ計測データを読み出す画面で、「CF アプリの計測データを一括読込み」または、「CF アプリの計測データの個別読込み」を選択します。



SMJ-00843

# <手順3で「CFアプリの計測データを一括読込み」を選択した場合>

4. CF カードから読み出した計測データの保存先を 選択します。希望の保存先を選択して、[OK] ボ タンをクリックします。



SMJ-00844

#### 参考:

- 初期設定では、計測データファイルが保存される 場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。
- 保存データのファイル名は、CF カードに保存したときの日時が自動的に設定されます。
- ・パソコンに計測データが保存されると、CFカード内の計測データは自動的に消去されます。
- 5. CF カード内の全ての計測データが保存される と、下記画面が表示されますので、[OK] ボタン をクリックします。



# <手順3で「CFアプリの計測データを個別読込み」を選択した場合>

4. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存 データのファイル名はCFカードに保存した時の 日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更 する必要がなければ、ダイアログボックスの[保 存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更 する場合は、希望するファイル名を入力してくだ さい。



SMJ-00846

#### 参考:

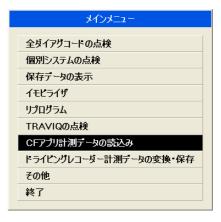
- ・計測データファイルが保存される場所は、PCアプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。
- パソコンに計測データが保存されると、CF カード内の計測データは自動的に消去されます。
- 5. CF カード内の全ての計測データが保存される と、下記画面が表示されますので、[OK] ボタン をクリックします。



SMJ-00845

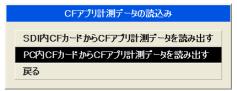
### パソコンのカードスロットから読み出す

1. メインメニュー画面で「CF アプリ計測データの 読込み」を選択します。



SMJ-00841

2. CF アプリ計測データの読込み画面で、「PC 内 CF カードから CF アプリ計測データを読み出す」を 選択します。



SMJ-00847

3. 計測データを保存した CF カードを、パソコンに セットし、[OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00848

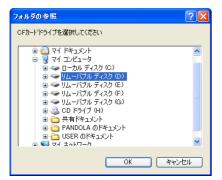
#### 参考:

パソコンに CF カードスロットがない場合は、PC カードアダプタ、カードリーダーなどを使用して CF カードをパソコンにセットしてください。 4. 下記ダイアログボックスが表示されますので、 [OK] ボタンをクリックします。



SMJ-00849

5. CF カードがセットしてあるドライブを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

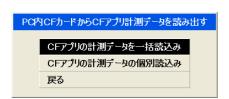


SMJ-00850

#### 参考:

このとき、CFカードを挿入してあるドライブが表示されない場合は、PCアプリを再起動して、再度手順1から作業してください。

6. PC内CFカードからCFアプリ計測データを読み 出す画面で、「CFアプリの計測データを一括読込 み」または、「CFアプリの計測データの個別読込 み」を選択します。



SMJ-00852

# <手順6で「CFアプリの計測データを一括読込み」を選択した場合>

7. CF カードから読み出した計測データの保存先を 選択します。希望の保存先を選択して、[OK] ボ タンをクリックします。



SMJ-00844

#### 参考:

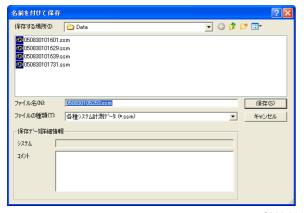
- 初期設定では、計測データファイルが保存される 場所は、PC アプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。
- ・保存データのファイル名は、CFカードに保存したときの日時が自動的に設定されます。
- パソコンに計測データが保存されると、CFカード内の計測データは自動的に消去されます。
- 8. CF カード内の全ての計測データが保存される と、下記画面が表示されますので、[OK] ボタン をクリックします。



SMJ-00845

# <手順6で「CFアプリの計測データを個別読込み」を選択した場合>

7. 保存ダイアログボックスが表示されます。保存 データのファイル名はCFカードに保存した時の 日時が自動的に設定されます。ファイル名を変更 する必要がなければ、ダイアログボックスの[保 存]ボタンをクリックします。ファイル名を変更 する場合は、希望するファイル名を入力してくだ さい。



SMJ-00846

#### 参考:

- 計測データファイルが保存される場所は、PCアプリがインストールされている場所の「Data」フォルダ内です。保存場所を変更する場合、"保存する場所"を変更して希望の場所に保存してください。
- 保存ダイアログボックスのコメント欄に、簡単な 文書を入力して記録することができます。
- パソコンに計測データが保存されると、CF カード内の計測データは自動的に消去されます。
- 8. CF カード内の全ての計測データが保存される と、下記画面が表示されますので、[OK] ボタン をクリックします。



SMJ-00845

### メモリクリア

故障修理後に各システムのコントロールモジュールに記憶されているダイアグコードを消去します。

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。

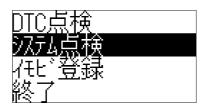


SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「システム点検」 を選択して、[ENT] キーを押します。

初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して[ENT] キーを押します。

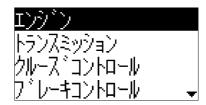


SMJ-00727

3. システム選択メニュー画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「エンジン」を 選択して、[ENT] キーを押します。(ここでは仮 にエンジンを選択します)

メニュー選択画面に戻る場合は[C]キーを押します。



SMJ-00454

4. 診断対象システムの適合確認画面が表示されま すので [ENT] キーを押します。

> 2.5 SOHC ENTを押す

> > SMJ-00455

5. 故障診断メニュー画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「メモリクリア」を選択して、[ENT] キーを押します。

[C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。



SMJ-00489

6. メモリクリア実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

メモリクリアを実行しない場合、[C] キーを押します。

メモリクリア?

<u>YES:ENT/NO:C</u>

SMJ-00457

7. メモリクリアが実行されると、下記画面が表示されます。 画面表示の指示にしたがって、イグニッションスイッチを OFF にして [ENT] キーを押します。

実行OK IGSWをOFF

ENTを押す

SMJ-00458

#### 参考:

故障診断メニューにメモリクリアの項目が無いシステムがあります。これらのシステムではイグニッションスイッチをOFFにすることで、ダイアグコードが消去されます。

# トランスミッションシステムのメモリクリア 2 について

トランスミッションシステムでは、故障診断メニューに「メモリクリア」と「メモリクリア 2」が表示される場合があります。

「メモリクリア 2」を選択実行した場合は、トランスミッションコントロールモジュールに記憶されているダイアグコードと学習制御値が消去されます。

### エアバッグシステムのメモリクリアについて

エアバッグシステムでメモリクリアをする場合、全ての故障を修理してからメモリクリアを実行してください。もし故障が1つでもある場合、メモリクリアを実行できません。

### OBDメモリクリア

故障修理後に「エンジン」および「トランスミッション」のコントロールモジュールに記憶されているダイアグコードを消去します。

 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



2. メニュー選択画面が表示されます。
[UP] キーまたは [DOWN] キーで「OBD メモリクリア」を選択して、[ENT] キーを押します。
初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-01132

3. メモリクリア実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。 メモリクリアを実行しない場合、[C] キーを押し

> メモリクリア? YES:ENT/NO:C

> > SMJ-00457

4. メモリクリアが実行されると、下記画面が表示されます。 画面表示の指示にしたがって、イグニッションスイッチを OFF にして [ENT] キーを押します。



SMJ-00458

#### 参考:

ます。

本項でメモリクリア出来るシステムは、「エンジン」と「トランスミッション」のみです。

# パラメータの選択

VDC コントロールモジュールを補用品に交換した場合に、この機能を使用してコントロールモジュールにパラメータの選択・登録を行ないます。

#### 参考:

- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。
- 補用品でないコントロールモジュールでは、この 機能は使用できません。
- アプライドモデルの確認は、車両に取り付けてある「モデル No プレート」を参照してください。 車両の取り付け場所はサービスマニュアルを参照してください。



SMJ-00859

### 登録手順

 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



2. メニュー選択画面が表示されます。
[UP] キーまたは [DOWN] キーで「システム点検」
を選択して、[ENT] キーを押します。
初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、
または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00727

3. システム選択メニュー画面が表示されます。 [UP] キーまたは [DOWN] キーで「ブレーキコントロール」を選択して、[ENT] キーを押します。 メニュー選択に戻る場合は [C] キーを押します。

> エンシ゛ン トランスミッション クルース゛コントロール フ゛レーキコントロール

> > SMJ-01133

4. 診断対象システムの適合確認画面が表示されま すので [ENT] キーを押します。



SMJ-01134

5. 故障診断メニュー画面が表示されます。[UP]キーまたは [DOWN] キーで「パラメータの選択」を選択して、[ENT] キーを押します。

[C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。



SMJ-01135

6. アプライドモデルを入力して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01136

下記画面が表示されますので、そのままお待ちください。

# 書込み中

SMJ-01137

8. 車両情報の確認画面が表示されます。表示された アプライドモデルとグレードが正しいことを確 認します。

[C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。

車両情報確認 アプライドモデル SH9AY7L グレード

SMJ-01138

# パラメータの確認

VDC コントロールモジュールに登録してあるパラメータを確認することができます。

#### 参考:

この機能は VDC コントロールモジュールが補用品でなくても使用することができます。

I. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キーを押します。



2. メニュー選択画面が表示されます。
[UP] キーまたは [DOWN] キーで「システム点検」
を選択して、[ENT] キーを押します。
初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、
または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00727

3. システム選択メニュー画面が表示されます。 [UP] キーまたは [DOWN] キーで「ブレーキコントロール」を選択して、[ENT] キーを押します。 メニュー選択に戻る場合は [C] キーを押します。

> エンシ゛ン トランスミッション クルース゛コントロール ア゛レーキコントロール

> > SMJ-01133

4. 診断対象システムの適合確認画面が表示されま すので [ENT] キーを押します。



SMJ-01134

故障診断メニュー画面が表示されます。[UP]キーまたは [DOWN] キーで「パラメータの選択」を選択して、[ENT] キーを押します。
 [C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。

プレーキコントロール メモリクリア パラメータの選択 パラメータの確認

SMJ-01139

6. 車両情報の確認画面が表示されます。表示された アプライドモデルとグレードが正しいことを確 認します。

[C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。

車両情報確認 アプライドモデル SH9AY4L SH9AY5L •

SMJ-01140

### ユニットカスタマイズ

ボディ統合ユニットが制御するアクチュエータの 作動内容、作動時間などの設定を行うことができま す。

#### 注意:

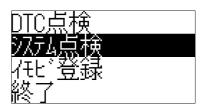
ユニットカスタマイズ機能を使用するときは、必ず サービスマニュアルを参照して設定作業を行なっ てください。誤った設定をすると、システムの動作 不良などの故障の原因になります。

 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



SMJ-00726

メニュー選択画面が表示されます。
 [UP] キーまたは [DOWN] キーで「システム点検」
を選択して、[ENT] キーを押します。
 初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、
または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



3. システム選択メニュー画面が表示されます。 [UP] キーまたは [DOWN] キーで「統合ユニット モード」を選択して、[ENT] キーを押します。 メニュー選択画面に戻る場合は[C]キーを押しま す。

> プレーキコントロール プレビューコントロール イメージプロセッシング 統合ユニットモード ▼

> > SMJ-00748

#### 参考:

- オートライト/オートワイパのユニットカスタマイズを実施する場合は、上記画面で「オートライト/オートワイパ」を選択し、作業を進めてください。
- レイン/ライトセンサーの取り外し、または交換した場合は、上記画面で「オートライト/オートワイパシステム」を選択し、初期設定を実施する必要があります。
- アイドリングストップのユニットカスタマイズ を実施する場合は、上記画面で「アイドリングス トップ」を選択し、作業を進めてください。
- コンビネーションメータのユニットカスタマイズを実施する場合は、上記画面で「コンビネーションメータ」を選択し、作業を進めてください。
- 4. 診断対象システムの適合確認画面が表示されま すので [ENT] キーを押します。

統合エット

ENTを押す

SMJ-00749

5. 故障診断メニュー画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「カスタマイズ」 を選択して、[ENT] キーを押します。

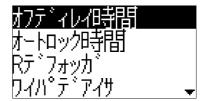
[C] キーを押すとシステム選択メニューに戻ります。

統合ユニットモード データ表示 メモリクリア ススタスイズ

SMJ-00750

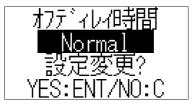
6. 表示された選択画面から、[UP] キーまたは [DOWN] キーで設定を行なう項目を選択して、 [ENT] キーを押します。

[C] キーを押すと故障診断メニューに戻ります。



SMJ-00751

7. 選択された項目のカスタマイズ設定画面が表示 されます。[RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで希 望の設定を選んだ後、[ENT] キーを押します。



SMJ-00752

8. 設定終了メッセージが表示されますので、[ENT] キーを押します。



## インパクトセンサ

この機能により、セキュリティシステムのインパクトセンサの感度調整を行うことができます。 この作業を行うときは、必ずサービスマニュアルを 参照してください。

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



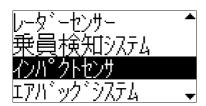
SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで「システム点検」を選択して、[ENT] キーを押します。初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00727

3. システム選択メニュー画面が表示されます。 [UP] キーまたは [DOWN] キーで「インパクトセンサ」を選択して、[ENT] キーを押します。 メニュー選択に戻る場合は [C] キーを押します。



SMJ-01092

4. 診断対象システムの適合確認画面が表示されま すので、[ENT] キーを押します。



SMJ-01093

5. 感度調整モード実行確認画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。 感度調整モードを実行しない場合、[C] キーを押します。

# 感度調整実行?

YES:ENT/NO:C

SMJ-01094

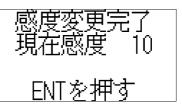
6. 感度調整画面が表示されます。 [UP] キーを押すと感度が敏感になり、[DOWN] キーを押すと鈍感になります。

設定が終了したら、[ENT] キーを押します。 設定を中止するときは、[MENU] キーを押しま す。



SMJ-01095

7. 感度変更確認画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。



# イモビライザの登録(キーレスアクセス & プッシュスタートシステムなし)

#### 警告:

- セキュリティ ID および登録コマンドは機密情報 として扱い、部外者に公表しないこと。
- 無線機や自動車電話を取付ける場合は、イモビライザシステムに電波の影響が無いように取付けること。
- ・故障診断中またはイモビライザ登録中に携帯電話や無線機等を操作しないこと。
- イモビライザ登録中に異なるIDのキーをイグニッションスイッチに近づけないこと。イグニッションキーがキーホルダーに付いている場合、診断を実行する前にキーホルダーから外すこと。また、複数のイグニッションキーがキーホルダーなどでつなげられている場合、必ずキーホルダーから外し、1本ずつに分けて作業すること。
- ・登録したイグニッションキーでエンジンを始動できない場合、イグニッションキーをイグニッションスイッチから抜き、イモビライザ警告灯が点滅を始めるまで約 1 秒待ち、再びゆっくりイグニッションキーを回しエンジンを始動すること。
- 1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで「イモビ登録」 を選択して、[ENT] キーを押します。

初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して[ENT] キーを押します。



SMJ-00732

3. システムの選択画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

> 登録システムは? イモビシステム:ENT オーディオシステム:TRG 戻る:C

SMJ-01091

#### 参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。

4. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[C] キーを押します。

スマートシステム:ENT それ以外:C

SMJ-01027

#### 参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

5. 下記の画面が表示されますので、イグニッション スイッチが ON になっていることを確認して [ENT] キーを押します。

IGN ON確認

YES:ENT/NO:C

SMJ-01028

6. 適合確認画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

IMMOBILIZER 2.0 TURBO FNTを押す

7. コマンドを入力して、[ENT] キーを押します。 [C] キーを押すとメニュー選択画面に戻ります。

#### 参考:

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができます。

0000

コマント^{*}入力 YES:ENT/NO:C

SMJ-00734

8. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

[C] キーを押すとコマンド入力画面に戻ります。

キー登録実行?

YES:ENT/NO:C

SMJ-00735

9. セキュリティ ID を入力して、[ENT] キーを押し ます。

#### 参考:

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができ ます。



SMJ-00736

10.セキュリティ ID の照合が行なわれますので、そ のままお待ちください。

通信中

SMJ-00737

11.キー登録実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

# +-登録実行

# ENTを押す

SMJ-00738

12.キーの登録が行なわれますので、そのままお待ちください。

# **料登録中**

SMJ-00739

13.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。

他にも登録するキーがあるときは [ENT] キーを押します。他に登録するキーが無いときは [C] キーを押して、手順 22 に進みます。

# +-登録OK 2本目登録?

YES:ENT/NO:C

SMJ-00740

14.イグニッションスイッチを OFF にして、登録するキーに交換します。

#### 参考:

キーの交換は30秒以内に行なってください。



15.イグニッションスイッチを OFF にすると下記画 面が表示されます。登録したいキーをキーシリン ダに挿入して、イグニッションスイッチを ON に してください。

> キー交換 →IG ON

> > SMJ-00742

16.キー登録実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

# **料登録実行**

# ENTを押す

SMJ-00738

17.キーの登録が行なわれますので、そのままお待ちください。

# +-登録中

SMJ-00739

18.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。

他にも登録するキーがあるときは [ENT] キーを押します。他に登録するキーが無いときは [C] キーを押して、手順 22 に進みます。

キ-登録OK 3本目登録?

YES:ENT/NO:C

SMJ-00743

19.手順 14~17 と同様の作業を行ないます。

20.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。

他にも登録するキーがあるときは [ENT] キーを押します。他に登録するキーが無いときは [C] キーを押して、手順 22 に進みます。

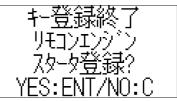
# キ-登録OK 4本目登録?

YES:ENT/NO:C

SMJ-00744

- 21.手順 14~17 と同様の作業を行ないます。
- 22.リモコンエンジンスタータ登録モード実行確認 画面が表示されます。

実行する場合は [ENT] キーを押します。実行しない場合は[C]キーを押して、手順25に進みます。



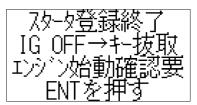
SMJ-00745

23.リモコンエンジンスタータの登録が行なわれますので、そのままお待ちください。

# 双级静绿中

SMJ-00746

24.登録が正常に終了すると下記画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。



SMJ-00747

25.イモビライザシステムおよびリモコンエンジンスタータが正常に作動することを確認後、登録作業を終了します。

# イモビライザの登録(キーレスアクセス& プッシュスタートシステムあり)

#### 警告:

- セキュリティ ID および登録コマンドは機密情報 として扱い、部外者に公表しないこと。
- 無線機や自動車電話を取付ける場合は、携帯機に 電波の影響が無いように取付けること。
- ・ 故障診断中または携帯機登録中に携帯電話や無線機等を操作しないこと。
- イモビライザの登録作業にはプッシュエンジンスイッチに携帯機をかざす操作が含まれる。その操作を行なう際は以下に注意すること。
  - 1) バッテリー電圧が 11V 以上あることを確認して、各モードを実行すること。
  - 2) 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際、携帯機を2個以上重ねず、必ず分けて1個ずつで行なうこと。(携帯機がキーホルダーに付いている場合、作業前にキーホルダーから外すこと。)
  - 3) 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす時、下記のように携帯機をプッシュエンジンスイッチに近接させること。



SMJ-01126

- (1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。
- (2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンスイッチ側にする。
- (3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで 近づける。

また、キーレスアクセス&プッシュスタートシステム装着車両の部品を交換する際、「携帯機」、「照合コントロールユニット」、「ID コード BOX」、「ステアリングロックコントロールユニット」、「ボディ統合ユニット」の各部品は、必ず新品を使用し、絶対に中古部品と交換しないこと。中古部品を使用した場合、各部品の内部が損傷する恐れがある。

(下記のイラストは一例です。各部品の形状は車 種によって異なります。) • 携帯機 SMJ-01225 ・照合コントロールユ ニット SMJ-01226 ・ID コード BOX SMJ-01227 •ステアリングロック コントロールユニッ SMJ-01228 •ボディ統合ユニット SMJ-01229

中古部品と交換不可の部品

- 登録した携帯機でエンジンを始動できない場合、 イモビライザ警告灯が点滅を始めるまで約1秒 待ち、再び登録した携帯機でエンジンを始動する こと。
- キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が誤作動を起こす可能性があるため、携帯機およ び受信機アンテナの周辺 10cm 以内に PC を置か ないこと。

#### 参考:

- 携帯機、照合コントロールユニット、ボディ統合 ユニット、コンビネーションメータを交換した場 合は「スマートイモビライザの登録」を行ってく ださい。
- ステアリングロックコントロールユニットを交換した場合は「スマートコントロールユニットの登録」を行ってください。
- ID コードBOX交換時には、「エンジンコントロールユニットの登録」、「スマートコントロールユニットの登録」の順番で各登録を行ってください。
- エンジンコントロールユニットを交換した場合は「エンジンコントロールユニットの登録」を 行ってください。
- 電源コントロールユニット、ゲートウェイコントロールユニットを交換した場合は、イモビライザ登録の必要はありません。
- ・イグニッションを ON する場合は、ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを 2 回押してください。電源の状態は、プッシュエンジンスイッチを1回押すごとに、ACC-ON、IG-ON、OFF、ACC-ON・・・と遷移します。
- エンジン始動の際、AT車の場合はブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュエンジンスイッチを1回押してください。MT車の場合はクラッチペダルを踏んだ状態で、プッシュエンジンスイッチを1回押してください。
- 下記の作業を行なう際は、「リモコンエンジンスタータの登録」を行ってください。
  - 1) リモコンエンジンスタータの取り付け
  - 2) リモコンエンジンスタータの交換
  - 3) リモコンエンジンスタータ装着車両の照合コントロールユニット交換
- ボディ統合ユニットおよびコンビネーションメーターの交換時には、「スマートイモビライザの登録」を行ってください。
- 携帯機を紛失した場合は、「携帯機の ID を消去する」を行なってください。なお、全ての携帯機を紛失した場合は、「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム 部品故障時の対応一覧」を参照してください。
- 室内アンテナのコネクタ接触不良などが原因で 正常に登録できない場合があります。この場合は キーレスアクセス室内アンテナ(フロント)のコ

ネクタ接触不良などを修理してからイモビライザの登録を行なってください。(イモビライザの登録ではキーレスアクセス室内アンテナ(フロント)のみを使用して登録を行なっています。)

## スマートイモビライザの登録

キーレスアクセス & プッシュスタートシステム搭載車のイモビライザの登録ができます。

I. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで「イモビ登録」を選択して、 [ENT] キーを押します。初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00732

3. システムの選択画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

> 登録システムは? イモビシステム:ENT オーディオシステム:TRG 戻る:C

> > SMJ-01091

#### 参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。 4. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[ENT] キーを 押します。

スマートシステム:ENT それ以外:C

SMJ-01027

#### 参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

5. コマンドを入力して、[ENT] キーを押します。 [C] キーを押すとメニュー選択画面に戻ります。

#### 参考:

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができ ます。



SMJ-00734

6. 登録モード選択画面が表示されます。[UP] キー または [DOWN] キーで「スマートイモビライザ 登録」を選択して、[ENT] キーを押します。

# スマートイモビライザ登録 スマートECMの登録 エンジンECMの登録 登録本数読出し ▼

SMJ-01075

7. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

> SSP/ŧĿ゙登録 実行?

YES:ENT/NO:C

8. セキュリティ ID を入力して、[ENT] キーを押し ます。



SMJ-01030

9. セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。

# ID昭合中

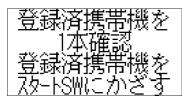
SMJ-01031

10.続いてスマートイモビライザの登録処理が行われますので、そのままお待ちください。

# 登録中…

SMJ-01032

11.登録済み携帯機の確認画面が表示されますので、すでに登録されている携帯機のうち 1 本をプッシュエンジンスイッチへかざしてください。ブザーが1回吹鳴したら、携帯機をプッシュエンジンスイッチから離し、次の手順に進んでください。

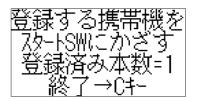


SMJ-01033

#### 参考:

- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際は下記のように携帯機をプッシュエンジンスイッチに近接させてください。
  - 1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。

- 2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンス イッチ側にする。
- 3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで近づ ける。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから 30 秒以内に行ってください。
- 12.携帯機登録の実行画面が表示されますので、追加登録したい携帯機 1 本をプッシュエンジンスイッチにかざしてください。



SMJ-01034

#### 参考:

- ブザーが 2 回吹鳴したら、携帯機をかざす作業 は終了ですが、作業後 10 秒間は携帯機を車内 (セレクトレバー付近)で保持してください。
- 次の携帯機の登録時には、先に登録した携帯機を 車内に置かないでください。
- 全ての携帯機の登録が完了するまで「C」キーを 押さないでください。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから30秒以内に行ってください。
- 13.携帯機の登録が行われますので、そのままお待ちください。

苔緑中...

14.登録が正常に終了すると下記画面のように「登録済み本数」が1本増えます。

他にも登録する携帯機があるときは、手順12~13と同様に登録作業を行ってください。

他に登録する携帯機が無いときは [C] キーを押して、手順15に進みます。

登録する携帯機を スタートSWにかざす 登録済み本数=2 終了→Cキー

SMJ-01035

15.下記の画面が表示されますので、プッシュエン ジンスイッチの電源を OFF にします。次に車両 のドアを開閉してください。

1: IGN参OFF

2:ドアSWを押す

SMJ-01036

16.下記の画面が表示されますので、イグニッションを ON にしてください。

3: IGN ON

SMJ-01037

17.エンジンコントロールユニットへの登録が行われますので、そのままお待ちください。

エンジンECU 登録中・・・

SMJ-01038

18.登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。[ENT] キーを押します。



ENTを押す

SMJ-01039

19.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が正常に作動することを確認後、登録作業を終了します。

#### 参考:

交換部品によっては、本項で記載した表示画面以外 の画面が表示されることがあります。その場合は、 表示画面の指示にしたがって作業を行ってくださ い。

### スマートコントロールユニットの登録

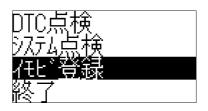
キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに スマート関連コントロールユニットの登録ができ ます。

 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで「イモビ登録」を選択して、 [ENT] キーを押します。初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



3. システムの選択画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

> 登録システムは? イモビシステム:ENT オーディオシステム:TRG 戻る:C

> > SMJ-01091

#### 参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。

4. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[ENT] キーを 押します。

スマートシステム:ENT それ以外:C

SMJ-01027

#### 参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

5. コマンドを入力して、[ENT] キーを押します。 [C] キーを押すとメニュー選択に戻ります。

#### 参考

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができ ます。

**0**000

コマント゛入力 YES:ENT/NO:C

SMJ-00734

6. 登録モード選択画面が表示されます。[UP] キー または [DOWN] キーで「スマート ECM の登録」 を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01076

7. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

> スマートECU登録 実行?

YES:ENT/NO:C

SMJ-01040

8. セキュリティ ID を入力して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01030

9. セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。

ID照合中

SMJ-01031

10.続いてスマートコントロールユニットの登録処 理が行われますので、そのままお待ちください。

登録中…

11.登録済み携帯機の確認画面が表示されますので、すでに登録されている携帯機のうち 1 本をプッシュエンジンスイッチへかざしてください。ブザーが1回吹鳴したら、携帯機をプッシュエンジンスイッチから離し、次の手順に進んでください。

登録済携帯機を 1本確認 登録済携帯機を スタートSWにかざす

SMJ-01033

#### 参考:

- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際は下記のように携帯機をプッシュエンジンスイッチに近接させてください。
  - 1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。
  - 2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンス イッチ側にする。
  - 3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで近づける。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから 30 秒以内に行ってください。
- 12.自動的にスマートコントロールユニットの登録が行われ、登録が正常に終了すると下記の画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

スマートECU登録終了 ENTを押す

SMJ-01041

13.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が正常に作動することを確認後、登録作業を終了 します。

# エンジンコントロールユニットの登録

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに エンジンコントロールユニットの登録ができます。

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで「イモビ登録」を選択して、 [ENT] キーを押します。初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00732

3. システムの選択画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

> 登録システムルは? イモビシステム:ENT オーディオシステム:TRG 戻る:C

> > SMJ-01091

#### 参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。

4. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[ENT] キーを 押します。

スマートシステム: ENT それ以外: C

### 参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

5. コマンドを入力して、[ENT] キーを押します。 [C] キーを押すとメニュー選択に戻ります。

### 参考

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができ ます。

0000

コマント・入力 YES:ENT/NO:C

SMJ-00734

6. 登録モード選択画面が表示されます。[UP] キー または [DOWN] キーで「エンジン ECM の登録」 を選択して、[ENT] キーを押します。

> スマートイモビライザ登録 スマートECMの登録 エンジンECMの登録 登録本数読出し ▼

SMJ-01077

7. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

> ェングンECU 登録実行?

YES:ENT/NO:C

SMJ-01042

8. セキュリティ ID を入力して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01030

9. セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。

# ID照合中

SMJ-01031

10. 続いてエンジンコントロールユニットの登録処 理が行われますので、そのままお待ちください。



SMJ-01043

11.登録が正常に終了すると下記画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

正常終了

ENTを押す

SMJ-01039

12.下記の画面が表示された後、初期メニュー画面 に戻りますので、そのままお待ちください。



SMJ-01044

13.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム が正常に作動することを確認後、登録作業を終了 します。

# 携帯機登録本数の読出し

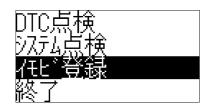
現在車両に登録されている携帯機の本数を読み出すことができます。

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キー を押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで「イモビ登録」を選択して、 [ENT] キーを押します。初期メニューに戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00732

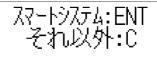
3. システムの選択画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

> 登録システムは? イモビシステム:ENT オーディオシステム:TRG 戻る:C

> > SMJ-01091

### 参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。 4. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[ENT] キーを 押します。



SMJ-01027

### 参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

5. コマンドを入力して、[ENT] キーを押します。 [C] キーを押すとメニュー選択画面に戻ります。

### 参考:

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができます。



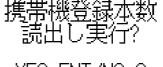
SMJ-00734

6. 登録モード選択画面が表示されます。[UP] キー または [DOWN] キーで「登録本数読出し」を選 択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01078

7. 携帯機登録本数読出しモードの実行確認画面が 表示されますので、[ENT] キーを押します。



YES:ENT/NO:C

8. 現在の携帯機登録本数が表示されます。[ENT] キーを押すと初期メニューに戻ります。

> 登録本数 2本

ENTを押す

SMJ-01046

# 携帯機の ID を消去する

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに登録された携帯機の ID を、1 つを残して消去できます。

### 参考:

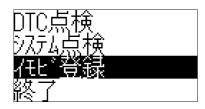
この機能で、携帯機の ID をすべて消去することはできません。プッシュエンジンスイッチにかざした携帯機のみ ID が残ります。

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで「イモビ登録」を選択して、 [ENT] キーを押します。初期メニュー画面に戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00732

3. システムの選択画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

> 登録システムは? イモビシステム:ENT オーディオシステム:TRG 戻る:C

SMJ-01091

### 参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。

4. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[ENT] キーを 押します。

スマートシステム:ENT それ以外:C

SMJ-01027

### 参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

5. コマンドを入力して、[ENT] キーを押します。 [C] キーを押すとメニュー選択画面に戻ります。

#### 参考:

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができます。

0000

コマント・入力 YES:ENT/NO:C

6. 登録モード選択画面が表示されます。[UP] キー または [DOWN] キーで「ID の消去」を選択して、 [ENT] キーを押します。



SMJ-01079

7. 携帯機 ID 消去モード実行確認画面が表示されま すので、「ENT」キーを押します。

> 携帯機ID消去 実行?

> YES:ENT/NO:C

SMJ-01047

8. セキュリティ ID を入力して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01030

9. セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。

ID照合中

SMJ-01031

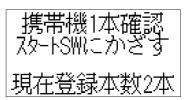
10.続いて携帯機 ID 消去処理が行われますので、そのままお待ちください。

処理中...

SMJ-01048

11.登録済み携帯機の確認画面が表示されますので、すでに登録されている携帯機のうち、IDを残したい携帯機を1本プッシュエンジンスイッチへかざしてください。

ブザーが1回吹鳴したら、携帯機をプッシュエンジンスイッチから離し、次の手順に進んでください。



SMJ-01049

### 参考:

- プッシュエンジンスイッチにかざした携帯機の み ID が残ります。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす際 は下記のように携帯機をプッシュエンジンス イッチに近接させてください。
  - 1) 携帯機のメカニカルキー差込口を下側にする。
  - 2) スバルオーナメント側をプッシュエンジンス イッチ側にする。
  - 3) プッシュエンジンスイッチに触れるまで近づける。
- 携帯機をプッシュエンジンスイッチにかざす作業は、上記画面が表示されてから 30 秒以内に行ってください。
- 12.携帯機IDの消去が正常に終了すると下記画面が表示されます。[ENT] キーを押します。



SMJ-01050

13.ID を残した携帯機を使用して、キーレスアクセス & プッシュスタートシステムが正常に作動することを確認後、作業を完了します。

# リモコンエンジンスタータの登録

キーレスアクセス & プッシュスタートシステムに リモコンエンジンスタータの登録ができます。

I. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「SUBARU 車」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-00726

2. メニュー選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで「イモビ登録」を選択して、 [ENT] キーを押します。初期メニュー画面に戻る場合は、[C] キーを押すか、または「終了」を選択して [ENT] キーを押します。



SMJ-00732

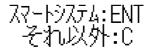
3. システムの選択画面が表示されますので、[ENT] キーを押します。

> 登録システムは? イモビシステム:ENT オーディオシステム:TRG 戻る:C

> > SMJ-01091

### 参考:

オーディオシステムはイギリスのみの仕様になり ます。 4. キーレスアクセス & プッシュスタートシステム の確認画面が表示されますので、[ENT] キーを 押します。



SMJ-01027

### 参考:

画面で使用している名称「スマートシステム」は、本文で使用している名称「キーレスアクセス&プッシュスタートシステム」と同義です。

5. コマンドを入力して、[ENT] キーを押します。 [C] キーを押すとメニュー選択画面に戻ります。

### 参考:

[UP] キーまたは [DOWN] キーで数字の入力、 [RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで桁の移動ができ ます。



SMJ-00734

6. 登録モード選択画面が表示されます。[UP] キー または [DOWN] キーで「リモコンエンジン ST 登 録」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01080

7. 登録モード実行確認画面が表示されますので、 [ENT] キーを押します。

> リモコンエンシ゛ン スタータ登録?

YES:ENT/NO:C

8. セキュリティ ID を入力して、[ENT] キーを押します。



SMJ-01030

9. セキュリティ ID の照合が行われますので、その ままお待ちください。

# ID照合中

SMJ-01031

*10.*続いてリモコンエンジンスタータの登録処理が 行われますのでそのままお待ちください。

# 登録中・・・

SMJ-01032

11.リモコンエンジンスタータの登録が正常に終了すると下記画面が表示されます。[ENT] キーを押します。

# スタータ登録終了

# ENTを押す

SMJ-01052

12.キーレスアクセス & プッシュスタートシステム およびリモコンエンジンスタータが正常に作動 することを確認後、登録作業を終了します。

# SDIの機能設定

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「機能設定」を選択して、[ENT] キーを押 します。



SMJ-00755

2. メニュー選択画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで設定したい項目を選択して、[ENT] キーを押します。

初期メニュー画面に戻る場合は[C]キーを押します。

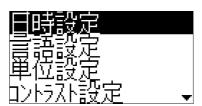


SMJ-00459

### 1) 日時設定

SDI 内蔵時計の日付と時間を設定することができます。

(1) メニュー選択画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「日時設定」を選択して、[ENT] キーを 押します。



SMJ-00459

(2)「DATE AND TIME」画面が表示されます。 左から < 月 >< 日 >< 西暦 >< 時 >< 分 >< 秒 > が 表示されますので [LEFT] キーまたは [RIGHT] キーで項目を選択し、[UP] キーまたは [DOWN] キーで日時等の変更を行います。 設定が終了したら、[ENT] キーを押します。

設定が終了したら、[ENT] キーを押します。

設定をキャンセルする場合は、[MENU] キーを押します。

### 参考:

曜日は自動的に設定されます。

(DATE AND TIME)

MBX/22/2004(Sa)
12:10:31

MOVE:LEFT/RIGHT
CHANGE:UP/DOWN
UPDATE:ENT
CANCEL:MENU

SMJ-00406

## 2) 言語設定

SDI の画面に表示する言語を設定することができます。

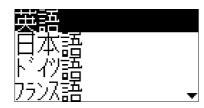
(1) メニュー選択画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「言語設定」を選択して、[ENT] キーを 押します。



SMJ-00491

(2) 言語選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで目的の言語を選択して、[ENT] キーを押します。

メニュー選択画面に戻る場合は [C] キーを押します。



SMJ-00460

# 参考:

SDIの[C]キーを押しながら電源をONにした場合、 設定した言語に関わらず、言語選択が英語に設定されます。

### 3) 単位設定

SDI の画面に表示される数値の単位を設定することができます。

(1) メニュー選択画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「単位設定」を選択して、[ENT] キーを 押します。



SMJ-00492

(2) 単位選択画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで設定したい項目を選択して、 [LEFT] キーまたは [RIGHT] キーで単位の変更を行い [ENT] キーを押します。

メニュー選択画面に戻る場合は [C] キーを押します。



SMJ-00461

# 4) LCD コントラスト設定

ディスプレイの表示が見やすくなるように、LCD のコントラストを調整できます。

(1) メニュー選択画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「コントラスト設定」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-00493

(2)「LCD CONTRAST」画面が表示されます。 [UP]キーまたは[DOWN]キーでコントラストを 調整し、[ENT] キーを押します。

設定をキャンセルする、またはメニュー選択画面に戻る場合は [MENU] キーを押します。

### 参考:

LCD バックライトを消灯させた状態で、LCD のコントラストを確認することができます。LCD バックライトを消灯させるにはキーパッドの [TRG] キーを押します。LCD バックライトを点灯させるには、もう一度 [TRG] キーを押します。

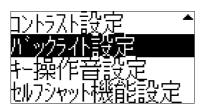


SMJ-00409

### 5) バックライト時間設定

SDI のキー操作をしないで一定時間が経過すると、ディスプレイの LCD バックライトが自動的に消灯します。この時間を設定することができます。

(1) メニュー選択画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「バックライト設定」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-00494

(2)「BACKLIGHT TIME」画面が表示されます。 [UP]キーまたは[DOWN]キーでバックライトが 消灯するまでの時間を設定し、[ENT] キーを押 します。

設定をキャンセル、またはメニュー選択画面に 戻る場合は [MENU] キーを押します。



SMJ-00408

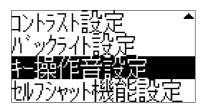
### 参考:

- "OFF" に設定すると、LCD バックライトは常に消 灯します。
- "FOREVER" に設定すると、LCD バックライトは常に点灯します。

### 6) キー操作音設定

SDIのキー操作音ブザーの ON/OFF を設定することができます。

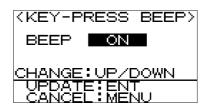
(1) メニュー選択画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「キー操作音設定」を選択して、[ENT] キーを押します。



SMJ-00495

(2)「KEY-PRESS BEEP」画面が表示されます。 [UP] キーまたは [DOWN] キーでブザーの ON/ OFF を設定し、[ENT] キーを押します。

設定をキャンセルする、またはメニュー選択画面に戻る場合は [MENU] キーを押します。

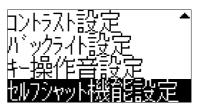


SMJ-00410

### 7) セルフシャットオフ時間設定

SDI のセルフシャットオフ時間を設定することができます。

(1) メニュー選択画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「セルフシャット機能設定」を選択して、 [ENT] キーを押します。



(2) 「SELFSHUT TIME」画面が表示されます。 [UP] キーまたは[DOWN] キーで自動的にSDIの 電源が OFF になるまでの時間を設定し、[ENT] キーを押します。

設定をキャンセルする、またはメニュー選択画面に戻る場合は [MENU] キーを押します。



SMJ-00407

### 参考:

OFF に設定すると、SDI のセルフシャットオフ機能は働かなくなります。この場合、車両のバッテリ上がりの危険がありますので、注意してください。

# SDIの自己診断

1. 初期メニュー画面で、[UP] キーまたは [DOWN] キーで「自己診断」を選択して、[ENT] キーを押 します。



SMJ-00756

2. メニュー選択画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで設定したい項目を選択して、[ENT] キーを押します。

初期メニュー画面に戻る場合は[C]キーを押します。



SMJ-00497

### 参考:

SDIの自己診断で異常が見つかった場合、すみやかに SDI を修理してください。

## LCD 診断

ディスプレイの LCD ドット、描画範囲、コントラスト、バックライト診断を行うことができます。 表示されているメニュー画面から、[UP] キーまたは [DOWN] キーで項目を選択して [ENT] キーを押します。

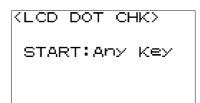
メニュー選択画面に戻るには、[C] キーを押します。



SMJ-00463

## 1. LCD ドット診断

ディスプレイの LCD ドットを確認します。キーパッドのいずれかのキーを押してください。

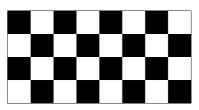


SMJ-00379

ディスプレイの白と黒の部分が交互に点滅を繰り返しますので、LCDドットの点滅状態を確認してください。

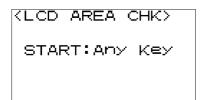
白い部分の一部に黒いドットが残る、または黒い部分の一部に白いドットが残る場合は LCD ドットの不良です。

LCD ドット表示を点検して、[ENT] キーを押して ください。



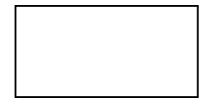
### 2. LCD 描画範囲診断

ディスプレイの LCD 描画範囲を確認します。キーパッドのいずれかのキーを押してください。



SMJ-00381

ディスプレイの4辺に黒の縁取りが表示されること を点検して、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00382

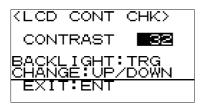
### 3. LCD コントラスト診断

ディスプレイの LCD コントラスト調整ができるか確認します。[UP] キーを押すと LCD のコントラストが強くなり、[DOWN] キーを押すと LCD のコントラストは弱くなります。

コントラスト調整ができることを点検したら、 [ENT] キーを押してください。

### 参考:

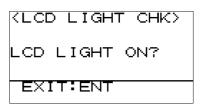
LCD バックライトを消灯させた状態で、LCD のコントラストを確認することができます。LCD バックライトを消灯させるにはキーパッドの [TRG] キーを押します。LCD バックライトを点灯させるには、もう一度 [TRG] キーを押します。



SMJ-00383

### 4. LCD バックライト診断

LCD バックライトが点灯することを点検して、 [ENT] キーを押してください。



SMJ-00384

## メイン LED 診断

SDI の SIG LED は、SDI の状態に応じて緑色または 赤色で点灯または点滅します。この点検ではメイン LED の動作状態を確認します。

表示されている、メニュー選択画面から、[UP] キーまたは[DOWN]キーで、項目を選択して[ENT]キーを押します。

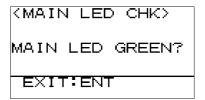
メニュー選択画面に戻るには、[C] キーを押します。



SMJ-00464

### 1. メイン LED (緑) 診断

SIG LED が緑色の4回点滅、10秒点灯を繰り返すことを点検して、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00386

## 2. メイン LED (赤) 診断

SIG LED が赤色の 4 回点滅、10 秒点灯を繰り返すことを点検して、[ENT] キーを押してください。

KMAIN LED CHK>
MAIN LED RED?
EXIT:ENT

## リモコン LED 診断

ドライビングレコーダー用リモートボックスに取り付けられている LED は、緑色または赤色で点灯または点滅します。この点検ではリモコン LED の動作状態を確認します。

表示されているリモコンLED診断画面で、[UP]キーまたは[DOWN]キーで、項目を選択して[ENT]キーを押します。

メニュー選択画面に戻るには、[C] キーを押します。



SMJ-00465

### 1. リモコン LED (緑) 診断

LED が緑色の4回点滅、10秒点灯を繰り返すことを点検して、[ENT] キーを押してください。

SMJ-00389

## 2. リモコン LED (赤) 診断

LED が赤色の 4 回点滅、10 秒点灯を繰り返すことを点検して、[ENT] キーを押してください。

REMO LED CHK>
REMO LED RED?
EXIT:ENT

SMJ-00390

## キー診断

SDIキーパッドのキーの動作を点検します。

 $UP \rightarrow DOWN \rightarrow RIGHT \rightarrow LEFT \rightarrow ENT \rightarrow TRG \rightarrow C \rightarrow MENU$  の順で画面に表示されますので指示に従って、キーを順に押してください。

[MENU] キー以外のキーを押したときに、次のキーの操作指示画面に切り替われば正常です。

異常がある場合は、[MENU] キーを押して診断を終了してください。

SMJ-00391

## リモコンスイッチ診断

 ドライビングレコーダー用リモートボックスに 取り付けられている、トリガ (TRG) スイッチの 動作を確認します。

トリガスイッチの動作点検を行うときは、[ENT] キーを押します。



SMJ-00467

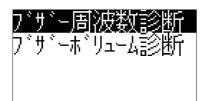
2. 画面に表示された指示に従って、トリガスイッチを押してから離してください。画面に "CHECK OK!"または"CHECK NG!"が表示されたら[ENT] キーを押してください。

診断をキャンセルするには、[MENU] キーを押し ます。

## ブザー診断

SDI のブザー周波数および音量の診断を行います。 表示されているブザー診断画面から、[UP] キーま たは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キー を押します。

メニュー選択画面に戻るには、[C] キーを押します。



SMJ-00468

### 1. ブザー周波数診断

ブザーの動作確認と、ブザーの周波数の確認ができます。

ブザーの設定周波数がディスプレイに表示されます。[UP] キーを押すとブザーの周波数が高くなり、[DOWN] キーを押すとブザーの周波数は低くなります

ブザー周波数の点検が終わったら、[ENT] キーを押してください。

KBEEP FREQ CHK>
FREQUENCY 4000
CHANGE: UP/DOWN
EXIT: ENT

SMJ-00395

### 2. ブザーボリューム診断

ブザーの動作確認と、ブザーの音量の調整確認ができます。

ブザーの設定音量がディスプレイに表示されます。 [UP] キーを押すとブザーの音量が大きくなり、 [DOWN] キーを押すとブザーの音量は小さくなり ます。

ブザーの音量の点検が終わったら、[ENT] キーを押してください。

KBEEP VOL CHK>
VOLUME BB

CHANGE: UP/DOWN
EXIT: ENT

SMJ-00396

## RAM 診断

SDI 内部の RAM の状態を SDI が自己診断を行い、 その結果を表示します。

自己診断が終了して、ディスプレイに "CHECK OK!" または "CHECK NG" が表示されたら、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00397

# ROM 診断

SDI 内部の ROM の状態を SDI が自己診断を行い、 その結果を表示します。

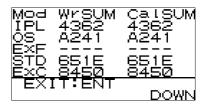
自己診断が終了したら、ディスプレイの表示を確認してください。

ディスプレイの"Wr SUM"と"Cal SUM"の下に表示されている 16 進数コードが同じであれば、ROM は正常です。

ROM 診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

### 参考:

画面をスクロールするには、[UP] キーまたは [DOWN] キーを押してください。



SMJ-00398

## バージョン診断

SDI のソフトウェアのバージョン確認を行います。 通信中に表示されるバージョンとバージョン チェックで表示されるバージョンが同じかを確認 してください。

バージョン診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

SDI Ver.1.0.59

# 時計 IC 診断

SDI 内蔵時計の日付と時間の設定動作が正常にできるか、確認します。

ディスプレイに年、月、日、曜日、時、分、秒が表示された後、カウントし、Jan/01/2000 (Sat) 00:00:00 に切り替わることを確認します。

時計 IC 診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

(RTC TIMER CHK)
Dec/31/1999(Fr;)
23:59:55
EXIT:ENT

SMJ-00401

## 現在時刻確認

SDI 内蔵時計の日付と時間を表示します。 メニュー選択画面に戻るには、[ENT] キーを押しま す。

# DST-i スタンドアローン診断

パソコンを使用せずに、DST-iを単体で使用しても 故障診断を行うことができます。

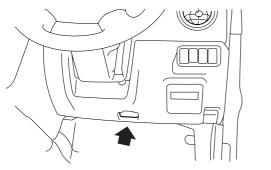
なお、スタンドアローン診断を行うときには、あらかじめソフトウェアをインストールした SD メモリーカードをDST-iのカードスロットに挿入しておく必要があります。

### 参考:

- SDメモリーカードを DST-i に挿入する、または取り出す際は、DST-i の電源を OFF にして行ってください。DST-i の電源が ON の状態で挿入および取り出しを行うと、SDメモリーカードの内部データが損傷する恐れがあります。
- この機能は、使用するインターフェースボックスが DST-i である場合のみ、実施が可能です。

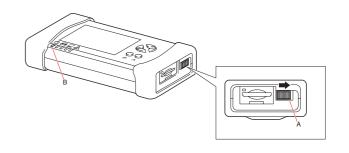
# 準備(DST-i をスタンドアローン モードで起動する)

- I. DST-iのカードスロットにソフトウェアをインストールしてある SD メモリーカードを挿入します。
- 2. データリンクケーブルでDST-iを車両データリンクコネクタに接続します。



SMJ-00115

3. DST-i のモードスイッチを ON にし、電源インジケータが緑色に点灯することを確認します。



SMJ-01306

- A: モードスイッチ
- B: 電源インジケータ
- 4. オープニング画面が表示されますので、いずれかのキーを押します。



SMJ-01307

### 参考:

設定によっては、ドライビングレコーダーモードが 開始される場合があります。その場合は、左キーま たは右キーで「起動画面」を選択して A キーを押 します。

5. メインメニュー画面が表示されます。



SMJ-01308

# 全 DTC 点検

SSMIII に対応する全制御システムのコントロール モジュールの故障検出状況と、記憶されているDTC を画面上に表示させることができます。

車両に故障が発生しているが、故障を起こしている 制御システムを特定できないときにこの点検を行 い、表示された DTC により故障診断作業を行いま す。

### 参考:

- クルーズコントロールシステムを装備している 車両では、点検をする前にクルーズコントロール メインスイッチを ON にしてください。
- 車種、仕様によりこの点検モードが機能しない場合があります。
- 1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後 A キーを押します

車両確定後、Aキーを押します。Bキーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で Bキーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「全 DTC 点検」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01311

4. 全DTC 読み出し中画面が表示されます。

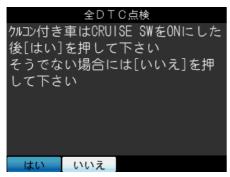


SMJ-01313

5. 場合によって、下記画面が表示されます。 クルーズコントロールシステム装備車両は、ク ルーズコントロールメインスイッチをONにして から左キーまたは右キーでボタン表示エリアの 「はい」を選択して A キーを押します。それ以外 の車両は「いいえ」を選択して A キーを押します。

### 参考:

この画面は車両の仕様によって表示されない場合があります。



SMJ-01376

6. 全 DTC 表示画面が表示されます。

上キーまたは下キーで任意のシステムを選択してAキーを押します。

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。

### 参考:

各コントロールユニットに記憶されている DTC の数が表示されます。



SMJ-01314

システム別 DTC 表示画面が表示されます。
 B キーを押すと全 DTC 表示画面に戻ります。

#### 参考:

- 画面左上に現在表示しているシステム名が表示 されます。
- 左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「メモリ」を選択して A キーを押すと、画面に表示されている DTC を切り替えることができます。表示される DTC およびボタン表示エリアのボタ

ン名(仮、メモリなど)は、車両やシステムに よって異なります。



SMJ-01315

# データモニタ

SSMIII に対応する制御システムのコントロールモジュールの入出力データや制御データを計測することができます。

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。

車両確定後、Aキーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

- 3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択して A キーを押します。
  - Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01312

- 4. システム選択画面が表示されます。
  - 上キーまたは下キーで「エンジン」を選択して A キーを押します。(ここでは仮に「エンジン」を 選択します)
  - Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



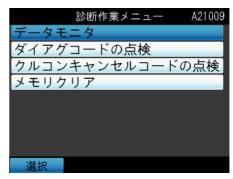
SMJ-01316

5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、A キーを押します。



SMJ-01321

- 6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「データモニタ」を選択して A キーを押します。
  - Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



SMJ-01326

7. データ表示項目選択画面(選択方式)が表示されます。

上キーまたは下キーで「全データ」または「選択 データ」を選択してAキーを押します。

B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。

### 参考:

「全データ」では、全ての計測項目が選択された状態で表示され、「選択データ」では、計測項目が未選択の状態で表示されます。



SMJ-01346

8. データ表示項目選択画面 (計測項目) が表示されます。

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「計測 開始」を選択してAキーを押します。

Bキーを押すとデータ表示項目選択画面(選択方式) に戻ります。

## 参考:

計測項目の左側には表示画面での並び順が表示されます。

データモニタ		
ノータモータ 1 エンジン負荷		
2 エンジン水温		
3 A/F補正1		
4 A/F学習1		
5 吸入管絶対圧力		
6 エンジン回転数		
7 メータ車速		
8 点火時期		
選択計測開始		

SMJ-01347

9. 現在データ表示画面が表示されます。 左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「停 止」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとデータ表示項目選択画面(計測項目) に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「表示切替」を選択して A キーを押すと、画面に表示する計測項目の数を 8 個に切り替えることができます。



SMJ-01348

10.計測停止画面が表示されます。

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「計測 開始」を選択して A キーを押すと、計測を再開 します。

Bキーを押すとデータ表示項目選択画面(計測項目) に戻ります。



SMJ-01349

# DTC 点検

SSMIII に対応する制御システムからシステムを選んで、記憶されている DTC などの情報を DST-i の 画面で見ることができます。

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

## 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「エンジン」を選択して A キーを押します。(ここでは仮に「エンジン」を 選択します)

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



SMJ-01316

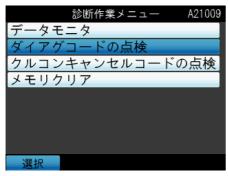
5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、Aキーを押します。



SMJ-01321

6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「ダイアグコードの点検」 を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



SMJ-01327

7. DTC表示画面が表示されます。

上キーまたは下キーで任意のコードを選択します。左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「詳細」を選択してAキーを押します。

B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。

## 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「メモリ」を選択して A キーを押すと、画面に表示されている DTC を切り替えることができます。

表示される DTC およびボタン表示エリアのボタン名(仮、メモリなど)は、車両やシステムによって異なります。

	仮コード(3)
P0500	車速センサ系
P0102	ェアフローセンサ系回路(Low)
P0113	吸気温センサ系回路(High
詳細	メモリ サブメニュー

SMJ-01333

8. DTC 詳細表示画面が表示されます。A キーまたは B キーを押すと DTC 表示画面に戻ります。



SMJ-01334

# メモリクリア

故障修理後に各システムのコントロールモジュールに記憶されている DTC を消去します。

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

- 3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択して A キーを押します。
  - Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。

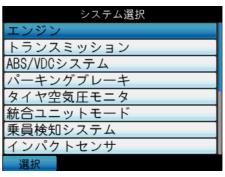


SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「エンジン」を選択してAキーを押します。(ここでは仮に「エンジン」を選択します)

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



SMJ-01316

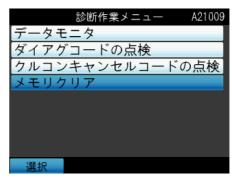
5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、A キーを押します。



SMJ-01321

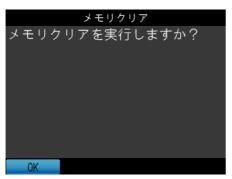
6. 故障診断メニュー画面が表示されます。上キーまたは下キーで「メモリクリア」を選択してAキーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



SMJ-01328

7. メモリクリア確認画面が表示されます。
 A キーを押すとメモリクリアを実行します。
 B キーを押すとメモリクリアを中止して故障診断メニュー画面に戻ります。

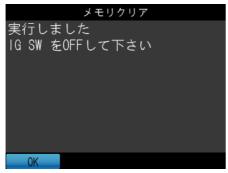


SMJ-01335

8. メモリクリア実行後、メモリクリア実行画面が表示されます。

画面表示の指示にしたがって、イグニッションスイッチを OFF にして A キーを押します。

A キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。



SMJ-01336

### 参考:

故障診断メニュー画面にメモリクリアの項目が無いシステムがあります。これらのシステムではイグニッションスイッチを OFF にすることで、DTC が消去されます。

# トランスミッションシステムのメモリクリ ア 2 について

トランスミッションシステムでは、故障診断メニュー画面に「メモリクリア」と「メモリクリア 2」が表示される場合があります。

「メモリクリア 2」を選択実行した場合は、トランスミッションコントロールモジュールに記憶されている DTC と学習制御値が消去されます。

# エアバッグシステムのメモリクリアについて

エアバッグシステムでメモリクリアをする場合、全ての故障を修理してからメモリクリアを実行してください。もし故障が1つでもある場合、メモリクリアを実行できません。

# 作業サポート

#### 注意:

作業サポートでアクチュエータを駆動中に DST-i のモードスイッチを OFF にしたり、データリンクケーブルを取り外したりすると、アクチュエータが駆動状態のままになる場合があります。必ず作業サポートを終了させてから終了処理してください。

# パラメータの選択

VDC コントロールモジュールを補用品に交換した場合に、この機能を使用してコントロールモジュールにパラメータの選択・登録を行います。

### 参考:

- この機能を実行した後は必ず「メモリクリア」を 実行してください。
- 補用品でないコントロールモジュールでは、この 機能は使用できません。
- アプライドモデルの確認は、車両に取り付けてある「モデル No プレート」を参照してください。 車両の取り付け場所はサービスマニュアルを参照してください。



1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。

	車両選択
車名	レガシィ
型式、年改	BM/BR C
選択	

SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択してAキーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「ABS/VDC システム」を 選択して A キーを押します。

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



SMJ-01317

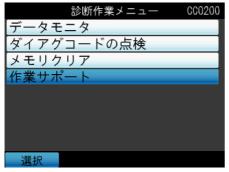
5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、A キーを押します。



SMJ-01322

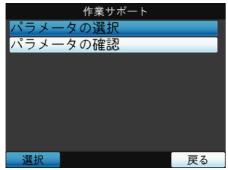
6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「作業サポート」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



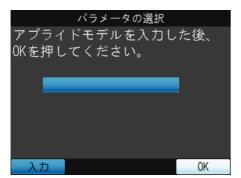
SMJ-01330

7. 作業サポートメニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「パラメータの選択」を選択します。左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」を選択して A キーを押します。 B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。



SMJ-01356

8. アプライドモデル確認画面が表示されます。 左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「入力」を選択して A キーを押します。



SMJ-01361

9. アプライドモデル入力画面が表示されます。 上キー、下キー、左キーまたは右キーで文字を選 択して A キーを押し、アプライドモデルを入力 します。

アプライドモデルを入力した後、画面右側のエンターボタンを選択して A キーを押します。

### 参考:

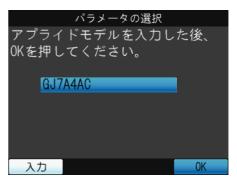
入力した状態で B キーを押すとカーソルの前の一文字を消去します。

下部にある三角のボタンを選択して A キーを押すと、カーソルを動かすことができます。



SMJ-01362

10.入力が完了した後、アプライドモデル確認画面で、左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「OK」を選択して A キーを押します。



SMJ-01363

11.パラメータ書き込み中画面が表示されますので、そのままお待ちください。

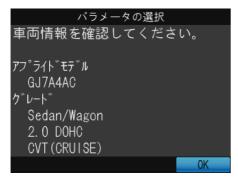


SMJ-01364

12.車両情報確認画面が表示されます。

表示されたアプライドモデルとグレードが正しいことを確認します。

A キーを押すと作業サポートメニュー画面に戻ります。



SMJ-01365

## パラメータの確認

VDC コントロールモジュールに登録してあるパラメータを確認することができます。

### 参考:

この機能は VDC コントロールモジュールが補用品でなくても使用することができます。

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。上キーまたは下キーで「ABS/VDC システム」を 選択して A キーを押します。

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。

システム選択
エンジン
トランスミッション
ABS/VDCシステム
パーキングブレーキ
タイヤ空気圧モニタ
統合ユニットモード
乗員検知システム
インパクトセンサ
選択

SMJ-01317

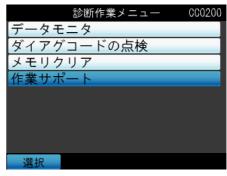
5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、Aキーを押します。



SMJ-01322

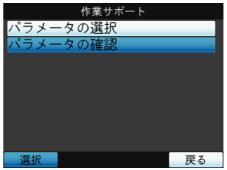
6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「作業サポート」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



SMJ-01330

7. 作業サポートメニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「パラメータの確認」を選択します。左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」を選択して A キーを押します。 B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。

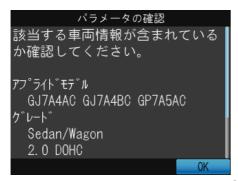


SMJ-01357

8. パラメータ確認画面が表示されます。

表示されたアプライドモデルとグレードが正しいことを確認します。

A キーを押すと作業サポートメニュー画面に戻ります。



SMJ-01366

# インパクトセンサ

この機能により、セキュリティシステムのインパクトセンサの感度調整を行うことができます。 この作業を行うときは、必ずサービスマニュアルを 参照してください。

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

#### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。

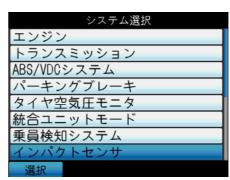


SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「インパクトセンサ」を選択してAキーを押します。

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



SMJ-01319

5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、Aキーを押します。



SMJ-01323

6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「作業サポート」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



SMJ-01331

- 7. 作業サポートメニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「感度調整モード」を選択 します。左キーまたは右キーでボタン表示エリア の「選択」を選択して A キーを押します。
  - B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。



SMJ-01360

8. 感度調整モード確認画面が表示されます。 左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「はい」を選択して A キーを押します。 感度調整モードを実行しない場合は、「いいえ」 を選択して A キーを押すと、作業サポートメ ニュー画面に戻ります。



SMJ-01367

9. 感度調整画面が表示されます。

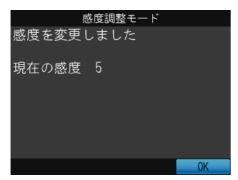
左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「敏感」または「鈍感」を選択してAキーを押します。感度を調整した後、左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「OK」を選択してAキーを押します。

感度調整を中止する場合は、「キャンセル」を選択して A キーを押すと、作業サポートメニュー 画面に戻ります。



10.感度調整完了画面が表示されます。

A キーを押すと作業サポートメニュー画面に戻ります。



SMJ-01369

### ID 登録

この機能は、タイヤ空気圧モニタのコントロールモジュールに送信機 ID を登録するときに使用します。

ID 登録は、以下のいずれかの修理を行った後に必要となります。

- 送信機の交換
- ・タイヤローテーション(送信機の位置を変えた場合)
- タイヤ空気圧モニタのコントロールモジュール の交換

この作業を行うときは、必ずサービスマニュアルを参照してください。

全てのタイヤの空気圧を基準値に調節します。

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。 B キーを押すと選択した車両情報がクリアされ ます。車両が未選択状態で B キーを押すとメイ ンメニュー画面に戻ります。

#### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「システム点検」を選択してAキーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「タイヤ空気圧モニタ」を 選択してAキーを押します。

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



SMJ-01318

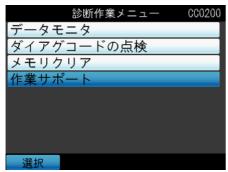
5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、Aキーを押します。



SMJ-01324

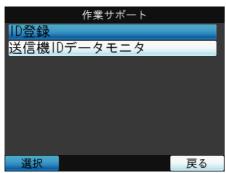
6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「作業サポート」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



SMJ-01330

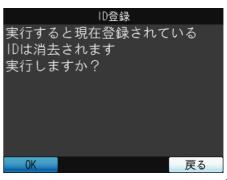
- 7. 作業サポートメニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「ID 登録」を選択します。 左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選 択」を選択して A キーを押します。
  - B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。



SMJ-011358

8. ID 登録確認画面が表示されます。 左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「OK」 を選択して A キーを押します。

ID 登録を実行しない場合は、「戻る」を選択してAキーを押すと、作業サポートメニュー画面に戻ります。



SMJ-01370

9. ID 登録画面が表示されます。

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「OK」 を選択してAキーを押します。

ID 登録を実行しない場合は、「戻る」を選択して A キーを押すと、ID 登録確認画面に戻ります。



SMJ-01371

10.ID 登録状況確認画面が表示されます。

各タイヤの ID 登録が完了すると、「未完」から 「完」に表示が変わります。



SMJ-01372

11.ID 登録完了画面が表示されます。

A キーを押すと作業サポートメニュー画面に戻ります。



SMJ-01373

## 送信機 ID データモニタ

この機能により、登録済みの送信機 ID を確認することができます。

また、ID のデータを送信機からタイヤ空気圧モニタのコントロールモジュールに送ります。

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。



SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「タイヤ空気圧モニタ」を 選択してAキーを押します。

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



SMJ-01318

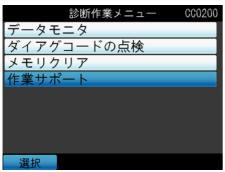
5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、A キーを押します。



SMJ-01324

6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「作業サポート」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。



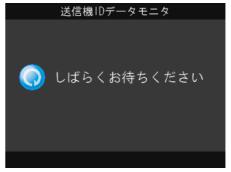
SMJ-01330

7. 作業サポートメニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「送信機 ID データモニタ」 を選択します。左キーまたは右キーでボタン表示 エリアの「選択」を選択して A キーを押します。 B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻りま す。



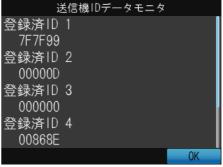
SMJ-01359

8. ID 読み出し中画面が表示されますので、そのままお待ちください。



SMJ-01374

9. ID データモニタ画面が表示されます。 A キーを押すと作業サポートメニュー画面に戻ります。



SMJ-01375

# ユニットカスタマイズ

ボディ統合ユニットが制御するアクチュエータの 作動内容、作動時間などの設定を行うことができま す。

### 注意:

ユニットカスタマイズ機能を使用するときは、必ず サービスマニュアルを参照して設定作業を行って ください。誤った設定をすると、システムの動作不 良などの故障の原因になります。 1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで「診断」を選択して A キーを押します。



SMJ-01308

2. 車両選択画面が表示されます。 車両確定後、A キーを押します。

B キーを押すと選択した車両情報がクリアされます。車両が未選択状態で B キーを押すとメインメニュー画面に戻ります。

### 参考:

左キーまたは右キーでボタン表示エリアの「選択」 を選択して A キーを押すと、車名選択画面が表示 されますので、目的の車名を選択してください。 車名選択以降は、車両が確定するまで型式等の車両 情報の選択を繰り返します。

車両選択			
車名	レガシィ		
型式、年改	BM/BR C		
選択			

SMJ-01310

3. 点検メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「システム点検」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すと車両選択画面に戻ります。



SMJ-01312

4. システム選択画面が表示されます。

上キーまたは下キーで「統合ユニットモード」を 選択してAキーを押します。

Bキーを押すと点検メニュー画面に戻ります。



SMJ-01320

#### 参考:

- オートライト/オートワイパのユニットカスタマイズを実施する場合は、上記画面で「オートライト/オートワイパ」を選択し、作業を進めてください。
- ・レイン/ライトセンサーの取り外し、または交換した場合は、上記画面で「オートライト/オートワイパシステム」を選択し、初期設定を実施する必要があります。
- アイドリングストップのユニットカスタマイズ を実施する場合は、上記画面で「アイドリングス トップ」を選択し、作業を進めてください。
- コンビネーションメータのユニットカスタマイズを実施する場合は、上記画面で「コンビネーションメータ」を選択し、作業を進めてください。

5. 診断対象システムのシステム情報表示画面が表示されますので、A キーを押します。



SMJ-01325

6. 故障診断メニュー画面が表示されます。 上キーまたは下キーで「カスタマイズ」を選択して A キーを押します。

Bキーを押すとシステム選択画面に戻ります。

診断作業メニュー	210301
データモニタ	
ダイアグコードの点検	
メモリクリア	
カスタマイズ	
選択	

SMJ-01332

- 7. カスタマイズ項目選択画面が表示されます。 上キーまたは下キーで設定を行う項目を選択して A キーを押します。(ここでは仮に「オフディレイ時間」を選択します)
  - B キーを押すと故障診断メニュー画面に戻ります。



SMJ-01350

- 8. カスタマイズ設定選択画面が表示されます。 上キーまたは下キーで希望の設定を選択して A キーを押します。
  - B キーを押すとカスタマイズ項目選択画面に戻ります。

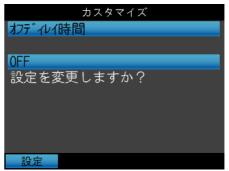
### 参考:

現在の設定値の左側には「※」が表示されます。



SMJ-01351

- 9. カスタマイズ設定確認画面が表示されます。
  - A キーを押すと表示されている設定に変更します。
  - B キーを押すとカスタマイズ項目選択画面に戻ります。



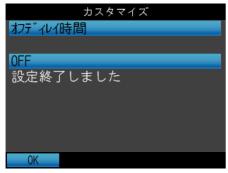
SMJ-01352

10.カスタマイズ設定完了画面が表示されます。

A キーを押すとカスタマイズ項目選択画面に戻ります。

### 参考:

設定を変更した項目の左側には「※」が表示されます。



SMJ-01353

# イモビライザーの登録

### 参考:

イモビライザの登録については、別冊子「イモビライザー登録マニュアル」または「イモビライザー登録マニュアル <BRZ 用 > 1 を参照してください。

# DST-i の本体設定

1. メインメニュー画面で、左キーまたは右キーで 「本体設定」を選択して A キーを押します。



SMJ-01309

2. 本体設定項目選択画面が表示されます。 上キーまたは下キーで設定を行う項目を選択し てAキーを押します。

Bキーを押すとメインメニュー画面に戻ります。



SMJ-01337

## 単位設定

DST-iの画面に表示する計測項目の単位を設定することができます。

1. 本体設定項目選択画面で、上キーまたは下キーで「単位設定」を選択して A キーを押します。



SMJ-01337

2. 単位設定項目選択画面が表示されます。 設定を行う項目を選択して A キーを押します。 B キーを押すと本体設定項目選択画面に戻りま す。



3. 単位選択画面が表示されます。

上キーまたは下キーで希望の単位を選択します。 A キーを押すと設定を変更して単位設定項目選 択画面に戻ります。

B キーを押すと設定を変更せずに単位設定項目 選択画面に戻ります。



SMJ-01355

# 明るさ設定

ディスプレイの表示が見やすくなるように、LCD の明るさを調整できます。

1. 本体設定項目選択画面で、上キーまたは下キーで「明るさ」を選択して A キーを押します。



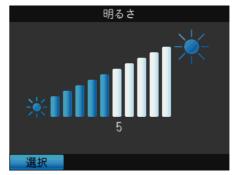
SMJ-01338

2. 明るさ設定画面が表示されます。

左キーまたは右キーで明るさを調整します。

A キーを押すと設定を変更して本体設定項目選択画面に戻ります。

B キーを押すと設定を変更せずに本体設定項目 選択画面に戻ります。



SMJ-01342

## ブザー設定

DST-i のキー操作音ブザーの ON / OFF を設定することができます。

I. 本体設定項目選択画面で、上キーまたは下キーで「ブザー」を選択して A キーを押します。



SMJ-01339

2. ブザー設定画面が表示されます。

左キーまたは右キーで ON または OFF を選択します。

A キーを押すと設定を変更して本体設定項目選択画面に戻ります。

B キーを押すと設定を変更せずに本体設定項目 選択画面に戻ります。



SMJ-01343

## 言語設定

DST-iの画面に表示する言語を設定することができます。

1. 本体設定項目選択画面で、上キーまたは下キーで「言語」を選択して A キーを押します。



SMJ-01340

2. 言語設定画面が表示されます。

上キーまたは下キーで目的の言語を選択します。 A キーを押すと設定を変更して本体設定項目選 択画面に戻ります。

B キーを押すと設定を変更せずに本体設定項目 選択画面に戻ります。



SMJ-01344

### 地域設定

診断する車両の販売地域を設定することができます。

#### 参考:

地域によって、診断可能な車両やシステムが異なり ます。

1. 本体設定項目選択画面で、上キーまたは下キーで「地域」を選択して A キーを押します。



SMJ-01341

2. 地域設定画面が表示されます。

上キーまたは下キーで目的の地域を選択します。 A キーを押すと設定を変更して本体設定項目選 択画面に戻ります。

B キーを押すと設定を変更せずに本体設定項目 選択画面に戻ります。



SMJ-01345

## SDI システムメニュー

SDI の LCD ディスプレイ、LED、キーパッド、ブザーの動作診断および、SDI 内のメモリー自己診断を行います。また、SDI 内蔵時計、セルフシャットオフ時間、ディスプレイの明るさやコントラスト、キー操作音ブザーの設定もこのメニューで行うことができます。

この機能は、使用するインターフェースボックスが SDIである場合のみ、実施が可能です。

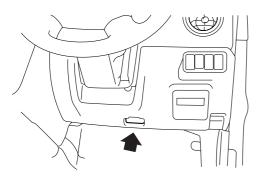
#### 参考:

この機能は、使用するインターフェースボックスが SDIである場合のみ、実施が可能です。

## 準備

# (SDI をシステムモードで起動する)

I. SDI のダイアグ通信コネクタにダイアグケーブルの本体側コネクタを接続します。



SMJ-00115

2. SDI の [MENU] キーを押しながら、ダイアグケーブルの車両側コネクタを、車両データリンクコネクタに差し込み、SDI の PWR LED が点灯することを確認します。

#### 参考:

ダイアグケーブルを車両に接続すると、自動的に SDI の電源が ON になります。もし、SDI の PWR LED が点灯しないときは、イグニッションスイッチ をONまたはエンジンを始動して、SDIの[MENU] キーを押しながら [PWR] キーを押し、PWR LED が点灯することを確認します。

3. ディスプレイにソフトウェアのバージョンが表示された後、システム MENU 画面が表示されます。

[UP] キーまたは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キーを押します。

システムモードを終了するには、MENU 画面から「QUIT」を選択します。



SMJ-00469

#### 参考:

SDIのキー操作をしないで、一定時間が経過すると 自動的にSDIの電源がOFFになる場合があります。 (SDIの電源表示ランプが消灯)

このような場合は [MENU] キーを押しながら、 [PWR] キーを押して SDI を再起動してください。

## SELF CHECK (SDIの自己診断)

MENU 画面で「SELF CHECK」を選択すると、ディスプレイに SELF CHECK MENU 画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キーを押します。

システム MENU 画面に戻るには、[MENU] キーを押します。



SMJ-00377

#### 参考:

SDIの自己診断で異常が見つかった場合、すみやかに SDI を修理してください。

## LCD CHK (LCD 診断)

ディスプレイの LCD ドット不良、描画範囲、コントラスト、バックライト診断を行うことができます。

表示されている LCD CHK 画面から、[UP] キーまたは [DOWN] キーで項目を選択して [ENT] キーを押します。

SELF CHECK 画面に戻るには、[MENU] キーを押します。



SMJ-00378

1. LCD DOT CHK(LCD ドット診断)

ディスプレイの LCD ドット不良を確認します。 キーパッドのいずれかのキーを押してください。

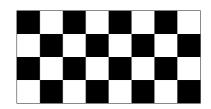
> (LCD DOT CHK) START:Any Key

> > SMJ-00379

ディスプレイの白と黒の部分が交互に点滅を繰り返しますので、LCD ドットの点滅状態を確認してください。

白い部分の一部に黒いドットが残る、または黒い部分の一部に白いドットが残る場合は LCD ドットの不良です。

LCD ドット診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00380

2. LCD AREA CHK(LCD 描画範囲診断)

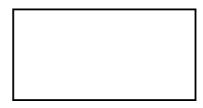
ディスプレイの LCD 描画範囲確認します。キーパッドのいずれかのキーを押してください。



SMJ-00381

ディスプレイの4辺に黒の縁取りが表示されることを確認します。

LCD 描画範囲診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00382

3. LCD CONT CHK (LCD コントラスト診断)

ディスプレイの LCD コントラスト調整ができる か確認します。

[UP] キーを押すと LCD のコントラストが強くなり、[DOWN] キーを押すと LCD のコントラストは弱くなります。

LCD コントラスト診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

#### 参考:

LCD バックライトを消灯させた状態で、LCD のコントラストを確認することができます。LCD バックライトを消灯させるにはキーパッドの [TRG] キーを押します。LCD バックライトを点灯させるには、もう一度 [TRG] キーを押します。



4. LCD LIGHT CHK (LCD バックライト診断) LCDバックライトが点灯することを確認します。 LCD バックライト診断が終了したら、[ENT] キー を押してください。

KLCD LIGHT CHK>
LCD LIGHT ON?
EXIT:ENT

SMJ-00384

## MAIN LED CHK (メイン LED 診断)

SDI の状態に応じて SDI の SIG LED は、緑色または赤色で点灯または点滅します。この点検ではメイン LED の動作状態を確認します。

表示されている MAIN LED CHK 画面から、[UP] キーまたは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キーを押します。

SELF CHECK 画面に戻るには、[MENU] キーを押します。



SMJ-00385

I. LED GREEN CHK (メイン LED (緑) 診断)SIG LED が緑色の4回点滅、10秒点灯を繰り返すことを確認します。

メイン LED(緑)診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

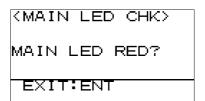
<MAIN LED CHK>
MAIN LED GREEN?
EXIT:ENT

SMJ-00386

2. LED RED CHK (メイン LED (赤) 診断)

SIG LED が赤色の 4 回点滅、10 秒点灯を繰り返すことを確認します。

メイン LED(赤)診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00387

## REMO LED CHK (リモコン LED 診断)

ドライビングレコーダー用リモートボックスに取り付けられているリモコン LED は、緑色または赤色で点灯または点滅します。この点検ではリモコン LED の動作状態を確認します。

表示されている REMO LED CHK 画面から、[UP] キーまたは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キーを押します。

SELF CHECK 画面に戻るには、[MENU] キーを押します。



SMJ-00388

1. LED GREEN CHK (リモコン LED (緑) 診断)

リモコン LED が緑色の 4 回点滅、10 秒点灯を繰り返すことを確認します。

リモコン LED (緑) 診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

REMO LED CHK>
REMO LED GREEN?
EXIT:ENT

#### 2. LED RED CHK (リモコン LED (赤) 診断)

リモコン LED が赤色の 4 回点滅、10 秒点灯を繰り返すことを確認します。

リモコン LED (赤) 診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

> > SMJ-00390

## KEY IN CHK(キー診断)

SDI キーパッドのキーの動作不良を確認します。UP  $\rightarrow$  DOWN  $\rightarrow$  RIGHT  $\rightarrow$  LEFT  $\rightarrow$  ENT  $\rightarrow$  TRG  $\rightarrow$  C  $\rightarrow$  MENU の順で表示されますので指示されたキーを順に押してください。

[MENU] キー以外のキーを押したときに、次のキーの操作指示画面に切り替わらなかった場合は、 [MENU] キーを押して終了してください。

CANCEL:MENU

SMJ-00391

## REMOTE SW CHK(リモコンスイッチ診断)

ドライビングレコーダー用リモートボックスに取り付けられている、トリガスイッチの動作を確認します。

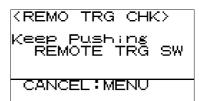
トリガスイッチの動作点検を行うときは、[ENT] キーを押します。



SMJ-00392

表示された画面の指示に従って、トリガスイッチを 操作してください。

画面に "CHECK OK!" が表示されれば動作点検は 終了です。[ENT] キーを押してください。 SELF CHECK 画面に戻るには、[MENU] キーを押します。



SMJ-00393

## BEEP CHK(ブザー診断)

SDI のブザー周波数および音量の診断を行います。 表示されている BEEP CHK 画面から、[UP] キーま たは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キー を押します。

SELF CHECK 画面に戻るには、[MENU] キーを押します。



SMJ-00394

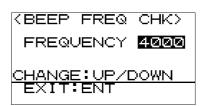
1. BEEP FREQ CHK (ブザー周波数診断)

ブザーの動作確認と、ブザーの周波数の調整確認ができます。

ブザーの設定周波数がディスプレイに表示されます。

[UP] キーを押すとブザーの周波数が高くなり、 [DOWN] キーを押すとブザーの周波数は低くなります。

ブザーの周波数診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。



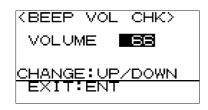
#### 2. BEEP VOL CHK (ブザーボリューム診断)

ブザーの動作確認と、ブザーの音量の調整確認ができます。

ブザーの設定音量がディスプレイに表示されます。

[UP] キーを押すとブザーの音量が大きくなり、 [DOWN] キーを押すとブザーの音量は小さくなります。

ブザーボリューム診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00396

## RAM CHK (RAM 診断)

SDI 内部の RAM の状態を SDI が自己診断を行い、 その結果を表示します。

自己診断が終了して、ディスプレイに "CHECK OK!"、または "CHECK NG" が表示されたら、[ENT] キーを押してください。

<RAM CHK>
CHECK OK!
EXIT:ENT

SMJ-00397

## ROM CHK (ROM 診断)

SDI 内部の ROM の状態を SDI が自己診断を行い、 その結果を表示します。

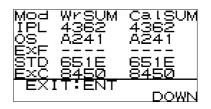
自己診断が終了したら、ディスプレイの表示を確認してください。

ディスプレイの"WrSUM"と"CalSUM"の下に表示されている 16 進コードが同じであれば、ROM は正常です。

ROM 診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。

#### 参考:

画面をスクロールするには、[UP] キーまたは [DOWN] キーを押してください。



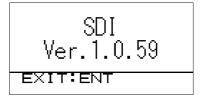
SMJ-00398

## VERSION CHK (バージョン診断)

SDI のソフトウェアのバージョン確認を行ないます。

通信中に表示されるバージョンとバージョン チェックで表示されるバージョンが同じかを確認 してください。

バージョン診断が終了したら、[ENT] キーを押してください。



SMJ-00399

## RTC TIMER CHK (時計 IC 診断)

SDI 内蔵時計の日付と時間の設定動作が正常にできるか、確認します。

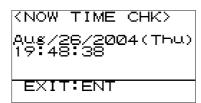
ディスプレイに下図の年、月、日、曜日、時、分、 秒が表示された後、カウントし、Jan / 01 / 2000 (Sat) 00:00:00 に切り替わることを確認します。

時計 IC 診断が終了したら、[ENT] キーを押します。

(RTC TIMER CHK)
Dec/31/1999(Fr;)
23:59:55
EXIT:ENT

## NOW TIME CHK (現在時刻診断)

SDI 内蔵時計の日付と時間を表示します。 SELF HCECK 画面に戻るには、[NENU] キーを押します。

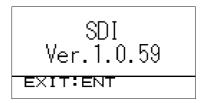


SMJ-00402

## VERSION CHK(SDI のソフトウェ アのバージョン表示)

MENU 画面で「VERSION CHK」を選択すると、ディスプレイに SDI のソフトウェアバーションが表示されます。

システム MENU 画面に戻るには、[ENT] キーを押します。



SMJ-00399

## FUNCTION SETUP (SDIの機能設定)

MENU 画面で「FUNCTION SETUP」を選択すると、ディスプレイに FUNCTION SETUP 画面が表示されます。[UP] キーまたは [DOWN] キーで、項目を選択して [ENT] キーを押します。

システム MENU 画面に戻るには、[MENU] キーを押します。



SMJ-00405

## DATE AND TIME (日時設定)

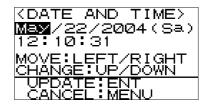
SDI 内蔵時計の日付と時間を設定することができます。

[RIGHT] キーまたは [LEFT] キーで設定を行う項目 に移動し、[UP] キーと [DOWN] キーで希望の値に 設定します。

設定が終了したら、[ENT] キーを押します。 設定を中止するときは、[MENU] キーを押します。

#### 参考:

曜日の項目は自動的に設定されます。



SMJ-00406

# SELFSHUT TIME(セルフシャットオフ時間設定)

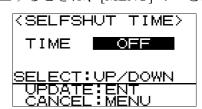
SDI のセルフシャットオフ時間を設定することができます。

ディスプレイの "TIME" 項目を確認しながら、[UP] キーと [DOWN] キーで希望の時間に設定します。

#### 参考:

OFF に設定すると、SDI のセルフシャットオフ機能は働かなくなります。この場合、車両のバッテリ上がりの危険がありますので、注意してください。

設定が終了したら、[ENT] キーを押します。 設定を中止するときは、[MENU] キーを押します。



## BACKLIGHT TIME (バックライト時間設定)

SDI のキー操作をしないで一定時間が経過すると、ディスプレイの LCD バックライトが自動的に消灯されます。この時間を設定することができます。ディスプレイの "TIME" 項目を確認しながら、[UP] キーと [DOWN] キーで希望の時間に設定します。

#### 参考:

- "OFF"に設定すると、LCD バックライトは常に 消灯します。
- "FOREVER"に設定すると、LCD バックライトは常に点灯します。

設定が終了したら、[ENT] キーを押します。 設定を中止するときは、[MENU] キーを押します。

KBACKLIGHT TIME)

TIME **EOREVER**SELECT: UP/DOWN

UPDATE: ENT
CANCEL: MENU

SMJ-00408

## LCD CONTRAST (LCD コントラスト設定)

ディスプレイの表示が見やすくなるように、LCD のコントラストを調整できます。

[UP]キーを押すとLCDのコントラストが強くなり、 [DOWN] キーを押すと LCD のコントラストは弱く なります。

調整が終了したら、[ENT] キーを押します。 設定を中止するときは、[MENU] キーを押します。

#### 参考:

LCD バックライトを消灯させた状態で、LCD のコントラストを確認することができます。LCD バックライトを消灯させるにはキーパッドの [TRG] キーを押します。LCD バックライトを点灯させるには、もう一度 [TRG] キーを押します。

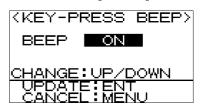
SMJ-00409

## KEY-PRESS BEEP (キー操作音設定)

SDIのキー操作音ブザーの ON/OFF を設定することができます。

ディスプレイの "BEEP" 項目を確認しながら、[UP] キーと [DOWN] キーでブザーの ON/OFF を設定します。

設定が終了したら、[ENT] キーを押します。 設定を中止するときは、[MENU] キーを押します。



# データ表示内容一覧表

## 参考:

画面に表示される項目およびデータの内容は、車種、仕様および改良により本一覧表と異なる場合があります。

# エンジン

No	項目	計測単位	内容	備考
1	エンジン負荷	%	現在のエンジン回転数での全開時の空気 量を100%としたときの、現在の空気量比 率。	
2	エンジン水温	°C °F	水温センサ出力値から算出した値。	
3	A/F 補正 1	%	A/F フィードバック制御のメイン補正値 (バンク 1)	
4	A/F 学習 1	%	A/F フィードバック制御のメイン学習値 (バンク 1)	
5	A/F 補正 2	%	A/F フィードバック制御のメイン補正値 (バンク 2)	
6	A/F 学習 2	%	A/F フィードバック制御のメイン学習値 (バンク 2)	
7	吸入管絶対圧力	kPa mmHg inHg psig	マニホールドプレッシャセンサの出力値 から算出した圧力値。(絶対値)	
8	エンジン回転数	rpm	クランクシャフトポジションセンサ信号 から算出。	
9	メータ車速	km/h MPH	車速センサ出力値から算出した値。	
10	点火時期	deg	エンジンコントロールユニットの点火時 期制御値。	
11	吸入空気温	°C °F	インテークエア温度センサ出力値から算 出した吸入空気温度。	
12	吸入空気量	g/s lb/m	エアフロセンサ出力値から算出した吸入 空気量。	
13	スロットル開度	%	スロットルポジションセンサ出力値から 算出したスロットル開度率。	
14	フロントO2センサ電圧 値 1	V	フロント O2 センサの出力値 (バンク 1)。 エンジンコントロールユニットへの入力 値。	
15	リア O2 センサ電圧値	V	リヤ O2 センサの出力値。エンジンコント ロールユニットへの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
16	フロントO2センサ電圧 値 2	V	フロント O2 センサの出力値 (バンク 2)。 エンジンコントロールユニットへの入力 値。	
17	バッテリ電圧	V	バッテリ電圧。エンジンコントロールユ ニットへの入力値。	
18	エアフロ電圧	V	エアフロセンサの出力値。エンジンコント ロールユニットへの入力値。	
19	スロットル電圧	V	スロットルポジションセンサの出力値。エ ンジンコントロールユニットへの入力値。	
20	差圧センサ電圧	V	プライマリ過給圧とセカンダリ過給圧の 差圧を検出する差圧センサの出力値。	ツインターボモデルのみ
21	燃料噴射1パルス幅	ms	エンジンコントロールユニットによる燃料噴射時間の制御値。(バンク1)	
22	燃料噴射2パルス幅	ms	エンジンコントロールユニットによる燃料噴射時間の制御値。(バンク2)	
23	ノック補正	deg	ノッキングが発生したときの遅角量。点火 学習値の部分学習値。	
24	大気圧	kPa mmHg inHg psig	大気圧センサ出力値から算出した大気圧。	
25	吸入管相対圧力	kPa mmHg inHg psig	吸入管絶対圧力から大気圧を引いた値。 [(吸入管絶対圧力) - (大気圧)]	
26	差圧センサ	kPa mmHg inHg psig	プライマリ過給圧とセカンダリ過給圧の 差圧を検出する差圧センサの出力値から 算出した差圧。差圧=(セカンダリ圧)- (プライマリ圧)	ツインターボモデルのみ
27	タンク内圧力	kPa mmHg inHg psig	燃料タンク内圧力。フューエルタンクプレッシャセンサの出力値から算出した圧力。	北米仕様のみ
28	CO 調整	V	有鉛ガソリンを使用している仕向地では、O2 センサを使用できない。そのため、オープンコントロールとなるので、イニシャル時の空燃比を極力中心制御させるために設けられた補正値。CO 値を確認しながら調整できる。	
29	点火学習値	deg	ノッキングが発生したときの進角または 遅角量。(点火時期の学習値)	
30	アクセル開度	%	アクセルポジションセンサの出力値から 算出したアクセルペダル開度率。	

No	項目	計測単位	内容	備考
31	燃料温度	°C °F	フューエル温度センサの出力値から算出した燃料温度。	北米仕様のみ
32	フロントO2ヒータ電流 値 1	A	フロント O2 センサヒータの電流値。エン ジンコントロールユニットの制御値。	
33	リア O2 ヒータ電流値	A	リヤ O2 センサヒータの電流値。エンジン コントロールユニットの制御値。	
34	フロントO2ヒータ電流 値 2	A	フロント O2 センサヒータの電流値。エン ジンコントロールユニットの制御値。	
35	燃料レベル	V	フューエルレベルセンサの出力値。エンジ ンコントロールユニット入力値。メインと サブの合算値。	
36	ラジファン出力	%	ラジエーターファン制御デューティ比。ラジエーターファンコントロールユニット を制御。エンジンコントロールユニットの 出力値。	H6 のみ
37	プライマリ過給圧制御	%	プライマリ過給圧制御信号。過給圧制御ソレノイドバルブの制御デューティ比。エンジンコントロールユニットの出力値。	ターボモデルのみ
38	セカンダリ過給圧制御	%	セカンダリ過給圧制御信号。過給圧制御ソレノイドバルブの制御デューティ比。エンジンコントロールユニットの出力値。	ターボモデルのみ
39	CPC デューティ	%	CPC バルブ制御デューティ比。エンジンコントロールユニットの出力値。	
40	TGV 開度センサ R	V	TGV ポジションセンサ RH の出力値。エン ジンコントロールユニットの入力値。	
41	TGV 開度センサ L	V	TGV ポジションセンサ LH の出力値。エン ジンコントロールユニットの入力値。	
42	ISC デューティ	%	ISC バルブ制御デューティ比。エンジンコントロールユニットの出力値。	
43	リーン化補正	%	空燃比を理論空燃比からわざとずらして 制御する場合がある(リーンバーン制御な ど)。このときの補正値。	
44	A/F ヒータデューティ	%	フロント O2 センサヒータ制御デューティ 比。エンジンコントロールユニットの出力 値。	
45	ISC ステップ数	STEP	ISC バルブのステップ数。ステッピング モータのステップ数。エンジンコントロー ルユニットの出力値。	
46	EGR ステップ数	STEP	EGR バルブのステップ数。ステッピング モータのステップ数。エンジンコントロー ルユニットの出力値。	
47	ALT デューティ	%	オルタネータ制御デューティ比。エンジン コントロールユニットの出力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
48	燃料ポンプデューティ	%	燃料ポンプ制御デューティ比。制御上の デューティ比は 0%,33%,66%,100%。エン ジンコントロールユニットの出力値。	
49	VVT 進角量 R	deg	吸気 VVT の進角量 (バンク 1)	
50	VVT 進角量 L	deg	吸気 VVT の進角量 (バンク 2)	
51	OCV デューティ R	%	OCV 制御デューティ比 (バンク 1)。エン ジンコントロールユニットの出力値。	
52	OCV デューティ L	%	OCV 制御デューティ比 (バンク 2)。エン ジンコントロールユニットの出力値。	
53	OCV 電流 R	mA	OCV の実電流値 (バンク 1)。エンジンの 入力値。	
54	OCV 電流 L	mA	OCV の実電流値 (バンク 2)。エンジンの 入力値。	
55	A/F センサ電流値 1	mA	フロント A/F センサの出力電流値 (バンク1)。エンジンコントロールユニットの入力値。	
56	A/F センサ電流値 2	mA	フロント A/F センサの出力電流値 (バンク2)。エンジンコントロールユニットの入力値。	
57	A/F センサ抵抗値 1	Ω	フロントA/Fセンサ出力値より算出された フロントA/Fセンサの抵抗値 (バンク 1)	
58	A/F センサ抵抗値 2	Ω	フロントA/Fセンサ出力値より算出された フロントA/Fセンサの抵抗値 (バンク 2)	
59	A/Fセンサ出力ラムダ1	_	フロントA/Fセンサ出力値から算出した実 ラムダ値 (バンク 1)	
60	A/Fセンサ出力ラムダ2	_	フロントA/Fセンサ出力値から算出した実 ラムダ値(バンク 2)	
61	A/F 補正 3	%	A/F フィードバック制御のサブ補正値。	
62	A/F 学習 3	%	A/F フィードバック制御のサブ学習値。	
63	リア O2 ヒータ電圧値	V	リヤ O2 センサヒーターの電圧値。エンジンコントロールユニットの出力値。	
64	A/F センサ抵抗電圧値	V	フロントA/Fセンサのばらつきを検出する ための値。エンジンコントロールユニット の入力値。	
65	ギア位置	st	現在のギヤ位置。トランスミッションコン トロールユニットからの入力値。	
66	A/F ヒータ電流値 1	A	フロント A/F センサヒータの電流値 (バンク 1)。エンジンコントロールユニットの入力値。	
67	A/F ヒータ電流値 2	A	フロント A/F センサヒータの電流値 (バンク2)。エンジンコントロールユニットの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
68	SI ドライブモード	I / S / S#	現在の「SIドライブ」の設定の表示。	
69	メインスロットルセン サ全閉電圧	V	メインスロットルポジションセンサの全 閉点の電圧値。全閉点学習。	
70	スロットルモータ デューティ	%	スロットルモーター制御デューティ比。エ ンジンコントロールユニットの出力値。	
71	スロットル電源電圧	V	スロットルモーターの電源電圧。エンジン コントロールユニットの入力値。	
72	サブスロットルセンサ 電圧	V	サブスロットルポジションセンサの電圧 値。エンジンコントロールユニットの入力 値。	
73	メインスロットルセン サ電圧	V	メインスロットルポジションセンサの電 圧値。エンジンコントロールユニットの入 力値。	
74	サブアクセルセンサ電 圧	V	サブアクセルポジションセンサの電圧値。 エンジンコントロールユニットの入力値。	
75	メインアクセルセンサ 電圧	V	メインアクセルポジションセンサの電圧 値。エンジンコントロールユニットの入力 値。	
76	燃圧	kPa	燃圧。エンジンコントロールユニットの制 御値。	
77	排気温度	°C °F	排気温度センサ出力値から算出した排気 温度。	
78	排気温度 2	°C °F	未使用	
79	2次エア配管圧力	kPa mmHg inHg psig	2 次エア配管内の圧力。エンジンコントロールユニットの入力値。	
80	2次エア流量	g/s lb/m	2次エア配管圧力から算出した2次エア流 量。	
81	メモリ車速	km/h MPH	クルーズコントロールシステムの目標車 速(セット車速)。	
82	A/F 補正 4	%	A/F フィードバック制御のサブ補正値 (バンク 2)。	
83	A/F 学習 4	%	A/F フィードバック制御のサブ学習値 (バンク 2)。	
84	燃料レベルセンサ抵抗 値	Ω	フューエルレベルセンサの抵抗値。エンジ ンコントロールユニットの入力値。	
85	推定積算走行距離	km	推定積算走行距離。	
86	燃料タンク残圧	MPa	エバポ診断に使用。燃料タンク内の圧力を 測定。	北米仕様のみ

No	項目	計測単位	内容	備考
87	エンジン油温	°C °F	VVL システムのエンジン油温。油温セン サ出力から算出した値。	
88	OSV デューティ R	%	OSV の制御デューティ比 (バンク 1)。エ ンジンコントロールユニットの出力値。	
89	OSV デューティ L	%	OSV の制御デューティ比 (バンク 2)。エ ンジンコントロールユニットの出力値。	
90	OSV 電流 R	mA	OSV の目標電流値 (バンク 1)。エンジン コントロールユニットの出力値。	
91	OSV 電流 L	mA	OSV の目標電流値 (バンク 2)。エンジン コントロールユニットの出力値。	
92	排気 VVT 遅角量 R	deg	排気 VVT の遅角量 (バンク 1)。	
93	排気 VVT 遅角量 L	deg	排気 VVT の遅角量 (バンク 2)。	
94	排気 OCV デューティ R	%	排気 OCV 制御デューティ比 (バンク 1)。 エンジンコントロールユニットの出力値。	
95	排気 OCV デューティL	%	排気 OCV 制御デューティ比 (バンク 2)。 エンジンコントロールユニットの出力値。	
96	排気 OCV 電流 R	mA	排気 OCV の電流値 (バンク 1)。エンジンコントロールユニットの出力値。	
97	排気 OCV 電流 L	mA	排気 OCV の電流値 (バンク 2)。エンジンコントロールユニットの出力値。	
98	VVLリフトモード	_	VVL 制御モードの表示。	
99	#1 気筒ラフネスモニタ		#1 気筒ラフネスモニタのカウント値。	
100	#2 気筒ラフネスモニタ	_	#2 気筒ラフネスモニタのカウント値。	
101	#3 気筒ラフネスモニタ	_	#3 気筒ラフネスモニタのカウント値。	
102	#4 気筒ラフネスモニタ	_	#4 気筒ラフネスモニタのカウント値。	
103	#5 気筒ラフネスモニタ	_	#5 気筒ラフネスモニタのカウント値。	
104	#6 気筒ラフネスモニタ	_	#6 気筒ラフネスモニタのカウント値。	
105	点火学習補正値	_	点火時期学習値の全体学習値のみの値。	
106	メイン噴射時期	°C A	エンジンコントロールユニットによるメ イン噴射時期の制御値。	ディーゼルモデルのみ
107	最終噴射量	mm3/st	多段噴射の噴射量総和。	ディーゼルモデルのみ
108	噴射回数	_	走行領域に応じた噴射回数。 (アフタ噴射、ポスト噴射は含まない)	ディーゼルモデルのみ
109	目標吸入管圧力	kPa	エンジンコントロールユニットの目標吸 入管圧力。	ディーゼルモデルのみ
110	目標吸入空気量	mg/cyl	エンジンコントロールユニットの目標吸 入空気量。	ディーゼルモデルのみ
111	吸入空気量	mg/cyl	エアフロセンサ出力値から算出した吸入 空気量。	ディーゼルモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
112	EGR バルブ目標開度	deg	エンジンコントロールユニットの目標 EGR バルブ開度。	ディーゼルモデルのみ
113	EGR バルブ開度	deg	EGR 開度センサ出力値から算出した EGR バルブ開度。	ディーゼルモデルのみ
114	EGR デューティ	%	EGR バルブ制御デューティ比。エンジンコントロールユニットの出力値。	ディーゼルモデルのみ
115	目標コモンレール圧力	MPa	エンジンコントロールユニットの目標コモンレール圧力。	ディーゼルモデルのみ
116	コモンレール圧力	MPa	コモンレール圧力センサ出力値から算出 したコモンレール内の圧力。エンジン停止 中は更新されない。	ディーゼルモデルのみ
117	エアフロ吸気温	°C °F	エアフロー & インテークエア温度センサ 出力値から算出した吸入空気温度。	ディーゼルモデルのみ
118	目標回転数	rpm	エンジンコントロールユニットの目標エンジン回転数。	ディーゼルモデルのみ
119	過給圧フィードバック	%	過給圧コントロールバルブのフィード バック補正開度率。	ディーゼルモデルのみ
120	電動パワステ電流値	A	電動パワーステアリングの電流値。パワーステアリングコントロールユニットからエンジンコントロールユニットへの入力値。	ディーゼルモデルのみ
121	燃料ポンプ目標電流	mA	サクションコントロールバルブの目標電 流値。 エンジンコントロールユニットの算 出値。	ディーゼルモデルのみ
122	燃料ポンプ実電流	mA	サクションコントロールバルブの実電流 値。エンジンコントロールユニットへの入 力値。	ディーゼルモデルのみ
123	インジェクタ学習後走 行距離	km mile	フューエルインジェクタ噴射量学習後の 走行距離。	ディーゼルモデルのみ
124	インジェクタ交換後走 行距離	km mile	フューエルインジェクタ交換し、SSM III で噴射量学習をさせた後からの走行距離。	ディーゼルモデルのみ
125	室内暖房ヒータ	段	PTC ヒータの段数。 0=全て OFF、1=1 個 ON、2=2 個 ON。	ディーゼルモデルのみ
126	#1 気筒噴射補正値	ms	#1 気筒噴射量補正値。 参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当す る気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転 変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
127	#2 気筒噴射補正値	ms	#2 気筒噴射量補正値。 参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転 変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
128	#3 気筒噴射補正値	ms	#3 気筒噴射量補正値。 参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転 変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
129	#4 気筒噴射補正値	ms	#4 気筒噴射量補正値。 参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転 変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
130	バッテリ電流値	A	バッテリ電流/温度センサーから出力される電流値。エンジンコントロールユニットへの入力値。 参考: 数値が(一)の時、バッテリは放電状態。 数値が(+)の時、バッテリは充電状態。	
131	バッテリ温度	°C °F	バッテリ電流/温度センサー出力値から算 出したバッテリ温度。	
132	オルタ制御モード	High Mid Low	オルタネータ発電制御状態。エンジンコントロールユニットの出力値。	
133	AT/MT 識別端子	AT 車/ MT 車	トランスミッションタイプ(AT または MT)識別のための信号。AT の時に「AT 車」になる。	
134	テストモード端子	D チェック / U チェッ ク	デリバリモードヒューズ (テストモード端子) の接続状態の表示。接続状態で「Dチェック」になる。	
135	リードメモリ端子	コード出力 中/未接続	リードメモリコネクタの接続状態の表示。 接続状態で「コード出力中」になる。	
136	D チェック要求フラグ	ON / OFF	ソレノイドの強制駆動、エンジン回転数やA/Fの強制調整機能の作動を要求した場合にONになる。	
137	デリバリ (テスト) モー ド端子	ON / OFF	デリバリモードヒューズ (テストモード端子) の接続状態の表示。接続状態で ON になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	
138	クリアメモリ端子	接続/未接続	クリアメモリコネクタの接続状態の表示。 接続状態で「接続」になる。エンジンコン トロールユニットの入力値。	
139	ニュートラル SW		ニュートラル SW 信号。MT はニュートラルの時に、AT は P レンジと N レンジのときに「ニュートラル」になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	
140	ソフトアイドル SW		アイドリング信号。アイドリング時に「アイドル」になる。	

No	項目	計測単位	内容	備考
141	インタークーラオート ウオッシャ SW	ON 入力/ OFF 入力	インタークーラーウォータースプレー オート SW 信号。オート SW が ON の時に ON 入力になる。エンジンコントロールユ ニットの入力値。	
142	イグニッション SW	ON 入力/ OFF 入力	イグニッション SW 信号。イグニッション SW が ON の時に ON 入力になる。	
143	パワーステアリング SW 入力信号	ON 入力/ OFF 入力	パワーステアリング SW 信号。ステアリン グ操作時に ON 入力になる。エンジンコン トロールユニットの入力値。	
144	エアコン SW	ON 入力/ OFF 入力	エアコン SW 信号。ヒーターコントロール のエアコン SW が ON の時に ON 入力にな る。エンジンコントロールユニットの入力 値。	
145	ハンドル SW	Low 入力/ Hi 入力	ステアリングホイール SW 信号。ETC の場合、アクセルペダルストロークが左右で異なるため、ステアリングホイールが左右どちらにあるかをエンジンコントロールユニットに認識させるために設けられている。RH の場合に「Low 入力」。	
			参考: 09MY 以降の車両については、表示されるステアリングホイール取付け位置と実際のステアリングホイール取付け位置が一致しない場合があります。	
146	スタータ SW	ON 入力/ OFF 入力	スターターSW 信号。スターターが ON の時に ON 入力になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	
147	フロント 02 モニタ 1	リッチ/リーン	フロント O2 センサ出力のモニター (バンク1)。リッチの時に「リッチ」になる。	
148	リア O2 モニタ	リッチ/リーン	リヤ O2 センサ出力のモニター。リッチの 時に「リッチ」になる。	
149	フロント O2 モニタ 2	リッチ/リーン	フロント O2 センサ出力のモニター (バンク2)。リッチの時に「リッチ」になる。	
150	ノック信号	有り/無し	ノックセンサ出力信号からノッキング発生の有無を判定する。ノッキング発生時に 「有り」になる。	
151	ノック信号 2	有り/無し	ノックセンサ出力信号からノッキング発生の有無を判定する。ノッキング発生時に「有り」になる。(バンク2)	
152	電気負荷信号	有り/無し	電気負荷信号。電気負荷があった場合に 「有り」になる。エンジンコントロールユ ニットの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
153	クランク角信号	有り/無し	クランクシャフトポジションセンサ出力 信号。エンジンが掛かっている時は「有 り」になる。エンジンコントロールユニッ トの入力信号。	
154	カム角信号	有り/無し	カムシャフトポジションセンサ出力信号。 エンジンが掛かっている時は「有り」になる。エンジンコントロールユニットの入力 信号。	
155	リアデフォッガー SW	ON 入力/ OFF 入力	リヤデフォッガー SW の入力信号。SW がON の時に「ON 入力」になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	
156	ブロアファン SW	ON 入力/ OFF 入力	ブロアファン SW の入力信号。SW が ON の時に「ON 入力」になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	
157	ライト SW	ON 入力/ OFF 入力	ライト SW の入力信号。SW が ON の時に「ON 入力」になる。エンジンコントロール ユニットの入力値。	
158	ワイパ SW	ON 入力/ OFF 入力	ワイパSWの入力信号。SWがONの時に「ON入力」になる。エンジンコントロール ユニットの入力値。	
159	エアコンロック信号	ON 入力/ OFF 入力	A/C コンプレッサのロック故障信号。コンプレッサがロック故障すると「ON 入力」になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	
160	エアコン中圧 SW	ON 入力/ OFF 入力	エアコン中圧 SW 信号。SW が ON の時に「ON 入力」になる。エンジンコントロール ユニットの入力値。	
161	エアコンコンプレッサ リレー出力	ON 出力/ OFF 出力	A/C コンプレッサ駆動信号。駆動信号が出力時に「ON 出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
162	ラジファンリレー3	ON 出力/ OFF 出力	未使用	
163	ラジファンリレー1	ON 出力/ OFF 出力	ラジエーターファンリレー駆動信号。駆動信号出力時に ON 出力になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
164	ラジファンリレー2	ON 出力/ OFF 出力	ラジエーターファンリレー駆動信号。駆動信号出力時に ON 出力になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
165	燃料ポンプリレー	ON 出力/ OFF 出力	フューエルポンプリレー駆動信号。駆動信号出力時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
166	インタークーラオート ウオッシャリレー	ON 出力/ OFF 出力	インタークーラーウォータースプレーリレーの駆動信号。駆動信号出力時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
167	CPC ソレノイド	ON 出力/ OFF 出力	パージコントロールソレノイドバルブの 駆動信号。駆動信号出力時に「ON 出力」 になる。エンジンコントロールユニットの 出力値。	
168	ブローバイリーク診断 コネクタ	接続/未接続	ブローバイホースの外れを検出する。	北米ターボ仕様のみ
169	PCV ソレノイド	ON 出力/ OFF 出力	プレッシャーコントロールソレノイドバルブの駆動信号。駆動信号が出力時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	北米仕様のみ
170	TGV 出力	有り/無し	TGV モーターへの駆動信号。TGV 作動時 (デューティ出力が 0% 以外の時) に「有り」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
171	TGV 駆動	開方向/閉方向	TGV の駆動状態の表示。TGV が開状態の時に「開方向」になる。エンジンコントロールユニットの制御状態。	
172	可変吸気ソレノイド	ON 出力/ OFF 出力	可変吸気ソレノイドへの駆動信号。駆動信号出力時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
173	大気圧切替ソレノイド	ON 出力/ OFF 出力	絶対圧センサで大気圧を検出する際に使用するソレノイド。ONで絶対圧センサは大気圧を検出。	
174	大気開放ソレノイド	ON 出力/ OFF 出力	ドレーンバルブへの駆動信号。バルブ駆動時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	北米仕様のみ。バルブが OFF の時は大気開放。
175	パワステソレノイド	ON 出力/ OFF 出力	パワステ ON 時に空気量 UP させる時に 使用するソレノイドへの駆動信号。ON で 空気量 UP する。	
176	アシストエアソレノイ ド	ON 出力/ OFF 出力	エアアシストインジェクターソレノイドバルブへの駆動信号。バルブ駆動時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	北米仕様のみ。
177	タンク内圧切替ソレノ イド	ON 出力/ OFF 出力	タンク内圧切替ソレノイドバルブへの駆動信号。ソレノイドバルブ駆動時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
178	リリーフバルブソレノ イド1	ON 出力/ OFF 出力	シーケンシャルターボ制御用リリーフバルブソレノイドバルブ 1 への駆動信号。ソレノイドバルブ駆動時に「ON 出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	ツインターボモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
179	リリーフバルブソレノ イド2	ON 出力/ OFF 出力	シーケンシャルターボ制御用リリーフバルブソレノイドバルブ 2 への駆動信号。ソレノイドバルブ駆動時に「ON 出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	ツインターボモデルのみ
180	TCS リリーフバルブソ レノイド	ON 出力/ OFF 出力	VDC 作動時過給圧リリーフ用ソレノイド バルブへの駆動信号。ソレノイドバルブ駆 動時に「ON 出力」になる。エンジンコン トロールユニットの出力値。	
181	排気バルブ正圧ソレノ イド	ON 出力/ OFF 出力	シーケンシャルターボ制御用排気バルブ 正圧ソレノイドバルブへの駆動信号。ソレ ノイドバルブ駆動時に「ON 出力」になる。 エンジンコントロールユニットの出力値。	ツインターボモデルのみ
182	排気バルブ負圧ソレノ イド	ON 出力/ OFF 出力	シーケンシャルターボ制御用排気バルブ 負圧ソレノイドバルブへの駆動信号。ソレ ノイドバルブ駆動時に「ON出力」になる。 エンジンコントロールユニットの出力値。	ツインターボモデルのみ
183	吸気バルブソレノイド	ON 出力/ OFF 出力	シーケンシャルターボ制御用吸気ソレノイドバルブへの駆動信号。ソレノイドバルブ駆動時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	ツインターボモデルのみ
184	マフラー制御	ON 出力/ OFF 出力	可変マフラー制御用信号。マフラー開モード時に「ON出力」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
185	排気バイパスバルブ	ON / OFF	未使用	
186	エンジン油圧 SW1	ON / OFF	診断用 VVL オイルプレッシャ SW RH への 駆動信号。プレッシャ SW が ON の時に ON になる。エンジンコントロールユニッ トの出力値。	
187	エンジン油圧 SW2	ON / OFF	診断用 VVL オイルプレッシャ SW LH への 駆動信号。プレッシャ SW が ON の時に ON になる。エンジンコントロールユニッ トの出力値。	
188	CPC ソレノイド 2	ON / OFF	パージコントロールソレノイドバルブ2の 駆動信号。駆動信号が出力時に「ON 出力」 になる。エンジンコントロールユニットの 出力値。	
189	AT 協調遅角要求	有り/無し	トランスミッションコントロールユニットから送信される遅角を要求する信号。要求信号が送信された時に「有り」になる。 エンジンコントロールユニットの入力値。	
190	AT協調燃料カット要求	有り/無し	トランスミッションコントロールユニットから送信される燃料カットを要求する信号。要求信号が送信された時に「有り」になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
191	VDC トルクダウン禁止 出力	禁止/許可	VDC コントロールユニットに対してトルクダウン禁止を通知する信号。禁止信号出力時に「禁止」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
192	VDC トルクダウン要求	有り/無し	VDC コントロールユニットから送信されるトルクダウンを要求する信号。要求信号が送信された時に「有り」になる。エンジンコントロールユニットの入力値。	
193	AT 協調要求信号 1	有り/無し	AT 協調要求信号 #1,2 の組み合わせにより、点火時期リタードと燃料カット制御を行いトルクダウンを実施する。	
194	AT協調要求信号2	有り/無し	#1 と同じ	
195	AT 協調許可信号	許可/禁止	トランスミッションコントロールユニットに対してトルクダウン許可を通知する信号。許可信号出力時に「許可」になる。 エンジンコントロールユニットの出力値。	
196	EAM 信号	Low / High	トランスミッションコントロールユニットに対してトルクダウン許可を通知する信号。禁止信号出力時に「Low」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
197	AT協調ロックアップ信 号	有り/無し	AT のロックアップ状態の表示。ロックアップ状態で「有り」になる。	
198	AT協調リーンバーン信 号	有り/無し	リーンバーン車にてリーンバーン実施時に「有り」になる。エンジンコントロール ユニットの出力値。	
199	AT協調リッチスパイク 信号	有り/無し	リーンバーン車にてリッチスパイク出力 時「有り」になる。エンジンコントロール ユニットの出力値。	
200	AET 信号	Low / High	トランスミッションコントロールユニットからのトルクダウン要求信号。要求信号 入力時に「Low」になる。	
201	キックダウン SW	ON / OFF	キックダウンスイッチからの入力値。現在 このデータは使用していない。	
202	エコSW	ON / OFF	エコ SW からの入力値。エコ SW を ON に すると ON になる。(但し、CAN の入力)	日本仕様のみ
203	アイドル SW	ON / OFF	アイドリング信号。アイドリング時に ON になる。	
204	ETC モータリレー	ON / OFF	ETC モータリレーへの駆動信号。駆動信号が出力時に ON になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
205	インジェクタドライバ リレー	ON / OFF	インジェクタドライバリレーへの駆動信号。駆動信号が出力時に ON になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	CNG 車のみ

No	項目	計測単位	内容	備考
206	クラッチ SW	ON / OFF	クラッチ SW 信号。 クラッチペダル踏み込み時に ON になる。 エンジンコントロール ユニットの入力値。	
207	ストップランプ SW	ON / OFF	ストップランプ SW 信号。ストップランプ 点灯時に ON になる。エンジンコントロー ルユニットの入力値。	
208	SET/COAST SW	ON / OFF	クルーズコントロールシステムの SET/ COAST SW 信号。SW 操作時に ON にな る。エンジンコントロールユニットの入力 値。	
209	RESUME/ACCEL SW	ON / OFF	クルーズコントロールシステムの RESUME/ACCEL SW 信号。SW 操作時に ON になる。エンジンコントロールユニッ トの入力値。	
210	ブレーキ SW	ON / OFF	ブレーキ SW 信号。 ブレーキペダル踏み込み時に ON になる。 エンジンコントロールユニットの入力値。	クルーズコントロールシステム無しモデルで、データモニタに "ストップランプ SW"と"ブレーキ SW"の2項目両方が表示される車両の場合、信号は変化しません。
211	インヒビタ SW	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。P レンジ、N レンジの 時に ON になる。エンジンコントロールユ ニットの入力値。	
212	メイン SW	ON / OFF	クルーズコントロールシステムのメイン SW 信号。SW 操作時に ON になる。エン ジンコントロールユニットの入力値。	
213	統合ユニットデータ受 信	無し/有り	ボディ統合ユニットからの CAN データ受信状態。何らかのデータの受信の有無を表示。	
214	統合ユニットカウンタ 更新	無し/有り	ボディ統合ユニットからの CAN データの 更新状態。送られてくるカウンタが順次更 新されているかを表示。	
215	2 次エアコンビバルブ リレー2	ON / OFF	2 次エアコンビネーションバルブリレー 2 駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。 エンジンコントロールユニットの出力値。	
216	2次エアポンプリレー	ON / OFF	2次エアポンプリレー駆動信号。駆動信号 出力時に ON になる。エンジンコントロー ルユニットの出力値。	
217	2 次エアコンビバルブ リレー1	ON / OFF	2 次エアコンビネーションバルブリレー 1 駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。 エンジンコントロールユニットの出力値。	
218	車間設定切替 SW	ON / OFF	ADAクルコンで使用している車間設定SW の ON/OFF 状態を表示。	日本仕様のみ

No	項目	計測単位	内容	備考
219	クルコンキャンセル SW	ON / OFF	クルーズコントロールシステムのクルコ ンキャンセル SW 信号。SW 操作時に ON になる。エンジンコントロールユニットの 入力値。	
220	MIL 点灯フラグ	点灯/消灯	エンジン警告灯の点灯表示。	
221	燃圧切替ソレノイド	ON / OFF	燃圧切替ソレノイドへの駆動信号。ソレノイドバルブ駆動時に「ON」になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	
222	オイルレベル SW	HIGHレベル /LOW レベ ル	オイルレベルスイッチ信号。オイル量が減ると「LOW レベル」になる。 エンジンコントロールユニットへの入力値。	
223	TGV 開度 SW1	閉 / 開	TGV ポジションセンサ SW1 信号。TGV が 閉じている時に「閉」になる。 エンジンコ ントロールユニットへの入力値。	
224	TGV 開度 SW2	閉 / 開	TGV ポジションセンサ SW2 信号。TGV が 閉じている時に「閉」になる。エンジンコ ントロールユニットへの入力値。	
225	ELCM 切替弁	閉 / 開	ELCM 切替弁駆動信号。 切替弁を閉じる時に「閉」となる。 エンジンコントロールユニットからの出力信号。	
226	ELCM ポンプ	ON / OFF	ELCM ポンプ駆動信号。ELCM の減圧ポンプ駆動時に「ON」になる。 エンジンコントロールユニットからの出力信号。	
227	過給圧制御モード	フィード バック/ オープン	過給圧制御のモード。フィードバック制御 中にフィードバックになる。	ディーゼルモデルのみ
228	EGR 制御モード	フィード バック/ オープン	EGR 制御のモード。フィードバック制御中にフィードバックになる。	ディーゼルモデルのみ
229	グローリレー	ON / OFF	グローリレー駆動信号。グローリレーを駆動したとき ON になる。エンジンコントロールユニットの出力値。	ディーゼルモデルのみ
230	スワールコントロール バルブ	閉 / 開	スワールコントロールバルブへの駆動信 号。エンジンコントロールユニットの出力 値。	ディーゼルモデルのみ
231	サブ燃料ポンプリレー	ON / OFF	サブ燃料ポンプ駆動信号。サブ燃料ポンプ を駆動した時 ON になる。エンジンコント ロールユニットの出力値。	ディーゼルモデルのみ
232	コンプレッサ ON 要求	ON / OFF	A/Cコントロールユニットから送信される A/C コンプレッサー ON を要求する信号。 エンジンコントロールユニットへの入力 値。	ディーゼルモデルのみ
233	燃料ポンプ学習	未完了/完 了	燃料ポンプ学習の学習状態。	ディーゼルモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
234	インジェクタ学習	未完了/完了	フューエルインジェクタ噴射量学習の学 習状態。	ディーゼルモデルのみ
235	EGR 学習	未完了/完了	EGR 学習の学習状態	ディーゼルモデルのみ
236	燃料カット要求	要求あり/ 要求無し	エンジンコントロールユニットで算出し ている燃料カット要求。	ディーゼルモデルのみ
237	燃料ポンプモード	フィード バック/ オープン	燃料ポンプ制御のモード。フィードバック 制御中にフィードバックになる。	ディーゼルモデルのみ
238	スマート用クラッチ SW	ON / OFF	キーレスアクセス & プッシュスタート車のスタータ用クラッチ SW。クラッチペダルを踏み込むと ON になる。エンジンコントロールユニットへの入力値。	
239	DPF 再生	再生中/非再 生中	DPF 内に堆積した煤を燃焼させ、(煤を) 低減させるモードの表示。煤を燃焼低減さ せるモードになると「再生中」になる。	ディーゼルモデルのみ
240	アッシュ堆積量	g	DPF に堆積したアッシュ (エンジンオイル の添加剤) の量。エンジンコントロールユ ニットの算出値。	ディーゼルモデルのみ
241	DPF 前後差圧	kPa	DPF 差圧センサー出力値から算出した差圧。	ディーゼルモデルのみ
242	触媒前排気温度	°C °F	排気温センサー1 出力値から算出した排気 温度。	ディーゼルモデルのみ
243	DPF 前排気温度	°C °F	排気温センサー2出力値から算出した排気 温度。	ディーゼルモデルのみ
244	触媒推定温度	°C °F	触媒内部温度の推定値。エンジンコント ロールユニットの算出値。	ディーゼルモデルのみ
245	DPF 推定温度	°C °F	DPF 内部温度の推定値。エンジンコントロールユニットの算出値。	ディーゼルモデルのみ
246	Soot 堆積率	%	DPF に堆積した煤の堆積率。 エンジンコントロールユニットの算出値。	ディーゼルモデルのみ
247	オイルダイリューショ ン率	%	エンジンオイルのダイリューション率。エ ンジンコントロールユニットの算出値。	ディーゼルモデルのみ
248	オバーレブ経験回数 (Ex High)	口	エンジンにダメージを与える回転数まで 至った回数。	ディーゼルモデルのみ
249	オバーレブ経験回数 (High)	口	繰り返すことでエンジンにダメージを与 える可能性のある回転数まで至った回数。	ディーゼルモデルのみ
250	実コモンレール圧(時間 同期)	MPa	コモンレール圧力センサ出力値から算出したコモンレール内の圧力。エンジン停止中(イグニッションスイッチ ON)の際も更新される。	ディーゼルモデルのみ
251	オイル交換までの目安 距離	km	次回エンジンオイル交換を実施するまで の目安走行距離。	ディーゼルモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
252	前回再生後走行距離	km	前回の DPF 再生を実施してから現在まで の走行距離。	ディーゼルモデルのみ
253	DPF 再生回数	□	新車時から現在までの DPF 再生の積算実 施回数。	ディーゼルモデルのみ
254	微小Q最終学習值 1_1	ms	学習時の燃圧が5段階中1番目の領域(一番低い)における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#1気筒)。参考:回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
255	微小Q最終学習值 1_2	ms	学習時の燃圧が5段階中1番目の領域(一番低い)における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#2気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
256	微小Q最終学習值 1_3	ms	学習時の燃圧が5段階中1番目の領域(一番低い)における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#3気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
257	微小Q最終学習値1_4	ms	学習時の燃圧が5段階中1番目の領域(一番低い)における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#4気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
258	微小Q最終学習値 2_1	ms	学習時の燃圧が5段階中2番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#1気筒)。参考:回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
259	微小Q最終学習値2_2	ms	学習時の燃圧が5段階中2番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#2気筒)。参考:回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
260	微小Q最終学習值2_3	ms	学習時の燃圧が5段階中2番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#3気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
261	微小 Q 最終学習値 2_4	ms	学習時の燃圧が5段階中2番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#4気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
262	微小Q最終学習值3_1	ms	学習時の燃圧が5段階中3番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#1気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
263	微小Q最終学習值3_2	ms	学習時の燃圧が5段階中3番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#2気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
264	微小Q最終学習值3_3	ms	学習時の燃圧が5段階中3番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#3気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
265	微小Q最終学習值3_4	ms	学習時の燃圧が5段階中3番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#4気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
266	微小Q最終学習值4_1	ms	学習時の燃圧が5段階中4番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#1気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
267	微小Q最終学習值4_2	ms	学習時の燃圧が5段階中4番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#2気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
268	微小Q最終学習值4_3	ms	学習時の燃圧が5段階中4番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#3気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
269	微小Q最終学習值4_4	ms	学習時の燃圧が5段階中4番目の領域における、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#4気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
270	微小Q最終学習値 5_1	ms	学習時の燃圧が5段階中5番目の領域(一番高い)での、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#1気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ

No	項目	計測単位	内容	備考
271	微小Q最終学習値 5_2	ms	学習時の燃圧が5段階中5番目の領域(一番高い)での、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#2 気筒)。 参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
272	微小Q最終学習值 5_3	ms	学習時の燃圧が5段階中5番目の領域(一番高い)での、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#3気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
273	微小Q最終学習值 5_4	ms	学習時の燃圧が5段階中5番目の領域(一番高い)での、燃焼音、および有毒排気ガス低減のための微小噴射量学習値(#4気筒)。参考: 回転変動が大きい気筒がある場合、該当する気筒への燃料噴射量を制御補正し、回転変動を少なくします。	ディーゼルモデルのみ
274	ポンプ機差学習記憶値	mA	燃料ポンプの駆動電流の学習値。	ディーゼルモデルのみ
275	最終メイン噴射期間	ms	メイン噴射時のインジェクタ駆動時間。	ディーゼルモデルのみ

# トランスミッション

No	項目	計測単位	内容	備考
1	エンジン回転数	rpm	エンジンコントロールユニットから送信されるエンジン回転数信号。 クランクシャフトポジションセンサ信号から算出。 トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
2	バッテリ電圧	V	バッテリ電圧。トランスミッションコント ロールユニットの入力値。	
3	エアフロ電圧	V	エンジンコントロールユニットから送信 されるエアフロセンサの出力値。トランス ミッションコントロールユニットの入力 値。	
4	スロットル電圧	V	スロットルポジションセンサの出力値。ト ランスミッションコントロールユニット の入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
5	アクセル開度	%	エンジンコントロールユニットから送信されるアクセルペダル開度率。アクセルペダルポジションセンサ出力から算出した値。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
6	前輪車速	km/h MPH	フロント車速センサ信号から算出した前 輪車速。	
7	ATF 油温	°C °F	ATF 温度センサ出力値から算出した値。オイルパン部の ATF 油温。	
8	ギア位置	st	現在のギヤ位置。 変速時は変速前のギヤ位置、非変速時は現 在ギヤ位置を表示する。	
9	ライン圧デューティ	%	ライン圧ソレノイド制御デューティ比。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
10	L/U デューティ	%	ロックアップデューティソレノイド制御 デューティ比。トランスミッションコント ロールユニットの出力値。	
11	4WD デューティ	%	トランスファデューティソレノイド制御 デューティ比。トランスミッションコント ロールユニットの出力値。	
12	スロットルセンサ電源	V	スロットルポジションセンサ電源電圧。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
13	タービン回転数	rpm	[4AT の場合] トルクコンバータタービン回転センサの 信号から算出したインプットシャフト回 転数。 [5AT の場合] トルクコンバータタービン回転センサ1と トルクコンバータタービン回転センサ2の 信号から計算されたインプットシャフト 回転数。	
14	2-4B 圧デューティ	%	2-4 ブレーキデューティソレノイド制御 デューティ比。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
15	後輪車速	km/h MPH	リヤ車速センサ信号から算出した後輪車 速。	
16	吸入管圧力電圧	V	エンジンコントロールユニットから送信 されるマニホールドプレッシャセンサの 出力値。トランスミッションコントロール ユニットの入力値。	
17	横Gセンサ	V	ラテラル G センサ、またはヨーレート & ラテラル G センサの出力値。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
18	L/C デューティ	%	ロークラッチデューティソレノイドの制 御デューティ比。トランスミッションコン トロールユニットの出力値。	
19	H/C デューティ	%	ハイクラッチデューティソレノイドの制 御デューティ比。トランスミッションコン トロールユニットの出力値。	
20	L&R/B デューティ	%	ロー & リバースデューティソレノイド制 御デューティー比。トランスミッションコ ントロールユニットの出力値	
21	ATF 油温 2	°C °F	ATF 温度センサ 2 出力から算出した値。トルクコンバータ出口の ATF 油温。	
22	センターデフスイッチ 電圧	V	DCCD SW の出力値。ダイアルの位置により出力値が変化する。DCCD コントロールユニットの入力値。	DCCD 搭載車のみ
23	タービン回転数1	rpm	トルクコンバータタービン回転センサ1信号から算出した値。フロントサンギヤの回転数を表示する。	
24	タービン回転数 2	rpm	トルクコンバータタービン回転センサ2信号から算出した値。フロントプラネタリキャリヤの回転数を表示する。	
25	センターデフ実電流	A	LSD トルク制御を行うトランスファコイルの実電流値。DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
26	センターデフ指示電流	A	DCCD コントロールユニットより算出される LSD トルク制御を行うトランスファコイルへの指示電流値。	DCCD 搭載車のみ
27	SI ドライブモード	I/S/S#	現在の「SIドライブ」の設定の表示。	
28	サブアクセルセンサ電 圧	V	エンジンコントロールユニットから送信 されるサブアクセルペダルポジションセ ンサの出力値。トランスミッションコント ロールユニットの入力値。	
29	H&LR/C ソレノイド電 流	A	ハイ & ローリバースクラッチソレノイド の実電流値。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
30	D/C ソレノイド電流	A	ダイレクトクラッチソレノイドの実電流 値。トランスミッションコントロールユ ニットの出力値。	
31	F/B ソレノイド電流	A	フロントブレーキソレノイドの実電流値。 トランスミッションコントロールユニッ トの出力値。	
32	I/C ソレノイド電流	A	インプットクラッチソレノイドの実電流 値。トランスミッションコントロールユ ニットの出力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
33	P/L ソレノイド電流	A	ライン圧ソレノイドの実電流値。トランス ミッションコントロールユニットの出力 値。	
34	L/U ソレノイド電流	A	ロックアップソレノイドの実電流値。トランスミッションコントロールユニットの 出力値。	
35	4WD ソレノイド電流	A	トランスファソレノイドの実電流値。トランスミッションコントロールユニットの 出力値。	
36	ヨーレートセンサ電圧	V	ョーレート & ラテラル G センサから出力 されるヨーレートセンサの電圧値。トラン スミッションコントロールユニットの入 力値。	
37	H&LR/C ソレノイド目 標圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるハイ & ローリバースクラッチ圧を制御するための目標油圧。この値から指示電流値を決定する。	
38	D/C ソレノイド目標圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるダイレクトクラッチ圧 を制御するための目標油圧。この値から指示電流値を決定する。	
39	F/B ソレノイド目標圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるフロントブレーキ圧を制御するための目標油圧。この値から指示電流値を決定する。	
40	I/C ソレノイド目標圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるインプットクラッチ圧 を制御するための目標油圧。この値から指示電流値を決定する。	
41	P/L ソレノイド目標圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるライン圧を制御するための目標油圧。この値から指示電流値を決定する。	
42	L/U ソレノイド目標圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるロックアップクラッチ 圧を制御するための目標油圧。この値から 指示電流値を決定する。	
43	4WD ソレノイド目標圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるトランスファクラッチ 圧を制御するための目標油圧。この値から 指示電流値を決定する。	
44	ヨーレート&横Gセン サリファレンス電圧	V	ヨーレート & ラテラル G センサから出力 されるヨーレートセンサの基準電圧値。 ヨーレートセンサはバッテリ電圧変動時 に、この値を用いて出力値を補正する。 DCCD コントロールユニットの入力値。	DCCD 搭載車のみ

No	項目	計測単位	内容	備考
45	FR 車輪速度	km/h MPH	VDC または ABS コントロールユニットから送信されるフロント ABS 車輪速度センサ RH 信号から算出した値。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
46	FL 車輪速度	km/h MPH	VDC または ABS コントロールユニットから送信されるフロント ABS 車輪速度センサ LH 信号から算出した値。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
47	RR 車輪速度	km/h MPH	VDC または ABS コントロールユニットから送信されるリヤ ABS 車輪速度センサ RH 信号から算出した値。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
48	RL 車輪速度	km/h MPH	VDC または ABS コントロールユニットから送信されるリヤ ABS 車輪速度センサ LH 信号から算出した値。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
49	舵角センサ	deg	ステアリングアングルセンサから送信さ れるステアリングホイールの操舵角。 DCCD コントロールユニットの入力値。	DCCD 搭載車のみ
50	Fwd/B ソレノイド電流	A	フォワードブレーキソレノイドの実電流 値。トランスミッションコントロールユ ニットの出力値。	
51	Fwd/B ソレノイド目標 圧	kPa	トランスミッションコントロールユニットより算出されるフォワードブレーキ圧を制御するための目標油圧。この値から指示電流値を決定する。	
52	AT 学習	完了/未完 了	AT 初期学習の学習状態。	
53	ヨーレート	deg/s	ョーレート & ラテラル G センサ出力から 算出される車体のヨーレート。 DCCD コン トロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
54	横G	m/s ²	ヨーレート & ラテラル G センサ出力から 算出される車体の横加速度。DCCD コント ロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
55	DCCD トルク配分	0-6	DCCD マニュアルモード時のイニシャルLSDトルク設定値を表示する。 オートモード選択時 =0、イニシャルLSDトルク「FREE」=1、イニシャルLSDトルク「極小」=2、イニシャルLSDトルク「小」=3、イニシャルLSDトルク「中」=4、イニシャルLSDトルク「大」=5、イニシャルLSDトルク「LOCK」=6	DCCD 搭載車のみ
56	DCCD モード	0-3	DCCD オートモード時のモード設定状況を表示する。 AUTO「+(プラス)」=3、AUTO=2、AUTO「-(マイナス)」=1、MANUAL=0	DCCD 搭載車のみ

No	項目	計測単位	内容	備考
57	セカンダリ回転数	rpm	セカンダリ回転センサの信号からトランスミッションコントロールユニットで算出したセカンダリプーリの回転数。	
58	実セカンダリ圧	MPa	セカンダリ油圧センサにより検出される セカンダリプーリのシリンダーにかかる 圧力値 (= ライン圧)。	
59	セカンダリ実電流	mA	セカンダリ圧ソレノイドの実電流値。トラ ンスミッションコントロールユニットの 出力値。	
60	実変速比		現在の変速比 (=プーリ比)。	
61	マニュアルモード変速 段	_	マニュアルモード時の変速段。トランス ミッションコントロールユニットの出力 値。	
62	プライマリ UP DUTY	%	プライマリ UP ソレノイドの制御デューティ比。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
63	プライマリ DOWN DUTY	%	プライマリ DOWN ソレノイドの制御 デューティ比。トランスミッションコント ロールユニットの出力値。	
64	F&R リニアソレノイド 指示電流	mA	トランスミッションコントロールユニットにより算出される F&R リニアソレノイドを制御するための指示電流値。	
65	F&R リニアソレノイド 実電流	mA	F&R リニアソレノイドの実電流値。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
66	プライマリ回転数	rpm	プライマリ回転センサの信号からトランスミッションコントロールユニットで算出したプライマリプーリの回転数。	
67	前輪回転数	rpm	前輪回転センサの信号からトランスミッションコントロールユニットで算出した 前後進クラッチ軸の回転数。	
68	後輪回転数	rpm	後輪回転センサの信号からトランスミッションコントロールユニットで算出したトランファ軸の回転数 (= プロペラシャフトの回転数)。	
69	電動オイルポンプ指示 DUTY	%	アイドルストップコントロールユニット から電動オイルポンプへの指示 Duty 値。	
70	L/U ON/OFF ソレノイド	ON / OFF	ロックアップ ON/OFF ソレノイド駆動信号。ロックアップ時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
71	ニュートラル SW		N レンジまたは P レンジで「ニュートラル」、それ以外のレンジで「ニュートラル外」と表示される。	

No	項目	計測単位	内容	備考
72	イグニッション SW	ON 入力/ OFF 入力	イグニッション SW 信号。 イグニッション SW が ON のときに ON になる。	
73	Tip モード SW	ON / OFF	マニュアルモード SW 信号。セレクトレバーをマニュアルゲートに倒したときにON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
74	クルコン信号	ON / OFF	クルーズコントロール作動信号。クルーズ コントロール走行時に ON になる。	
75	ABS 信号	ON / OFF	ABS 作動信号。ABS 作動時に ON になる。	
76	ダウン SW	ON / OFF	ダウン SW 信号。セレクトレバーをマニュアルゲートの「-(マイナス)」側に倒したときに ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
77	ストップランプ SW	ON / OFF	ストップランプ SW 信号。 ブレーキペダル 踏み込み時に ON になる。 トランスミッ ションコントロールユニットの入力値。	
78	アップ SW	ON / OFF	アップ SW 信号。セレクトレバーをマニュアルゲートの「+ (プラス)」側に倒したときに ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
79	キックダウン SW	ON / OFF	エンジンコントロールユニットから送信されるキックダウン判定信号。アクセル開度の変化によりキックダウン判定されたときに ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
80	FWD SW	ON / OFF	FWD SW 信号。FWD ヒューズホルダに ヒューズを差込んだときに ON になる。ト ランスミッションコントロールユニット の入力値。	
81	パワー SW	ON / OFF	パワーモード SW 信号。SW が ON のとき に ON になる。トランスミッションコント ロールユニットの入力値。	
82	ホールド SW	ON / OFF	スノーホールドモード SW 信号。SW が ON のとき ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
83	1レンジ	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。セレクトレバーが 1 レンジのとき ON になる。トランスミッ ションコントロールユニットの入力値。	
84	2 レンジ	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。セレクトレバーが 2 レンジのとき ON になる。トランスミッ ションコントロールユニットの入力値。	
85	3 レンジ	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。セレクトレバーが 3 レンジのとき ON になる。トランスミッ ションコントロールユニットの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
86	Dレンジ	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。セレクトレバーが D レンジのとき ON になる。トランスミッ ションコントロールユニットの入力値。	
87	R レンジ	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。 セレクトレバーが R レンジのとき ON になる。 トランスミッ ションコントロールユニットの入力値。	
88	N/P レンジ	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。 セレクトレバーが N レンジまたは P レンジのとき ON になる。 トランスミッションコントロールユニッ トの入力値。	
89	4 レンジ	ON / OFF	インヒビタ SW 信号。セレクトレバーが 4 レンジのとき ON になる。トランスミッ ションコントロールユニットの入力値。	
90	Tip ソレノイド	ON / OFF	スポーツシフトソレノイド駆動信号。マニュアルモード 1 速のときに ON になる。 ON 時にエンジンブレーキがかかる状態にする。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
91	トルク制御出力 1	ON / OFF	エンジンコントロールユニットに送信するトルクダウン要求信号。エンジンコントロールユニットは #1,2 の組み合わせにより点火時期リタードと燃料カット制御を行いトルクダウンを実施する。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
92	トルク制御出力2	ON / OFF	「トルク制御出力1」と同じ	
93	2-4B タイミングソレノ イド	ON / OFF	2-4 ブレーキタイミングソレノイド駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
94	L/C タイミングソレノ イド	ON / OFF	ロークラッチタイミングソレノイド駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
95	シフトソレノイド2	ON / OFF	シフトソレノイド 2 駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
96	シフトソレノイド1	ON / OFF	シフトソレノイド 1 駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
97	シフト出力 4	ON / OFF	スポーツシフトインジケータランプ表示 用信号。マニュアルモード時でシフトアッ プまたはシフトダウン可能時に ON にな る。トランスミッションコントロールユ ニットの出力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
98	シフト出力 3	ON / OFF	スポーツシフトインジケータランプ表示 用信号。マニュアルモード時でギヤ位置が 4速のときにONになる。トランスミッショ ンコントロールユニットの出力値。	
99	シフト出力 2	ON / OFF	スポーツシフトインジケータランプ表示 用信号。マニュアルモード時でギヤ位置が 2 速または 3 速のときに ON になる。トラ ンスミッションコントロールユニットの 出力値。	
100	シフト出力 1	ON / OFF	スポーツシフトインジケータランプ表示 用信号。マニュアルモード時でギヤ位置が 1 速または 3 速のときに ON になる。トラ ンスミッションコントロールユニットの 出力値。	
101	ダイアグノシスランプ	ON / OFF	AT 警告灯点灯信号。警告灯点灯時に ON になる。トランスミッションコントロール ユニットの出力値。	
102	リヤデフ油温 SW	ON / OFF	リヤデフ油温 SW 信号。温度が上昇し、接 点が OFF すると OFF になる。通常時は ON 状態。 DCCD コントロールユニットの入力 値。	DCCD 搭載車のみ
103	ATF 油温ランプ	ON / OFF	AT 油温警告灯点灯信号。警告灯点灯時に ON になる。	
104	シフトロックソレノイド	ON / OFF	トランスミッションコントロールユニットまたは BIU から出力されるシフトロックソレノイド駆動信号。シフトロック解除時に ON になる。	
105	エコ SW	ON / OFF	エコ SW 信号。エコ SW を ON にすると ON になる。トランスミッションコント ロールユニットの入力値。	
106	パワーモードランプ	ON / OFF	パワーモードインジケータランプ点灯信号。パワーモード SW が ON の時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
107	P レンジ	ON / OFF	セレクトレバーが P レンジのとき ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
108	トルクダウン禁止信号	ON / OFF	エンジンコントロールユニットから送信されるトルクダウン禁止を通知する信号。 禁止信号が受信されたときに ON になる。 トランスミッションコントロールユニットの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
109	P/N 信号	ON / OFF	エンジンコントロールユニットへのスタータモータ駆動許可信号。セレクトレバーが N レンジまたは P レンジのとき ONになる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
110	TCS SW	ON / OFF	TCS SW 信号。TCS SW が ON のときに ON になる。トランスミッションコントロール ユニットの出力値。	
111	ホールドランプ	ON / OFF	スノーホールドモードインジケータラン プ点灯信号。スノーホールドモード SW が ON のとき ON になる。トランスミッショ ンコントロールユニットの入力値。	
112	Nレンジ	ON / OFF	セレクトレバーが N レンジのとき ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
113	4WD 判定	ON / OFF	駆動タイプ識別のための信号。AWD 搭載 車のときに ON になる。トランスミッショ ンコントロールユニットの出力値。	
114	インヒビタ SW1	HIGH LOW	インヒビタ SW 信号。#1,2,3,4 の組み合わせに基づきトランスミッションコントロールユニットは現在のレンジ位置を判断する。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
115	インヒビタ SW2	HIGH LOW	「インヒビタ SW1」と同じ	
116	インヒビタ SW3	HIGH /	「インヒビタ SW1」と同じ	
117	インヒビタ SW4	HIGH / LOW	「インヒビタ SW1」と同じ	
118	インヒビタ SW3 モニタ	HIGH LOW	インヒビタ SW3 入力回路の断線診断用の信号。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
119	バックランプリレー	ON / OFF	バックランプリレー駆動信号。駆動信号出 力時に ON になる。トランスミッションコ ントロールユニットの出力値。	
120	ATイグニッション電源 リレー	ON / OFF	PV イグニッションリレー駆動信号。バッテリ端子逆接続時に ON になる。コントロールユニット保護のためのリレー。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
121	H&LR/C 油圧 SW	ON / OFF	ハイ & ローリバースクラッチ油圧 SW 信号。油圧により接点が ON のときに ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	

No	項目	計測単位	内容	備考
122	D/C 油圧 SW	ON / OFF	ダイレクトクラッチ油圧 SW 信号。油圧に より接点が ON のときに ON になる。トラ ンスミッションコントロールユニットの 入力値。	
123	Fr/B 油圧 SW	ON / OFF	フロントブレーキ油圧 SW 信号。油圧により接点が ON のときに ON になる。トランスミッションコントロールユニットの入力値。	
124	I/C 油圧 SW	ON / OFF	インプットクラッチ油圧 SW 信号。油圧に より接点が ON のときに ON になる。トラ ンスミッションコントロールユニットの 入力値。	
125	LC/B 油圧 SW	ON / OFF	ローコーストブレーキ油圧 SW 信号。油圧 により接点が ON のときに ON になる。ト ランスミッションコントロールユニット の入力値。	
126	ユニット識別信号	ON / OFF	DCCD コントロールユニットのユニット タイプ (オートモード有りまたは無し)識 別のための信号。オートモード有りのとき に ON になる。DCCD コントロールユニッ トの出力値。	DCCD 搭載車のみ
127	LC/B ソレノイド	ON / OFF	ローコーストブレーキソレノイド駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
128	LU&FWD/Bソレノイド	ON / OFF	ロックアップ & フォワードブレーキソレノイド駆動信号。駆動信号出力時に ON になる。トランスミッションコントロールユニットの出力値。	
129	センターデフランプ 1	ON / OFF	DCCD インジケータランプの点灯信号。イニシャル LSD トルク設定「LOCK」時にON になる。DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
130	センターデフランプ 2	ON / OFF	DCCD インジケータランプの点灯信号。イニシャル LSD トルク設定「大」時に ON になる。 DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
131	センターデフランプ3	ON / OFF	DCCD インジケータランプの点灯信号。イニシャル LSD トルク設定「中」時に ON になる。 DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
132	センターデフランプ 4	ON / OFF	DCCD インジケータランプの点灯信号。イニシャル LSD トルク設定「小」時に ONになる。 DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ

No	項目	計測単位	内容	備考
133	センターデフランプ 5	ON / OFF	DCCD インジケータランプの点灯信号。イニシャル LSD トルク設定「極小」時に ON になる。 DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
134	センターデフランプ 6	ON / OFF	DCCD インジケータランプの点灯信号。イニシャル LSD トルク設定「FREE」時に ON になる。 DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
135	パーキング SW	ON / OFF	パーキングブレーキ SW 信号。パーキング ブレーキ SW が ON のとき ON になる。 DCCD コントロールユニットの入力値。	DCCD 搭載車のみ
136	センターデフリレー	ON / OFF	DCCD リレー駆動信号。オートモード時、 またはマニュアルモード時のイニシャル LSD トルク「FREE」以外で ON になる。 DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
137	AUTO/MANUAL モード切替 SW	ON / OFF	DCCD マニュアルモード SW 信号。DCCD マニュアルモード SW が ON のとき ON になる。DCCD コントロールユニットの入力値。	DCCD 搭載車のみ
138	AUTO モードランプ	ON / OFF	AUTO インジケータランプの点灯信号。 DCCD がオートモードのときに ON になる。DCCD コントロールユニットの出力値。	DCCD 搭載車のみ
139	Fwd/B 油圧 SW	ON / OFF	フォワードブレーキ油圧 SW 信号。油圧に より接点が ON のときに ON になる。トラ ンスミッションコントロールユニットの 入力値。	
140	Lレンジ	ON / OFF	LレンジSW信号。セレクトレバーをLレンジのとき「ON」になる。 トランスミッションコントロールユニットへの入力値。	
141	アイドルストップ強調 禁止要求	禁止/許可	トランスミッションコントロールユニットからのアイドルストップ禁止要求信号。禁止要求信号が送信された時に「禁止」になる。	
142	電動オイルポンプリレー	ON / OFF	電動オイルポンプリレー状態の表示。アイドルストップコントロールユニットからの出力値。	
143	電動オイルポンプス テータス	異常/正常	電動オイルポンプステータスを表示。 電動オイルポンプが異常のとき「異常」に なる。アイドルストップコントロールユ ニットからの出力値。	

## ボディ統合ユニット

#### 参考:

ユニットカスタマイズ機能の設定を変更するときは、必ずサービスマニュアルを参照して設定作業を行って ください。誤った設定をすると、システムの動作不良などの故障の原因になります。

No	表示項目	計測単位	内容	備考
1	BATT 電圧(制御)	$10 \sim 15 \text{ V}$	バッテリ常時電源。BIU への入力値。	
2	BATT 電圧(BACKUP)	$10 \sim 15 \text{ V}$	バッテリ常時電源。BIU への入力値。	
3	IG 電源電圧	$10 \sim 15 \text{ V}$	IG 系回路電圧。BIU への入力値。	
4	ACC 電圧	$10 \sim 15 \text{ V}$	ACC 系回路電圧。BIU への入力値。	
5	イルミ VR 電圧	$0 \sim 5 \text{ V}$	イルミネーションコントロールダイヤル からの入力値。	
6	イルミ出力デューティ 比	0 ~ 100%	BIU から出力されるイルミネーションを 制御するデューティ比。(周波数:250Hz)	
7	外気温センサ電圧	$0 \sim 5 \text{ V}$	外気温センサからの入力値。	
8	外気温度	-40 ~ 87.5°C ~	入力された電圧から算出した温度。	
9	燃料レベル電圧	$0 \sim 8 \text{ V}$	燃料レベルセンサ電圧値。燃料レベルセン サから BIU への入力値。	
10	燃料レベル抵抗値	$0 \sim 102.3 \Omega$	燃料レベルセンサ抵抗値。燃料レベルセン サから BIU への入力値。	
11	キーロックソレノイド 電圧	6 ∼ 12 V	キーロックソレノイドへの出力値。(キーロックは <b>P</b> レンジ以外ではキーが抜けない機能)	
12	キーレスキー登録 ID	0~4本	キーレスエントリーシステムのキー登録 本数。	
13	前輪車速	km/h	前輪平均車速。ABS/VDC コントロールユニットから受信。	CAN データ
14	VDC/ABS最新故障コード	DTC 表示	VDC/ABS システムの最新故障コード。 VDC/ABS コントロールユニットから受信。ここで表示される項目は仮コードなので、VDC/ABS システムで表示される DTC を確認すること。	CAN データ
15	ブロワファン段数	0~2段	ブロワファンの制御モード。A/C コントロールユニットから受信。 0 = OFF、1 = Low、2 = レベル2以上。	CANデータ
16	燃料レベル抵抗値2	$0 \sim 102.3 \Omega$	燃料レベルセンサ抵抗値。BIU からコンビネーションメータへの出力値。	CANデータ
17	燃料消費量	cc/s	50msec 毎の瞬間的な噴射量を 1sec あたりの噴射量に換算した値。エンジンコントロールユニットから受信。	CAN データ
18	エンジン水温	-40 ∼ 130°C	エンジン水温。エンジンコントロールユ ニットから受信。	CANデータ

No	表示項目	計測単位	内容	備考
19	車両前後加速度	m/s ²	前後方向の加減速率。VDC/ABS コントロールユニットから受信。	CAN データ
20	SPORT シフト段数	0~7段	マニュアルモード作動情報。トランスミッションコントロールユニットから受信。 $0=$ 消灯、 $1\sim5=$ ギヤポジション、 $6=$ 故障、 $7=$ ATF 高低温時。	CAN データ
21	シフトポジション	0 ~ 7	P レンジ=7、R レンジ=6、N レンジ=5、D レンジ=4、M=8 (未入力)。マニュアルモードにすると未入力(8)となり、「SPORT シフト段数」が変化する。トランスミッションコントロールユニットから受信。	CAN データ
22	VDC/ABS 作動状態	0~4	VDC/ABS の作動状態。VDC/ABS コントロールユニットから受信。 0 = ABS、1 = TCS、2 = VDC O (オーバーステア)、3 = VDC U (アンダーステア)、4 = VDC OFF。	CAN データ
23	仕向地コード	0 ~ 16	車両の仕様区分。コンビネーションメーターから受信。 1=日本ノーマル、2=日本ブラックフェース、3=日本 ADA 付、4=一般(左)、5=欧州(左)、6=サウジアラビア、7=欧州(右)、8=豪州、9=米国、10=カナダ	CAN データ
24	タッチスイッチ	0 ~ 64	センターディスプレイから BIU への設定値入力で、タッチパネル上のボタンを押したときに変化する。ただし、変化するのは下記の手順のときに限る。「INFO」ボタンを押す $\rightarrow$ 「SET」に触れる $\rightarrow$ 「キーレス」 or 「各種機能」(ただし RESET は反応しない)。	CAN データ
25	キーワーニング SW 入 力	ON / OFF	キーワーニングスイッチからの入力値。イ グニッションキーをキーシリンダーに差 し込むと ON になる。	
26	ストップランプ SW	ON / OFF	ブレーキスイッチからの入力値。 ブレーキ ペダルを踏むと ON になる。	
27	FフォグランプSW入力	ON / OFF	フロントフォグランプスイッチからの入 力値。フロントフォグランプスイッチを ON にすると ON になる。	
28	RフォグランプSW入力	ON / OFF	リヤフォグランプスイッチからの入力値。 リヤフォグランプスイッチをONにすると ONになる。	
29	TPMS 入力	ON / OFF	TPMS(Tire Pressure Monitoring System)の登録状態を表示。TPMS の登録が完了すると ON になる。	
30	ライティング SW 入力	ON / OFF	コンビネーションスイッチからの入力値。 ヘッドライトを ON にすると ON になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
31	ドアキーロック SW 入 力	ON / OFF	ドアキーシリンダ部のスイッチからの入 力値。キーをロック側に回すとONになる。	
32	ドアキーアンロック SW 入力	ON / OFF	ドアキーシリンダ部のスイッチからの入 力値。キーをアンロック側に回すと ON に なる。	
33	運転席ドア SW 入力	ON / OFF	運転席のドアスイッチからの入力値。ドア を開くと ON になる。	
34	助手席ドア SW 入力	ON / OFF	助手席のドアスイッチからの入力値。ドア を開くと ON になる。	
35	後席右ドア SW 入力	ON / OFF	後席右側のドアスイッチからの入力値。ドアを開くと ON になる。	
36	後席左ドア SW 入力	ON / OFF	後席左側のドアスイッチからの入力値。ドアを開くと ON になる。	
37	R ゲート/トランク SW 入力	ON / OFF	リヤゲート/トランクスイッチ からの入 力値。リヤゲート/トランクを開くと ON になる。	
38	マニュアルロック SW 入力	ON / OFF	パワーウィンドウメインスイッチ部のマニュアルロックスイッチからの入力値。マニュアルロックスイッチをロックにすると ON になる。	
39	マニュアルアンロック SW 入力	ON / OFF	パワーウィンドウメインスイッチ部のマニュアルロックスイッチからの入力値。マニュアルロックスイッチをアンロックにすると ON になる。	
40	ロック状態 SW	ON / OFF	運転席ドアのラッチ部のドア状態スイッチからの入力値。運転席ドアがロック状態のときに ON になる。	
41	ブライト SW 入力	ON / OFF	ブライトスイッチからの入力値。ブライトスイッチを ON にすると ON になる。 ブライトスイッチとは、スモールランプを ON にした時のインストルメントパネル、 モニター、ヒーターコントロールパネル、 オーディオの照明を明るくする機能。	
42	シフトボタン SW 入力	ON / OFF	シフトレバー部のシフトロック解除ボタンからの入力値。シフトロック解除ボタンを押した場合に ON になる。	
43	エコSW	ON / OFF	エコスイッチからの入力値。エコスイッチ を ON にすると ON になる。	
44	Tip モード SW	ON / OFF	Tip モードスイッチ(マニュアルモードスイッチ)からの入力値。マニュアルモードにすると ON になる。	
45	TIP UP SW 入力	ON / OFF	マニュアルモードでシフトアップしたと き ON になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
46	TIP DOWN SW 入力	ON / OFF	マニュアルモードでシフトダウンしたと き ON になる。	
47	P SW	ON / OFF	P レンジスイッチからの入力値。P レンジ のとき ON になる。	
48	MT リバース SW	ON / OFF	MT バックランプスイッチからの入力値。 シフトレバーを R レンジにし、バックラン プスイッチが ON すると ON になる。	
49	キックダウン SW	ON / OFF	キックダウンスイッチからの入力値。現在このデータは使用していない。	
50	R ワイパ (ON) SW 入力	ON / OFF	リヤワイパスイッチの ON スイッチ入力 値。リヤワイパスイッチを ON の位置にす ると ON になる。	
51	R ワイパ(INT)SW 入力	ON / OFF	リヤワイパスイッチの INT スイッチ入力 値。リヤワイパスイッチを INT の位置にす ると ON になる。	
52	R ウォッシャ SW 入力	ON / OFF	リヤウォッシャスイッチからの入力値。リ ヤウォッシャスイッチを ON にすると ON になる。	
53	ワイパデアイサ SW 入 力	ON / OFF	ワイパデアイサスイッチからの入力値。ワイパデアイサスイッチを ON にすると ON になる。	
54	リアデフォッガー SW	ON / OFF	リヤデフォッガースイッチからの入力値。 リヤデフォッガースイッチを ON にすると ON になる。	
55	運転席ベルト SW 入力	ON / OFF	運転席バックルスイッチからの入力値。 シートベルトを着用すると ON になる。	
56	助手席ベルト SW 入力	ON / OFF	助手席に荷重がかかっていないときは常 時 ON。 助手席に荷重がかかっているときはシー トベルト装着で ON、シートベルト非装着 で OFF。	
57	Fワイパ入力	ON / OFF	フロントワイパスイッチからの入力値。フロントワイパを作動させると ON になる。	
58	パーキングブレーキ SW 入力	ON / OFF	パーキングスイッチからの入力値。パーキ ングブレーキを引張り、パーキングスイッ チが ON すると ON になる。	
59	登録 SW 入力	ON / OFF	登録スイッチからの入力値。キーレスエントリーシステムの登録コネクターを接続すると ON になる。	
60	識別 SW 入力	ON / OFF	ワゴンまたはセダンの識別。ON= ワゴン、 OFF= セダン。BIU 内部のキーレスエント リー回路の初期設定に使用する。	
61	運席ロック状態 SW 入 力	ON / OFF	運転席ロック状態 SW からの入力値。ドア が LOCK の時に ON になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
62	助席ロック状態 SW 入力	ON / OFF	助手席ロック状態 SW からの入力値。ドア が LOCK の時に ON になる。	
63	R ゲート ロック状態 SW 入力	ON / OFF	リヤゲートロック状態 SW からの入力値。 リヤゲートが LOCK の時に ON になる。	
64	スマートウェイクアッ プ入力	ON / OFF	照合コントロールユニットからのウェイクアップ信号の入力値。信号入力時に ON になる。	
65	Rデフォッガ出力	ON / OFF	リヤデフォッガリレーへの出力値。リヤデフォッガを作動させると ON になる。	
66	ドアロックアクチュ エータ LOCK 出力	ON / OFF	ドアロックアクチュエータへの出力値。 ロック信号を出力したとき ON になる。	
67	全席 UNLOCK 出力	ON / OFF	全席のドアロックアクチュエータへの出力値。アンロック信号を出力したとき <b>ON</b> になる。	
68	運席 UNLOCK 出力	ON / OFF	運転席ドアロックアクチュエータへの出力値。アンロック信号を出力したとき ON になる。	
69	R ゲート / トランク UNLK 出力	ON / OFF	リヤゲート/トランクのロックアクチュ エータへの出力値。アンロック信号を出力 したとき ON になる。	
70	ダブルロック出力	ON / OFF	ドアロックアクチュエータへの出力値。ダ ブルロック信号が出力されたとき ON にな る。	
71	Rワイパ出力	ON / OFF	リヤワイパモータへの出力値。リヤワイ パーを作動させると ON になる。	
72	シフトロックソレノイド	ON / OFF	シフトロックソレノイドへの出力値。P レンジスイッチおよびブレーキスイッチの両方が ON でソレノイドが ON になる。	
73	キーロック出力	ON / OFF	キーロックソレノイドへの出力値。ソレノイドを作動させるとONになる。(キーロックとはPレンジ以外ではキーが抜けない機能のこと)	
74	ワイパデアイサ出力	ON / OFF	ワイパデアイサリレーへの出力値。ワイパ デアイサリレーを作動させると ON にな る。	
75	スタータカット出力	ON / OFF	イモビライザのスタータリレーカット信号。スタータカットリレー作動時に ON になる。	LEGACY 04MY, 05MY の み適用
76	ハザード出力	ON / OFF	キーレスアンサーバック出力値。 ハザード 出力時に ON になる。	キーレス登録コネクタ未 接続時のみ
77	キーレスブザー出力	ON / OFF	キーレスブザーへの出力値。ブザー出力時 に ON になる。	キーレス登録コネクタ未 接続時のみ
78	ベルトブザー出力	ON / OFF	ベルトブザーへの出力値。 ベルトブザーへ の出力時に <b>ON</b> になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
79	ホーン出力	ON / OFF	セキュリティシステムのホーン出力。セ キュリティシステムが警報時に ON にな る。	
80	サイレン出力	ON / OFF	セキュリティシステムのサイレン出力。セ キュリティシステムが警報時に ON にな る。	
81	ベルト警告灯運転席出力	ON / OFF	運転席ベルト着用警告灯の出力値。シートベルトを着用すると OFF になる。	
82	ベルト警告灯助手席出力	ON / OFF	助手席ベルト着用警告灯の出力値。助手席 に荷重を感知すると ON。シートベルトを 着用すると OFF になる。	
83	イルミランプ出力	ON / OFF	イルミネーション制御の出力値。スモールランプを ON にすると ON になる。ただし、イルミ調整ダイヤルを操作すると ON 時間が変化する。	
84	ルームランプ出力	ON / OFF	ルームランプへの出力値。ルームランプが 点灯すると ON になる。ただし、BIU に連 動してルームランプが点灯/消灯するの は DOOR 位置のときのみ。	
85	キーイルミランプ出力	ON / OFF	キーイルミネーションランプへの出力値。 キーイルミネーションランプ作動時に ON になる。	
86	リアフォグランプ出力	ON / OFF	リヤフォグランプリレーへの出力値。リヤフォグランプ作動時に ON になる。	
87	リアフォグランプモニ タ	ON / OFF	ユニットの内部にリヤフォグモニター回 路がある。リヤフォグランプ作動時に ON になる。	
88	イモビパイロットラン プ出力	ON / OFF	コンビネーションメータ内のイモビライ ザパイロットランプへの出力値。ランプ点 灯時に ON になる。	
89	キーレス作動状態(1)	登録/通常	キーレスモード判定。登録モードにすると「登録」になる。 登録モードにするには、登録コネクターを 接続し、ドアロックスイッチをアンロック にする。	
90	キーレス作動状態 (2)	消去/通常	キーレスモード判定。消去モードにすると 「消去」になる。 消去モードにするにはキーレス登録コネ クタを接続し、ドアロックスイッチを ON しながらキーワーニングスイッチを 10sec 以内に 10 回 ON/OFF する。	
91	EK アラーム出力	ON / OFF	ドアの開閉状態をアラームユニットに出力する。いずれかのドアが開でONになる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
92	TL アラーム出力	ON / OFF	ドアアラーム機能のアラーム出力。ドアがロック状態の時に不正にドアが開かれた場合にONになる。	
93	クルコンメインランプ	点灯/消灯	クルコンメインスイッチを ON にすると ON になる。エンジンコントロールユニッ トから受信し、コンビネーションメータへ 送信する。	CAN データ
94	クルコンセットランプ	点灯/消灯	クルコンセットスイッチを ON にすると ON になる。エンジンコントロールユニッ トから受信し、コンビネーションメータへ 送信する。	CAN データ
95	SPORT ランプ	点灯/消灯	スポーツモードスイッチを ON にすると ON になる。トランスミッションコントロールユニットから受信し、コンビネーションメータに送信する。	CAN データ
96	SPORT 点滅	点滅/OFF	AT 故障時に点滅する。トランスミッションコントロールユニットから受信し、コンビネーションメータに送信する。	CAN データ
97	ATF 油温ランプ	点灯/消灯	ATF が異常高温時に ON になる。トランス ミッションコントロールユニットから受 信し、コンビネーションメータに送信す る。	CAN データ
98	ATF 点滅	点滅/OFF	AT 故障時に点滅する。トランスミッショ ンコントロールユニットから受信し、コン ビネーションメータに送信する。	CAN データ
99	ECO ランプ(AT)	点灯/消灯	エコランプ点灯信号が ON のときに ON になる。トランスミッションコントロールユニットから受信。	CAN データ
100	ECO ランプ(MT)	点灯/消灯	エコランプ点灯信号がONのときにONになる。トランスミッションコントロールユニットから受信。	CAN データ
101	タイヤ異径ウォーニン グ(1)	点灯/消灯	FWD ヒューズを接続したとき (FF にしたとき) ON になる。トランスミッションコントロールユニットから受信し、コンビネーションメータに送信する。	CAN データ
102	タイヤ異径ウォーニン グ(2)	点滅/消灯	前後輪の速度差が4%以上になると点滅になる。(4%とは前後輪に1inサイズの違うホイールを履いたくらいの速度差)。トランスミッションコントロールユニットから受信し、コンビネーションメータに送信する。	CAN データ
103	シフト UP 表示	UP / OFF	シフト UP 可能表示信号。シフトアップ可能時に UP になる。	コンビメータ内ギヤ段数 表示部の矢印と連動す る。

No	表示項目	計測単位	内容	備考
104	シフト DOWN 表示	DOWN / OFF	シフト DOWN 可能表示信号。シフトダウン可能時に DOWN になる。	コンビメータ内ギヤ段数 表示部の矢印と連動す る。
105	SPORT シフト (ブザー 1)	ON / OFF	ダウンシフト禁止警告。ブザーへ出力時に ON になる。トランスミッションコント ロールユニットから受信し、コンビネー ションメータに送信する。	CAN データ
106	SPORT シフト (ブザー 2)	ON / OFF	ATF 異常高温警告。ブザーへ出力時に ON になる。トランスミッションコントロール ユニットから受信し、コンビネーションメータに送信する。	CAN データ
107	ABS/VDC 判定	ABS / VDC	車両判別情報。ABS/VDC コントロールユニットから受信する。	CAN データ
108	ADA 有無判定	有/無	車両判別情報。ADA (Active Driving Assist) 搭載車時は有になる。	CAN データ
109	スモールランプ SW	ON / OFF	スモールランプスイッチからの入力値。ス モールランプスイッチを ON にすると ON になる。	
110	ヘッドランプ	ON / OFF	ヘッドライトスイッチからの入力値。ヘッ ドライトを ON にすると ON になる。	
111	DRL	ON / OFF	DRL(Daytime Running Lights) コントロール ユニットの DRL 出力の入力値。DRL が点 灯時に ON になる。	
112	ヘッドランプ HI	ON / OFF	ADA 用車両走行情報。ヘッドライトをハイビームにすると ON になる。	
113	左ターンシグナル	ON / OFF	ADA 用車両走行情報。左ターンシグナルを ON にすると ON になる。	
114	右ターンシグナル	ON / OFF	ADA 用車両走行情報。右ターンシグナルを ON にすると ON になる。	
115	R デフォッガ SW	ON / OFF	リヤデフォッガスイッチからの入力値。リ ヤデフォッガスイッチを ON にすると ON になる。	
116	豪州判別フラグ	豪州/その他	BIU からエンジンコントロールユニット への出力値。	
117	大径タイヤ	大径/その他	18 インチホイール装着モデルのコンビメータにあるタイヤ判別情報。 18in だとコンビメータの車速表示に誤差が出るためそれの補正。17inの車に18inを履いても「大径」にはならない。	
118	E/G 気筒数	4気筒/6気 筒	車両判別情報。	CAN データ
119	E/G カム種類	DOHC / SOHC	車両判別情報。	CAN データ
120	E/G 過給機	無/ターボ	車両判別情報。	CAN データ

No	表示項目	計測単位	内容	備考
121	E/G 排気量(2.5L)	2.5 L / OFF	車両判別情報。	CAN データ
122	E/G 排気量(3.0L)	3.0 L / OFF	車両判別情報。	CAN データ
123	AT/MT 識別端子	MT 車/ AT 車	車両判別情報。	CAN データ
124	ブロアファン情報	ON / OFF	ブロワファン情報。ブロワファンが OFF 以外のときに ON になる。エンジンコント ロールユニットから受信。	CAN データ
125	ヒータコックバルブ出 力	ON / OFF	ヒータコックバルブへの出力値。ヒータ コックバルブ作動時に ON になる。	
126	パワーウインド(上)	ON / OFF	パワーウィンドウコントロールユニットへの出力値。パワーウィンドウ作動時にONになる。 キーレスの LOCK ボタンを長押しすると運転席ガラスが上がる機能。	
127	パワーウインド (下)	ON / OFF	パワーウィンドウコントロールユニットへの出力値。パワーウィンドウ作動時にONになる。 キーレスのUNLOCKボタンを長押しすると運転席ガラスが下がる機能。	
128	キーレスブザー	ON / OFF	キーレスブザーへの出力値。キーレスアン サーバックブザー作動時に ON になる。	
129	ブライト要求	ON / OFF	BIU への入力値。要求有りのときに ON になる。 スモールランプ ON 時のインパネ、モニター、ヒーターコントロール、オーディオの照明を明るくする機能。	
130	P/W ECU フェール	OK / NG	パワーウィンドウコントロールユニット の故障情報。故障時に NG になる。	CAN データ
131	キーレスフック SW	ON / OFF	パワーウィンドウコントロールユニット からの入力値。キーレスフックスイッチが ON 時に ON になる。	CAN データ
132	ドアロック SW(開)	ON / OFF	パワーウィンドウコントロールユニット からの入力値。ドアロックスイッチ(マ ニュアルロックスイッチ)アンロック作動 時に ON になる。	CAN データ
133	ドアロック SW (閉)	ON / OFF	パワーウィンドウコントロールユニット からの入力値。ドアロックスイッチ(マ ニュアルロックスイッチ)ロック作動時に ON になる。	CAN データ
134	ドアキー SW(開)	ON / OFF	ドアキースイッチ (ドアキーシリンダ部のスイッチ) からの入力値。アンロック作動時に ON になる。	
135	ドアキー SW(閉)	ON / OFF	ドアキースイッチ (ドアキーシリンダ部のスイッチ) からの入力値。ロック作動時にON になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
136	フック登録作業中	ON / OFF	キーレスフックが登録モード時にONになる。	
137	フック登録完了	ON / OFF	キーレスフック登録完了時に ON になる。	
138	アンロック要求	ON / OFF	ドアフック暗号入力が OK の時に ON になる。パワーウィンドウコントロールユニットから受信。	CAN データ
139	センタディスプレイ フェール	OK / NG	センターディスプレイの故障情報。システム正常で OK、異常で NG。センターディスプレイから受信。	CAN データ
140	NAVI フェール	OK / NG	ナビゲーションシステムの故障情報。システム正常で OK、異常で NG。センターディスプレイから受信。	CAN データ
141	IEBus フェール	OK / NG	IE バスの故障情報。現在このデータは使用していない。	
142	オート A/C フェール	OK / NG	オート A/C コントロールユニットの故障情報。システム正常で OK、異常で NG。 オート A/C コントロールユニットから受信。	CAN データ
143	EBD ウォーニングラン プ	ON / OFF	EBD 警告灯の作動状態。警告灯点灯時に ONになる。VDC/ABS コントロールユニットから受信。	CAN データ
144	ABS ウォーニングランプ	ON / OFF	ABS 警告灯の作動状態。警告灯点灯時にONになる。VDC/ABSコントロールユニットから受信。	CAN データ
145	VDC OFF フラグ	ON / OFF	VDC 作動状態。VDC OFF で ON になる (VDC OFF スイッチが ON 時に ON になる)。VDC/ABS コントロールユニットから 受信。	CAN データ
146	VDC/ABS OK B	OK / NG	VDC/ABS システムの故障情報。システム 正常で OK、異常で NG。VDC/ABS コント ロールユニットから受信。	CANデータ
147	ライティング ISW 入力	ON / OFF	コンビネーションスイッチからの入力値。 ライティングスイッチを「テール」 位置 に すると ON になる。	
148	ライティングIISW入力	ON / OFF	コンビネーションスイッチからの入力値。 ライティングスイッチを「ヘッド」 位置 に すると ON になる。	
149	ディマー Hi SW 入力	ON / OFF	コンビネーションスイッチからの入力値。 ディマー & パッシングスイッチを「ハイ ビーム」位置にすると ON になる。	
150	ディマー Pass SW 入力	ON / OFF	コンビネーションスイッチからの入力値。 ディマー & パッシングスイッチを「パッ シング」位置にすると ON になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
151	ライティングIランプ出 力	ON / OFF	テール & イルミネーションリレーへの出力値。テール & イルミネーションリレーを作動させるときに ON になる。	
152	ライティング II ランプ 出力	ON / OFF	ヘッドランプ Lo リレーへの出力値。ヘッドランプLo リレーを作動させるときにONになる。	
153	ライティング Hi ランプ 出力	ON / OFF	ヘッドランプ Hi リレーへの出力値。ヘッドランプHiリレーを作動させるときにONになる。	北米モデル: DRL 点灯時 も ON になる。
154	フロントフォグランプ 出力	ON / OFF	フロントフォグランプリレーへの出力値。 フロントフォグランプリレーを作動させ るとき ON になる。	
155	DRL キャンセル出力	ON / OFF	DRL(Daytime Running Lights) キャンセル回路への出力値。ディマー&パッシングスイッチを「ハイビーム」位置にすると ONになる。	この項目は北米モデルのみ適応
156	電源供給 Tr	ON / OFF	ヘッドランプにバックアップ電源を供給するトランジスタへの出力値。以下のときに ON になる。イグニッションが OFF のときライティングスイッチを「テール」位置にする。イグニッションを ACC、または ON にする。	
157	フットランプ出力	ON / OFF	フットランプ RH、フットランプ LH への 出力値。フットランプ RH、フットランプ LH を点灯させるときに ON になる。	
158	スポットマップランプ 出力	ON / OFF	スポットマップランプ出力値。スポット マップランプを点灯させると ON になる。	
159	エコ SW 情報	ON / OFF	BIU から送信されるエコ SW の ON / OFF 情報。	CAN データ
160	オフディレイ時間	OFF, Short, Normal, Long	ルームランプが消灯するまでのディレイ 時間の設定値。	
161	オートロック時間	20, 30, 40, 50, 60 sec	オートロックの作動時間の設定値。	この項目は北米・英国以外のモデルに適用。
162	外気温オフセット	°C (-2.0, - 1.5, -1.0, - 0.5, 0, 0.5, 1.0, 1.5, 2.0)	実外気温とディスプレイ表示値の乖離補 正のためのオフセット値。	BIU の設定は 0.5°C 刻み で設定できますが、ディ スプレイ表示は 1°C 刻み で表示されます。
163	R デフォッガ作動モー ド	連続/通常	リヤデフォッガの作動時間の設定値。 通常:スイッチを ON した後、15 分後に自 動停止する。 連続:スイッチを OFF するまで 15 分作動、 2 分非作動を繰り返す。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
164	ワイパデアイサ作動 モード	連続/通常	ワイパデアイサの作動時間の設定値。 通常:スイッチを ON した後、15 分後に自 動停止する。 連続:スイッチを OFF するまで 15 分作動、 2 分非作動を繰り返す。	
165	警報 ON/OFF 設定	ON / OFF	セキュリティシステム作動時の警報の設 定値。 ON:警報(ハザード、ホーンまたはサイ レン)が作動する。 OFF:警報は作動しない。	この項目は日本・北米モデルのみ適用。
166	衝撃センサ ON/OFF 設定	ON / OFF	衝撃センサの作動設定値。 ON:衝撃センサが作動する。 OFF:衝撃センサは作動しない。	「ON」に設定する場合、「衝撃センサ有無設定」を「有り」に設定した時に有効となる。 この項目は日本・北米モデルのみ適用。
167	警報監視遅延設定	ON / OFF	警報監視機能のディレイ時間の設定値。 ON:キーレスロック後、30 秒後に警報監 視機能が作動する。 OFF:キーレスロックと同時に警報監視機 能が作動する。	この項目は日本・北米モデルのみ適用。
168	キー閉込防止	ON / OFF	キー閉じ込み機能の作動の設定値。 ON:キー閉じ込み防止機能が作動する。 OFF:キー閉じ込み防止機能の作動を停止 する。	この項目は英国以外のモ デルに適用。
169	衝撃センサ有無設定	有り/無し	衝撃センサの有無設定値。 有り:衝撃センサ装着モードで制御する。 無し:衝撃センサ非装着モードで制御する。	衝撃センサ非装着車は必ず「無し」に設定すること。「有り」に設定すると警報 (ハザード、ホーンまたはサイレン) が誤作動する。この項目は日本・北米モデルのみ適用。
170	サイレン有無設定	有り/無し	サイレンの有無設定値。 ON:警報作動時にサイレンが作動する。 OFF:警報作動時、ホーンが作動する。	サイレン非装着車は必ず「無し」に設定すること。 「有り」に設定すると、警 報作動時にホーンが作動 しない。 この項目は日本モデルの み適用。
171	アンサバックブザー設 定	ON / OFF	アンサバックブザーの作動設定値。 ON:キーレスでのロック/アンロック操作時にブザーが作動する。 OFF:キーレスでのロック/アンロック操作時のブザーを非作動にする。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
172	ハザードアンサバック 設定	ON / OFF	ハザードアンサバックの作動設定値。 ON:キーレスでのロック/アンロック操作時にハザードランプが作動する。 OFF:キーレスでのロック/アンロック操作時のハザードランプを非作動にする。	
173	オートロック設定	ON / OFF	オートロックの作動設定値。 ON:オートロックが作動する。 OFF:オートロックの作動を停止する。	「ON」に設定する場合、「オートロック有無」を「有り」に設定した時に有効となる。 この項目は北米・英国以外のモデルに適用。
174	アンサバックブザー有 無	有り/無し	アンサバックブザーの有無設定値。 ON:アンサバックブザー装着モードで制 御する。 OFF:アンサバックブザー非装着モードで 制御する。	アンサバックブザー非装 着車は必ず「無し」に設 定すること。
175	オートロック有無	有り/無し	オートロックの有無設定値。 ON:オートロック装着モードで制御する。 OFF:オートロック非装着モードで制御する。	オートロック非装着車は 必ず「無し」に設定する こと。 この項目は北米・英国以 外のモデルに適用。
176	キーレス設定初期化	_	キーレスエントリーシステム関連の設定 値を初期値に戻す機能。	No.141:30 秒、No.150: OFF、No.151:ON、 No.152:ON、No.153:OFF
177	各種機能設定初期化	_	各種機能設定の設定値を初期値に戻す機 能。	No.140 : Normal、No.142 : 通 常、No.143 : 通 常、 No.147 : ON
178	セキュリティ設定初期 化	_	セキュリティ関連の設定値を初期値に戻 す機能。	No.144: OFF \ No.145: OFF \ No.146: ON \ No.149: OFF
179	セレクトアンロック切 替	セレクト/ ALL	セレクトアンロックと全席アンロックの 切替設定値。 セレクト:セレクトアンロックで制御する。 ALL:全席アンロックで制御する。	この項目は欧州モデルのみ適用。
180	パッシブ ARM 切替	ON / OFF	パッシブアラームシステムの有無設定値。 ON:パッシブアラームシステム装着モードで制御する。 OFF:パッシブアラームシステム非装着モードで制御する。	この項目は北米モデルのみ適用。
181	半ドア対策	有/無	半ドア対策機能の設定値。 有:半ドア状態が 30 分以上連続すると、 ドア連動のルームランプ、キーリング照明 およびドア警告灯が消灯し、バッテリー上 がりを防止する。 無:ルームランプ、キーリング照明および ドア警告灯は連続点灯する。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
182	アラーム連動ルームラ ンプ切替	ON / OFF	警報監視機能の警報時、ルームランプを点灯させるか否かの設定値。 ON:警報時、ルームランプが連続点灯する。 OFF:警報時、ルームランプは設定したディレイ時間点灯後に消灯する。	この項目は日本・北米モデルのみ適用。
183	マップランプ連動切替	ON / OFF	ドア開時にルームランプに連動してマップランプを点灯させるか否かの設定値。 ON:ルームランプに連動してマップランプも点灯する。 OFF:マップランプはルームランプに連動せずに消灯のまま。	
184	ベルト警報切替	ON / OFF	シートベルト警報システムの警報ブザー の吹鳴および警告灯の点滅を行なうか否 かの設定値。	
185	キーレス連動 P/W 切替	ON / OFF	キーレスエントリーシステムのロック/ アンロックボタンの長押しによるパワー ウィンドウ作動を行なうか否かの設定値。	この項目は日本モデルの み適用。
186	A/C ECU 有無	有/無	オート A/C コントロールユニットの有無設定値。 オート A/C コントロールユニット装着車は「有」に設定する。	この項目を正しく設定しないと、イルミネーション制御が正しく機能しない場合がある。
187	P/W ECU 有無	有/無	パワーウィンドウコントロールユニット の有無設定値。 パワーウィンドウコントロールユニット 装着車は「有」に設定する。	
188	センタディスプレイ有無	有/無	センターディスプレイの有無設定値。 センターディスプレイ装着車は「有」に設 定する。	センターディスプレイ装 着車を「無」に設定する と、センターディスプレ イの情報が正しく表示さ れない場合がある。
189	ワイパデアイサ有無	有/無	ワイパデアイサの有無設定値。 ワイパデアイサ装着車は「有」に設定する。	ワイパデアイサ装着車を 「無」に設定すると、ワイ パデアイサスイッチを ON にしてもワイパデア イサが作動しない。
190	リヤフォグ有無	有/無	リヤフォグランプの有無設定値。 リヤフォグランプ装着車は「有」に設定する。	リヤフォグランプ装着車を「無」に設定すると、リヤフォグランプスイッチを ON にしてもリヤフォグランプが作動しない。

No	表示項目	計測単位	内容	備考
191	イルミコントロール有無	有/無	イルミネーションコントロール機能の有無設定。イルミネーションコントロール装着車は「有」に設定する。	イルミネーションコントロール装着車を「無」に設定すると、イルミネーションコントロールで輝度が調整できない。この項目は国内、欧州モデルのみ適応。
192	セダン / ワゴン設定	セダン/ワ ゴン	車両タイプの設定値。ワゴン車は「ワゴン」、セダン車は「セダン」に設定する。	この項目を正しく設定しないと、ドアロック制御が正しく機能しない場合がある。
193	MT/AT 設定	MT / AT	トランスミッションタイプの設定値。AT 搭載車は「AT」、MT 搭載車は「MT」に設 定する。	この項目を正しく設定しないと、シフトロックまたはキーインターロックなどが正しく機能しない場合がある。
194	6MT 設定	6MT / 6MT 以外	トランスミッションタイプの設定値。6MT 搭載車は「6MT」に設定する。	
195	ダブルロック有無設定	有/無	ダブルロック機能の有無設定値。ダブルロック装着車は「有」に設定する。	ダブルロック装着車を「無」に設定すると、ダブルロックが作動しない。またはドアロック制御が正しく機能しない場合がある。
196	工場モード再設定	工場/市場	工場モードの設定値。 この項目は必ず「市場」に設定する。	「工場」に設定した場合、 No.163~166の設定値が 全て「無」になるため、該 当項目を再設定するこ と。
197	セキュリティ設定	有り/無し	セキュリティシステムの有無設定値。 セキュリティシステム装着車は「有り」に 設定する。	この項目は英国モデルの み適用。

# 照合ユニット

No	表示項目	計測単位	内容	備考
1	運転席リクエストSW	ON / OFF	運転席リクエスト SW を押した時に「ON」になる。 照合コントロールユニットへの入力値。	
2	助手席リクエスト SW	ON / OFF	助手席リクエスト SW を押した時に「ON」になる。 照合コントロールユニットへの入力値。	
3	リアゲートリクエスト SW	ON / OFF	リアゲートリクエスト SW を押した時に「ON」になる。照合コントロールユニットへの入力値。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
4	IGN SW	ON / OFF	イグニッション SW が ON の時に「ON」に なる。 照合コントロールユニットへの入力 値。	
5	ACC SW	ON / OFF	イグニッション SW が ACC の時に「ON」 になる。 照合コントロールユニットへの入 力値。	
6	車両別 ID 違い	該当/該当せず	携帯機の ID 照合時に、携帯機と照合コントロールユニット内の ID データが異なる場合に「該当」になる。	
7	レスポンス応答無し	該当/該当せず	携帯機の照合時に、携帯機からの返信がない場合に「該当」になる。	
8	レスポンスコード フォーマット違い	該当/該当せず	携帯機の照合時に、携帯機のレスポンス コードおよび ID コードが照合コントロー ルユニットのコードと異なる場合に「該 当」になる。	
9	ID コード違い	該当/該当せず	携帯機のボタン操作時に、受信した携帯機の ID と照合コントロールユニットの ID コードが異なる場合に「該当」になる。	
10	ローリングコード違い	該当/該当せず	携帯機のボタン操作時に、受信した携帯機のデータと照合コントロールユニット内の演算コードが異なる場合に「該当」となる。	
11	スマートキャンセル	キャンセル /通常	スマート機能がキャンセル中の時に「キャンセル」になる。	
12	イモビ	アンセット /セット	イモビライザがセット時に「セット」にな る。	
13	ECU 間通信 ID 確認 (要 求先リモコンエンジン スタータ)	OK / NG	照合コントロールユニットとリモコンエンジンスタータとのID 照合が NG またはリモコンエンジンスタータが未登録の場合に「NG」になる。	
14	コード登録確認 (リモコンエンジンスタータ通信)	登録済み/ 未登録	リモコンエンジンスタータ用コードが未 登録もしくは登録の際に異常が発生した 場合に「未登録」となる。	
15	EEPROM アクセス異常	異常/正常	ステアリングロックコントロールユニットの EEPROM 書き込み、読み出しの際に 異常が発生した場合に「異常」となる。	
16	IGN1(直線)状態	ON / OFF	イグニッション SW が ON の時に「ON」に なる。ステアリングロックコントロールユ ニットの IG 回路の入力値。	
17	IGN1(通信)	ON / OFF	イグニッション SW が ON の時に「ON」に なる。ステアリングロックコントロールユ ニットへの通信による入力値。	
18	ロック確定	確定/未確定	ステアリングロックポジションがロック の時に「確定」になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
19	アンロック確定	確定/未確定	ステアリングロックポジションがアン ロックの時に「確定」になる。	
20	エンジン始動	エンジン始 動許可/エ ンジン禁止	ステアリングロックコントロールユニットがエンジン始動許可条件成立した時に 「エンジン始動許可」になる。	
21	センサ異常 (過去)	異常/正常	ステアリングロックコントロールユニットのロック・アンロックセンサが同時にON した時に「異常」になる。	
22	モータ給電ショート異常(過去)	異常/正常	ステアリングロックコントロールユニットが受信する電源コントロールユニットからの「電源供給」と、通信による「電源供給制御信号」との間に不整合を検知した時に「異常」になる。(ショート故障)	
23	モータ給電オープン異 常(過去)	異常/正常	ステアリングロックコントロールユニットが受信する電源コントロールユニットからの「電源供給」と、通信による「電源供給制御信号」との間に不整合を検知した時に「異常」になる。(オープン故障)	
24	モータドライバショー ト異常 (過去)	異常/正常	ステアリングロックコントロールユニットのモータ駆動回路、リレーなどの内部回路のショート故障を検知した時に「異常」になる。	
25	モータドライバオープ ン異常(過去)	異常/正常	ステアリングロックコントロールユニットのモータ駆動回路、リレーなどの内部回路のオープン故障を検知した時に「異常」になる。	
26	ステアリングロック ロック/アンロック命 令受信履歴	有り/無し	ID コード BOX からのステアリングロック またはステアリングアンロックの命令を 受信した履歴があった場合に「有り」にな る。	
27	ロックバー引掛かり異 常(過去)	有り/無し	モータドライバオープン異常、モータ給電オープン異常ではない状態でステアリングアンロック通電開始後、一定時間内にアンロック検出できない場合に「有り」になる。	
28	プッシュスタート異常 (過去)	異常/正常	過去にステアリングロックコントロール ユニットの給電回路ショートモータ給電 ショート異常、センサ異常、モータドライ バショート異常が起きたとき「異常」表示 となる。	
29	スリープ可能状態	可能/不可	ID コードBOXがスリープ可能状態である 時に「可能」になる。	
30	ウェイクアップ送信状 態	送信/未送信	ID コード BOX がウェイクアップし、LIN バスがアクティブになった時に「送信」に なる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
31	EGI コード受信状態	未受信/受信	エンジン始動操作時、IDコードBOXがエンジンコントロールユニットからのイモビ確認の状態を受信した時に「受信」になる。	
32	エンジン始動許可要求 受信状態	未受信/受信	エンジン始動操作時、ID コード BOX が照 合コントロールユニットからのエンジン 始動要求を受信した時に「受信」になる。	
33	仮噴射要求受信状態	未受信/受信	エンジン始動操作時、ID コード BOX がエンジンコントロールユニットとの通信が可能状態である場合に「受信」になる。ID コード BOX からエンジンコントロールユニットへの出力値。	
34	照合 ECU ~ ID コード BOX 間の照合コード照 合結果	異常/正常	IDコードBOXと照合コントロールユニット間のコード照合結果に異常があった場合に「異常」になる。	
35	ステアリングロック ECU ~ ID コード BOX の間照合コード照合結 果	異常/正常	IDコードBOXとステアリングロックコントロールユニット間のコード照合結果に 異常があった場合に「異常」になる。	
36	ステアリングロックア ンロック要求受信状態	未受信/受信	IDコードBOXが照合コントロールユニットからステアリングアンロック要求を受信したとき「受信」表示となる。アンロック要求が停止となってから 10 秒経過、またはステアリングコントロールユニットリセットした場合に「未受信」になる。	
37	ステアリングロック ロック要求受信状態	未受信/受信	IDコードBOXが照合コントロールユニットからステアリングロック要求を受信したとき「受信」表示となる。ロック要求が停止となってから 10 秒経過、またはステアリングコントロールユニットリセットした場合に「未受信」になる。	
38	ID コード登録モード状 態	通常/登録/消去	照合コントロールユニットの現在のモー ド設定状況を表示する。	
39	スマート関連 ECU コード登録モード状態	モード中/ 通常	照合コントロールユニット・ID コード BOX・ステアリングコントロールユニット 間でコントロールユニットコードを確認 中の時に「モード中」になる。	
40	ID コード照合完了確認	完了/通常	登録において ID コードの照合が完了したとき「完了」表示となる。(データモニタ中は常に「通常」表示となる。)	
41	ID コード登録完了確認	完了/通常	登録において ID コードの登録が完了したとき「完了」表示となる。(データモニタ中は常に「通常」表示となる。)	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
42	スマート関連 ECU コード登録完了確認	完了/通常	登録においてコントロールユニットコード登録完了したとき「完了」表示となる。 (データモニタ中は常に「通常」表示となる。 る。)	
43	登録済みスマートキー 確認状態	確認中/通常	登録において登録済みのスマートキーを 確認するとき「確認中」表示となる。	
44	スマート関連 ECU コード確認状態	確認中/通常	登録においてコントロールユニットコードを確認中のとき「確認中」表示となる。 (データモニタ中は常に「通常」表示となる。 る。)	
45	ID コード登録状態	登録中/通常	登録においてIDコードを登録中のとき「登録中」表示となる。(データモニタ中は常に「通常」表示となる。)	
46	ID コード照合状態	イモビ照合 中/スマー ト照合中/ 通常	登録においてイモビライザ照合中のとき「イモビライザ照合中」表示となり、スマート照合中のとき「スマート照合中」表示となる。(データモニタ中は常に「通常」表示となる。)	
47	全登録済みキー確認状 態	確認中/通常	登録してある全てのキーを確認中のとき 「確認中」表示となる。	
48	全登録済みキー確認本数	0~7本	全登録済みキーの確認が必要な登録操作の時のみ、確認が必要なキーの本数を表示する。(データモニタ中は常に「0本」表示となる。)	
49	登録必要本数(スマート)	0~7本	生産工場で登録できる最大本数を表示	
50	照合済み本数 (スマート)	0~7本	登録操作時に照合した携帯機の本数を登録モード中の時に表示。(データモニタ中は常に「0本」表示となる。)	
51	登録済み本数(スマート)	0~7本	照合コントロールユニットに登録されて いる携帯機の全本数を表示	
52	ID コード BOX	接続中/未接続	ID コードBOXが照合コントロールユニットと接続されているとき「接続中」表示となる。(LIN 通信)	
53	電源 ECU	接続中/未接続	電源コントロールユニットが照合コントロールユニットと接続されているとき「接続中」表示となる。(LIN 通信)	
54	ステアリングロック ECU	接続中/未接続	ステアリングロックコントロールユニットが照合コントロールユニットと接続されているとき「接続中」表示となる。(LIN 通信)	
55	運転席リクエスト SW ON エッジ履歴	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回で も運転席リクエスト SW が押されたとき 「有り」表示となる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
56	助手席リクエスト SW ON エッジ履歴	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回でも助手席リクエスト SW が押されたとき「有り」表示となる。	
57	リアゲートリクエスト SW ON エッジ履歴	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回でもリアリクエスト SW が押されたときは「有り」表示となる。	
58	照合 OK 結果履歴 (運 転席車室外発信機+室 内チューナ)	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回で も運転席車室外検知エリアで照合できた とき「有り」表示となる。	
59	照合 OK 結果履歴(助 手席車室外発信機+室 内チューナ)	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回で も助手席車室外検知エリアで照合できた とき「有り」表示となる。	
60	照合 OK 結果履歴 (フロント車室内発信機+室内チューナ)	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回で もフロント車室内検知エリアで照合でき たとき「有り」表示となる。	
61	照合 OK 結果履歴 (リア車室内発信機+室内チューナ)	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回で もリア車室内検知エリアで照合できたと き「有り」表示となる。	
62	照合 OK 結果履歴 (イ モビアンプ+イモビア ンプ)	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回で もイモビライザアンプ検知エリアで照合 できたとき「有り」表示となる。	
63	照合 OK 結果履歴 (リアゲート内発信機+室内チューナ)	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回で もリアゲート内検知エリアで照合できた とき「有り」表示となる。	
64	照合 OK 結果履歴 (リアゲート外発信機+室内チューナ)	有り/無し	リセットまたは作動履歴消去後から1回でもリアゲート外検知エリアで照合できたとき「有り」表示となる。	

## 電源ユニット

No	表示項目	計測単位	内容	備考
1	プッシュスタート SW1	ON / OFF	プッシュスタート SW1 信号。プッシュエンジン SW が押された時に「ON」になる。 電源コントロールユニットへの入力値。	
2	プッシュスタート SW2	ON / OFF	プッシュスタート SW2 信号。プッシュエ ンジン SW が押された時に「ON」になる。 電源コントロールユニットへの入力値。	
3	ストップランプ SW	ON / OFF	ストップランプ SW 信号。 ブレーキペダル を踏んだ時に「ON」になる。(AT 車)	
4	ステアリング アンロック SW	ON / OFF	ステアリングアンロック SW 信号。ステアリングアンロックのアンロック SW が ON の時に「ON」になる。ステアリングロックコントロールユニットからの入力値。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
5	シフトP信号	ON / OFF	セレクトレバーが P レンジのとき「ON」になる。電源コントロールユニットへの入力値。	
6	ニュートラル SW/ クラッチ SW	ON / OFF	ニュートラル $SW$ / クラッチ $SW$ 信号。 $AT$ はセレクトレバーが $P$ レンジと $N$ レンジの時に、 $MT$ はクラッチペダルが踏まれている時に「 $ON$ 」になる。	
7	IGN2 リレーモニタ(駆動出力)	ON / OFF	IG リレー2 (プッシュスタート) 駆動出力 時に「ON」になる。	
8	IGN1 リレーモニタ (駆 動出力)	ON / OFF	IG リレー1 (プッシュスタート) 駆動出力 時に「ON」になる。	
9	ACC リレーモニタ	ON / OFF	ACC リレー (プッシュスタート) 駆動出 力時に「ON」になる。	
10	IGN2 リレーモニタ (コ イル電圧)	ON / OFF	電源コントロールユニットの内部回路の出力電圧値。IG リレー2 駆動出力時に「ON」になる。	
11	IGN1 リレーモニタ (コ イル電圧)	ON / OFF	電源コントロールユニットの内部回路の出力電圧値。IG リレー1 駆動出力時に「ON」になる。	
12	IGN ラッチモニタ	ON / OFF	IG スイッチが ON 状態の時に「ON」になる。	
13	STSW 信号モニタ	ON / OFF	クラッチペダル(MT)またはブレーキペダル(AT)を踏込み、プッシュエンジンSWを押した時に「ON」になる。	
14	ACCR 信号	ON / OFF	スターターリレー駆動出力時に「ON」になる。	
15	車速信号	走行状態/ 停止状態	車速信号を受信し、走行状態と認識している時に「走行状態」になる。	
16	エンジン回転数	回転中/停止中	エンジン回転数信号を受信し、エンジン回転状態と認識している時に「回転中」になる。	
17	電源状態	態/ACCリレーON状態/IGN1リレーON状態/IGN2リレーON状態	現在の電源状態を表示する。 ALL OFF 状態: IG リレー1 (プッシュスタート)、IG リレー2 (プッシュスタート)、ACC リレー(プッシュスタート) すべて OFF。 ACC リレー ON 状態: アクセサリーリレー ON。 IGN1 リレー ON 状態: イグニッション ON。 IGN2 リレー ON 状態: イグニッション ON。 未定義状態: クラッチペダルまたはブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジン SW を押す。	

### ゲートウェイユニット

No	表示項目	計測単位	内容	備考
1	BD ウェイクライン状態	Wakeup Sleep	ボディ統合ユニットから CAN 通信の要求 があった場合に「Wakeup」になる。(SSM 接続中は常に「Wakeup」表示となる。)	
2	ジカ線 IGN 入力状態	ON / OFF	ゲートウェイコントロールユニットへの IGN 入力がある時に「ON」になる。	
3	ジカ線 ACC 入力状態	ON / OFF	ゲートウェイコントロールユニットへの ACC 入力がある時に「ON」になる。	

## EVユニット

No	表示項目	計測単位	内容	備考
1	BATT 電圧(制御)	V	補機用 (12V 鉛) バッテリ電圧。EV- コントロールユニットへの入力値。	
2	アクセル開度	%	アクセルポジションセンサの出力値から 算出したアクセルペダル開度率。	
3	シフトポジション		現在のシフト位置。P/R/N/D/L インヒビタ SW の値から判断したシフト位置。	
4	ブレーキ負圧センサ1	kPa	ブレーキ負圧センサ 1 から算出した圧力 値。EV- コントロールユニット への入力 値。	
5	ブレーキ負圧センサ2	kPa	ブレーキ負圧センサ 2 から算出した圧力 値。EV- コントロールユニット への入力 値。	
6	ブレーキ負圧ポンプリ レー1出力		ブレーキ負圧ポンプ駆動信号。駆動信号出 力時に「1」になる。	
7	ブレーキ負圧ポンプリ レー2出力		ブレーキ負圧ポンプ駆動信号。駆動信号出力時に「1」になる。車両起動時の動作チェックとブレーキ負圧ポンプリレー1故障時にしか動作しないため、通常は0。	
8	ブレーキ負圧ポンプリ レー1 出力フィード バック		ブレーキ負圧ポンプリレーの駆動確認信号。ブレーキ負圧ポンプリレー1または2がONのとき「I」となる。EV-コントロールユニットへの入力値。	
9	ブレーキ負圧ポンプリ レー2 出力フィード バック		ブレーキ負圧ポンプリレーの駆動確認信号。ブレーキ負圧ポンプリレー1または2がONのとき「1」となる。EV-コントロールユニットへの入力値。	
10	車速	km/h	モータ回転数、およびトランスミッション 内の回転センサから算出した現在車速。	
11	ブレーキストローク	%	ブレーキポジションセンサの出力値から 算出したブレーキペダル踏み込み率。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
12	冷却水温	$^{\circ}$ C	水温センサ出力値から算出した高電圧系 補機の冷却水温度。	
13	エアコン SW	ON 入力/ OFF 入力	エアコン SW 信号。インパネのエアコン SW が ON の時に ON 入力になる。EV- コ ントロールユニットへの入力値。	
14	エアコンブロア SW		エアコンブロア信号。EV- コントロールユ ニットの入力値。	
15	エアコン温度センサ (エバポレータ)	V	エアコンエバポレータ内の温度センサの 電圧値。温度が低くなると値が大きくなる。	
16	エアコン温度 VR	V	インストルメントパネルのエアコンの温 度調整 SW の値。 低温になるほど値が小さ くなる。	
17	エアコン出力		エアコン出力。エアコン SW:ON かつエアコンブロア SW:ON で、現在のエアコン温度センサの値が、エアコン温度 VR による設定値より高い場合に ON となる。	
18	メインアクセルポジ ションセンサ電圧	V	メインアクセルポジションセンサの電圧 値。EV- コントロールユニット への入力 値。	
19	サブアクセルポジショ ンセンサ電圧	V	サブアクセルポジションセンサの電圧値。 EV- コントロールユニットへの入力値。	
20	メインブレーキポジ ションセンサ電圧	V	メインブレーキポジションセンサの電圧 値。EV- コントロールユニット への入力 値。	
21	サブブレーキポジショ ンセンサ電圧	V	サブブレーキポジションセンサの電圧値。 EV- コントロールユニット への入力値。	
22	ECU トルク指示値	Nm	走行用インバータに送信する指示トルク信号。EV- コントロールユニット の出力値。	
23	ブレーキ負圧ポンプ総 作動時間	S	ブレーキ負圧ポンプ総作動秒数。1,440,000 秒で寿命となる。	
24	ブレーキ負圧ポンプ総 作動回数	回	ブレーキ負圧ポンプ総作動回数。300,000 回で寿命となる。	
25	EV-ECU バージョン情 報		EV- コントロールユニットのハードウェア、およびソフトウェアバージョン。	
26	インバータバージョン 情報		走行用インバータのハードウェア、および ソフトウェアバージョン。	
27	車載充電器バージョン 情報		車載充電器のハードウェア、およびソフト ウェアバージョン。	外部から 100V、または 200V を供給して、車載充 電器を起動しないと確認 できません。
28	高圧バッテリ総電圧	V	高圧バッテリ総電圧。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
29	高圧バッテリ電流	A	高圧バッテリに入出力する電流の値。+が 充電(回生)、-が放電。	
30	高圧バッテリ SOC(高 圧バッテリ残容量)	%	高圧バッテリ残容量 (充電率)。	
31	高圧バッテリモジュー ル1電圧	V	高圧バッテリモジュール1の電圧計測値。	
32	高圧バッテリモジュー ル 1-A 温度	$^{\circ}$ C	高圧バッテリモジュール 1 の温度 (計測点 1)計測値。	
33	高圧バッテリモジュー ル 1-B 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール1の温度(計測点 2)計測値。	
34	高圧バッテリモジュー ル2電圧	V	高圧バッテリモジュール 2 の電圧計測値。	
35	高圧バッテリモジュー ル 2-A 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール2の温度(計測点 1)計測値。	
36	高圧バッテリモジュー ル 2-B 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール2の温度(計測点 2)計測値。	
37	高圧バッテリモジュー ル 3 電圧	V	高圧バッテリモジュール3の電圧計測値。	
38	高圧バッテリモジュー ル 3-A 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール3の温度(計測点 1)計測値。	
39	高圧バッテリモジュー ル 3-B 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール3の温度(計測点 2)計測値。	
40	高圧バッテリモジュー ル4電圧	V	高圧バッテリモジュール 4 の電圧計測値。	
41	高圧バッテリモジュー ル 4-A 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール4の温度(計測点 1)計測値。	
42	高圧バッテリモジュー ル 4-B 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール 4 の温度 (計測点 2)計測値。	
43	高圧バッテリモジュー ル 5 電圧	V	高圧バッテリモジュール5の電圧計測値。	
44	高圧バッテリモジュー ル 5-A 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール5の温度(計測点 1)計測値。	
45	高圧バッテリモジュー ル 5-B 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール5の温度(計測点 2)計測値。	
46	高圧バッテリモジュー ル6電圧	V	高圧バッテリモジュール6の電圧計測値。	
47	高圧バッテリモジュー ル 6-A 温度	$^{\circ}$ C	高圧バッテリモジュール6の温度(計測点1)計測値。	
48	高圧バッテリモジュー ル 6-B 温度	$^{\circ}$ C	高圧バッテリモジュール6の温度(計測点2)計測値。	
49	高圧バッテリモジュー ル7電圧	V	高圧バッテリモジュール7の電圧計測値。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
50	高圧バッテリモジュー ル 7-A 温度	$^{\circ}$ C	高圧バッテリモジュール7の温度(計測点 1)計測値。	
51	高圧バッテリモジュー ル 7-B 温度	$^{\circ}$ C	高圧バッテリモジュール7の温度(計測点 2)計測値。	
52	高圧バッテリモジュー ル 8 電圧	V	高圧バッテリモジュール8の電圧計測値。	
53	高圧バッテリモジュー ル 8-A 温度	$^{\circ}$ C	高圧バッテリモジュール 8 の温度 (計測点 1)計測値。	
54	高圧バッテリモジュー ル 8-B 温度	$^{\circ}$	高圧バッテリモジュール8の温度(計測点2)計測値。	
55	最高セル電圧	V	高圧バッテリモジュール1~8の中で最も 電圧が高いセルの電圧。	
56	最低セル電圧	V	高圧バッテリモジュール1~8の中で最も 電圧が低いセルの電圧。	
57	インバータ温度 (IGBT)	$^{\circ}$	インバータ駆動素子の温度。65 ℃から制限を開始する。	
58	モータコイル温度	$^{\circ}$	モータコイルの温度。120℃から制限を開始する。	
59	モータコア温度	$^{\circ}$ C	モータコアの温度。120℃から制限を開始 する。	
60	インバータ入力 DC 電圧	V	インバータに入力される DC 電圧。	
61	トルク抑制後指令値	Nm	実際のモータ駆動トルク。コントロールユニットトルク指示値をインバータ側でフィルタ処理したもの。	
62	インバータ電流指令値 (ID)	A	駆動電力制御パラメータ D の出力値。	
63	インバータ電流指令値 (IQ)	A	駆動電力制御パラメータ Q の出力値。	
64	インバータ電流フィー ドバック値 (ID)	A	駆動電力制御パラメータ D の出力フィー ドバック値。	
65	インバータ電流フィー ドバック値 (IQ)	A	駆動電力制御パラメータ Q の出力フィードバック値。	
66	インバータ電気角	deg	駆動電力制御検出値。	
67	モータ回転数	rpm	モータ回転数	
68	車載充電器充電電圧	V	車載充電器が出力している DC 電圧。	
69	車載充電器充電電流	A	車載充電器が出力している DC 電流。	
70	充電器有効信号		急速充電器/車載充電器のどちらが有効に なっているかを提示。同時に挿しても先に 挿した方しか有効にならない。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
71	車載充電器入力 AC 電圧	V	車載充電器に入力されている AC 電圧。	
72	急速充電器管理番号		東京電力規定の急送充電シーケンスの バージョン情報。	
73	CHGOB_CABLE	V	車載充電口の結線故障検出回路からEV-コントロールユニットに入力される電圧値。	
74	L1		電力制御パラメータ 1。	
75	L2		電力制御パラメータ 2。	
76	L3		電力制御パラメータ3。	
77	L4		電力制御パラメータ 4。	
78	L5		電力制御パラメータ 5。	
79	L6		電力制御パラメータ 6。	
80	L7		電力制御パラメータ 7。	
81	ブレーキ SW	ON / OFF	ブレーキ SW 信号。 ブレーキペダルを踏むと「ON」になる。	クルーズコントロールシステム無しモデルで、データモニタに"ストップランプSW"と"ブレーキSW"の2項目両方が表示される車両の場合、信号は変化しません。
82	スタータ SW	ON / OFF	スタータ SW 信号。シリンダースイッチを 最奥まで回した状態で「ON」になる。	
83	スタータ信号	ON / OFF	起動指示信号。起動前 (READY 消灯 ) でブレーキ SW が ON、スタータ SW が ON のとき、一定時間「ON」となる。	
84	充電レベル SW	ON / OFF	バッテリロングライフスイッチ信号。バッ テリロングライフスイッチが ON の時に 「ON」になる。	
85	サービスプラグ	あり/なし	サービスプラグのロック状況。ロックする と「あり」となる。(通常は「あり」)	
86	走行システム起動	システム起 動/システ ム未起動	走行可能状態。READY ランプ点灯で「システム起動」となる。	
87	急速充電許可出力	許可/不許可	急速充電器接続時に車両状態に問題がな く、充電可能な状態であれば、「許可」に なる。	
88	車載充電許可出力	許可/不許可	車載充電時に車両状態に問題がなく、充電 可能な状態であれば、「許可」になる。	
89	車載充電器 AUX 電源	ON / OFF	車載充電器が出力する AUX 信号が H のとき「ON」になる。	
90	車載充電器ケーブル接 続	接続/未接続	車載充電ケーブルが正常に接続されている時に「ON」になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
91	急速充電器 AUX 電源	ON / OFF	急速充電器が出力する AUX 信号が H のとき「ON」になる。	
92	急速充電器ケーブル接 続	接続/未接続	急速充電ケーブルが正常に接続されている時に「ON」になる。	
93	急速充電器 READY	ON / NG	急速充電器接続時に充電器の状態が正常で、充電可能な状態であれば、「ON」になる。	
94	急速充電リレー(P)接点 異常	異常/正常	急速充電リレー (P) 接点に異常が発生 ( 溶着 / 溶断 ) した時に「異常」となる。	
95	急速充電リレー(N)接 点異常	異常/正常	急速充電リレー (N) 接点に異常が発生 ( 溶着 / 溶断 ) した時に「異常」となる。	
96	ABS 異常信号	異常/正常	ABS ユニットから出力されるパルスが規 定範囲外のとき「異常」となる。	
97	DCDC コンバータ異常	異常/正常	DCDC コンバータの FAIL 線が異常となったとき「異常」となる。	
98	センサ用電源異常	異常/正常	EV-コントロールユニット内の電源生成回 路が異常となったとき「異常」となる。	
99	車載充電器異常	異常/正常	車載充電器の FAIL 線が異常となったとき 「異常」となる。	
100	INVACK( 通信フォーマット)( △ 5) 異常	異常/正常	走行用インバータとの相互診断パルス線 が規定範囲外となったときに「異常」とな る。	
101	インバータ異常	異常/正常	インバータの FAIL 線が異常となったとき 「異常」となる。	
102	エアコンシステム異常	異常/正常	エアコンインバータから通信で異常が通 知されたとき「異常」となる。	
103	ラジファンリレー出力	ON / OFF	ラジエータファン回転時に「ON」になる。	
104	ウォーターポンプリ レー出力	ON / OFF	ウォータポンプ回転時に「ON」になる。	
105	エアコン起動信号	ON / OFF	エアコンコンプレッサー回転時に「ON」になる。	
106	インバータ電源リレー 出力	ON / OFF	走行用インバータの電源が ON のとき「ON」になる。	
107	ECU セルフシャットリ レー出力	ON / OFF	EV- コントロールユニットの電源が ON のとき「ON」になる。	
108	DCDC コンバータ起動 信号	ON / OFF	DCDC コンバータの起動指示が出ている 時に「ON」になる。	
109	WTR_PUMP 異常	異常/正常	ウォータポンプ故障時に「異常」になる。	
110	サーボ ON 信号	ON / OFF	走行用インバータがモータを駆動できる 状態で「ON」になる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
111	コーションフラグ	発生/正常	インバータ運転状態フラグ出力(コーション)。コーションフラグが出力されると「発生」となる。	
112	エラーフラグ	発生/正常	インバータ運転状態フラグ出力(エラー)。 エラーフラグが出力されると「発生」とな る。	
113	ワーニングフラグ	発生/正常	インバータ運転状態フラグ出力(ワーニング)。ワーニングフラグが出力されると「発生」となる。	
114	エラーモードフラグ	ON / OFF	インバータ運転モードフラグ出力(エラー)。エラーモードフラグが出力されると「ON」となる。	
115	正常運転モードフラグ	ON / OFF	インバータ運転モードフラグ出力(正常)。 正常運転モードの時に「ON」となる。	
116	レディモードフラグ	ON / OFF	インバータ運転モードフラグ出力(レディ)。レディモードの時に「ON」となる。	
117	リセットモードフラグ	ON / OFF	インバータ運転モードフラグ出力(リセット)。リセットモードの時に「ON」となる。	
118	HVDC 過電圧異常	異常/正常	走行用インバータに入力されるDC電圧が 規定よりも高い場合に「異常」になる。	
119	HVDC 低電圧異常	異常/正常	走行用インバータに入力されるDC電圧が 規定よりも低い場合に「異常」になる。	
120	HVDC 電圧センサ故障	異常/正常	走行用インバータのDC電圧検出センサが 故障時に「異常」になる。	
121	U相過電流異常	異常/正常	モータ駆動電流異常出力 (U 相 )。モータ駆 動電流異常発生時に「異常」となる。	
122	W相過電流異常	異常/正常	モータ駆動電流異常出力 (W 相 )。モータ 駆動電流異常発生時に「異常」となる。	
123	U相電流センサ故障	異常/正常	センサ故障時に「異常」となる。	
124	W相電流センサ故障	異常/正常	センサ故障時に「異常」となる。	
125	レゾルバセンサ異常	異常/正常	センサ故障時に「異常」となる。	
126	レゾルバ IC 異常	異常/正常	センサ故障時に「異常」となる。	
127	IGBT トリップ	異常/正常	モータ駆動素子の状態。モータ駆動素子異 常時に「異常」となる。	
128	IPM 異常	異常/正常	モータ駆動素子の状態。モータ駆動素子異 常時に「異常」となる。	
129	14V 電源異常	異常/正常	走行用インバータに供給される補機用 バッテリ電圧が規定値よりも低い場合に 「異常」になる。	
130	ADC 異常	異常/正常	インバータユニットの状態。インバータユニット故障時に「異常」となる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
131	Core 電源異常	異常/正常	インバータユニットの状態。インバータユニット故障時に「異常」となる。	
132	FLASH 異常	異常/正常	インバータユニットの状態。インバータユニット故障時に「異常」となる。	
133	RAM 異常	異常/正常	インバータユニットの状態。インバータユニット故障時に「異常」となる。	
134	割り込み異常	異常/正常	インバータユニットの状態。インバータユニット故障時に「異常」となる。	
135	eTPU 異常	異常/正常	インバータユニットの状態。インバータユニット故障時に「異常」となる。	
136	WDT 異常	異常/正常	インバータユニットの状態。インバータユニット故障時に「異常」となる。	
137	三相パワーライン異常	異常/正常	インバータ制御出力状態。インバータ制御 出力状態に異常があると「異常」となる。	
138	14V 電源トルク制限	制限/正常	インバータに供給される補機用バッテリー(12V鉛)の電圧異常が検出された場合に「制限」になる。	
139	モータロック制限	制限/正常	インバータが駆動するモータの異常が検 出された場合に「制限」になる。	
140	モータコイル温度過熱 制限	制限/正常	モータコイル温度が規定値以上になった 場合に「制限」になる。	
141	モータコア温度過熱制 限	制限/正常	モータコア温度が規定値以上になった場合に「制限」になる。	
142	IGBT 温度過熱制限	制限/正常	インバータ駆動素子温度が規定値以上に なった場合に「制限」になる。	
143	CTRL 温度過熱制限	制限/正常	走行用インバータ本体温度が規定値以上 になった場合に「制限」になる。	
144	CTRL 温度センサ故障	制限/正常	走行用インバータ本体の温度センサが故 障時に「制限」になる。	
145	IGBT 温度センサ故障	制限/正常	インバータ駆動素子温度センサが故障時 に「制限」になる。	
146	モータコイル温度セン サ故障	制限/正常	モータコイル温度センサが故障時に「制限」になる。	
147	モータコア温度センサ 故障	制限/正常	モータコア温度センサが故障時に「制限」になる。	
148	レゾルバ IC 警告	警告/正常	インバータ回転センサの状態。インバータ 回転センサ異常時に「警告」となる。	
149	IG 信号異常	警告/正常	インバータに供給されるイグニッション 信号値が異常時に「警告」となる。	
150	SSRY 異常	警告/正常	インバータの電源リレーが異常時に「警告」となる。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
151	SYSERR 線異常	警告/正常	インバータシステム故障時に「警告」となる。	
152	CAN 異常	警告/正常	CAN 通信異常時に「警告」となる。	
153	EV-ECU 異常	警告/正常	EV-コントロールユニットとの相互診断で 異常を検出した場合に「警告」となる。	
154	パルストルク異常	警告/正常	EV-コントロールユニットとの通信線で異常を検出した場合に「警告」となる。	
155	INVACK(ユニット基板 ) 異常 ( △ 5)	警告/正常	EV-コントロールユニットとの相互診断パルス線の出力ハードが故障したときに「異常」になる。	
156	走行用 PRE リレー出力	ON / OFF	走行モードへ移行する際に、一定時間「ON」になる。	
157	走行用 PRE リレー出力 確認	ON / OFF	走行モード (READY 点灯 ) へ移行する際 に、一定時間「ON」になる。	
158	走行用 P リレー出力	ON / OFF	走行モード (READY 点灯 ) 時に「ON」になる。	
159	走行用 P リレー出力確 認	ON / OFF	走行モード (READY 点灯 ) 時に「ON」になる。	
160	走行用 N リレー出力	ON / OFF	走行モード (READY 点灯 ) 時に「ON」になる。	
161	走行用 N リレー出力確 認	ON / OFF	走行モード (READY 点灯 ) 時に「ON」になる。	
162	車載充電用 P リレー出 力	ON / OFF	車載充電 (インパネ LED 点灯 ) 時に「ON」 になる。	
163	車載充電用 P リレー出 力確認	ON / OFF	車載充電 (インパネ LED 点灯 ) 時に「ON」 になる。	
164	車載充電用 N リレー出 力	ON / OFF	車載充電 (インパネ LED 点灯 ) 時に「ON」 になる。	
165	車載充電用 N リレー出 力確認	ON / OFF	車載充電 (インパネ LED 点灯 ) 時に「ON」 になる。	
166	急速充電用 P リレー出力	ON / OFF	急速充電開始時に「ON」になる。	
167	急速充電用 P リレー出 力確認	ON / OFF	急速充電開始時に「ON」になる。	
168	急速充電用 N リレー出力	ON / OFF	急速充電開始時に「ON」になる。	
169	急速充電用 N リレー出 力確認	ON / OFF	急速充電開始時に「ON」になる。	
170	車速表示	mile/h km/h	車速表示の設定値。	
171	ウェルカムサウンド	OFF / ON	ウェルカムサウンドの設定値。	

No	表示項目	計測単位	内容	備考
172	充電レベル	80% /満充 電	充電レベルの設定値。	
173	ラインモードフラグ	ラインモー ド / 通 常 モード	工場出荷検査用モードの設定値。 通常は「通常モード」。	

### 通信エラーコード一覧

#### エラーメッセージ:

- インタフェースボックスが接続されていません。
- 通信エラーが発生しました。
- アプリケーションの実行に必要なメモリが確保できませんでした。
- 通信ポートのオープンに失敗しました。
- 通信ポートへの書込みに失敗しました。
- 通信ポートからの読込みに失敗しました。
- インタフェースボックスとの通信でエラーが発生しました。
- 通信初期化に失敗しました。
- インタフェースボックスが見つかりません。
- 有効なインタフェースボックスが接続されていません。
- サポートしていない車両です。
- 選択されたプリンタでは印刷を実行できません。他のプリンタを選択して再度実行してください。

エラーコード	対処方法
4007 4112	USB ケーブルの接続状態を確認してください。 (USB ケーブルが断線している可能性もあります)
4008 4015 4112	故障診断を行なおうとするシステムのコントロールモジュールからデータが送られてきません。イグニッションスイッチが OFF になっていないか確認してください。また、SDI の電源が ON になっているか確認してください。
4100	パソコンのメモリが不足しています。他に起動中のアプリケーションがあれば終了させてください。
4108 4109 4110 4112	現在使用している USB ポートに異常があります。パソコンに他の USB ポートがあればそちらを使用してください。USB ポートが一つしかない場合、USB ポートが故障している可能性があります。 USB ポートを点検してください。
4111 4112 4113 4114 4115 4116 4117 4118	USB ケーブル、ダイアグケーブルにノイズが入り込んで、通信が異常となっている可能性があります。ノイズの原因を取り除いてください。
4119 4200	USB デバイスドライバーがインストールされていません。最新の PC アプリを再インストールしてください。
4201 4202	故障診断を行なおうとする車両が SSMIII をサポートしていません。また PC アプリの一部のデータが異常になった可能性があります。最新の PC アプリを再インストールしてください。
4208	選択されたプリンターでは印刷できません。他のプリンターを選択して再度実行してください。また、プリンターケーブルの接続や設定も確認してください。

※上記表中以外のエラーコードが表示された場合は、PC の再起動および車両のイグニッションスイッチを OFF  $\rightarrow$  ON してから、再度 SSMIII (PC アプリ) を起動してください。

#### エラーメッセージ:

• ソフトウェアバージョンが一致していません。通信を終了します。

エラーコード	対処方法
無し	故障診断を行なおうとする車両が SSMIII をサポートしていません。また PC アプリの一部のデータが異常になった可能性があります。最新の PC アプリを再インストールしてください。

#### エラーメッセージ:

・初期化通信不能 初期化通信を終了します。

エラーコー	ド対処方法
無し	<ul><li>・個別システムの選択メニュー項目で、故障診断を行なう車両に装着されていないシステムを選択していないか確認してください。</li><li>・エラーコード 4112 と同じ対処方法を行ってください。</li></ul>

# コントロールユニットリプログラムエラーコード一覧 コントロールユニットリプログラムエラーコード一覧 (PC 表示)

### パススルー <SSMIII>& リモート <NSM>

エラー	エラーメッセージ	発生原因	対処
コード 102	ファイルのオープンに失敗しました。	PAK ファイルのオープンに失敗 した場合。	1)PAKファイルが正しいか確認する。 2)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。 3)Windows を再起動する。 4)SSMIII(PC アプリ)を再インストールする。
103	ファイルの読込みに失敗しました。	PAK ファイルからの読み込みに 失敗した場合。	<ol> <li>1)PAKファイルが正しいか確認する。</li> <li>2)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。</li> <li>3)Windows を再起動する。</li> <li>4)SSMIII(PC アプリ)を再インストールする。</li> </ol>
104	ファイルの書き込みに失敗しました。	PAK ファイルへの書込みに失敗 した場合。	1)選択ドライブに充分な空があるか確認する。 2)PAKファイルが正しいか確認する。 3)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。 4)Windows を再起動する。 5)SSMIII(PC アプリ)を再インストールする。
105	ファイルのフォーマットが異な ります。正しいファイルを指定し てください。	PAK ファイルの構造が異常である場合。	1)PAKファイルが正しいか確認する。 2)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。 3)Windows を再起動する。 4)SSMIII(PC アプリ ) を再インストールする。
107	ファイル暗号化中にエラーが発 生しました。	ファイルの暗号化に失敗した場合。	<ol> <li>1) その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。</li> <li>2) Windows を再起動する。</li> <li>3) SSMIII(PC アプリ)を再インストールする。</li> </ol>
108	ファイル復号化中にエラーが発生しました。キーワードを確認してください。	ファイルの複合化に失敗した場合。	1) 複合化キーワードを確認する。 2)PAKファイルが正しいか確認す る。
1000	プログラムに必要なメモリの確 保に失敗しました。	パソコンのメモリに充分な空き がなかった場合。	1)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。 2)Windows を再起動する。

エラー コード	エラーメッセージ	発生原因	対処	
1001	有効なドキュメントがオープン されていません。	PAK ファイルの構造が異常である場合。	PAK ファイルが正しいか確認する。	1

#### パススルー <SSMIII>

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4000	スレッドの起動に失敗しました。	メモリ不足、平行して起動しているアプリケーションが多すぎる 等が考えられる。	1)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。 2)Windows を再起動する。
4001	パススルーデバイスが見つかり ません。	レジストリに登録されたパスス ルーデバイスが見つからない。	SSMIII(PCアプリ)を再インストールする。
4004	無効な ECM メッセージを受信しました。	コントロールユニットから受信 したメッセージの構造が不正な 場合。	<ol> <li>1)IGSW の ON を確認する。</li> <li>2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>3)USB ケーブルの接続を確認する。</li> </ol>
4007	ECM からの応答がありません。 応答がない原因を調査してくだ さい。	1)コントロールユニットからの応答がない場合。 2)書換え時のコネクタ接続不良の際に表示される。ハーネス不良の可能性もある。	1)IGSW の ON を確認する。 2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 3)車両ハーネスを点検する。 4)上記 1)2)3)で NG の時、コントロールユニットを交換する。
4009	ECMより無効な識別情報(SSMID) を受信しました。	コントロールユニットから受信 した SSMID が異常な場合。	<ol> <li>1)IGSW の ON を確認する。</li> <li>2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>3)USB ケーブルの接続を確認する。</li> </ol>
4011	エンジンが回転しているときは 書換えを行なうことはできませ ん。 エンジンを切ってはじめからや り直してください。	リプログラム条件チェックでエンジン回転数を検出した場合。	エンジンを停止する。
4013	テストモード端子が接続されていません。 テストモード端子を接続しはじめからやり直してください。	リプログラム条件チェックでデ リバリモードヒューズ (テスト モード端子) 未接続を検出した場 合。	デリバリモードヒューズ (テスト モード端子) の接続を確認する。
4014	リードメモリ端子が接続されていません。 リードメモリ端子を接続しはじめからやり直してください。	リプログラム条件チェックで リードメモリ端子未接続を検出 した場合。	リードメモリ端子の接続を確認 する。
4015	イグニッションスイッチがOFFに なっています。 はじめからやり直してください。	リプログラム条件チェックで IGSWのOFFを検出した場合。	IGSW の ON を確認する。

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4016	シフトレンジが P レンジになって いません。 シフトレンジを P レンジにしては じめからやり直してください。	リプログラム条件チェックでセレクトレバーが P レンジ以外であることを検出した場合。	セレクトレバーが P レンジである ことを確認する。
4018	バッテリ電圧が規定範囲外です。 書換えを行なうことはできませ ん。	リプログラム条件チェックで バッテリ電圧が規定範囲外であ ることを検出した場合。(規定範 囲:10V~14V)	1)車両のバッテリを新品に交換するか、またはバッテリを充電する。ただし充電中のリプログラムは厳禁。 2) 机上リプログラムの場合、インバータの発生電圧を規定範囲内に調整する。
4019	ECM フラッシュROM が書込み許可状態ではありません。 書換えを終了します。	リプログラム条件チェックでコントロールユニットのフラッシュ ROM が書込み許可でない状態を検出した場合。	IGSW を OFF して再度最初から実 行する。
4021	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールソフト転送後の チェック SUM でエラーを検出し た場合。(コントロールソフトの 転送失敗)	1)PAKファイルが正しいか確認する。 2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 3)USB ケーブルの接続を確認する。 4)IGSW を OFF して再度最初から実行する。
4022	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	アプリケーションソフト転送後 のチェック SUM でエラーを検出 した場合。(アプリケーションソ フトの転送失敗)	1)PAKファイルが正しいか確認する。 2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 3)USB ケーブルの接続を確認する。 4)IGSW を OFF して再度最初から実行する。
4023	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールソフト転送中にエ ラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4024	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	アプリケーションソフト転送中 にエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4025	有効な書換え後識別情報を持った ECM ではありません。 書換えが正常に終了していない可能性があります。	リプログラム後の ROMID が期待 した ROMID でなかった場合。	PAK ファイルが正しいか確認する。

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4028	既に最新バージョンになっています。	すでにリプログラム実行済みの コントロールユニットに対して リプログラムを再実行しようと した場合。(コントロールユニッ トが最新版になっている場合)	リプログラム作業不要。
4029	書換え対象 ECM ではありません。	PAK ファイルに登録されていな いコントロールユニットに対し てリプログラムを実行した場合。 (対象コントロールユニットでは ない)	1)PAKファイルが正しいか確認する。 2)コントロールユニットが対象コントロールユニットか確認する。
4030	ECM フラッシュROM の消去ができません。 書換えを終了します。	コントロールユニットのフラッシュROMの消去に失敗した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4031	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットの再起動 (リセット) に失敗した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4032	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (StartCommunication) でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4033	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (AccessTiming Parameter) でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4034	作業者の認証に失敗しました。 書換えを終了します。	リプログラム実行前のセキュリティ認証でエラーが発生した場合。	1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認する。 3)IGSW を OFF して再度最初から実行する。
4035	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	リプログラム条件チェックの通信でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4036	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (RequestDownload) でエラーが発 生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4037	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (StartDiagnostic Session) でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4040	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (TransferData)でエラーが発生した 場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4041	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (CheckSUM) でエラーが発生した 場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4042	メモリクリアを実行することが できませんでした。	コントロールユニットとの通信(メモリクリア)でエラーが発生した場合。 IGSW を素早く操作すると、このエラーが発生する場合がある。 (IGSW を OFF 後、3 秒待つ)	1) 以下の手順を行う。 (1)IGSW を 3 秒間 OFF した後、 3 秒間 ON する。 (2)SSMIII でメモリクリアを実行する。 (3)IGSW を 3 秒間 OFF する。 リプログラムが再開すれば OK。 2)USBケーブルの接続を確認する。
4043	ECM フラッシュROM の消去ができません。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (EraseFlash) でエラーが発生した 場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4045	車両が動いているときは書換え を行なうことはできません。 車両を停止させはじめからやり 直してください。	リプログラム条件チェックで車 速を検出した場合。	車両を停止させる (車速 =0)。
4046	パススルーデバイスエラーが発 生しました。	パススルーデバイスエラーから エラーが報告された場合。	1)データリンクコネクタを再接続 して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認す る。

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4046:7	Cannot open communication port	SDI が未接続の場合。	1)IGSW の ON を確認する。 2)SDI の電源 ON を確認する。 3)データリンクコネクタを再接続 して再度実行する。 4)USB ケーブルの接続を確認する。
4047	書込み電圧が規格下限値を超えました。 書換えを終了します。	書込み用電圧Vppが規定を下回った場合。 ハーネス不良の可能性もある。	1) 車両側のハーネスを点検する。 2) コントロールユニットを交換する。
4048	書込み電圧が規格上限値を超えました。 書換えを終了します。	書込み用電圧 Vpp が規定を上回った場合。	1) 車両側のハーネスを点検する。 2) コントロールユニットを交換する。
4049	書込み電圧が規格範囲外です。 書換えを終了します。	書込み用電圧Vppが規定外となった場合。 ハーネス不良の可能性もある。	1) 車両側のハーネスを点検する。 2) コントロールユニットを交換する。
4053	書込み電圧の印加ができません。 書換えを終了します。	書込み用電圧Vppの印加に失敗した場合。	1)データリンクコネクタを再接続 して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認す る。
4054	現在のバージョンでサポートしているデバイスが見つかりません。 書き換えを終了します。	レジストリに登録されたパスス ルーデバイスが見つからない場 合。	SSMIII(PCアプリ)を再インストールする。
4055	ブートモードへのエントリが失 敗しました。	コントロールユニットのリプログラムモードへの移行失敗。	<ol> <li>1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>2)USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>3)IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4056	通信エラーが発生しました。	通信エラー。	1)データリンクコネクタを再接続 して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認す る。
4057	サブマイコンは既に最新バー ジョンになっています。	メイン・サブ同時書換えでサブが 最新版になっている場合。	リプログラム作業不要。
4058	メインマイコンは既に最新バー ジョンになっています。	メイン・サブ同時書換えでメイン が最新版になっている場合。	リプログラム作業不要。
4059	サブ ECM からの応答がありません。	メイン・サブ同時書換えでサブから応答がないとき。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4060	ECM からの応答がありません。	メイン・サブ同時書換えでメイン から応答がないとき。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4061	サブマイコンは書換え対象 ECM ではありません。	メイン・サブ同時書換えでサブコ ントロールユニットが対象外の とき。	リプログラム作業不要。
4062	書換えは実施しません。	リプログラム対象コントロール ユニットがない場合。	リプログラム作業不要。
4063	デリバリモードコネクタが接続 されていません。 デリバリモードコネクタを接続 しはじめからやり直してくださ い。	デリバリモードヒューズ (テスト モード端子) 未接続時。	デリバリモードヒューズ (テスト モード端子) の接続を確認する。
4064	この車両では自動選択できません。 マニュアルで選択して下さい	マニュアル選択データに対して 自動選択が選択された場合。	マニュアル選択を選択してリプログラムを行う。
4065	選択した部番/ROMIDの車両では ありません。 再度選択して下さい。	マニュアル選択でのリプログラム時、選択した部品番号・ROM ID が車両と一致しない場合に発生 する。	再度マニュアル選択で書換え対 象を選択してリプログラムを行 う。
4066	セッションモートが異常です。IG OFF してはじめからやり直してく ださい。	セッションモードがデフォルト セッションのため異常。 ・拡張セッションへ切替後、デ フォルトセッションであった場 合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4067	セッションモートが異常です。IG OFF してはじめからやり直してく ださい。	セッションモードがプログラミングセッションのため異常。 ・初回通信時、プログラミングセッションであった場合。 ・拡張セッションへ切替後、プログラミングセッションであった場合。 場合。	,
4068	セッションモートが異常です。IG OFF してはじめからやり直してく ださい。	セッションモードが拡張セッションのため異常。 ・初回通信時、拡張セッションの 場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4100	書込みコントロールソフトの バージョンコードが異常です。	コントロールユニットのコント ロールソフトのバージョンが正 しくない場合。	PAK ファイルが正しいか確認する。

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4101	フラッシュ書換えエラーが発生しました。	コントロールユニットの書換え でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4102	ボーレートの設定ができません。	コントロールユニットで規定外 のボーレートがコントロールユ ニットから指定された場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4103	許容書き込み回数を超えています。	コントロールユニットの書き換 え制限回数をオーバーした場合。	コントロールユニットを交換す る。
4104	書き換え電圧の範囲を満足していません。 OBD コネクタを差し直して、再トライして下さい。	コントロールユニットに入力される書込み用電圧Vppが規定範囲外となった場合(コントロールユニット側が判定)。 ハーネス不良の可能性もある。	1) ケーブル・コネクタの接触不良 の可能性があるため差し替えて 再実行、またはケーブルを交換す る。 2) 車両ハーネスを点検する。
4105	書き込みコントロールソフトが 異常です。	コントロールユニットのコント ロールソフトが正しくない場合。	PAK ファイルが正しいか確認する。
4106	書き換えエンジン制御ソフトが 異常です。	エンジン制御ソフトが正しくない場合。	PAK ファイルが正しいか確認する。
4107	通信エラーが発生しました。	コントロールユニットとの通信 エラー。	IGSW を OFF して再度最初から実 行する。
4108	書込み電圧が規格下限値を超えました。 書換えを終了します。	通信エラー。	IGSW を OFF して再度最初から実 行する。
4150	"IG ON?"、" エンスト中 ?" 再度トライします。	コントロールユニットの書き換え要求エラー。 コントロールユニットが書き換えを拒否。 エンジンが掛かっている場合または IGSW が OFF の場合。	1) 作業手順に準拠すること。 (1) エンジンは停止する。 (2)IGSW は ON にする。 2) 上記 1) で解決しない場合、コントロールユニットを交換する。
4152	書き換え要求に対して ECM からの応答がありません。	コントロールユニットの書き換え要求応答なしエラー。 このエラーは、一度通信ができた後にしか表示されない。 書き換え途中に接触不良等の断線モードに入った可能性が大きい。 ハーネス不良の可能性もある。	1)データリンクコネクタを再接続 して再度実行する。 2)車両ハーネスを点検する。

エラー	エラーメッセージ	発生原因	対処
コード 4153	ECM からの応答がありません。	コントロールユニットの応答なしエラー。	<ol> <li>1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>2)USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>3)車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4155	書き込み電圧が正常ではありません。 コネクタは OK ですか? 確認終了後 OK をクリックして下さい。 Vpp 印加要求コード送信に戻ります	コントロールユニットに入力される書込み用電圧 Vpp の NG 報告(コントロールユニット側が判定)。 書き込み電圧が正常でない場合に表示。 ハーネス不良の可能性もある。	1) ケーブル・コネクタの接触不良 の可能性があるため差し替えて 再実行、またはケーブルを交換す る。 2) 上記で NG の場合、コントロー ルユニットを交換する。
4157	フラッシュメモリエラーコード を受信しました。	コントロールユニット通信エラー。 コントロールユニットが書き換え NG 判定。 コントロールユニットで書込みエラーが発生した場合。	コントロールユニットを交換する。(コントロールユニット不良)
4401	書込みエラーが発生しました。 再度書換えを実行しますか?	書き換え時エラー後のリトライ確認。	1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認する。 3)PAKファイルが正しいか確認する。 4)IGSW を OFF して再度最初から実行する。
4402	ベリファイエラーが発生しました。 再度書換えを実行しますか?	ベリファイエラー後のリトライ 確認。	1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認する。 3)PAKファイルが正しいか確認する。 4)IGSW を OFF して再度最初から実行する。
4403	IG OFF して初めからやりなおしてください。 このエラーを繰り返す場合、CAN 異常の可能性があります。	机上リプログラムでは無いにもかかわらず、「ユニット単体のリプロですか?」のメッセージが表示され、"No"を押した場合。(車両でのリプロの場合は、通常、「ユニット単体のリプロですか?」のメッセージは表示されない)	1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認する。 3)IGSW を OFF して再度最初から実行する。
4404	セッションモード変更に失敗しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Diagnostic Session Control) でエ ラーが発生した場合。	<ol> <li>1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>2)USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>3)IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>4)車両ハーネスを点検する。</li> </ol>

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4405	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Control DTC Setting) でがエラー が発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4406	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Communication Control) でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4407	作業者の認証に失敗しました。 書換えを終了します。	リプログラム実行前のセキュリティ認証でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4408	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Request Download) でエラーが発 生した場合。	<ol> <li>1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>2)USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>3)IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>4)車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4409	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	プログラム転送中にエラーが発 生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4411	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Request Transfer Exit) でエラーが 発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4412	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	プログラム転送後のチェック SUMでエラーを検出した場合。または、要求に対しての応答が無い場合。	1)PAKファイルが正しいか確認する。 2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 3)USB ケーブルの接続を確認する。 4)IGSW を OFF して再度最初から実行する。
4413	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Request Download) でエラーが発 生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4414	ECM フラッシュROM の消去ができません。 書換えを終了します。	コントロールユニットのフラッシュROMの消去に失敗した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4415	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	プログラム転送中にエラーが発 生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4416	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Request Transfer Exit) でエラーが 発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4417	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	プログラム転送後のチェック SUMでエラーを検出した場合。または、要求に対しての応答が無い場合。	1)PAKファイルが正しいか確認する。 2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 3)USBケーブルの接続を確認する。 4)IGSWをOFFして再度最初から実行する。

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4418	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Request Upload) でエラーが発生 した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4419	通信エラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (ROM 読み出し)でエラーが発生 した場合。または、ベリファイで エラーを検出した場合。	<ol> <li>1)PAKファイルが正しいか確認する。</li> <li>2)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>3)USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>4)IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4420	書込みエラーが発生しました。 書換えを終了します。	コントロールユニットとの通信 (Request Transfer Exit) でエラーが 発生した場合。 (ROM 読み出し)	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4421	メモリクリアを実行することが できませんでした。	コントロールユニットとの通信 ( メモリクリア)でエラーが発生し た場合。	1) 以下の手順を行う。 (1)IGSW を 3 秒間 OFF した後、 3 秒間 ON する。 (2)SSMIII でメモリクリアを実 行する。 (3)IGSW を 3 秒間 OFF する。 2)USB ケーブルの接続を確認する。
4422	メモリクリアを実行することが できませんでした。	統合ユニット、ABS との通信 (メモリクリア) でエラーが発生した場合。	1) 以下の手順を行う。 (1)IGSW を 3 秒間 OFF した後、 3 秒間 ON する。 (2)SSMIII でメモリクリアを実 行する。 (3)IGSW を 3 秒間 OFF する。 2)USB ケーブルの接続を確認する。
4423	メモリクリアを実行することが できませんでした。	統合ユニットとの通信 (Read DTC) でエラーが発生した場合。または、取得した DTC 数が 1 つ以上ある場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>

#### コントロールユニットリプログラムエラーコード一覧

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
4425	メモリクリアを実行することが できませんでした。	ABS との通信 (Start Diagnostic Session) でエラーが発生した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> <li>車両ハーネスを点検する。</li> </ol>
4501	書込みデータが異常です。 再度書換えを実行しますか?	チェック SUM でエラーを検出した場合。	<ol> <li>データリンクコネクタを再接続して再度実行する。</li> <li>USB ケーブルの接続を確認する。</li> <li>PAKファイルが正しいか確認する。</li> <li>IGSW を OFF して再度最初から実行する。</li> </ol>
4517	ベリファイエラーが発生しました。 再度書換えを実行しますか?	ベリファイでエラーを検出した場合。	1)データリンクコネクタを再接続して再度実行する。 2)USB ケーブルの接続を確認する。 3)PAKファイルが正しいか確認する。 4)IGSW を OFF して再度最初から実行する。

#### リモート <NSM>

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処		
3000	シリアルポートのオープンに失 敗しました。	カートリッジ書込みに使用する RS-232C 通信ポートのオープンに 失敗した場合。	1)PC ケーブル接続 COM ポート番号がオプションで指定した番号と同じであるかを確認する。 2)PC ケーブルの接続を確認する。 3)NSM の電源が ON であるか確認する。 4)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する (特に COM ポートを使用するアプリケーション)		
3001	シリアルポートの書込みに失敗しました。	カートリッジ書込みに使用する RS-232C 通信ポートへの送信に失 敗した場合。	1)PC ケーブル接続 COM ポート番号がオプションで指定した番号と同じであるかを確認する。 2)PC ケーブルの接続を確認する。 3)NSM の電源が ON であるか確認する。 4)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する (特に COM ポートを使用するアプリケーション)		

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
3002	シリアルポートの読込みに失敗しました。	カートリッジ書込みに使用する RS-232C 通信ポートからの受信に 失敗した場合。	1)PC ケーブル接続 COM ポート番号がオプションで指定した番号と同じであるかを確認する。 2)PC ケーブルの接続を確認する。 3)NSM の電源が ON であるか確認する。 4)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する (特に COM ポートを使用するアプリケーション)
3012	ユーザーの要求により処理を中 止しました。	カートリッジ書き換え中にユー ザーが NSM の NO キーを押して 書き換え作業をキャンセルした 場合。	必要に応じて再度ダウンロード (リモート)を実行する。
3022	カートリッジの消去に失敗しました。	カートリッジフラッシュ ROM 消去に失敗した場合。	1)PC ケーブルの接続を確認する。 2)SSMIII(PC アプリ ) を再インストールする。 3) カートリッジを交換する。
3023	カートリッジの書込みに失敗しました。	カートリッジフラッシュ ROM へのデータ書込みに失敗した場合。	<ol> <li>1)PC ケーブルの接続を確認する。</li> <li>2)SSMIII(PC アプリ ) を再インストールする。</li> <li>3)カートリッジを交換する。</li> </ol>
3024	カートリッジデータの読込みに 失敗しました。	カートリッジのデータ読み込み に失敗した場合。	1)PC ケーブルの接続を確認する。 2)SSMIII(PC アプリ ) を再インス トールする。
3025	NSM との通信でタイムアウトが 発生しました。	カートリッジ書き換え通信でタ イムアウトが発生した場合。	1)PC ケーブルの接続を確認する。 2)その他の実行中アプリケーションをすべて終了する。 3)Windows を再起動する。 4)SSMIII(PC アプリ ) を再インストールする。
3031	カートリッジデータの書換えを 中止しました。 カートリッジデータは無効です。	カートリッジ書き換え中でキャンセルされた場合。	再度ダウンロード (リモート)を 実行する。
3032	カートリッジデータ書換え中に エラーが発生しました。 カートリッジデータは無効です。	カートリッジ書き換え中でエラー終了した場合。	再度ダウンロード (リモート)を 実行する。
3054	カートリッジデータの書換えに 失敗しました。 カートリッジデータは無効です。	カートリッジ書換え後のチェック SUM でエラーとなった場合。	1)PC ケーブルの接続を確認する 2)カートリッジを交換する。

## コントロールユニットリプログラムエラーコード一覧(NSM LCD 表示)

#### リモート <NSM>

エラーコード	エラーメッセージ	発生原因	対処
	コマンドエラー発生!	PC-NSM 間で未定義のコマンドが使用された場合。	1)RS232C ケーブルの接続を確認 する。 2)PC 側のエラーメッセージでの 対象方法に従う。
_	フォーマットエラー発生!	PC-NSM 間で使用されるコマンド パラメータに誤りがあった場合。	<ul><li>1)RS232C ケーブルの接続を確認する。</li><li>2)PC 側のエラーメッセージでの対象方法に従う。</li></ul>
_	書込み時エラー発生!	カートリッジ内フラッシュメモ リの書換えに失敗した場合。	ライトプロテクト付カートリッ ジの場合、書込み可能状態になっ ているか確認する。
_	消去時エラー発生!	カートリッジ内フラッシュメモ リの消去に失敗した場合。	ライトプロテクト付カートリッ ジの場合、書込み可能状態になっ ているか確認する。
	読込み時エラー発生!	カートリッジ内データの読み込 みに失敗した場合。	RS232C ケーブルの接続を確認する。
	通信エラー発生!	シリアル通信エラーまたはコマ ンドタイムアウトが発生した場 合。	1)RS232C ケーブルの接続を確認 する。 2)PC 側のエラーメッセージでの 対象方法に従う。
	エラー発生!	上記に該当しないエラーが PC 側で発生した場合。	PC 側のエラーメッセージでの対象方法に従う。

## SSMIII の改訂履歴

リリース	PC アプリ バージョン	CF アプリ バージョ ン	主な改訂内容	備考
2014年10月	Ver.1.43.57.5 Ver.1.43.57.6	Ver.1.15.0	16MY 小型系追加車種・アライアンス車 年改対応	
			コンプレッション計測機能追加	115~117ページ (2014年10 月バージョンでの記載ペー ジ)
			DST-i コントロールユニット-アナログ同時計測(SDR)機能追加	245 ~ 249 ページ (2014 年 10 月バージョンでの記載ペー ジ)
			DST-i コントロールユニット- アナログ同時計測機能追加	279 ~ 283 ページ (2014 年 10 月バージョンでの記載ペー ジ)
2015年1月	Ver.1.44.58.5 Ver.1.44.58.6	Ver.1.16.0	16MY 小型系追加車種・アライアンス車 年改対応	
2015年4月	Ver.1.45.59.5 Ver.1.45.59.6	Ver.1.17.0	17MY 小型系追加車種・アライアンス車 年改対応	
			パワーステアリングシステム - アシスト MAP 選択情報クリア機能追加	204 ~ 205 ページ(2015 年 4 月 バージョンでの記載ページ)
2015年7月	Ver.1.46.60.5 Ver.1.46.60.6	Ver.1.18.0	17MY 小型系追加車種・アライアンス車 年改対応	

## お問い合わせについて

#### SDI 本体関連

SDI 本体に関する故障・修理等については、下記 日立オートモーティブシステムズ(株)商品品質保証部へお問い合わせください。

SDI本体を修理に出す際は、次ページを参照の上、ご利用してください。

#### 故障・修理に関するお問い合わせ窓口

(株)日立オートパーツ&サービス	〒 135-0062 東京都江東区東雲2-10-14(株)日立オートパーツ&サービス
カスタマーサポートセンター	東雲事業所 カスタマーサポートセンタ
	TEL: 03-3527-6323 FAX: 03-3527-6324

受付経路:スバル各販社様又は株式会社SUBARU様→日立APSカスタマーサポートセンタ窓口

### 日立オートパーツ&サービス(株)カスタマーサポートセンタ行き(FAX 03-3527-6324)

- ①修理依頼の際は、必ず本書を作成(一品一様)のうえ、コピーを上記宛先までFAXしてください。 なお、正確な現象を把握するために不具合症状はできる限り詳しく記載してください。
- ②修理依頼書の原本は修理依頼品に添えて下記送り先まで送付してください。

<修理依頼品送り先>

〒312-8503 茨城県ひたちなか市高場2520 TEL:029-276-9515

否

(株)日立オートモティブシステムズエンジニアリング

10号棟荷受 飯塚様

見積

(該当に〇印)

<修理に関する問い合わせ窓口>
〒135-0062 東京都江東区東雲2-10-14 TEL:03-3527-6323
(株)日立オートパーツ&サービス 東雲事業所
カスタマーサポートセンタ

受付No.

受付日

## 修理依頼書(兼見積依頼書)

【太枠内の記載をお願いします。】

要

機種番号	機種番号		- 不具合症状 (どのような時、どのような不具合であったか)		<b>ニか</b> )	修理依頼元	:				
製造番号											
使用開始日	短用開始日 年 月		B	<u></u>				 住所:			
故障発生日	£	年 月	日					 担当:			
修理依頼日	ŕ	年 月	日					TEL:			
修理品 発送日	4	<b>手</b> 月	日					FAX:			
7372					問診内容						
発生頻	度	□常時再現		々再現	口[]日に1回再	現	不明	□その他[			]
(必須)該	当に区	口再現せず	※再現	見せずになっ	ったきっかけ[			]			
		車名	) 1			エンジ	ン型式				
車両情	報	車両型	过			年	式				
		シャーシ	∕No.			走行	<b></b> 距離				
その他要望	<u>事項</u>										
0 / <del>5 m</del> = 1											
〇修理区分											
過日修理係	過日修理依頼いただきました現品の状況についてご回答いたします。 回答日 年 月 日							日			
								回答元			
							,				
		日立:	オートル	パーツ&	サービス(株	)					
		<del>-</del>	-								

### DST-i 本体関連

DST-i 本体に関する購入・故障・修理等については、下記全国各地の株式会社デンソーの各拠点へお問い合わせください。

### 株式会社デンソー拠点一覧

DN 北海道	本社	TEL: 011-614-3514	FAX: 011-614-3522
	釧路支店	TEL: 0154-52-5801	FAX: 0154-52-5803
	帯広支店	TEL: 0155-33-4191	FAX: 0155-36-7386
DN 東北	本社	TEL:022-238-9901、022-238-9939	FAX:022-238-9923
	青森支店	TEL:017-761-1182	FAX:017-761-1174
	山形支店	TEL:023-645-3811	FAX:023-645-3818
	秋田支店	TEL:018-863-3355	FAX:018-865-3149
DN 東京	本社	TEL:03-5478-7745	FAX:03-5478-7894
	横浜支社	TEL:045-471-0698	FAX:045-470-1160
	新潟支社	TEL:025-282-1171	FAX:025-282-1176
	栃木支社	TEL:028-657-7889	FAX:028-657-7847
	千葉支社	TEL:043-299-1562	FAX:043-299-1568
	多摩支店	TEL:042-646-7813	FAX:042-646-7765
	埼玉支社	TEL:048-840-1405、048-840-1423	FAX:048-840-1403
	茨城支社	TEL:029-304-0248	FAX:029-304-0534
DN 中部	本社	TEL:052-619-2094、052-619-2061	FAX:052-619-1425
	三重支社	TEL:059-227-3261	FAX:059-225-2512
	北陸支社	TEL:076-443-1319	FAX:076-443-1320
	長野支社	TEL:026-282-7320	FAX:026-282-1160
	静岡支社	TEL:054-267-0789	FAX:054-267-0780
DN 関西	本社	TEL:06-6355-3709	FAX:06-6355-3899
	神戸支社	TEL:078-262-8717	FAX:078-262-8720
	京都支社	TEL:075-662-8817	FAX:075-662-2939
DN 中国	本社	TEL:082-242-5202	FAX:082-242-5233
	岡山支社	TEL:086-262-9916	FAX:086-262-9923
DN 四国	本社	TEL:087-821-9744	FAX:087-821-9748
DN 九州	本社	TEL:092-412-1180、092-412-1159	FAX:092-412-1191
	熊本支社	TEL:096-328-8715、096-328-8714、096-328-8713	FAX:096-328-3229
DS 沖縄	本社	TEL:098-877-4655	FAX:098-877-1173

#### パナソニック製 PC

パナソニック製パソコンに関する故障・修理およびパソコン用バッテリーパックの購入については、下記窓口へお問い合わせください。

パナソニック サポートデスク

TEL: 0120-05-8729

#### SSMIII ソフトウェア

SSMIII のソフトウェアに関するお問い合わせは、株式会社SUBARUスバルカスタマーセンターサービス技術部 故障診断機担当までご連絡ください。

## 部品番号一覧

No.	部品番号	名称	備考
1	1B021XJ0	SSMIII キット	国内向け ※現在、購入できません。
2	1B061XZ0	SSMIII キャリングケース	SSMIII キットの内容品
3	1B040XZ0	SDI (SUBARU DIAGNOSTIC INTERFACE)	SSMIII キットの内容品 ※現在、購入できません。
4	1B050XZ0	ダイアグケーブル	SSMIII キットの内容品
5	1B070XZ0	USB ケーブル	SSMIII キットの内容品
6	1B082XZ0	CF カード	SSMIII のオプション部品
7	1B110XZ0	リモートボックス	SSMIII のオプション部品
8	1B120XZ0	パルス/アナログキット	SSMIII のオプション部品
9	1B130XJ0	CF カードアダプタ	SSMIII のオプション部品
10	1B160XJ0	SDI 用無線 LAN カード	SSMIII のオプション部品
11	1B170XJ0	CF18 用無線 LAN カード	SSMIII のオプション部品
12	1B250XJ0	信号取り出しハーネス	SSMIII のオプション部品
13	95171-01061	DST-i セット(LCD なし、Bluetooth なし)	国内向け
14	95171-01072	DST-i セット(LCD なし、Bluetooth 付き)	国内向け
15	95171-12830	データリンクケーブル (1.5m)	DST-i セット(LCD なし)の内容品
16	95171-10110	USB ケーブル	DST-i セットの内容品
17	95171-12840	データリンクケーブル (3.0m)	DST-i セット(LCD 付き)の内容品
18	95171-31040	収納ケース	DST-i のオプション部品
19	95171-01111	DTS-i セット (LCD 付き、Bluetooth なし、オシロスコープ付き)	国内向け
20	95171-01121	DST-i セット (LCD 付き、Bluetooth 付き、オシロスコープ付き)	国内向け
21	95171-12640	オシロスコーププローブ (1ch 分)	DST-i セット(LCD 付き)の内容品
22	95171-12710	グランドケーブル	DST-i セット(LCD 付き)の内容品
23	95171-12740	4ch アダプタセット	DST-i のオプション部品
24	95502-10600	オシロスコーププローブヘッド(ワニロタイプ)	DST-i のオプション部品
25	95502-10610	オシロスコーププローブヘッド (IC クリップタイプ)	DST-i のオプション部品